



# アーツカウンシル東京

令和3(2021)年度事業報告書

# アーツカウンシル東京

---

令和3(2021)年度事業報告書



# 目次

■アーツカウンシル東京の役割と事業展開	30	Museum Start あいうえの	96
■令和3（2021）年度の事業を振り返って	31	TACT FESTIVAL2021	99
<b>I. Tokyo Tokyo FESTIVAL を象徴するプログラム</b>			
1 Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13	27		
2 東京キャラバン	30		
3 TURN	31		
4 Tokyo Tokyo FESTIVAL プロモーション・ブランディング事業	35		
<b>II. 芸術文化支援事業</b>			
5 東京芸術文化創造発信助成	37		
6 芸術文化による社会支援助成	42		
7 東京地域芸術文化助成	44		
8 スタートアップ助成	45		
9 伝統芸能体験活動助成	50		
10 東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】活動報告会	51		
11 「芸術文化による社会支援助成」活動報告会	53		
12 ライフウィズアート助成	55		
13 大規模文化事業助成	56		
14 芸術文化活動支援事業「アートにエールを！東京プロジェクト（ステージ型）」	57		
<b>III. 芸術文化創造・発信事業</b>			
15 伝統芸能公演	58		
16 伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2021～	59		
17 東京大茶会2021	61		
18 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2021	62		
19 Music Program TOKYO	63		
20 上野「文化の杜」新構想	77		
21 六本木アートナイト2021	78		
22 第14回恵比寿映像祭	79		
23 芸術セレクション	81		
24 東京芸術祭2021	83		
25 東京芸術祭特別公演 ファンタスティック・サイト	86		
26 Shibuya StreetDance Week 2021	87		
27 キッズ伝統芸能体験	88		
28 子供のための伝統文化・芸能体験事業	91		
29 パフォーマンスキッズ・トーキョー	93		
<b>IV. 東京アートポイント計画</b>			
32 アートアクセスあだち 音まち千住の縁	102		
33 HAPPY TURN／神津島	109		
34 500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」	112		
35 Artist Collective Fuchu [ACF]	115		
36 ファンタジア！ファンタジア！ ー生き方がかたちになったまちー	117		
37 移動する中心   GAYA	120		
38 東京で(国)境をこえる	122		
39 ACKT (アクト／アートセンタークニタチ)	125		
40 多摩の未来の地勢図 Cleaving Art Meeting	127		
<b>V. 人材育成事業</b>			
41 タレント・トーキョー 2021	129		
42 アーツアカデミー	131		
43 Tokyo Art Research Lab (TARL)	133		
<b>VI. 国際ネットワーク事業・企画戦略事業</b>			
44 アーツカウンシル・フォーラム	137		
45 未来の踊りのためのプログラム	138		
46 広報活動	141		

# アーツカウンシル東京の役割と事業展開

## 世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開していきます。

新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。

### 設立趣旨

1. アーツカウンシル東京は、芸術団体や民間団体、NPO等と協力し、東京における芸術文化創造のさらなる促進や東京の魅力向上を図ります。
2. 国際都市東京にふさわしい個性豊かな芸術文化創造や、創造性に満ちた潤いのある地域社会の構築に貢献していきます。
3. 芸術文化の自主性と創造性を尊重しつつ、専門的かつ長期的な視点にたち、新たな芸術文化創造の仕組み・環境を整えます。

### I. Tokyo Tokyo FESTIVAL を象徴するプログラム

2015年度から2021年度まで、オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げ、“芸術文化都市東京”の魅力を発信するため、Tokyo Tokyo FESTIVALとして多彩な文化プログラムを展開してきました。

### II. 芸術文化支援事業〈助成・活動支援〉

東京の芸術文化の魅力を向上させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化や伝統芸能の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動を支援します。

### III. 芸術文化創造・発信事業〈参加・体験プログラム〉

芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施する事業です。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。

#### ■フェスティバルや参加型プログラムの開催

フェスティバルの開催や参加・体験プログラムの実施を通して、芸術文化の創造活動を拡充・発信し、継承していきます。

#### ■文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）

地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す取組です。日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクトを実施し、その担い手となるNPO育成や活動基盤を整えながら、東京の多様な魅力の創造・発信を目指します。

### IV. 人材育成事業

未来を見据え、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成していきます。

## V. 国際ネットワーク・企画戦略事業

海外の芸術文化団体や文化施設・機関等とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力向上のきっかけづくりを行います。東京の芸術文化環境を向上させる様々なテーマに基づいた調査研究を新たなプロジェクトを立ち上げて実施するとともに、多彩な東京の芸術文化の魅力およびアーツカウンシル東京の取り組みを国内外に発信していきます。

### Tokyo Tokyo FESTIVALとは

オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力伝える取組です。

文化でつながる。未来とつながる。

THE FUTURE IS ART

**Tokyo Tokyo**  
FESTIVAL

文化でつながる。  
未来とつながる。

東京はアートの力を信じている。

それは私たちのこれからを描く力だ。

それは違いを受け止め、通じ合おうとする力だ。

2020年。

東京はその力を世界に示したいと思う。

伝統と現代が、

そして世界中の文化が交差する

東京だからできること。

Tokyo Tokyo FESTIVAL

それは、アートでつながる

未来とつながる文化の祭典。

THE FUTURE  
IS ART

Tokyo believes in the power of art:

the power to shape our future,

the power to accept and celebrate our differences.

Come 2020,

the world will discover the wonders of art,

in a city where tradition meets innovation,

where cultures interact.

Tokyo Tokyo FESTIVAL

Explore a future of possibilities with art.

# 令和3（2021）年度の事業を振り返って

アーツカウンシル東京は、芸術文化の力で東京の魅力を高めることに寄与するため、毎年、事業の充実と見直しを行ってきました。新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの事業が内容の変更を余儀なくされるなど、多大な影響を受けましたが、前年度に増して、芸術文化活動を継続していくことの重要性が問われました。様々な方策を模索しながら事業を推進し、また東京の多様な芸術文化活動を支えるために助成制度を強化充実させてきた一年でした。

## ■助成事業の強化・充実

新型コロナウイルス感染拡大を受けて実施した支援事業によりアーツカウンシル東京の役割と活動への注目が高まりました。その影響によるニーズの拡がりに対応するべく、これまでの助成事業のガイドライン改定や、対象に応じた助成プログラムを新設するなど、助成事業の強化を図りました。新進の芸術家・芸術団体による芸術活動を支援する「スタートアップ助成」、伝統芸能の体験活動を支援する「伝統芸能体験活動助成」、芸術文化を日常生活の中に根付かせ、都民に身近なものとするとともに、アーティストの支援にもつなげる「ライブウィズアート助成」、複数の芸術団体等が参画し複数のプログラムを実施するような規模の大きい事業を対象とする「大規模文化事業助成」の4プログラムを新設し、必要に応じたサポートを拡充してきました。

## ■Tokyo Tokyo FESTIVAL 事業の展開

コロナ禍における東京2020大会の延期により、文化の面から盛り上げるTokyo Tokyo FESTIVALも期間を延長して2021年9月まで事業を実施しました。しかしながら感染拡大は収まらず、内容を変更したり、オンラインの活用により開催方法を見直しながら、多くの事業を実現させました。中でも中核を彩る事業として2,436件の公募の中から選定された13のプロジェクト「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」は、メディアやSNSでも話題となり、大きな注目を浴びました。

「伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル～」 「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり」 「Shibuya StreetDance Week」等は、無観客・オンラインで開催されましたが、これまで現地には参加できなかった多くの人に事業の魅力を伝え、お楽しみいただくことができました。

また、「TURN」や「東京芸術祭」でも一部オンラインプログラムが導入され、観客参加型のプログラムが展開されるなど、新しい表現様式や楽しみ方、可能性を生み出すことにも繋がりました。

## ■人材育成事業の拡充

令和3年度は、多様な芸術文化を支える人材の育成に取り組んできた「アーツアカデミー」の更なる拡充を目指し、活動を運営・継続していくための会計・税務能力の向上を図る「芸術文化創造活動の担い手のための会計・税務講座」を新設し、好評を得ました。

Tokyo Art Research Labでも、「手話と出会う～アートプロジェクトの担い手のための手話講座」などの人気講座では、多くの動画再生数を獲得しました。

また、トライアル事業として、舞踊芸術の将来的な在り方を見据えた思考と実践を深める場づくりに向けて「未来の踊りのためのプログラム」を実施し、幅広いジャンルの多彩な講師陣による座学と創作実践を行うラボラトリーが高い評価を得ました。

芸術文化の必要性が強く認識されることとなったコロナ禍で、ますますアーツカウンシル東京の存在意義を発揮しながら、役割を果たしていく所存です。

今後とも、アーツカウンシル東京の取組にご理解とご協力、そしてご支援をお願いいたします。

公益財団法人東京都歴史文化財団  
アーツカウンシル東京  
機構長

青柳正規



DANCE TRUCK TOKYO  
森下真樹 / 森下スタンド photo by amano studio



Light and Sound Installation "Coded Field"  
※2019年11月開催



The Constant Gardeners Jimmy Cohnsen  
courtesy of Jason Bruges Studio



TOKYO REAL UNDERGROUND  
撮影：中川達彦



TOKYO SENTO Festival 2020



パビリオン・トウキョウ2021  
東京城 作：会田誠 ©AIDA Makoto  
撮影：ToLoLo studio



放課後ダイバーシティ・ダンス  
撮影：植田洋一



まさゆめ 目[mé], 2019-21  
撮影：金田幸三



光の速さ—The Speed of Light—  
Photo：Juan Ignacio Fernández and Ignacio Ragone



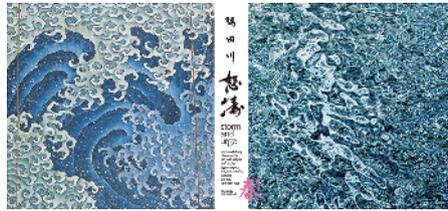
世界無形文化遺産フォーラム  
(旧世界無形文化遺産フェスティバル)



漫画「もしも東京」展



東京大壁画



隅田川怒涛

左：©一般財団法人 北斎館／右：©小山泰介

## TURN

▶ 詳細p.31



TURN 交流プログラム 岩田とも子とハーモニー・プリスクール・インターナショナル・ジャパン  
撮影：富田了平



TURN LAND ハーモニー 「新しい生活様式を送る私たちの笑顔と人力のスライドショー」



TURN フェス6 「TURN ラボ」  
撮影：富田了平



第15回 TURN ミーティング  
撮影：鈴木竜一郎



TURN 茶会  
撮影：加藤甫

東京芸術文化創造発信助成、芸術文化による社会支援助成、  
東京地域芸術文化助成、スタートアップ助成、伝統芸能体験活動助成

▶ 詳細 p.37



東京芸術文化創造発信助成  
カテゴリーⅠ 単年助成  
武田裕子個展「おくのもりへ」



東京芸術文化創造発信助成  
カテゴリーⅡ 長期助成  
Co.Ruri Mito「TOUCH - ふれる - #1」(2022)  
撮影：matron2022



東京芸術文化創造発信助成  
カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業  
zer〇「プロジェクト ダンスのある風景」ワーク  
ショップ「風景と身体とのつながりを自然から学ぶ」  
©中谷広貴



芸術文化による社会支援助成  
「第5回“手話”で楽しむ能狂言観賞会」  
公益財団法人十四世六平太記念財団



東京地域芸術文化助成  
「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会  
第34回 荻窪音楽祭



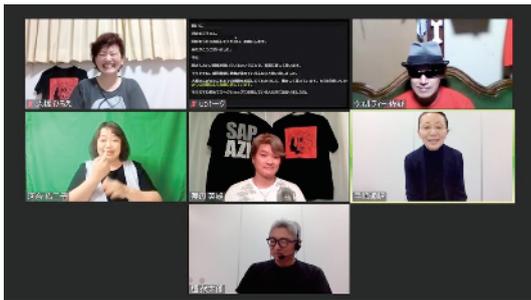
スタートアップ助成  
「キム・ヨハン 作曲個展 曖昧／複雑／偶然…間  
の聴取」金ヨハン



伝統芸能体験活動助成  
「若獅子会 邦楽囃子お稽古部」若獅子会  
撮影：近藤誠司

# 東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】活動報告会

▶ 詳細 p.51



第11回 サインアートプロジェクト. アジアン「多様性の演劇を実現するために」



第12回 一般社団法人 伶楽舎「雅楽をもっと身近に」



第13回 東京現音計画「東京現音計画 コンサートアーカイブ」



# 「芸術文化による社会支援助成」活動報告会

▶ 詳細 p.53



第1回活動報告会  
グラフィックレコーディング (制作：清水淳子)



第1回活動報告会 集合写真

## ライフウィズアート助成

▶ 詳細 p.55



Art Week Tokyo  
Photo by SAIKI



Art for Field Building in Bakuroyokoyama  
©越間 有紀子

## 大規模文化事業助成

▶ 詳細 p.56



ETERNAL Art Space 『泡沫の形 (The Morphology of Freely Rising Deformable Bubbles)』  
Photo : Shigeo Gomi



伝統芸能フェスティバル「二つの世界の狐」『二つの世界の狐』  
撮影：前島写真店



劇場都市TOKYO演劇祭『アマヤドリ「純愛、不倫、あるいは単一性の中にあるダイバーシティについて」』



TOKYO FLOWER CARPET 2022



シアターコモンズ'22『市原佐都子「妖精の問題デラックス」』  
©シアターコモンズ'22／撮影：佐藤駿



FESTIVAL TANDEM Presents Terry Riley  
©三浦麻旅子

## 伝統芸能公演

▶ 詳細 p.58



『変化と人間とー羽衣伝説ー』  
国立劇場提供 撮影：二階堂健



『Bridge』  
国立劇場提供 撮影：二階堂健

国立劇場共催公演事業「二つの小宇宙一めぐりあう今」



伝統芸能普及公演「今に生きるサムライの心～吟と剣詩舞～」

## 伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2021～

▶ 詳細 p.59



楽劇高尾山～平家美少年哀切譚～



地芝居を楽しむ！秋川歌舞伎



SHIKISAI～染物ダンスパフォーマンス～



八王子芸妓衆の華と粹～艶やかにおもてなし～

## 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2021

▶ 詳細 p.62



ことだまライブ



お座敷ライブ



芸能道しるべ



夕暮れライブ

## Music Program TOKYO

▶ 詳細 p.63



シアター・デビュー・プログラム  
虫めづる姫君 平常×宮田大「Hamlet ハムレット」  
©堀田力丸、飯田耕治



まちなかコンサート 東京国立博物館本館大階段



Workshop Workshop! コンビリアル・プロジェクト  
「ヒカリズム～音と光で描くリズムの世界」  
©鈴木穰蔵



ミュージック・ワークショップ・フェスタ〈夏〉〈冬〉  
「はじめましてクラシック～ヴァイオリン&コントラバス&ピアノ～」  
©Mino Inoue

## 第14回恵比寿映像祭

▶ 詳細 p.79



展示より  
提供：東京都写真美術館  
撮影：新井孝明



上映プログラムより  
提供：東京都写真美術館  
撮影：新井孝明



オフサイト展示より  
提供：東京都写真美術館  
撮影：新井孝明



ライブ・イベントより  
提供：東京都写真美術館  
撮影：新井孝明

## 芸劇セレクション

▶ 詳細 p.81



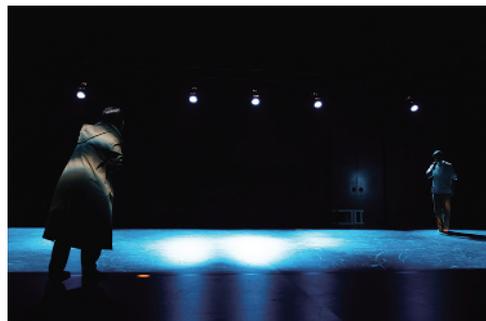
『カノン』  
撮影：井上佐由紀



團伊玖磨／歌劇『夕鶴』（新演出）  
© サラ・マクドナルド



ビゼー／劇音楽『アルルの女』  
© サラ・マクドナルド



『もしもし、こちら弱い派 —かそけき声を聴くために—』コトリ会議  
撮影：引地信彦



From the Farm 『フレフレOstrich!! Hayupang Die-Bow-Ken!』  
Photo Kazuyuki Matsumoto



野外劇 『ロミオとジュリエット イン プレイハウス』  
©住田磨音



『ガチャガチャガチャ』



『第34回 としま能の会』  
©新宮夕海



東京芸術祭ファーム  
Farm-Lab Exhibition 『unversed smash』  
Photo Kazuyuki Matsumoto



おどるシェイクスピア 『FEST3~十二夜~』  
©HARU

東京芸術祭特別公演 ファンタスティック・サイト



大駱駝艦・天賦典式 『Crazy Camel Garden』  
撮影：川島浩之



大駱駝艦・天賦典式 『Crazy Camel Garden』  
撮影：川島浩之

# Shibuya StreetDance Week 2021

▶ 詳細 p.87



DANCE WITH music



EXHIBITION BATTLE



FREE WORKSHOP



SSDW CONTEST

# キッズ伝統芸能体験

▶ 詳細 p.88



お稽古の様子 三曲（箏曲）  
撮影：武藤奈緒美



発表会の様子 日本舞踊  
撮影：武藤奈緒美



発表会の様子 能楽（狂言）  
撮影：菅原康太



お稽古の様子 長唄囃子（小鼓）  
撮影：武藤奈緒美

## 子供のための伝統文化・芸能体験事業

▶ 詳細 p.91



子供のための伝統文化・芸能体験事業の様子

## パフォーマンスキッズ・トーキョー

▶ 詳細 p.93



西東京市保谷こもれびホール  
©松本和幸



和光大学ポブリホール鶴川  
©伊藤華織



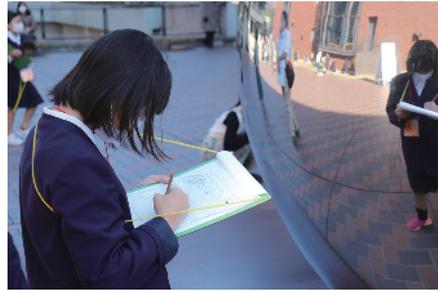
瑞穂ビューパーク・スカイホール  
©松本和幸



青梅市文化交流センター  
©松本和幸



学校プログラム  
 スペシャル・マンデー（ドレスデン国立古典絵画館所蔵フェルメールと17世紀オランダ絵画展）  
 © 中島佑輔



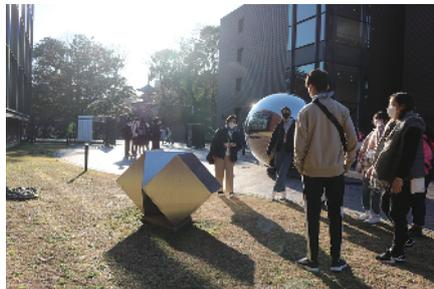
学校プログラム  
 うえのウェルカム



ファミリー＆ティーンズ・プログラム  
 SDGsで探究！名建築をみる



ファミリー＆ティーンズ・プログラム  
 みる旅—芸術と科学に出会い、過去と未来へ旅する3日間



ダイバーシティ・プログラム  
 美術館でやさしい日本語「SDGsでミュージアム！」

TACT FESTIVAL2021



## アートアクセスあだち 音まち千住の縁

▶ 詳細 p.102



イミグレーション・ミュージアム・東京



アサダワタル「コロナ禍における緊急アンケートコンサート声の質問19」



1DAY パフォーマンス表現街  
撮影：大野隆介



友政麻理子「窓映画館、カーテンの夢」

## HAPPY TURN / 神津島

▶ 詳細 p.109



拠点「くると」



大西健太郎「くると盆栽づくり」 撮影：小野悠介



山本愛子「景色から染まる色」 撮影：五十嵐智之



山本愛子「景色から染まる色」 撮影：五十嵐智之

## 500年の common を考えるプロジェクト「YATO」

[▶ 詳細 p.112](#)



影絵ワークショップ2021



土器楽器ワークショップ「しずむおと」2021



YATOの縁日2021 撮影：品田裕美



こもれび堂 家具づくりワークショップ  
一緒に活動拠点を作ろう！ 撮影：安永哲郎

## Artist Collective Fuchu (ACF)

[▶ 詳細 p.115](#)



ラッコルタ-創造素材ラボ-vol.1 「暮らしの彫刻」



ラッコルタ-創造素材ラボ-vol.1 「暮らしの彫刻」



Artist Collective Fuchu presents 「おとのふね」 talk25



「あなたの暮らし、どんなカタチ？」 事業冊子

## ファンタジア！ファンタジア！－生き方がかたちになったまち－

▶ 詳細 p.117



ファンファン倶楽部



スミログ 成果展示  
撮影：加藤甫



プラクティス「トナリのアトリエ」  
撮影：高田洋三



プラクティス「トナリのアトリエ」  
撮影：高田洋三

## 移動する中心 | GAYA

▶ 詳細 p.120



サンデー・インタビュアーズの活動記録



サンデー・インタビュアーズの活動記録

## 東京で(国)境をこえる

▶ 詳細 p.122



kyodo 20\_30



フリンジプログラム 意味をこえる身体へ



話しあうプログラム サカイノコエカタ



ここから展『だから、ここにいる』

## ACKT (アクト/アートセンタークニタチ)

▶ 詳細 p.125



国立市内の研究風景



国立市内の研究風景



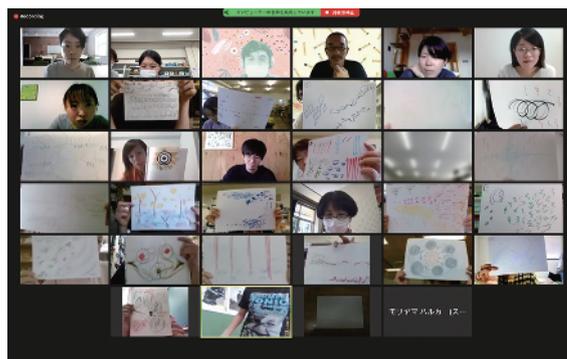
URBANING\_U ONLINE



URBANING\_U ONLINE



技術と素材について考える「ざいしらべ」  
撮影：加藤甫



市民参加型ワークショップ  
「多摩の未来の地勢図をともに描く」



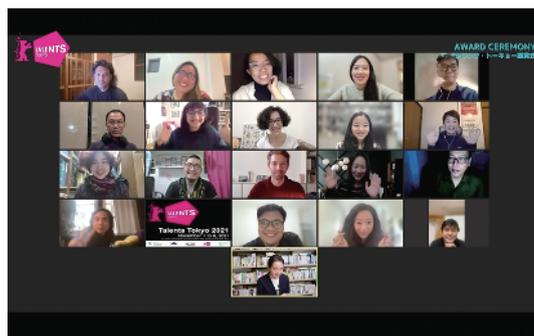
市民参加型ワークショップ  
「多摩の未来の地勢図をともに描く」



社会的養護に関わる人たちを対象にしたワークショップ  
「ゆずりはをたずねてみる」

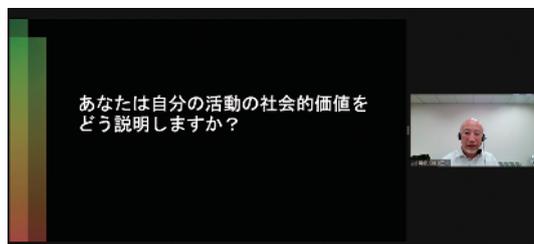
# タレント・トーキョー 2021

▶ 詳細 p.129

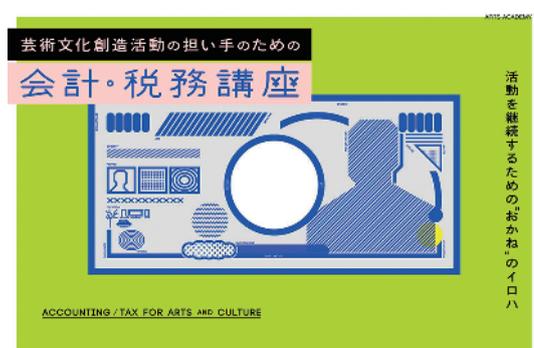
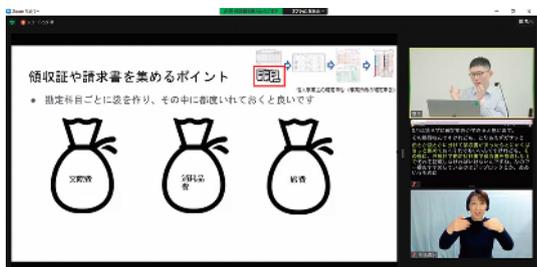


# アーツアカデミー

▶ 詳細 p.131



芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座2021の様子



芸術文化創造活動の担い手のための会計・税務講座2021の様子



東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修の様子



happening. | 東京プロジェクトスタディ1「わたしの、あなたの、関わりをほぐす」展覧会  
撮影：太田琢人



スタディ2 | アートプロジェクトの現場から外国ルーツの若者の支援について考える



レクチャー | 手話をつかう～アートプロジェクトの担い手のための手話講座～  
撮影：齋藤彰英



ディスカッション | 災間の社会を生きる術（すべ／アート）を探る



アSEMBL 1 | Multicultural Film Making ルーツが異なる他者と映画をつくる

## アーツカウンシル・フォーラム

▶ 詳細 p.137



「表現者を支えるプロデュースと目利き力」の様子

## 未来の踊りのためのプログラム

▶ 詳細 p.138



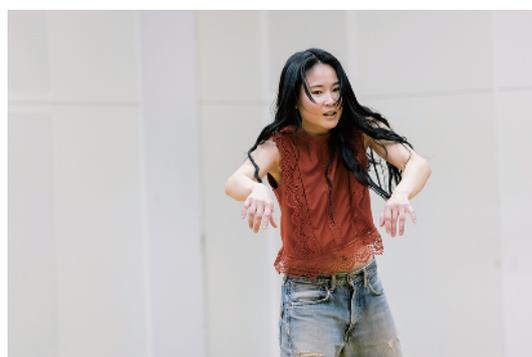
座学 第1回「ダンスと動物」  
講師：平倉圭  
撮影：前澤秀登



座学 第5回「舞踏への応答」  
講師：國吉和子  
ゲスト：川口隆夫  
撮影：前澤秀登



ラボラトリー ショーイング  
[グループIメンター：塚原悠也]  
敷地理 大迫健司 境佑梨  
撮影：前澤秀登



ラボラトリー ショーイング  
[グループIIメンター：川口隆夫]  
石田ミヲ  
撮影：前澤秀登

# 1 Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13

## 【事業概要】

開催期間	令和元（2019）年8月23日（金）～令和3（2021）年9月5日（日）
会場	東京都内各所、オンライン
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参加者数	約500,000人（オンライン参加者数を含む） ※「東京大壁画」と「まさゆめ」の鑑賞者を除く

## 【事業趣旨（目的）】

本事業は、斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、Tokyo Tokyo FESTIVAL の中核を彩る事業として実施する。

国内外から応募のあった2,436件から選定した13の企画を、「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」と総称し、2019年秋から2021年9月までの間に東京都内で順次展開する。

実施にあたっては、東京都およびアーツカウンシル東京の主催事業として、提案者側を受託者として制作等を委託する。

## 【開催状況】

令和2（2020）年度に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により平成31（2019）年度に実施した1件を除く全ての企画の実施を延期し、令和3（2021）年度に実施した。

### ■ザ・コンスタント・ガーデナーズ

開催期間	令和3（2021）年7月28日（火）～9月5日（日）
会場	上野恩賜公園 竹の台広場
企画	ジェイソン・ブルージュ・スタジオ（イギリス）
特別協力	ブリティッシュ・カウンシル

#### 内 容

日本の禅庭園の美学・技と最先端コンピューティング技術を融合させたロボティックアートインスタレーション。砂利を敷き詰めた巨大なキャンバスに、ロボットアームの庭師たちによって、読み込んだアスリートの動作が砂紋として描き出された。刻々と変化する紋様は禅における内省的庭園景観であり、研ぎ澄まされた精神性をも映し出している。

### ■隅田川怒涛

開催期間	春会期 令和3（2021）年5月22日（土）、23日（日） 夏会期 令和3（2021）年8月13日（金）～9月5日（日）
------	---

会場	隅田川周辺、オンライン
企画	特定非営利活動法人トッピングイースト

#### 内 容

隅田川の南北約10kmを一つの舞台と見立てた音楽とアートのフェスティバル。春と夏の2回にわたって計26日間、日本を代表するアーティストが、音楽、パフォーマンス、インスタレーションなどを展開し、人と人との関わり合いを再起動していけるようなプログラムを実施した。

### ■世界無形文化遺産フォーラム

開催日	令和3（2021）年8月1日（日）
会場	ヒューリックホール東京
企画	公益社団法人全日本郷土芸能協会

#### 内 容

世界五大陸の貴重な無形文化遺産を紹介するフォーラム。各国で行ったリサーチ映像を交えて紹介するとともに、東京の太鼓、東北復興の願いが込められた東北三県の唄と踊りが披露された。また、民族芸能などに造詣の深いゲストによるトークセッションでは、風土に根差した世界無形文化遺産の重要性や魅力について様々な視点で語り合われた。

### ■DANCE TRUCK TOKYO

開催期間 令和元（2019）年9月5日（木）～令和3（2021）年9月5日

会場 東京都区部、多摩地区、島しょ部

企画 全日本ダンストラック協会

内容

屋外公共空間に駐車した輸送トラックの荷台を舞台に、日本のコンテンポラリーダンスシーンを代表するダンサーを軸に、多分野の先鋭的なアーティストが都内各所でステージを展開した移動型ダンスプロジェクト。トラックの荷台の極小空間を身体／光／音で一体となった装置へと変容させて、見慣れた都市の風景が一変するような多彩なパフォーマンスを披露した。

### ■東京大壁画

開催期間 令和3（2021）年7月17日（土）～9月5日（日）

会場 丸の内ビルディング、新丸の内ビルディング

企画 株式会社ドリル

内容

丸の内ビルディング・新丸の内ビルディングの壁面を一對のキャンパスに見立てた、それぞれ高さ約150m、横幅約35mの巨大壁画アート作品「水(aqua)」と「火(ignis)」。世界的アーティスト横尾忠則・美美氏による圧倒的な存在感を放つアート作品は、壁面展示という形式も含め、この期間と場所ならではの文化的モニュメントとなった。

### ■TOKYO SENTO Festival 2020

開催期間 令和3（2021）年5月26日（水）～9月5日（日）

会場 東京都内約500か所の銭湯

企画 TOKYO SENTO Festival 2020実行委員会

内容

伝統的な人々の憩いの場・コミュニティーである日本独自の“銭湯文化”を世界に発信するアートプロジェクト。東京都にある約500軒の銭湯を会場に展示された、日本を代表する多様なアーティストとペンキ絵師のアート作品は、2021年の東京で銭湯文化の新しい魅力となり、訪れる人々の心温まる交流を生み出した。

### ■TOKYO REAL UNDERGROUND

開催期間 令和3（2021）年4月1日（木）～8月15日（日）

会場 オンラインおよび都内複数か所

企画 特定非営利活動法人ダンスアーカイヴ構想

内容

1960年代の日本に始まり、世界へ広まった身体表現「舞踏／BUTOH」を、今も成長を続ける日本発の芸術文化と捉え、現在の視点から再考したプロジェクト。白塗りに代表されるこれまでの様式を超えて自由な発想で舞踏の本質に迫ることを試みる実験的作品を、新旧世代の混じる多彩なアーティストとともに展開し、その魅力を伝えた。

### ■パピリオン・トウキョウ2021

開催期間 令和3（2021）年7月1日（木）～9月5日（日）

会場 国立競技場周辺エリアを中心に東京都内10か所

企画 ワタリウム美術館

共催 パピリオン・トウキョウ2021実行委員会

内容

国立競技場周辺エリアを中心とする東京都内各所に建物やオブジェを設置し、自由で新しい都市のランドスケープを提案するプロジェクト。各パピリオンには、世界各地で活躍する9組の建築家・アーティストがそれぞれの東京の未来への願いを表した。東京に一夏生まれた時空を越えたランドスケープを、人々は地図を片手に宝探しのように巡った。

### ■光の速さ -The Speed of Light-

演劇公演 令和3（2021）年5月22日（土）、23日（日）（※23日は無観客公演、撮影）

会場 世田谷区太子堂八幡神社および周辺

企画 マルコ・カナーレ（アルゼンチン）

#### 内 容

東京在住の65歳以上の出演者12名とともに東京の街を巡るツアー型演劇。東京に暮らすシニア世代がパフォーマンスを交えて個人史を語り、アルゼンチン出身の演劇／映像作家マルコ・カナーレが、東京でのリサーチをベースに書き下ろした、過去・現在・未来の世界が交錯するフィクションの物語を上演。同時に映像作品も制作された。

### ■放課後ダイバーシティ・ダンス

活動期間 令和元（2019）年9月～令和3（2021）年8月

会場 港区立麻布子ども中高生プラザ

くにたち市民芸術小ホール

日の出町立志茂町児童館

オンライン

企画 ADD実行委員会

#### 内 容

都内の3つの街と連携し、舞踏を通じた新たな地域文化のプラットフォームを創出するプロジェクト。第一線で活躍するプロダンサーや、地域内で様々なダンスに関わる人などによるワークショップを通して、参加者である子どもたちとともに年齢や性別、国籍を超えた多文化共生型のダンスが創り上げられた。

### ■まさゆめ

開催期間 令和3（2021）年7月16日（金）～8月13日（金）

会場 代々木、隅田川周辺

企画 目 [mé]

#### 内 容

年齢や性別、国籍を問わず世界中から広く顔を募集し、選ばれた「実在する一人の顔」を2021年の東京に浮かべる現代アートプロジェクト。四年に一度の人類最大規模の集いの中で空に浮かぶ巨大な顔。その風景は、個であることと同時に公である我々の存在を見つめ直し、その不思議や実感をあらためて人類に問いかけた。

### ■漫画「もしも東京」展

開催期間 令和3（2021）年8月4日（水）～9月5日（日）

会場 東京都現代美術館 地下2階講堂、中庭、水と石のプロムナード

企画 漫画「もしも東京」展実行委員会

共催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

#### 内 容

日本を代表する20名の漫画家たちが“もしもの東京”をテーマに書き下ろした20の作品を展示するアートプロジェクト。漫画家が制作した20点の作品は、東京都現代美術館の地下2階講堂や、中庭など、館内のパブリックスペースも含め展示され、点在する展示作品を巡るように鑑賞するという新しいカタチの漫画展となった。

（参考：令和元年度終了事業）

### ■Light and Sound Installation “Coded Field”

開催日 令和元（2019）年11月16日（土）

会場 浄土宗大本山増上寺、港区立芝公園、東京都立芝公園

企画 ライゾマティクス

#### 内 容

東京・港区芝の大本山増上寺とその周辺地区を舞台に行われた、光と音が織りなすパブリックアートプロジェクト。大本山増上寺の建築データや地形データをプログラミングを用いて解析、符号（コード）化し、光と音に変換するための情報を埋め込んだ場（フィールド）を仮想空間に生成。バルーン型デバイスの光と音は参加者の動きに応じて変化し、かつてないアート空間となった。

## 2

## 東京キャラバン

## 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年8月21日（土）、22日（日）
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
共催	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
事業協力	秋田県、秋田市、京都文化カプロジェクト実行委員会、北海道
総監修	野田秀樹（劇作家・演出家・役者）

## 【事業趣旨（目的）】

劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた文化ムーブメント。東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導する東京都の文化事業として、平成27（2015）年度より開始。平成29（2017）年度からは東京2020公認文化オリンピックアドとして本格始動した。全国各地に「東京キャラバン」が出現し、「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を越えた交流を継続的に図っていく。

## 【開催状況】

令和3（2021）年度は、「東京キャラバン in 駒沢 2021」の開催に向けて準備を進めていたが、緊急事態宣言の発令により、日本全国からの参加アーティスト等が東京に集結することが極めて厳しい状況となったため、「普段出会うことのない表現者たちが出会い、“文化混流”によって唯一無二の新たな表現を生み出す」という、東京キャラバンの創作の根幹を体現することが困難と判断し、やむなく開催を中止して、中止にかかる調整および手続きを行った。

一方、平成27（2015）年度より展開してきた「東京キャラバン」の経緯や実績を保存記録し、広く周知することを目的に、公式SNSおよびウェブサイトの運用を通じて広く発信するとともに、記録冊子を制作・発行した。

## 中止プログラム

名称	東京キャラバン in 駒沢 2021
開催日時	令和3（2021）年8月21日（土）、22日（日）
会場	駒沢オリンピック公園総合運動場・体育館
観覧料	無料（事前申込制・申し込み多数の場合は抽選）
参加アーティスト	松たか子（女優）、宮沢りえ（女優）、東京スカパラダイスオーケストラ（ミュージシャン）、木村カエラ（アーティスト）、中納良恵／EGO-WRAPPIN'（ミュージシャン）、津村禮次郎（能楽師）、熊谷和徳（タップダンサー）、沢則行（人形劇師）、青柳美扇（書道家）、宇治野宗輝（現代美術家）、Daisy Balloon（バルーンアーティスト）、和太鼓 Atoa、“東京キャラバン”アンサンブル（秋草瑠衣子、石川詩織、織田圭祐、上村聡、川原田樹、黒瀧保士、近藤彩香、白倉裕二、末富真由、谷村実紀、手代木花野、花島令、福島彩子、間瀬奈都美、松本誠、的場祐太、吉田朋弘）、琉球舞踊（立方：嘉数道彦、大浜暢明、玉城匠、上原崇弘 地謡：玉城和樹、和田信一、大城建太郎）、秋田市竿燈会（秋田竿燈まつり）、祇園甲部芸妓：舞妓、村田製作所チアリーディング部（球乗り型ロボット）、公益社団法人北海道アイヌ協会（アイヌ古式舞踊）、ライリー大仁（江差追分）、小山豊・小山会青年部（津軽三味線小山流）、真船勝博・徳澤青弦（東京キャラバンストリングス）
参加クリエイター	服部基（照明）、名和晃平（美術）、原摩利彦（音楽）、ひびのこづえ（衣装）、赤松絵利（ヘアメイク）、篠山紀信（写真）、奥秀太郎（映像）、青木兼治（映像撮影）
メインビジュアル	長尾洋（アーティスト）

## 3

## TURN

## 【事業概要】

開催期間	令和3年（2021）4月～令和4年（2022）3月
会場	福祉施設およびコミュニティ、アーツカウンシル東京 ROOM302、 東京都美術館、国立新美術館、東京都内近郊 ほか
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、 特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京芸術大学
監修	日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
参加者数	25,288人

## 【事業趣旨（目的）】

障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクト。東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導する東京都の文化事業として、平成27（2015）年度より開始。平成29（2017）年度からは東京2020公認文化オリンピックアードとして本格始動した。様々な分野の機関と連携および協力してプログラムを展開していくことで、一人ひとりが異なる“その人らしさ”を尊重できる関係性のある豊かな社会の創造を目指す。そして、日本における新しいダイバーシティの試みとして国内外で展開し、発信するとともに、TURNの考え方や仕組み、場をレガシーとして継承していく。

## 【開催状況】

令和3（2021）年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じて参加者やスタッフ等の安全を確保し、状況に応じて対面、またはオンライン等による遠隔で、「交流プログラム」および「TURN LAND」を実施した。さらに、美術館と特設ウェブサイト会場とする「TURN フェス6」を企画し、東京藝術大学が主導する「TURN 茶会」を加え、3つのプログラムを合わせて「TURN フェス2021」と呼称して展開した。また「TURN ミーティング」や「TURN ジャーナル」の発行等を通じて、本プロジェクトの意義を発信した。

## 1. TURN交流プログラム

開催期間	4月～12月
内容	都内を中心とした福祉施設や社会的支援を必要とする人が集うコミュニティなどの連携拠点にアーティストが赴き、拠点利用者や拠点職員、家族等と出会いながら相互に関係する交流プロセスを構築する。令和3（2021）年度は、「ウィズコロナ」を念頭に、従来の対面型の交流に加え、ウェブ会議システム等を活用した遠隔での交流を試みた。アーティスト独自の視点で、その場に集う人々の個性や魅力を見出し、福祉的ケアとは異なる文化的対話を通じて、アートの新たな可能性を探った。また、各地で展開される「TURN交流プログラム」を円滑かつ確実に実施することを目的に、養成プログラムを経たサポーターをコーディネーターとして配置し、アーティストと交流先のつなぎ役となって現場を推進した。
参加アーティスト ※五十音順	飯塚貴士、伊勢克也、岩田とも子、永岡大輔、パボとコミ、マチーデフ、松本力、丸山素直
連携拠点（交流先） ※五十音順	エベレスト・インターナショナル・スクール・ジャパン（杉並区）、大田区立障がい者総合サポートセンター（大田区）、上町工房（世田谷区）、TDU・隼穿大学（新宿区）、はあとびあ原宿（渋谷区）、ハーモニー・プリスクール・インターナショナル（台東区）、福祉ホームさくらんぼ（豊島区）、桃三ふれあいの家（2021年7月から西荻ふれあいの家）（杉並区）

## 2. TURN LAND

「TURN」の活動が日常的に実践される場である「TURN LAND」を、アーティストと交流先などの都内各所で展開した。

## (1) 交流先施設のLAND化

福祉施設やコミュニティが、アーティストとともに参加型のプログラムを企画。場所のもつ従来の機能に、市民が集まることができる地域にひらかれた文化施設としての役割が加わり、TURNを日常的に実践する場をつくる。令和3（2021）年度は、「ウィズコロナ」を念頭に、従来の対面集合型に加え、ウェブ会議システム等を活用したオンラインによるプログラムを展開した。

## Tokyo Tokyo FESTIVAL を象徴するプログラム

交流先施設	日程	会場	プログラム名	アーティスト	ゲスト	参加料
気まぐれ八百屋 だんだん	11/13	ウェブ会議システム等 を活用したオンライン	クイズ! つつむんぼ〜『ひらく』ため の『つつむ』ってなーんだ?〜	野口竜平	—	無料
ハーモニー	11/28	ウェブ会議システム等 を活用したオンライン	新しい生活様式を送る私たちの実感と 人力のスライドショー	アサダワタル	—	
クラフト工房 La Mano	5/15、9/4、 10/23	ウェブ会議システム等 を活用したオンライン	テレ手のプロジェクト2021 —綿花から糸へ...—	五十嵐靖晃	トミザワタクヤ	
	12/18	クラフト工房 La Mano	手のプロジェクト2021 —綿花から糸へ...—			
板橋区立小茂根 福祉園	12/8	ウェブ会議システム等 を活用したオンライン	四コマ漫画文通式劇場 こもね座『電光!!ギガマスバイオーム』	大西健太郎、宮田篤	—	

### (2) TURN 運営本部

NPOを中心とする事務所機能と、TURNの運営を補助する「サポーター」の養成を目的としたプログラム等を実施する情報発信のハブ機能を担った。

### 3. TURN フェス

#### (1) TURN フェス6

「出会いが広がる」をキーワードに東京都美術館と特設ウェブサイトにて実施。作品展示や映画上映などを美術館で展開したほか、特設ウェブサイトではオリジナル企画などを公開し、遠隔からも様々な表現やアーティストたちと出会い、交流できる場を展開した。

タイトル	TURN フェス6：東京都美術館
日程	8/17～19
会場	東京都美術館ロビー階 第1・2公募展示室、講堂
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京・東京都美術館、特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京芸術大学
共催	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
入場料	無料
入場者数	1,469人
TURN サポーター	39人
参加アーティスト・団体	38組
展示	20
シアター上映作品	8
参加型プログラム	1
内容	「TURN交流プログラム」や「TURN LAND」などのプログラムで実践したコロナ禍での新たな交流の仕方や開き方の試行錯誤をはじめ、アーティストや各方面の専門家たちと実施した「TURNラボ」から生まれた、新しい交流へのアプローチを発表。また、会場の多様な楽しみ方を相談できるアクセシビリティ・カウンターを設置し、個性豊かな相談員が、来場者一人ひとりの関心を大切にしながら、会場を楽しむ術を見つけていく取組を行った。さらに、令和2(2020)年度に発行した「TURNジャーナル」を展示し、日々変化してゆく社会と「TURN」におけるその時々々の声や状況を伝えた。そして、TURNと親和性のある様々な映像を講堂にて上映した。

タイトル	TURN フェス6：オンラインプログラム
日程	7/19～9/5
会場	TURN フェス2021特設ウェブサイト <a href="https://fes2021.turn-project.com/online">https://fes2021.turn-project.com/online</a>
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京・東京都美術館、特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京芸術大学
共催	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
入場料	無料
視聴者数	17,171人
コンテンツ数	26
内容	オンラインワークショップのほか、参加型企画や、TURNの活動や制作プロセスに触れる写真や映像など、全26コンテンツを公開した。参加アーティストの多くが「TURN フェス6：東京都美術館」とは異なる独自のオンラインプログラムを発表、配信した。

### 4. TURN ラボ

「視覚や聴覚に障害を持つ人との協働」や「多様な人との対話の可能性」等TURNのテーマに関わるリサーチを、アーティストや各方面の専門家たちが行うことで、多様な価値観への理解を広げ、TURNの今後の展開を考察し、リサーチを通して生まれた作品を「TURN フェス6」で発表した。

参加者 ※五十音順	梶谷真司（哲学者、東京大学大学院総合文化研究科教授）、佐藤慎也（建築家、日本大学理工学部建築学科教授）、島影圭佑（オトンクラス代表取締役）、富塚絵美（アーティスト）、橋本瞭（Ubitoneメンバー）、本多達也（Antennaプロジェクトリーダー、富士通）、三科聡子（宮城教育大学教育学部准教授）
--------------	---

作品名	このオペラは見えない。それは釣りをする時、魚がいても見えないのと同じ。このオペラは聞こえない。それは朝日が昇る時、地鳴りがしないのと同じ。ようこそ、これからのオペラハウスへ。大海を舞う魚のように、私たちが繋ぐ太陽のように、当たり前の日々を奏で続ける。
作品概要	富塚絵美が書き下ろした「戯曲」を起点に、「盲ろう者が当たり前」に創ることや鑑賞することを一緒に楽しめるオペラ＝オボラ」を目指してつくられた。演劇ではなく、美術の世界に置かれた戯曲とその周りの創造物は、様々な他者と出会うための入り口として、知覚と想像する幅を広げる。建築家の佐藤慎也、人の知覚に関わる様々なプロダクトや作品を生み出す本多達也、島影圭佑、橋本瞭、目に見えない「身体」について探求する哲学者の梶谷真司、そして盲ろう者を対象にした教育の専門家である三科聡子とともに創造的な実験を展開した。

## 5. TURNミーティング

TURNの可能性を共有し、語り、考えあう場。参加アーティストや交流先など、TURNプロジェクトの関係者とともに、様々な分野で活躍する専門家などをゲストに招き、TURNについてトーク等を繰り広げた。

第14回TURNミーティングは、開催時期の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、オンライン開催し、TURN公式ウェブサイトで配信。第15回TURNミーティングは会場で開催するとともに、アクセシビリティの実験的な取組として、収録映像と編集した情報保障（字幕・手話・音声ガイド）を収録映像にまとめ、TURN公式ウェブサイトに公開した。

	開催日時	会場	ゲスト	内容	観覧者数 (人)	参加料
第14回	8/17 16:00~ 20:30	アーツカウンシル 東京 ROOM302	綾屋紗月（東京大学先端科学技術研究センター特任講師・自閉スペクトラム当事者）、石川絵理（NPO法人TANet事務局長、タイアログ・イン・サイレンス アテンダ）、佐沢静枝（NPO法人しゅわえもん、立教大学日本手話兼任講師）、瀬戸口裕子（手話通訳士、アート・コミュニケーター）、荻上チキ（評論家、ラジオパーソナリティ）	第1部には、自閉スペクトラムの当事者研究に取り組む綾屋紗月、過去の回で「ろうナビゲーター」を担当してきた石川絵理、佐沢静枝、「ろうナビゲーター」に手話で情報を届けるフィーダーを務めてきた瀬戸口裕子をゲストに迎え、コミュニケーションの「ズレ」そのものに焦点を当てて意見交換した。第2部では、綾屋紗月に加えて、評論家の荻上チキをゲストに迎え、「伝えること、想像すること」をテーマに思考を深めた。	448	無料
第15回	12/13 13:30~ 16:00	東京都美術館 講堂	永岡大輔（アーティスト）、高田紀子（板橋区立小茂根福祉園職員）、丸山素直（アーティスト）、近藤博子（気まぐれ八百屋だんだん店主）、伊勢克也（アーティスト）、新澤克憲（ハーモニー施設長）、井川丹（音楽家）、田中俊太郎（歌手）、渡邊智美（歌手）	第1部では「TURNの交流からの気付き～多様性のある社会に向けて～」と題し、TURNの活動に関わってきた、アーティストと団体スタッフのペア3組をゲストに迎え、TURNの経験から考えてきたことを語り合い、第2部では、TURN監修者・日比野克彦とTURNプロジェクトディレクター・森司が登壇し、5年にわたる活動を振り返った。トークの間には、TURNの活動の中で語られ書かれた言葉を集めた冊子「TURN NOTE」の文章を、音楽家の井川丹が楽曲に構成し、バリトンの田中俊太郎と声楽家の渡邊智美が歌や朗読でパフォーマンスを行った。	78 ※記録映像視聴者数：380 (2/1~3/25)	無料

## 6. 海外展開

タイトル	TURN茶会
日程	7/23~8/9 ※7/27、8/3は休館
会場	国立新美術館 企画展示室2E
主催	国立大学法人東京芸術大学、国立新美術館、東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人Art's Embrace
共催	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
協賛	レンゴー株式会社、特種東海製紙株式会社、ヤマト株式会社
協力	ウィーン応用芸術大学、エクアドル中央大学、国立シラバコーン大学、国立トレス・デ・フェブレロ大学、国立トゥクマン大学、コロンビア大学、チュリビ芸術大学、西安美術学院、パリ国立高等美術学校、ヴロツワフ美術大学、ペルー国立美術学校、ペンシルベニア大学、ミュンスター美術アカデミー、ミラノ工科大学、ロンドン芸術大学
入場料	無料
参加アーティスト	五十嵐靖晃、瀧口幸恵、岩田とも子、永岡大輔、大西健太郎、小野龍一、林奈緒子、徳本萌子、松橋和也、高岡太郎、許允、布下翔基、そねまい
入場者数	4,690人
国際交流オンライン茶室 YouTubeサイト再生回数	922回
内容	「地球・人をアートで問う」をテーマとし、互いの心持ちを交し合うという機能を持った空間を茶室と見立てて、互いに手を動かしたり、イメージしたり、海外と交流する場として展開した。TURNの海外展開プログラムに参加してきた13名（11組）のアーティストが、会場内に設営された11の「ワークショップ茶室」にてそれぞれのワークショップや展示を実施し、また、中央に位置する「国際交流オンライン茶室」では、監修者・日比野克彦、東京芸術大学及び東京芸術大学の海外連携大学等の教員がオンラインで対面し、テーマに沿って話をするシンポジウムを行った。会場全体においても来場者が自由に参加できる「海つくりワークショップ」が同時開催され、茶室が表現する「ひとつひとつの国」を海でつなげていくというイメージを来場者が参加・体験できる場となった。

## 【参加者の声】

### ●TURNフェス6

・毎年新しい出会いを通じて自分の知らなかった世界、気がついてなかった世界、見えてなかった世界、聞こえていなかった世界、触れたことがなかった世界…でも自分の奥底では知っていたような…懐かしい世界に廻り合えるの

でとても楽しみにきています。これからもそんな体験をしたいです。

### ●第14回TURNミーティング

- ・手話通訳のお二人の伴走があることで、私は手話が出来ないにも関わらず、表情や仕草で身近に感じさせるものがあり、トークに心理的にも付いていく上で安心感があつた。
- ・コミュニケーション障害は、発達障害者本人のみに帰属するのではなく、人と人の間に存在するという考え方が、新しい視点を得た思いがしたため関心を持ちました。

### ●第15回TURNミーティング

- ・TURNを知ったのは今年で、TURNが何なのかもよくわからず、でも福祉に関心があり、何か得るものがあるはずと思って参加していました。参加している皆さんもわからないから始まり、同じような道を歩んできたのだなと思ひ、なぜかホッとしました。最後、何か見えたものがあった気がします。
- ・文字を読むこと、音を聞くこと、歌として体感することの違いを体感できた。どれが正しいというものではなく、感じたり、考えたり、深く読み込んだり、気づきも変わっていくのではないかと思った。

### 【発行物】

TURN PAPER、TURN NOTE 2021、TURN ジャーナル SPRING 2022 - ISSUE 08

## 4

Tokyo Tokyo FESTIVAL  
プロモーション・ブランディング事業

## 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
会場	都内各所
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

## 【事業趣旨（目的）】

各種広報やプロモーションイベント等を実施し、Tokyo Tokyo FESTIVAL を効果的にプロモーション・ブランディングすることで、文化の面から大会開催気運の醸成を図るとともに、芸術文化都市東京の魅力を発信する。

## 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえたうえ、Tokyo Tokyo FESTIVAL を効果的にプロモーション・ブランディングするため、以下の取組を実施した。

## (1) Monthly Guide

インタビューや取材レポートにより、Tokyo Tokyo FESTIVAL を構成するプログラムの魅力等を紹介する記事を、公式ウェブサイト上に日英2言語で掲載。（5～9月、計5本）

## (2) 海外向け広報

国内外の外国人に向けた情報発信として、Time Out Tokyoのウェブサイトにおいて、Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13を中心としたプログラム紹介記事やイベント情報を掲載するとともに、それらの情報を集約したハブページを掲載。

また、海外メディアにTokyo Tokyo FESTIVAL の概要や魅力等を紹介するため、在京特派員を対象としたオンライン記者会見およびプレスツアーを実施。

## (3) 広報リーフレット

公式ウェブサイトへの誘導を目的に、NIPPON フェスティバル、日本博、beyond2020プログラムと連携した広報物を作成し、都立文化施設や国立文化施設、都営地下鉄各駅等に配布。

## (4) Twitter キャンペーン

コロナ禍でも自宅で芸術文化に触れてもらうとともに、芸術文化への興味喚起につなげるため、Twitter 公式アカウントにおいて、都立文化施設で開催した展覧会等の図録をプレゼントするキャンペーンを実施。（7～9月、計3回）

## (5) ラジオ番組

J-WAVE『Tokyo Tokyo FESTIVAL CREATIVE FILE』（毎週土曜日／午前11時35分～45分）を放送し、様々なプログラムの情報や魅力を紹介。（放送実績は下記参照）

## (6) その他

公式ウェブサイトおよびTwitter 公式アカウントによる情報発信、都立文化施設の装飾、広報グッズの配布等により、幅広い層に向けてプロモーションを実施。

## 【J-WAVE「Tokyo Tokyo FESTIVAL CREATIVE FILE」放送実績】

No.	OA	放送内容	ゲスト出演者
1	4/3	東京都現代美術館/トーキョーアーツアンドスペース「Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展」	舟橋牧子（トーキョーアーツアンドスペース）
2	4/10	東京都現代美術館「ライゾマティクス_マルティプレックス」	長谷川祐子（キュレーター）
3	4/17	東京都庭園美術館「建築公開2021 艶めくアール・デコの色彩」	吉田奈緒子（東京都庭園美術館）
4	4/24	江戸東京博物館「富嶽三十六景への挑戦 北斎と広重」	小山周子（江戸東京博物館）
5	5/1	東京芸術劇場「ランチタイム・バイポールガンコンサート Vol.144」	前田圭蔵（東京芸術劇場）
6	5/8	東京文化会館「舞台芸術創造事業（国際共同制作）オペラ『Only the Sound Remains -余韻-』」	里神大輔（東京文化会館）
7	5/15	アーツカウンシル東京「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2021」	シリル・コビーニ（落語パフォーマー）
8	5/22	Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13「TOKYO SENTO Festival 2020」	近藤和幸（TOKYO SENTO Festival 2020実行委員会委員長）
9	5/29	東京文化会館「『響の森』Vol.48「ロマンスの夜」」	里神大輔（東京文化会館）
10	6/5	東京都現代美術館「マーク・マンダースーマーク・マンダースの不在」	鎮西芳美（東京都現代美術館）
11	6/12	Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13「世界無形文化遺産フォーラム～飲ひ、祈り、大地、歌、踊り～」	小岩秀太郎（公益社団法人 全日本郷土芸能協会）
12	6/19	東京芸術劇場「NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇 スプラッシュ・ザ・カラス!」	挾間美帆（ジャズ作・編曲家）
13	6/26	東京都写真美術館「新・晴れた日 篠山紀信 第1部」	篠山紀信（写真家）

## Tokyo Tokyo FESTIVAL を象徴するプログラム

No.	OA	放送内容	ゲスト出演者
14	7/3	東京都写真美術館「新・晴れた日 篠山紀信 第2部」	篠山紀信（写真家）
15	7/10	アーツカウンシル東京「東京キャラバン in 駒沢 2021」	谷中敦（東京スカパラダイスオーケストラ/ミュージシャン）
16	7/17	Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13「東京大壁画」	細川直哉（株式会社ドリル）
17	7/24	Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13「パビリオン・トウキョウ2021」	和多利恵津子（パビリオン・トウキョウ2021実行委員長）
18	7/31	Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13「漫画『もしも東京』展」	石原隆（漫画『もしも東京』展実行委員長）
19	8/7	アーツカウンシル東京「TURN フェス2021」	日比野克彦（TURN監修/アーティスト）
20	8/14	Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13「隅田川怒涛」	清宮陵一（NPO法人トッピングイーストディレクター）
21	8/21	Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13「ザ・コンスタント・ガーデナーズ」	湯浅真奈美（プリティッシュ・カウンシル）
22	8/28	東京芸術劇場/アーツカウンシル東京「東京芸術祭2021 野外劇『ロミオとジュリエット』」	阿久津仁愛（俳優）、川原琴響（俳優）
23	9/4	東京都美術館「Walls & Bridges 世界にふれる、世界を生きる」	中原淳行（東京都美術館）
24	9/11	東京都現代美術館「GENKYO 横尾忠則『原郷から幻境へ、そして現況は？』」	藤井亜紀（東京都現代美術館）
25	9/18	東京芸術劇場/アーツカウンシル東京「歌舞伎ひらき街めぐり ～木ノ下裕一の古典で読み解く江戸⇄東京講座～」	木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎主宰）
26	9/25	東京文化会館/アーツカウンシル東京「Music Program TOKYO シアター・デビュー・プログラム 平常×宮田大「Hamlet ハムレット」(2021年新演出)」	里神大輔（東京文化会館）

## 5

## 東京芸術文化創造発信助成

## 【事業概要】

東京を拠点とする芸術団体等を対象とし、令和3（2021）年度から、3つのカテゴリーに分けて助成を行う。

「カテゴリーⅠ【単年助成】」では、都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、都内または海外で実施される国際的な芸術交流活動の助成を行う。

「カテゴリーⅡ【長期助成】」では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進するとともに、芸術団体のステップアップの後押しを目的に、最長3年間の支援を実施する。

「カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業（【単年助成】【長期助成】）」では、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動について最長3年間の支援を実施する。

## 【事業趣旨（目的）】

東京の都市の魅力向上に寄与する多様な創造活動や芸術創造環境の課題に取り組む活動を助成し、その担い手を支援する。

## 令和3（2021）年度実績

## 東京芸術文化創造発信助成

申請件数：カテゴリーⅠ【単年助成】334件、カテゴリーⅡ【長期助成】23件、  
カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業（【単年助成】【長期助成】）  
32件（単年助成：22件、長期助成：10件）

採択件数：カテゴリーⅠ【単年助成】110件、カテゴリーⅡ【長期助成】3件、  
カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業（【単年助成】【長期助成】）  
6件（単年助成：5件、長期助成：1件）

交付決定総額：146,429千円

令和3（2021）年度 東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅠ・カテゴリーⅢ【単年助成】第1期 採択結果の概要  
音楽分野

申請件数の6割強が初申請で、特に個人の初申請が大幅に増え過去最多となりました。事業内容も、クラシック、現代音楽、古楽、ジャズ、複数の分野との創造活動など多様になっています。また今回は、新しい作品を創ることだけでなく、演奏の新しい可能性を切り拓くような活動も目立ちました。中小規模の予算の事業が増えていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための入場制限を想定した収支バランスの影響と思われる。

## 演劇分野

申請件数は昨年度に比べ増加しました。約6割が初申請で、特に活動基盤形成期の初申請が増えています。採択の内訳は8割以上を活動基盤形成期と活動拡大・発展期が占めました。国際的な芸術交流活動の申請件数は減少。活動基盤形成期からの申請はなく、活動拡大発展期や活動成熟期の団体がコロナ禍以前より関係構築や企画づくりを行っていた事業の申請が目立ちました。個人申請は増加傾向にあり、独創性の高い練られた企画が採択されています。

## 舞踊分野

申請件数は昨年度と同規模で、新規申請は4割程度、活動ステージ別では活動基盤形成期が7割、活動拡大・発展期が3割でした。コロナ禍に対応する申請として、作品のテーマ設定や、テクノロジーを用いた身体表現の探求、劇場での創作活動に囚われず舞踊の特性を活かした活動を発展させる取り組みなど、多角的な優れた活動があり採択となりました。コロナ禍で減少した国際的な芸術交流活動においては、招聘公演の実現が見込める事業を採択しました。

## 美術・映像分野

平面やアートプロジェクト、インスタレーション、ミクストメディア等の多様な表現の創作活動に加え、映画・映像分野やフェスティバル／プラットフォーム型の事業の申請が多くありました。個人申請は例年よりやや減少し3割強でしたが、新進や中堅のキュレーターによる、コンセプトや手法の独創的な事業が採択となっています。国際的な芸術活動の申請は減り、コロナ禍における移動の制限の影響が顕著ですが、オンラインの活動等、工夫ある企画も寄せられました。

伝統芸能分野

申請件数が過去最大になっており、コロナ禍において延期となっていた活動や公演の再開の動きが多く見受けられました。申請種目は、雅楽、聲明、能楽、狂言、地歌箏曲、三曲、尺八、長唄、落語、講談、日本舞踊、創作邦楽、現代邦楽など多岐にわたりました。個人申請のうち3分の2が初申請で、そのうち半数が採択となっています。また、採択事業を活動ステージ別にみると、活動成熟期は継承の意識が高いものも多く、活動拡大・発展期、活動基盤形成期は今後に向けて表現の幅を広げようとする活動が目立っています。

複合

複合分野は、17件の申請があり6件が採択となっています。即興的な音楽行為と美術制作を融合した表現活動、分野を横断する創作発表やフェスティバル、テクノロジーを用いて分野を融合する試み、実験的な身体表現を探求するアーティストがパフォーマンスアートの新たなプラットフォーム形成に挑戦する活動など、複合分野ならではの多様な申請がありました。また、コロナ禍において浮き彫りとなった舞台芸術界における課題に取り組む事業も採択しています。

カテゴリー I 【単年助成】 第 1 期 [助成事業対象期間:令和3 (2021) 年 7 月 1 日~令和 4 (2022) 年 6 月 30 日]

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	
音楽	都内での芸術創造活動	団体	邦楽四重奏団	邦楽四重奏団 concert vol.12	
			東京現音計画	東京現音計画#14~コンポーザーズセレクション6:森紀明	
			ensemble-no	能声楽家・青木涼子 新曲委嘱世界初演シリーズ「現代音楽×能」Vol.9	
			spac-e	spac-e #4a、#4bコンサートと電子音響付き器楽作品演奏のためのワークショップ2	
			TRANSIENT	篠原真 室内楽作品による個展	
			川島素晴 works 実行委員会	川島素晴 works vol.5 by ROSCO	
			ライスパワージャム実行委員会	ライス パワー ジャム・ハ! 2021	
		個人	Crossings	Crossings × zer〇 (仮)	
			松平敬	松平敬バリトン・リサイタル~声×打楽器×エレクトロニクス	
			葉形亜樹子	葉形亜樹子チェンパロリサイタル「未来の記憶」(仮)	
			中村仁美	中村仁美 箏篋リサイタル"葦の風"no.7	
			三宮正満	古楽の演奏における復元楽器の関わり ~作曲家の目指した音楽表現へのアプローチ~	
			水谷紹	東京中低域結成20周年記念公演「バリトンサクソ・サウンド・アンド・ヴィジョン」(仮)	
			マクイーン時田深山	NAMBOKU ART MUSIC ENSEMBLE 1st CONCERT (仮)	
	山澤慧		山澤慧チェロリサイタル「邦人作曲家による作品集」第2回		
山木千賀	第十三回山木千賀リサイタル及びPR動画制作事業 (仮)				
国際的な芸術交流活動	団体	特定非営利活動法人芸術文化ワークス	REICH85 - kuniko plays reich - Edinburgh Festival Fringe 2021		
演劇	都内での芸術創造活動	団体	ピンク・リパティ	ピンク・リパティ新作公演「とりわけ眺めの悪い部屋」(仮)	
			ほろびて	ポロポロ、に (仮)	
			劇団「地蔵中毒」	劇団「地蔵中毒」第14回公演「燃える前頭葉」(仮題)	
			合同会社 DULL-COLORED POP	DULL-COLORED POP vol.23【出産 (仮)】	
			特定非営利活動法人劇団印象 indian elephant	劇団印象 indian elephant 第27回公演 音楽劇「藤田嗣治」(仮)	
			一般社団法人贅沢貧乏	贅沢貧乏 新作公演「タイトル未定」(仮)	
			EPOCH MAN	小沢道成ひとり芝居「鶴かもしれない2022」	
			ルサンチカ	「PIPE DREAM」、GOOD WAR」2本上演 (仮)	
			範宙遊泳	山本卓卓&川口智子 新作上演	
			飴屋法水	飴屋法水×倉田翠 新作 (仮)	
			くちびるの会	くちびるの展会2	
			good morning N° 5	~祝・結成14周年記念公演!~【(タイトル未定)】	
			個人	小田尚稔	小田尚稔の演劇「是でいいのだ」
				犬飼勝哉	犬飼勝哉 短編演劇「アイランド 式」
	木内宏昌	TOKYO TRANSLATION MATTERS (トライアル)			
国際的な芸術交流活動	団体	合同会社アルシュ	庭劇団ベニノ「笑顔の嚙」フランス公演		
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	DANCE PJ REVO	DANCE PJ REVO「STUMP PUMP TOKYO」	
			ブッシュマン	ブッシュマン新作公演「触覚時代」(仮)	
			Tarinof dance company	Tarinof dance company 2022「Giselle」	
			団体せきかおり	関かおり PUNCTUMUN 公演 (タイトル未定)	
			Re-production of performing arts Works-M	Center line art festival Tokyo 2021 (中央線芸術祭)「ClafT」	
			合同会社 S20	AR ダンスパフォーマンス	
	個人	石井則仁	「がらんどうの庭」展示及び舞踏公演		
	国際的な芸術交流活動	団体	A.P.I.	「SHGZR-OdB」カナダツアー	
			鯨井謙太郎 × 奥山ばらば	鯨井謙太郎 × 奥山ばらば ニューヨーク公演	
			Kinetic Art	TANGLE	

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	銀座プロジェクト実行委員会	「銀座」	
			イメージフォーラム	上映と喧騒：アジアにおける映像とアクティビズム（仮）	
			賢治株式会社	Wizard of OP vol.000	
			neoneo編集室	東京ドキュメンタリー映画祭2021	
		曾谷朝絵展実行委員会	曾谷朝絵展（仮称）		
		個人	吉田山	Sustainable Development Falls（仮）	
	水田紗弥子		私ひとりの部屋（仮）		
	平澤賢治		平澤賢治 個展「Life」（仮）		
	国際的な芸術交流活動	団体	コンテンポラリー・ダゲレオタイプス日本委員会	IO-2: 現代ダゲレオタイプ展+国際シンポジウム	
			梅沢英樹+佐藤浩一 タイランドビエンナーレ2021 作品制作実行委員会	タイランドビエンナーレ コラート 2021 における作品制作及び作品展示	
			川久保ジョイ映像作品制作実行委員会	川久保ジョイ映像作品「永遠の6日後に（仮）」制作・公開	
		個人	進藤詩子	Our legacy —through Agnes Martin, across Oceans and Is/Lands（「私たちの遺産——アグネス・マーティンを介して、海と大地と島を渡って」）	
	伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	特定非営利活動法人ACT.JT	第八回「立合狂言会～対立の行方～」
				一般社団法人侘楽舎	侘楽舎雅楽コンサートno.38 王昭君の時代
藤本昭子の会				地歌ライブ第100回記念公演 ～グランドファイナル	
創邦21				創邦21 第18回作品演奏会	
公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座				結城座旗揚げ385周年記念公演第二弾 孫三郎第二回小劇場 壺坂霊験記（仮称）	
二十五絃箏制作30周年記念フェスティバル実行委員会				二十五絃箏制作30周年記念フェスティバル	
公益社団法人鏡仙会				新作能「長崎の聖母」「ヤコブの井戸」	
若獅子会				第一三回若獅子会	
個人			深海さとみ	深海 さとみ	
			小濱明人	第四回 小濱明人 尺八リサイタル	
国際的な芸術交流活動		団体	特定非営利活動法人魁文舎	声明の会・千年の聲「螺旋曼荼羅海会」北米ツアー	
			一般社団法人コエム	Geopossession 声のトボス	
複合		都内での芸術創造活動	株式会社ヴィジュアルフォークロア	連続講座「イザイホーと映像の時代」—民俗文化財映像の制作・公開・継承を考える（仮）	
			個人	小林勇輝	Stilllive 2021 "Some Somatism【いくつかの身体性】"（仮）
	国際的な芸術交流活動	団体	一般社団法人Karakoa	越境型移動舞台芸術祭 Creators' Cradle Circuit Tokyo 2021（仮）	
		個人	鈴木英倫子	AIR台 北、および、Taiwan International Improvised Music Festival 2021(台湾国際即興音楽節)における、滞在制作および展示・公演	

カテゴリⅢ【単年助成】第1期 [助成事業対象期間:令和3（2021）年7月1日～令和4（2022）年6月30日]

活動分野	実施場所	申請者名	申請事業名
舞踊	都内	zer〇	「ダンスのある風景」（仮）
伝統芸能	都内	「今藤政太郎作品演奏会」実行委員会	第7回 今藤政太郎復曲プロジェクト
複合	都内	特定非営利活動法人舞台芸術制作者オーブンネットワーク	舞台芸術の「契約」にまつわる連続講座2021～持続可能な創造環境に向けて（仮称）

令和3（2021）年度 東京芸術文化創造発信助成 カテゴリⅠ・カテゴリⅢ【単年助成】第2期 採択結果の概要  
音楽分野

音楽分野の申請数は昨年度から著しく増加しており、今期の申請数は過去最多となりました。室内楽、オペラ等のクラシック音楽と現代音楽が全体の約7割を占め、このほか、ロック、ポップス、ジャズ、民族音楽、実験音楽や先端技術を活用した企画の申請がありました。全体の7割が初申請で、団体申請と個人申請の比率は2対1でした。事業の目的が明確で、実現性に加え、独創性や波及力、将来性等の審査基準に合致する事業が採択に至っています。

演劇分野

初申請は約5割ですが、そのほとんどは活動基盤形成期に当たり、活動拡大・発展期や活動成熟期の初申請は減少しています。20歳代が中心となる事業や国際交流活動の申請も減少しました。採択事業では、培ってきたものを申請者独自のコンセプトや方法で発展・深化させ、演劇表現における革新を目指すものが目立ちました。一方、演劇作品として目指すものやそれに至るための具体的な手法に不明点が多い事業は採択に至りませんでした。

舞踊分野

申請件数は、前年度の半数以下に減少し、個人申請がこれまでで最も少なく、コロナ禍の影響が数に現れた形にな

りました。その中でも、国際的な芸術交流活動は全体数の3分の1を占め、積極的な取り組みがみられ、コロナ禍以前に戻る兆候がありました。今回の申請数は限られていましたが、将来性の期待できるダンスカンパニーの新作公演、延期となっていた海外公演などを採択し、次代の舞踊分野に波及効果が見込める事業を採択しました。

**美術・映像分野**

約8割が初申請で、平面や彫刻、インスタレーション等による展覧会や、リサーチに基づくアートプロジェクトといった創造活動が多くを占めました。団体申請は減少し、個人申請の割合が大きく増え6割を超えました。団体・個人ともに、展示形式への挑戦や、作品制作における方法論や批評性を探求する意欲的な事業等、独創性や実現性が具体的に示された活動を採択しています。国際的な芸術交流活動の申請件数は回復の兆しが見られ、4件を採択しています。

**伝統芸能分野**

申請件数は昨年同時期に比べ半減し、また個人からの申請が非常に少なくなりました。申請種目は、能楽が一番多く、ほかに邦楽囃子、日本舞踊、現代邦楽、演芸、複数の種目を組み合わせたものとなりました。新型コロナウイルス感染拡大が長引き先々の活動が見通せない状況が続く中、活動拡大発展期にある団体・個人が、継承に向けて研鑽を積み積極的に発表をしていこうとする活動が採択の中心となりました。

**複合**

複合分野は、14件の申請があり3件が採択となっています。申請内容は多岐に渡りましたが、舞踊と美術分野の若手アーティストによる分野横断的な試み、フィールドワークをベースとしたサイトスペシフィック・プロジェクト、日本の映像作家とフランスのメディアアーティストによるアートプロジェクトといった、複合分野ならではの独創性、国際性をもった企画を採択しています。

カテゴリー I 【単年助成】 第2期 [助成事業対象期間：令和4（2022）年1月1日～12月31日]

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	都内での芸術創造活動	団体	ROSCO AVEC	ROSCO 結成20周年記念リサイタル
			芥川也寸志メモリアル オーケストラ・ニッポニカ	オーケストラ・ニッポニカ 第41回演奏会 <設立20周年記念シリーズII>
			現代奏造 Tokyo	現代奏造 Tokyo 第7回定期演奏会
			Phidias Trio	Phidias Trio vol.5 connect the dots (仮)
			21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」	Tokyo Cantat 2022
		個人	村田厚生	村田 厚生 トロンボーン・リサイタル「モーション」(仮)
	国際的な芸術交流活動	団体	ブリリアント・コーナース	Brilliant Corners Berlin, Denmark, Latvia and Tokyo
演劇	都内での芸術創造活動	団体	お布団	CCS/SC 1st Expansion 夜を治める者《ナイトドミナント》
			特定非営利活動法人劇団印象 indian elephant	劇団印象 indian elephant 第28回公演 『ジョージ・オーウェル』(仮)
			幻都	「若者の痛み(仮称) (原題: Krankheit der Jugend)」の日本初演事業(仮)
			エブリモーメント合同会社	THEATRE MOMENTS vol.25「星の王子さま」(仮)
			理性的な変人たち	理性的な変人たち vol.2『オロイカソング』
	劇団献身	劇団献身 第16回公演『最悪な大人』(再演)		
	個人	ホエイ	ホエイ『ふすまとぐち』	
	国際的な芸術交流活動	合同会社絶対的	コンテンポラリー・バンク・オペラ『4時48分 精神崩壊』英国公演	
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	山麓	lal banshees 新作公演
			クリエイティブ・アート実行委員会	インテグレイテッド・ダンス・カンパニー響-Kyo 第9回公演
			水中めがね∞	水中めがね∞単独公演「タイトル未定」(仮)
		国際的な芸術交流活動	団体	KENTAROCKERS
			Co.Ruri Mito	Co. Ruri Mito ヨーロッパツアー2022
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	((((((	((((((
		個人	中川周	高嶋晋一+中川周 個展
			武田裕子	武田裕子 個展
	国際的な芸術交流活動	個人	白根昌和 (KAZ SHIRANE)	ヴェネツィアビエンナーレ国際美術展2022, PERSONAL STRUCTURES
			本間メイ	MOTHER TO OTHERS -Breast Milk Stem Cells: New Source of Life-(MOTHER TO OTHERS 母乳由来の幹細胞: 新たな生命の源) (仮)
			大成哲	Tets Ohnari & Ryuta Iida / Collabo vol. 01 (仮)
		村田香織	アニメーション「Woman with diamonds」制作及び公開(仮)	

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	一般社団法人新内	第十五回 人間国宝の会
			み絲之會	み絲之會第6回公演
			能・狂言鑑賞の会	第15回 桂諷會—長山禮三郎三回忌追善—
		個人	喜羽美帆	喜羽美帆二十五絃箏ソロリサイタル〜いにしえと今を結ぶ二十五絃箏の音〜 (仮)
複合	都内での芸術創造活動	団体	Philo College of Performance	哲学のタベ osmosism (仮)
		国際的な芸術交流活動	トランスフィールドスタジオ	Sand (a)isles in Singapore
	個人	伊阪柊	The Intersection Of Universes (複宇宙の交差点)	

カテゴリーⅢ【単年助成】第2期 [助成事業対象期間：令和4（2022）年1月1日～12月31日]

活動分野	実施場所	申請者名	申請事業名
演劇	都内	特定非営利活動法人Explat	特定非営利活動法人Explat×一般社団法人ベンチ アートマネージャー・メンターシッププログラム『バッテリー (仮)』
舞踊	都内	特定非営利活動法人舞踏創造資源	発表から50年。土方巽の舞踏作品「痲瘡譚」の作品解析

令和3（2021）年度 東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅡ・カテゴリーⅢ【長期助成】採択結果の概要

「カテゴリーⅡ【長期助成】」には、23件の申請があり3件が採択となっています。目標を達成するために2年または3年の継続的・段階的な取り組みを必要とする企画の中から、創作活動を主とする事業や企画制作活動を主とする事業など、カテゴリーⅡ【長期助成】ならではの企画を採択しています。

「カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業【長期助成】」には、10件の申請があり1件が採択となっています。芸術創造環境の現状と課題を捉え、課題解決に実践的に取り組むことにより、アーティストをはじめとする様々な創造活動の担い手の創造環境向上に資する、継続的・段階的な取り組みを必要とする企画の中から、新たな発想で課題の解決に実践的に挑戦する企画を採択しています。

カテゴリーⅡ【長期助成】[助成事業対象期間：令和3（2021）年4月1日～令和5（2023）年6月30日（2年間）  
または令和3（2021）年4月1日～令和6（2024）年6月30日（3年間）]

活動分野	活動内容	実施予定年数	申請者名	申請事業名
演劇	創作活動を主とするもの	3	円盤に乗る派	円盤に乗る場
舞踊	創作活動を主とするもの	3	Co.Ruri Mito	TOUCH「ふれる」
伝統芸能	創作活動を主とするもの	3	国際能プロジェクト実行委員会	能リ・イマジンド3年計画（2021-2024）

カテゴリーⅢ【長期助成】[助成事業対象期間：令和3（2021）年4月1日～令和5（2023）年6月30日（2年間）  
または令和3（2021）年4月1日～令和6（2024）年6月30日（3年間）]

活動分野	活動内容	実施予定年数	申請者名	申請事業名
美術・映像	芸術創造環境の向上に資する事業	3	アート・ユーザー・カンファレンス	ジェネラル・ミュージアム・プロジェクト (仮)

※各助成プログラムとも、申請者名/申請団体名や申請事業名は申請時のものであり、変更になる場合があります。

# 6

## 芸術文化による社会支援助成

### 【事業概要】

東京を拠点とする芸術団体や福祉団体、NPO等を対象とし、さまざまな社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市のさまざまな課題に取り組む活動を助成する。令和3（2021）年度から、助成金交付額の上限を1件につき200万円に増額するとともに、長期的な計画を持つ事業を最長3年間、優先的に支援する仕組みを整備する。

### 【事業趣旨（目的）】

社会における芸術文化の新たな意義を提起し、あらゆる人に開かれた芸術のあり方を推進する先駆的な活動や、長期的視点を持ち着実に課題解決に資する活動の支援を目的とする。

### 令和3（2021）年度実績

#### 芸術文化による社会支援助成

申請件数：53件

採択件数：16件

交付決定総額：22,841千円

### 令和3（2021）年度 芸術文化による社会支援助成 第1期 採択結果の概要

過去最多の申請件数となり、そのうち8割近くは本助成プログラムに初申請の団体です。助成金交付上限額の増額のほか、コロナ禍を背景に様々な社会課題がより顕在化し、芸術団体の意識が高まっていることも申請件数増の要因になっていると考えられます。審査にあたっては、設定された社会課題に対する事業計画の適合性・実現性を重視しつつ、先駆性・独創性、効果の広がり、継続的発展性についても総合的に判断し、採択事業を決定しました。各事業の実施の形態は公演や講座、ワークショップなど様々ですが、多くが障害者やひきこもりの若者、移民・難民といった、社会で困難を抱える人々の課題に向き合う企画となっています。最長3年間の優先的支援の対象としては、申請団体の枠を越えた社会的な影響力を期待できる2件が採択となりました。

社会支援助成 第1期 [助成事業対象期間：令和3（2021）年7月1日～令和4（2022）年6月30日]

申請者名	申請事業名 ※最長3年間までの優先的支援対象事業
NPO法人シニア演劇ネットワーク	演劇関係者のためのバリアフリー講座2021 ※優先的支援対象事業/3年計画事業1年目
公益財団法人十四世六平太記念財団	第5回“手話”で楽しむ能狂言鑑賞会
ものがたりグループ☆ボランの会	朗読とバイオリンのライブセッション
SAC ミュージカルカンパニー	SAC ミュージカル「怒羅吸羅」
一般社団法人異言語Lab.	手話×体験型演劇 制作プロジェクト
有限会社劇団銅鑼	若者演劇ワークショップ1,2,3.ダアー（仮称） ※優先的支援対象事業/3年計画事業1年目
一般社団法人もんでん	コミュニティ・ミュージックのいま、そしてこれから
ドキュ・メント実行委員会	ドキュ・メント 2021（仮）
DA/LEDA	わたしのこもりうた
合同会社オトナルスタジオ	Acting Out for Dignity - ハンセン病回復者と、後継世代の社会的マイノリティたちによる対話と回復と表現の軌跡の、記録・展示事業

### 令和3（2021）年度 芸術文化による社会支援助成 第2期 採択結果の概要

申請件数の約8割が初申請の団体で、申請者の層が広がる中、採択となった6件も、すべて本助成プログラムでは初採択の団体による申請です。舞踊や伝統芸能の分野で活動する中堅の芸術家が、障害者や路上生活者など社会的に困難な状況にある人々と向き合い実施する事業や、福祉施設側から音楽家や地域住民に呼びかけ、通所者のための日常的な事業の枠を越えて協同する事業など、その内容は多岐に渡りますが、それぞれ設定された社会課題に対する企画内容の適合性や実現性、効果の広がりを評価し採択に至りました。また、複数年度に渡る事業計画を有する申請のうち、今回の事業計画に至るまでの着実な活動実績が認められ、かつ次年度以降の活動計画の具体性を評価できる2件については、最長3年間の優先的支援対象としています。

社会支援助成 第2期 [助成事業対象期間：令和4（2022）年1月1日～12月31日]

申請者名	申請事業名 ※最長3年間までの優先的支援対象事業
特定非営利活動法人LAND FES	LAND FES DIVERSITY 深川 2022 ※優先的支援対象事業/3年計画事業1年目
HOLIDAYS	『“私の城”自閉症を主題としたダンス』 東京公演とワークショップ
任意団体アオキカク	「路上の身体祭典H！」新人Hソケリッサ！東京路上ダンスツアー
一般社団法人一乃会	（仮称）能と講談で古典をことばで楽しむ会 ※優先的支援対象事業/3年計画事業1年目
公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団	分身ロボット「OriHime」と一緒にオーケストラ探検（仮称）
株式会社こだま	若手演奏家×認知症高齢者×地域住民・聴衆による社会的処方への試み

※各助成プログラムとも、申請者名/申請団体名や申請事業名は申請時のものであり、変更になる場合があります。

# 7

## 東京地域芸術文化助成

### 【事業概要】

東京を拠点とする芸術団体、保存会、継承団体等を対象とし、都内の無形民俗文化財の公開活動や、地域と連携して継続的に実施している事業を助成する。

### 【事業趣旨（目的）】

東京における各地域の多彩な文化的特徴をかたちづくり国内外に広く発信する事業を対象とし、各地域の魅力を向上させ地域振興に寄与する活動を支援することを目的とする。

### 令和3（2021）年度実績

#### 東京地域芸術文化助成

申請件数：27件

採択件数：14件

交付決定総額：6,915千円

### 令和3（2021）年度 東京地域芸術文化助成 採択結果の概要

一次募集において、無形民俗文化財活用事業では、その地域に古くから伝わる民俗芸能を広く一般に公開する継続的な事業の申請がありました。地域文化資源活用事業では、地域の人々が継続的に関わり文化的な価値を醸成している事業や、芸術文化ならではの切り口で地域の魅力や特色の再発見を目指している事業の申請がありました。地域文化資源活用事業の審査にあたっては、当助成プログラムの基本方針に照らし、地域文化資源としての妥当性、地域との連携に基づく発信力を重視した上で、採択事業を決定しました。

二次募集では、全ての申請が「地域文化資源活用事業」で、初申請の団体が全体の半数を占めました。地域の人々が継続的に関わり文化的な価値を醸成している事業のほか、芸術文化ならではの視点で地域の魅力や特色の再発見を目指している事業の申請がありました。地域文化資源活用事業の審査にあたっては、当助成プログラムの基本方針に照らし、地域文化資源としての妥当性、地域との連携に基づく発信力を重視した上で、採択事業を決定しました。

三次募集において、無形民俗文化財活用事業では、その地域に古くから伝わる貴重な民俗芸能に、より広く一般の人々の関心を集め、安定した継承に資する事業の申請がありました。地域文化資源活用事業では、その地域ならではの文化的な特色を活かし、地域振興や観光振興に寄与する事業や、芸術文化ならではの切り口で地域の魅力の再発見を目指している事業の申請がありました。地域文化資源活用事業の審査にあたっては、当助成プログラムの基本方針に照らし、地域文化資源としての妥当性、地域との連携に基づく発信力を重視した上で、採択事業を決定しました。

[助成事業対象期間：令和3（2021）年4月1日～令和4（2022）年3月31日]

	申請者名	申請事業名
一次募集	せたがや梅まつり実行委員会	せたがや梅まつり
	「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会	第34回 荻窪音楽祭
	下北沢音楽祭実行委員会	下北沢音楽祭
	合同会社コマンドA	アーツ千代田 3331 特別企画展「疫病退散と祭のちから」（仮）
	阿佐谷ジャズストリート実行委員会	阿佐谷ジャズストリート2021
代々木果廻会	代々木果廻会別会「一之輔落語×竹灯籠能『杜若』」	
二次募集	町田時代祭り 2021 実行委員会	町田時代祭り 2021
	高円寺演芸まつり実行委員会	第12回高円寺演芸まつり
	TOKYO シャンソンフェスティバル実行委員会	第10回 TOKYO シャンソンフェスティバル
	ピースリーマネジメント有限公司 (P3art and environment)	西尾美也による銀座の装いプロジェクト（仮）
	でんちゅうず	DenchuLab.2021
三次募集	染の小道実行委員会	染の小道2022
	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	結城座旗揚げ385周年記念公演第三弾「変身」（仮称）
	トロールの森実行委員会	野外×アート×まちなか トロールの森2021

※各助成プログラムとも、申請者名／申請団体名や申請事業名は申請時のものであり、変更になる場合があります。

## 8

## スタートアップ助成

## 【事業概要】

東京を拠点とし、東京の芸術シーンの次代を担うことが期待される新進の芸術家や芸術団体等を対象とし、東京都内又は海外で実施される公演、展示、アートプロジェクト、国際フェスティバルへの参加、国際コラボレーション等を助成する。(令和3(2021)年度新設プログラム)

## 【事業趣旨(目的)】

東京の芸術シーンで活躍を展開していこうとする新進の芸術家や芸術団体がチャレンジする新たな芸術創造活動を助成し、若い才能が今後の芸術活動への地歩を築くためのスタートアップを後押しすることを目的とする。

## 令和3(2021)年度実績

## スタートアップ助成

申請件数：1,146件

採択件数：103件

交付決定総額：64,654千円

## 令和3(2021)年度 スタートアップ助成 第1回 採択結果の概要

## 音楽分野

申請者の年齢層は20代から30代が全体の3分の2を占めました。申請事業はクラシックおよび現代音楽にかかる内容が4割強と多く、作曲家と演奏家など同世代の音楽家同士による協働的な挑戦が積極的に取り組まれている印象です。一方で、音楽分野全体に見る申請ジャンル自体は多岐に渡り、ジャズやポップス、民族音楽、邦楽、サウンドクリエーション等、幅広い内容の申請がありました。独自の発想を思いつきに留まらず、事業として実現し成功させるべく丁寧に計画の練られた企画が採択されています。

## 演劇分野

申請者は20代から30代が全体の3分の2を占めました。申請事業は小劇場を中心に、ミュージカル、音楽劇、人形劇、新劇、新派、分野横断型と多岐にわたっています。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、リアルな上演だけでなく、オンライン配信を組み合わせた内容が多く見られました。団体運営の在り方や、創作手法への言及が多かったことも特徴です。申請者の目指す表現についてこれまでの活動や先人の業績を踏まえながら明確に提示されている事業や、独自の表現手法にチャレンジする意欲的な取り組みが採択されています。

## 舞踊分野

少ない申請件数ながら水準の高い申請内容が多く、45件中8件が採択となりました。コンテンポラリーダンスが半数を占めたほか、大道芸、舞踏、民族舞踊、ストリートダンスなど幅広く申請がありました。ミッドキャリアの芸術家が新たに結成する団体からの申請にはチャレンジ性・実現性ともに高く評価できるものが多く、また若手芸術家からの申請には具体性をより高めて再度チャレンジしてほしい案件も多く見られました。劇場外の空間を活用したサイトスペシフィックな企画や、自身のダンスや作品コンセプトを丁寧に言語化した申請が多く、コロナ禍において自身の活動内容や活動場所を問い直す傾向が見られました。

## 美術・映像分野

申請者は20代から30代が全体の3分の2でした。また、コロナ禍の状況を反映し、映像配信を中心としたオンラインでの取り組みが約4分の1と目立ちました。美術領域では、個人や小グループの新進作家、批評家やキュレーターらによる、新たな表現を目指す具体的で練られた初挑戦企画のほか、中堅作家による新たなコラボレーションや新ジャンル等へ挑戦する企画においては次世代のクリエイターにも好影響が見込まれるものが採択に至りました。映像領域においては、期間中のオンライン配信のみにとどまらない、計画的・継続的な発展が見込める事業が採択されています。

## 伝統芸能分野

申請件数は33件ながら雅楽、能楽、地歌箏曲、尺八、長唄、落語、講談、日本舞踊、創作邦楽、現代邦楽など幅広い種目から申請があり、20代から30代の新進芸術家が中心となる企画が約半数にのぼりました。全申請の実施場所が都内で、国際的な芸術交流活動の申請がなかったことはコロナ禍の影響と思われます。また演奏家として実績の

ある個人が作曲家としての活動を展開する企画や、初のセルフ・プロデュースに挑戦する企画、流派・職分を越えた取り組みなど、伝統芸能分野に新たな動きをもたらす試みが目立ちました。

複合分野

「核となる分野を特定できない芸術活動」を対象とする複合分野には48件の申請がありました。申請内容は多岐にわたり、日本の舞踏とドイツのポストドラマ演劇の手法を用いたパフォーマンス、ファッションに着想を得たインスタレーション作品をAR・VR空間設計ソフトにより発表するオンライン展示、スピーカーの身体性に着目したサウンドインスタレーション、邦楽の分野で研鑽を積んだ音楽家と若手振付家が試みる実験的な映像作品など、複数領域の芸術家が対等な立場で参画する企画等が採択となっています。

スタートアップ助成 第1回 [助成事業対象期間：令和3（2021）年9月1日～令和4（2022）年5月31日]

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	都内での芸術創造活動	団体	Tokyo Handpan Lab.	Tokyo Handpan Concert Special & Handpan Work Shop (仮)
			ユーフォニアム四重奏団 OrigAmi	ユーフォニアム四重奏団OrigAmi コンサートシリーズ2021
			La Portée	La Portée 第2回演奏会
			曽根麻央クインテット	曽根麻央クインテット・ライブ収録イベント
		個人	布施砂丘彦	「明けない夜のなかで」(仮)
			増田久未	「輪音転声 -ガムランと声で描く音曼荼羅-」(仮)
			金ヨハン	キム・ヨハン 作曲個展 曖昧/複雑/偶然…間の聴取(仮)
			茶木修平	機能的な音、純然たる音。打楽器とジャポニズムの世界(仮)
			佐原洸	Germination - kasane
			河村美蘭	ジョヴァンニ・ボッテジーニ生誕200年記念デュオコンサート(仮)
演劇	都内での芸術創造活動	団体	y/n	y/n「あなたのように騙されない」(仮)
			散策者	散策者第四回公演(仮)
			NEM KiT	新作ソングサイクルミュージカル「タイトル未定」上演事業(仮)
			あまい洋々	あまい洋々第3回公演(仮)
			劇団らふ	若年層向けミュージカル短編映像作品制作事業(仮)
			関田育子	広角レンズの演劇(仮)
		株式会社 momocan	「ふくろーじいさんとベル子ちゃん(仮)」	
		個人	西覚	演劇ユニット無限のネコ定理 旗揚げ公演「ハコブネ(仮)」
			モミジノハナ	モミジノハナ "Limited♥"『危ういながらあなたと、』(仮)
			伊藤安那	伊藤 安那
横山てんこ	モノ語り「人間椅子」			
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	6steps	6steps
			燦然 CAMP	ダンス×生物学「軸の形成」
		個人	永田桃子	カフェ ムリウイでの自主公演「夜露と宇宙船」(創作と上演/仮)
			吉田拓	今後のアーティスト活動の基盤となるダンス公演(仮)
			乙坂麻衣	つとと新作ダンス公演
			はらだまほ	美術家と取り組むベイビーシアター「からだうた ゆめ(仮)」創作
	国際的な芸術交流活動	団体	Agaxart	日本舞踏と台湾演劇の国際コラボレーション「日日是好日」
美術・映像	都内での芸術創造活動	個人	DOG0	野山のなげき
			小寺創太	調教都市(仮)
			佐々木美佳	「三溪の影」映像プロジェクト(仮)
			宮瀬佐知子	短編映像作品「旅立ちにも似た(仮)」
			鈴木希果	鈴木 希果
			鈴木悠生	「風景」のつくりかたプロジェクト
			中島里佳	中島 里佳
			藤田クレア	会えない感覚 個展
			北澤宏昂	80年代 日本のアートアニメーション・アーカイビングプロジェクト(仮)
			西澤諭志	Experimental Film Culture vol.4 in Japan
国際的な芸術交流活動	団体	株式会社ロジ	真利子哲也 レトロスペクティブ in France(仮)	
	個人	宇佐美奈緒	ベルリン アーティスト・イン・レジデンスGlogauAIRでの展示「Open Studios」	
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	倫遊会	倫遊会 雅楽コンサート(仮)
			SKプロジェクト	望月左太助・杵屋勝司郎・杵屋小三郎主宰 長唄・囃子演奏会「こころみ」
			松永忠一郎作品演奏会事務局	松永忠一郎作品演奏会
			箏アンサンブル十色	箏アンサンブル十色 コンサート vol.1 ~東京藝術大学卒業生が奏する和の響き~(仮)
			能楽談ディズム実行委員会	能楽【談】ディズム特別公演 じっくり楽しむ能の世界 ~『船弁慶』全部盛り!~
		The Shakuhachi 5	The Shakuhachi 5『The 2nd Concert』(仮)	
		個人	吉原佐知子	第三回 吉原佐知子 箏リサイタル
今藤長龍郎	第一回 今藤長龍郎の会			

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
複合・その他	都内での芸術創造活動	団体	PORT	「PORT: Performance or Theory」(仮)
			SLEEPWELL	社会とつながるアートライブ「SLEEPWELL Art Live 2022」(仮)
		個人	藤倉麻子	景色を構成する諸要素と関係性に関する実験的な展示上演プログラム
			安部妃那乃	SS/AW collection 2121(仮)
			中岡尚子	スピーカーの身体を肯定するためのパフォーマンス作品制作(仮)
	国際的な芸術交流活動	団体	Mapped to the Closest Address	G Project + Yuni Hong Charpe (仮)
			Sound & Word Network	Sound & Word Network

### 令和3（2021）年度 スタートアップ助成 第2回 採択結果の概要

#### 音楽分野

第1回に引き続き、クラシック関連の申請比重が高く、割合として全体のおよそ半数を占めました。特に多かったのは古典作品をプログラムの中心に据えた小編成アンサンブルの演奏会企画です。またオペラ制作に関する意欲的な取り組みも目立ちました。104件もの申請があった音楽分野において採択に至ったのは、事業の目的に対する具体的な企画内容の位置づけが明確であり、且つそれを実現するための工夫について現実的なアイデアの言及がなされていた事業案です。採択対象には第1回からの再チャレンジ申請も含まれました。

#### 演劇分野

第1回と比べ、20代から30代の申請者が増え全体の7割を占めました。ウィズコロナ時代を見越した上演の形を模索する事業や、集まらない不自由さを逆手にとって創作の可能性を模索する意欲的な事業が見られました。採択されたのは、事業を計画するに至った経緯や背景、既存の戯曲等を使用する場合は選定の理由、それをどのように作品に昇華させようとしているのか等が、独自の目線で丁寧に言語化されている事業です。また、目的とそれを達成するための具体的な取り組みが、事業内容と高いレベルで一致していることも採択事業に共通しています。企画として魅力的な申請が多くありました。

#### 舞踊分野

27件中4件が採択となりました。第1回と比べると20代の申請者の割合が増え、実績の少ない若いアーティスト・団体からの申請が増えています。内容としてはコンテンポラリーダンスが最も多く、次いでストリートダンス、フラメンコ、ジャグリングの事業が多くみられました。事業計画の練られた実現性の高い申請が増えた一方で、自身の表現方法に関しての言語化が足りない申請も複数見られました。意欲的な申請の中には、自身の活動を継続・維持するための申請も一定数みられましたが、本助成の趣旨から申請者にとって新たな挑戦となっている事業が採択されています。

#### 美術・映像分野

53件中3件の採択となり、厳しい採択率となりました。前回に引き続き申請者の年代は20代から30代が全体の3分の2となりました。一定期間の活動予定を示すだけで個別の事業の内容や趣旨を十分に示していない申請や、展示や公開をするというだけで具体的なコンセプトや手法が示されていないといった具体性と説得力が乏しかった申請は採択に至りませんでした。結果的に、公募要件を満たすだけでなく、ガイドラインに示された「審査の観点」をすべて一定以上の水準で満たしたうえで、申請者の研究や研鑽の延長線上から一歩飛び出た創造性を持つ意欲的なプランを具体的に示した企画が採択されています。

#### 伝統芸能分野

雅楽、能楽、常磐津節、落語、日本舞踊、創作邦楽、現代邦楽、民謡など幅広い種目から申請がありました。第1回目と同様に20代から30代の申請が約半数にのぼり、全申請の実施場所が都内で国際的な芸術交流活動の申請がなかったことは引き続きコロナ禍の影響とされます。独り立ちして自主開催する演奏会や、流派や種目を横断し伝統芸能に新たな動きをもたらす試みが目立ち、第1回目から再チャレンジして採択に至った事業もありました。事業の目的と内容が合致しないもの、曲目や出演者の具体性や実現性に欠くものは採択に至りませんでした。また、後継者や同世代の観客の不在に対する危機感を動機とする申請が多くありましたが、創造活動においてその課題にどのように取り組むのか、具体的に示されている事業が採択となっています。

複合分野

「核となる分野を特定できない芸術活動」を対象とする複合分野には27件の申請がありました。申請内容は多岐にわたっていますが、複数領域のアーティストが協働する事業として、全体のコンセプトや統一イメージだけでなく、パフォーマンスの具体的な内容や演出まで計画されている事業が採択となっています。パフォーマンス、主体造形、映像等を融合した体感的な作品、音楽家とダンスのコラボレーション、自動生成される楽譜をライブで歌唱する映像の制作活動等が採択されています。

スタートアップ助成 第2回 [助成事業対象期間：令和4（2022）年1月1日～9月30日]

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	都内での芸術創造活動	団体	TRIOVENTUS	TRIO VENTUS リサイタルツアー 東京公演
			一般社団法人三味線表現協会	音楽公演事業 — VIVA Shamisen 2022 (仮)
			インベトゥス・サクソフォン・アンサンブル	インベトゥス・サクソフォン・アンサンブル 第二回演奏会
			BONUMMUSICAMEMBRA	第二回主催定期公演 Abend Musik Vol.1
		個人	三好すみれ	Radice VIOLA ～これからの伴奏芸術のためのコンサート・シリーズとアーカイヴ～ (仮)
薬師寺典子	こえのリサイタル Vol.2 ～歌・クラ・打楽器トリオによるシアターミュージックの世界～ (仮)			
演劇	都内での芸術創造活動	団体	ダダルス	グミニーズちゃん盗まれた！ (仮)
			Stokes/Park	Stokes/Park『フゴッペ洞窟の翼を持つ人』
			TeXi's	水に満ちたサバクでトンネルをつくる
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	和太鼓+ダンスユニット<まだこばやし>	和太鼓+ダンスユニット<まだこばやし>単独公演「それぞれなる (仮)」
			オータムプロダクションズ	仁田晶凱と高橋宏治による振付と作曲の共同制作プロジェクト (仮)
		個人	1e-48	1e-48 2022 project
			AKIRA	現代を表現した作品 (仮)
美術・映像	都内での芸術創造活動	個人	木村和平	石と桃 (仮)
	国際的な芸術交流活動	団体	大道寺超実験倶楽部	日記映画『La mia quarantena/わたしの隔離期間』『Quando d'estate mi dimentico dell'inverno/夏には冬のことをすっかり忘れてしまう』東京/チエゼーナ/香港上映会
			合同会社UPN	参加型展覧会『Masking/Unmasking Death 死をマスクする/仮面を剥がす』
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	蒼天	第4回 蒼天公演 (仮)
			初代常磐津千寿太夫	常磐津節の流派を超えた若手演奏家の名曲継承プロジェクト (仮)
		個人	穂積大志	現代邦楽作品のオンライン並行配信公演、三味線名曲選コンサート
複合	都内での芸術創造活動	団体	エリア51	虫の瞳 (仮)
			小宮知久	声で映像を生成する。《VOX-VIDEOGENESIS》
		個人	草薙樹樹	JuJu Kusanagi Solo Show 『In Other Words』/ 草薙 樹樹 個展 (仮)
			清水美紗都	映像作品『YELLOW』

令和3（2021）年度 スタートアップ助成 第3回 採択結果の概要

音楽分野

音楽分野の申請傾向として、ワールドミュージックやジャズ、ポップスといったクラシック以外の分野に係る申請比率が減少しています。今回採択となった事業も結果的にクラシックや現代音楽に関する企画となっていますが、本助成において特定の音楽分野に支援の対象を限定する趣旨はありません。引き続き幅広くかつ多様なジャンルからの挑戦を期待しています。審査においては、申請事業が今後、申請者の創造活動の展開につながるチャレンジ性のあるものであり、具体的に企画が練られているかどうかポイントを置いています。また、音楽分野で経験と実績のあるメンバーが構成する団体の場合は、申請事業が構成メンバーのこれまでの活動から踏み込んだチャレンジ性や独自性のあるものであるかどうかに着目しました。

演劇分野

全体の約5割が初申請でした。20代・30代からの申請が増加しており、全体の7割を超えています。小劇場演劇を中心に、ミュージカル、ラジオドラマ等音声作品、ワークインプログレスなどバリエーション豊かな申請がありました。

他分野でキャリアを積んだ申請者がその経験を活かし独自の発想やコンセプトを実践するチャレンジ性の高い事業や、学生等若い世代からの創作への高いポテンシャルと継続的な活動への計画が具体的に示された事業を採択しています。また、採択事業では、創作のキャリアや実績と申請内容とに乖離がなく、予算計画や人員体制が具体的に整った事業であることに加え、作品・企画の目的や取り組みを丁寧に言語化した事業であることが共通しています。採択団体の事業では、設立目的や活動趣旨と申請事業に一貫性があることが特徴です。

### 舞踊分野

20代と30代の申請者が多く、若手アーティストによる新作公演の企画が多くみられました。コンテンポラリーダンスが最も多く、次いでクラシックバレエ、ストリートダンス、社交ダンスなど幅広いジャンルからの申請がありました。前回と同様に事業計画が十分に練られた申請が増えており、また内容をブラッシュアップした再申請も多数ありました。独自性と実現性が高く本助成を受けることで新たなステップを踏むことが期待できる申請が採択されました。

### 美術・映像分野

申請63件中5件の採択となり、前回より若干採択率が上がりました。申請者の年代は20代から30代が全体の7割となっています。団体からの申請では、本助成の趣旨に適合しない申請や、申請団体としての公開活動の実績が明確に示されていないケースも散見されました。

採択された申請の中では、以前不採択となった申請者からの新たな申請で、事業計画をより練りこみつつ今回チャレンジするポイントを明確に示したものが複数ありました。他方、意欲的な取り組みであっても、事業期間中の活動が作品制作のためのワークショップやリサーチのみで、公開についての計画が十分でない事業については採択に至りませんでした。

### 伝統芸能分野

申請数は12件ながら、能楽、講談、落語、日本舞踊、琉球古典音楽、尺八、小唄、民謡、現代邦楽他、幅広い申請がありました。20代から30代の申請は約4割にとどまり、伝統芸能分野ではない分野でキャリアを積んだ申請者が伝統芸能分野に挑戦するといった例が複数みられました。また「国際的な芸術交流活動」の活動枠での申請もありました。

今回の採択事業では、当該種目において次代を担うに十分な経験と修練を積んでおり、今後も継続的、発展的な活動の見込まれる新進芸術家による積極性、独自性の高い企画が対象となっています。

### 複合分野

「核となる分野を特定できない芸術活動」を対象とする複合分野には18件の申請がありました。申請者は団体が3分の2を占め、申請内容は多岐にわたっています。複数領域のアーティストが協働して実験的な表現手法を開拓することで、リアルな公演体験とアーカイブとの関係性を問い直す企画、および、人形美術家とジャグラーのコラボレーションにより、人形やジャグリング道具など「もの」のもつ意味を再考する美術展が採択されました。

スタートアップ助成 第3回 [助成事業対象期間：令和4（2022）年4月1日～12月31日]

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	都内での芸術創造活動	団体	バレイドリアン	山本和智 個展
			オペラ団体ABQ	第2回 ショスタコーヴィチ歌曲個展
			Old instruments Research Project	Virtuoso Dulcian Music(仮)
		個人	大関一成	「FAKE—What is genuine? What is fake? Between,—」大関一成 バストロンポーニ リサイタル(仮)
演劇	都内での芸術創造活動	団体	ハイドロプラスト	最後の芸者たち
			演劇ユニットにもじ	にもじ第二回公演「crossing」(仮)
		個人	安藤 奎	サイは投げられた
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	オドリバ	focus.01 浅川奏瑛『生前葬(仮)』
			Arche	Species—種— Chapter.2 動的平衡
	国際的な芸術交流活動	個人	宮脇有紀	アトリエ第Q藝術での宮脇有紀 新作ソロダンス2022「光彩陸離」(仮)
美術・映像	都内での芸術創造活動	個人	黒木裕太	Rootedness and Beyond
			木村あさぎ	『跡』上映会2022 (仮)
			岡本大河	S (仮)
			吉原遼平	Good Vibrations (仮)
			渡辺志桜里	渡辺志桜里
伝統芸能	都内での芸術創造活動	個人	周 浩	周 浩
			内間安希	琉球古典音楽 四季の歌会 (仮)
			青木滉一郎	青木滉一郎・礼子 尺八&箏 Duoコンサート
			紙カンパニーproject	新作公演「エルナニ事件2022」の捏造およびアーカイブの制作事業 (仮)
複合	都内での芸術創造活動	団体	長井望美×目黒陽介企画	長井望美×目黒陽介企画「つくり、つかう」展

※各助成プログラムとも、申請者名/申請団体名や申請事業名は申請時のものであり、変更になる場合があります。

# 9

## 伝統芸能体験活動助成

### 【事業概要】

伝統芸能のさまざまな種目について、初めての人でも入り易く、かつ継続的に自ら実技体験ができる事業を助成する。(令和3(2021)年度新設プログラム)

### 【事業趣旨(目的)】

多くの人々が伝統芸能の面白さを体感し、その魅力を深めていく機会を増やすことで、伝統芸能に対する理解を促進し、もって伝統芸能の振興を図ることを目的とする。

### 令和3(2021)年度実績

#### 伝統芸能体験活動助成

申請件数：44件

採択件数：17件

交付決定総額：10,000千円

### 令和3(2021)年度 伝統芸能体験活動助成 採択結果の概要

箏曲・三味線、能楽、邦楽囃子、日本舞踊をはじめ、幅広い種目を体験する事業の申請がありました。審査にあたっては、実技体験を中心とする事業であること、そして一定期間、複数回にわたって体験できる仕組みがあること、という当助成プログラムの対象となる事業内容の要件を満たしているかを精査した上で、想定している体験者に応じた事業の内容や方法に創意工夫があるか、継続し易い工夫があるかどうかという点を重視して、採択事業を決定しました。

[助成事業対象期間：令和3(2021)年7月1日～令和4年(2022)6月30日]

申請者名	申請事業名
音緒乃会	和楽器体験「ねのいろランド」
有限会社サウンドボット	耳馴染みのある曲から始める尺八体験・ミニコンサートと日本音楽の今昔話(仮)
一般社団法人長唄東音会	はじめての長唄三味線夏季ワークショップ2021(仮)
公益財団法人大田区文化振興協会	おたの祭典2022 和をつなぐ～和っく和っくな学び舎
白藍乃会	白藍乃会 能楽体験講座2022(仮)
能・狂言鑑賞の会	Let's try! 能(仮)
お囃子プロジェクト	お囃子プロジェクト 小鼓体験教室
合同会社大蔵流狂言山本事務所	杉並能楽堂で体験! 初めての狂言おケイコ(仮)
和の輪の会	「和の輪の会体験講座」(仮)
任意団体てんらい	伝統楽器にはじめてふれて一曲仕上げる!
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	芸能花伝舎クラブ
若獅子会	若獅子会 邦楽囃子お稽古部
株式会社office IKD	沖縄文化・琉球芸能体験【三線・舞踊】(仮)
山木会	子供と親子のためのお琴教室
立花会	日本舞踊・邦楽囃子体験(仮)
一般社団法人能尚会	体感能楽の世界 お能のがっこう
和ごと株式会社	楽しく体験・演奏のできる 和ごと小鼓ふれあいコンサート

※各助成プログラムとも、申請者名/申請団体名や申請事業名は申請時のものであり、変更になる場合があります。

# 10 東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】 活動報告会

## 【事業概要】

**開催日** 令和3（2021）年9月3日（金）、12月7日（火）、令和4（2022）年2月17日（木）  
**会場** オンライン（9/3、2/17）、アーツカウンシル東京 会議室（12/7）  
**主催** 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
**入場者数** 計125人

## 【事業趣旨（目的）】

平成25（2013）年度に開始した東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】の採択団体による、公開型の活動報告会。助成対象事業の成果検証および団体の今後の展望の共有を図るとともに、長期助成プログラムの紹介と広報につなげる。

## 【開催状況】

事業を実施した団体自身によるプレゼンテーションにより、記録写真や映像、活動データ等とともに助成対象事業を振り返った後、担当プログラムオフィサーや来場者との質疑応答を行った。

開催日	会場	内容	参加者(人)
9/3	オンライン	<p>第11回 多様性の演劇を実現するために 【平成28（2016）年度採択：活動期間2年間】</p> <p>サイン アート プロジェクト.アジアン 報告者：大橋ひろえ（俳優、演出家、サイン アート プロジェクト.アジアン代表）、河合祐三子（俳優）、ウォルフィー佐野（ミュージシャン、ユニヴァーサル・インプロヴァイザー）、渡辺英雄（俳優、声優）、檀鼓太郎（パリアフリー活弁士）</p> <p>【第1部】 長期助成プログラムの概要について 活動概要の紹介と自己評価・分析 ○事業の背景と目指したもの ○公演までの道のりと公演の振り返り</p> <p>【第2部】 質疑応答 ○長期助成を受けて実現できたこと ○多様性の演劇を実現するための今後の課題</p> <p>【助成対象事業の概要】 ろうの俳優・大橋ひろえが主宰するサイン アート プロジェクト.アジアンが、2年間かけて様々な障害のある舞台俳優を育成するとともにオリジナル・ミュージカル作品を創作し、新たな舞台表現の開拓を目指した。 分野の異なる多彩な講師を招いた俳優育成ワークショップでは様々な障害を持つメンバーが参加した。最終発表は、ロックミュージカル「夏の夜の夢」を上演した。多様な人々の芸術参加・鑑賞のためのアクセスコーディネート育成も事業全体を通じて実施した。</p>	42
12/7	アーツカウンシル 東京 会議室	<p>第12回 雅楽をもっと身近に —— 雅楽の未来を育むために取り組んだ『伶楽舎・子どものための雅楽プロジェクト』 【平成27（2015）年度採択：活動期間3年間】</p> <p>一般社団法人 伶楽舎 報告者：宮田まゆみ（伶楽舎 音楽監督）、宮丸直子（伶楽舎）、中村仁美（伶楽舎）、尚紀子（東京コンサート）</p> <p>【第1部】 長期助成プログラムの概要について 活動概要の紹介と自己評価・分析 ○本プロジェクトを実施するに至った背景と企画意図 ○3年間の助成を受けた期間に実施したこと</p> <p>【第2部】 活動概要の自己紹介と自己評価・分析 質疑応答 ○このプロジェクトを実施したことで生じた変化 ○これからの活動の可能性 ○雅楽の将来——雅楽を身近に</p> <p>【助成対象事業の概要】 平安時代に大成されてから千年以上にわたって継承されてきた雅楽が今後何百年、千年先まで発展しつつ引き継がれていくために、そして2015年に創立30周年を迎える団体の活動規模を拡げるために、子供を含む観客層・観客数の拡大を目的とした事業を行った。活動の柱は3つ。 1：子どもための雅楽コンサート…「子どものための雅楽作品『ポン太と神鳴りさま』」（芝祐靖作曲）他、舞楽、雅楽解説、唱歌（しょうが）体験、雅楽の楽器紹介と演奏。正倉院復元楽器の紹介と作品演奏 2：子供を対象とした雅楽作品CD、雅楽紹介DVDの作成 3：子供のための新作雅楽の委嘱と初演…伊左治直作曲「子どものための雅楽作品」（新作）他 次代の文化の担い手である子供達が雅楽と出会い親しめるプログラムや作品をつくり上げることを目指した。</p>	22

開催日	会場	内容	参加者(人)
2/17	オンライン	<p>第13回 『東京現音計画 コンサート、アーカイブ』—— (ミュージシャン、クリティック、コンポーザー) の3つの視点によるコンサート企画とレパートリー・データベース (映像) の公開プロジェクト 【平成28 (2016) 年度採択：活動期間2年間】</p> <p>東京現音計画 報告者：有馬純寿 (東京現音計画メンバー エレクトロニクス)、黒田亜樹 (東京現音計画メンバー ピアノ)、橋本晋哉 (東京現音計画メンバー チューバ)</p> <p>【第1部】 長期助成プログラムの概要について 活動概要の紹介と成果について ○本助成対象活動を実施するに至った背景と企画で意図したこと ○事業の実施内容、そして考えたこと</p> <p>【第2部】 質疑応答 ○結成10年を迎える東京現音計画にとって、本助成対象活動がもつ意味とは？ ○「企画」「実践」「発信」における“東京現音計画的”ケイカクとは？—多視点の織り込み方、個と共同、拡張性と縮充性— ○東京現音計画のこれから</p> <p>【助成対象事業の概要】 2年間で3種のコンサートを開催 1：気鋭の批評家/学者に選曲を託す新シリーズ「クリティックスセレクション」…音楽学の沼野雄司にプログラミングを委嘱した。 2：東京現音計画メンバーによる「ミュージシャンズセレクション」…チューバの橋本晋哉がプログラミングを担当し、零奏 (エレクトロニクスによる再生演奏) から五重奏まで、チューバという楽器の可能性に焦点を当てた。 3：シリーズ「コンポーザーズセレクション」…プログラム監修として作曲家の近藤謙を迎え、シリーズのひとつの到達点を目指した。 その他、アンサンブル結成以来撮りためてきた公演記録映像を編集、アーカイブ化して、上演自体がめずらしい作品の記録を公開した。インターネットを通じ世界からの参照に応じていくとともに、サクソフォン、チューバ、打楽器、ピアノ、エレクトロニクスという世界的にも稀な編成のアンサンブルならではの委嘱作品を、世界へ向けて発信した。</p>	61

## 【参加者の声】

### 第11回

- ・自劇団でもバリアフリーをいろいろとトライ&検討しているので、大変参考になりました。大橋さんと何か一緒に創作できたらな～と夢が広がりました。同時に、日本ではなかなか根付いていかない現状を実感し、これらのことがトライではなく、当たり前にしていくためには、大変な努力が必要だと、思いました。
- ・UDトーク、手話通訳で全員リモート参加でZoomウェビナー配信はなかなか難しい対応だと思うが、可能性も感じました。内容にボリュームがあったので、もう少し時間があってもよいなと思いました。多くの人に見てほしい内容だった。

### 第12回

- ・伶楽舎の皆様の「雅楽愛」あふれる語り口と、東京コンサートの尚様の的確な視点をまとめ、アーツカウンシル東京の司会担当者の俯瞰でとらえてナビゲートする姿勢から、雅楽のみならず、伝統芸能全般の未来に向かって、きわめて有意義なインスピレーションを感じさせていただきました。
- ・いろいろ手探りを重ねながら幅を広げてきた様子がよく迎れた。雅楽には未知の世界への憧れも抱きやすく、またいろいろなパーツに分散することで多様な切り口が生まれる可能性が感じられる。古典と現代の両方を視野に入れた取り組みに“子供”の視点を加えることで、さらにアイデアを拡げていただきたい。本体とアーティストの個人活動のメリハリも期待したい。

### 第13回

- ・グループ内の個々の役割分担やカラーがはっきりしていることが成功の秘訣のように思いました。なかでも有馬さんのように違う分野の見聞がある方がデザインを担うというのは大きいなと思いました。それはもちろん音楽界内部者的な視点が別メンバーによって確保されてるからなのですが、特有の閉塞性を軽やかにうまく飛び越えていっている印象を持ちました。長期助成の利点は、長期スパンでのビジョン作りに意識的になり、マクロとミクロの視点の双方の視点から思考する機会になりそうだという印象を持ちました。それは担当オフィサーが二人三脚で進めてくださるというプログラムの大きな特徴のひとつかもしれません。
- ・現代音楽シーンの最先端で活動する「東京現音計画」さんの取り組みについて、裏話含め知ることができとても面白かったです。既存の概念にとらわれない活動が、音楽が未来を創造する一つの橋掛けになると考えます。お話にも出ていた芸術劇場での藤倉さんの公演にとどまらず、多くの公立文化施設で現代音楽の公演が増えればよいなと思います。

# 11

## 「芸術文化による社会支援助成」活動報告会

### 【事業概要】

開催日 令和3（2021）年2月21日（月）  
 会場 オンライン  
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 参加者数 36人

### 【事業趣旨（目的）】

平成27（2015）年度より開始した「芸術文化による社会支援助成」の対象活動を終了した団体の活動報告会を実施、公開することで、当該プログラムの認知度向上と潜在的な助成対象活動・団体を開拓するとともに、当該プログラムの制度上の課題等を発見し、今後の制度運用に活用することを目的とする。

### 【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者数（人）
2/21（月）	オンライン	第1回「コロナ禍におけるオンラインの活動継続」	特定非営利活動法人みんなのダンスフィールド 報告者：西洋子（代表／理事長）、千葉遙（会員／監事）、水村麻理恵（スタッフ／理事） 特定非営利活動法人東京ソテリア 報告者：塚本さやか（東京ソテリア法人事務局）、長谷川志帆（精神保健福祉士、社会福祉士）、松本直之（アルテ・エ・サルテ東京チームメンバー） ファシリテーター：小川智紀 グラフィックファシリテーター：清水淳子	新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで開催。前半は、コロナ禍においてオンラインで活動を継続した令和2（2020）年度助成対象の2団体からの報告、後半は参加者も交えて意見交換や課題の共有を行った。 【プログラム】 「芸術文化による社会支援助成」の説明 <第1部>活動報告 特定非営利活動法人みんなのダンスフィールド 特定非営利活動法人東京ソテリア <第2部>ラウンドテーブル 【助成対象活動の概要】 特定非営利活動法人みんなのダンスフィールド ・平成27（2015）年度「てあわせパトル・おどる・どるどる」 ・平成28（2016）年度第2期「インクルーシブ・ダンスの上演をコアとする連続的な「共創」のアートプログラム開発」 ・平成29（2017）年度第2期「新しいインクルーシブ・ダンス - ひらかれたアート交流による「共創」を目指して-」 ・平成30（2018）年度第2期「『未来へのまなざし』ダンス&アーカイブ 子どもたちはインクルーシブ・ダンスで対話する」 ・令和2（2020）年度第1期「ワーク・イン・プログレス【共創表現ファシリテーションに挑む】-研究・創作・社会実践は循環してすすむ-」 「共創表現」としての「インクルーシブ・ダンス」を追求し、年度ごとにテーマを決めて勉強会や交流会、ワークショップを重ね、作品を創作、発表している。令和2（2020）年度は、研究会とワークショップをオンラインで実施することで、20年の活動の中で蓄積された実践知を振り返り、汎用性のあるものとして理論化を目指すとともに、共創の現場を推進する人材「共創表現ファシリテータ」の育成に取り組んだ。 特定非営利活動法人東京ソテリア ・平成31（2019）年度第2期「アルテ・エ・サルテ「マラー／サド」～日伊精神障害者共同演劇プロジェクト～」 ・令和2（2020）年度第2期「アルテ・エ・サルテ「マラー／サド」～日伊精神障害者共同演劇プロジェクト～」 精神科病院のない国イタリア・ポーランドで活動する精神障害者演劇集団「アルテ・エ・サルテ」劇団との共同制作公演を通して、精神保健の普及啓発活動を行うことを目指すプロジェクト。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、平成31（2019）年度は東京をメイン会場として、大阪・名古屋・浜松・福島・ポーランドをリモートで繋ぎ、プロジェクトの状況報告やコロナ禍に求められる普遍的な人と人との繋がりを、芸術の力、メンタルヘルスの未来への課題と希望を模索するシンポジウムを実施。令和2（2020）年度は、演劇公演「マラー／サド」をアルテ・エ・サルテ劇団と日本の出演者の共同で制作し、上映会を行った。	36

### 【参加者の声】

「進行がとてもスムーズで見やすく楽しく拝見しました。芸術のための芸術ではなく、社会に役立つ芸術でもない第三の芸術とは何か考える機会になると思います。申請にあまり慣れておりませんが、頑張っって申請してみたいと思いました。」

「事業を実施していく中での具体例や課題が現実的な体験談として聞けて良かった。」

「Zoom上のグラフィックワークを始めて見ましたが、デザインはもちろん言葉のまとめ方も素晴らしく、より全体のお話の内容を興味深く理解することが出来た。」

「弊団体の考えていることに類似点もあり、他の分野からの学びがありました。ダンスや演劇分野に対して、以前

より言われていることですが、音楽分野での活動幅の広がり的重要性を感じました。」

「大変素晴らしい報告会を有難うございました。助成をする側と受ける側のそれぞれの立場、また助成を受けて活動する両団体の意義や課題なども見えて、とても学び多き時間になりました。またこのような機会がありましたら、聴講参加したいと思います。」

# 12

## ライフウィズアート助成

### 【事業概要】

芸術文化を日常生活の中に根付かせ、一層都民に身近なものとするとともに、アーティストの支援にもつなげていくことを目的とした助成事業を実施する。

### 【事業趣旨（目的）】

芸術文化の多様な楽しみ方を提案し、都民が芸術文化に親しむ機会を創出する取組、基盤整備を助成する。本助成を通じ、芸術文化を日常生活の中に根付かせ、一層都民に身近なものとするとともに、アーティストの支援にもつなげていくことを目指す。

### 【開催状況】

当該助成は今年度新設した助成事業である。令和3（2021）年7月28日（水）～8月20日（金）に募集を行い、申請件数は13件。初めての募集ということもあり、ジャンル・事業規模・企画内容に関して多岐に渡る企画の申請があった。その中でも、本助成の目的である芸術文化を身近に感じるための取組や、アーティストの支援について創意工夫が見られる企画を中心に7件が採択された。

#### ■令和3（2021）年度実績

申請件数：13件

採択件数：7件

交付決定総額：40,000千円

申請団体名	申請事業名
OGU MAG	松田奈那子「ジョゼと虎とさかなたち」原画展（仮）
合同会社別視点	マニアフェスタ Vol.6
アートマネージャー・ラボ	Co-working with Artists（仮）
「有楽町アートアーバニズムプログラム」実行委員会	有楽町アートアーバニズムプログラム
一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム	Art Week Tokyo
株式会社ワインライス	新宿流転芸術祭
一般社団法人 DRIFTERS INTERNATIONAL	街とアートの文化交流プロジェクト

※申請団体名および申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

# 13

## 大規模文化事業助成

### 【事業概要】

文化の灯をともし続け、人々が芸術文化を楽しむマインドを取り戻す活動を支援することを目的とした助成事業を実施する。

### 【事業趣旨（目的）】

緊急事態宣言の解除などにより、イベントや様々な文化事業開催の制限が徐々に緩和された機をとらえ、厳しい状況の中で芸術文化活動に取り組むアーティストや団体等を支援する。より多くのアーティストやスタッフの支援につながるよう、複数の芸術団体等が参画し複数のプログラムを実施するような規模の大きい事業を対象とする。また、助成金に加えて新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費として1事業あたり上限300万円までを実費助成する。

### 【開催状況】

当該助成は令和3（2021）年度に新設された助成事業である。令和3（2021）年10月29日（金）～11月12日（金）に募集を行い、申請件数は74件。影響力・波及力、将来性・継承性、革新性・独創性、実現性などの視点に基づき審査した結果、合計8件（助成予定総額 71,000 千円、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費を除く）を採択した。

#### ■令和3（2021）年度実績

申請件数：74件

採択件数：8件

交付決定総額：95,000千円

（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費24,000千円を含む）

申請団体名	申請事業名
OM-2	M/M フェスティバル
一般社団法人MUTEK Japan	ETERNAL Art Space
一般財団法人観世文庫	一般財団法人観世文庫
劇場都市 TOKYO 演劇祭実行委員会	劇場都市 TOKYO 演劇祭
一般社団法人花絵文化協会	TOKYO FLOWER CARPET 2022
セッションハウス企画室	セッションハウス ダンスパレード2022
シアターcommons実行委員会	シアターcommons '22
有限会社ボッシュンエッズ	FESTIVAL TANDEM

※申請団体名および申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

# 14 「アートにエールを！東京プロジェクト（ステージ型）」

## 【事業概要】

**募集期間** 追加募集：令和3（2021）年4月9日（金）～4月20日（火）、  
第3回：令和3（2021）年9月29日（水）～10月5日（火）

**主催** 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

**応募件数** 追加募集：482件、第3回：317件

**採択件数** 追加募集：100件、第3回：200件

**公式ウェブサイト** <https://cfa-stage.jp/>

## 【事業趣旨（目的）】

文化の灯を絶やさないうための対策として、緊急事態宣言等によりイベントの開催を制限されている芸術文化団体に対し、劇場・ホール等を利用した公演等の制作および配信により、新しい日常における自律的な創作活動を支援するとともに、都民が芸術文化に触れる機会を提供する。

## 【開催状況】

緊急事態宣言等により、予定していた公演が中止・延期・入場制限となった団体を対象として、東京都内の劇場・ホール等を利用して開催する公演等の作品の企画を募集し、外部有識者等による企画審査を経て採択された企画に基づく公演等に対して、制作支援金200万円を支払った。また、採択団体が公演を撮影した動画について、公式ウェブサイトに掲出し、無料で配信した。

## 【参加団体からの声】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う公演中止や延期が続く中、オンライン配信やSNSの活用を行ってきたが、有観客での公演が実現し、ファンの方の喜びの様子から有観客でのコンサート開催を強く希望されていたことを実感できた。また、出演者の舞台での生き生きとした演奏から、有観客公演の大切さをより実感することができた。
- ・これまで団体としてあまり取り組んでこなかった映像記録に十分力を入れることができ、来場できなかった方にも配信を通じて観ていただけることができた。今後の活動の1つのモデルとして活用していきたい。
- ・本事業の公式ウェブサイトへの掲出により、映像を他ジャンルの方にも観ていただける機会ができたことが成果の1つである。
- ・今回の動画作成を通して、新しい映像撮影・編集スタッフとの協働が生まれた。演劇公演の映像化は、生の観劇では全てを把握することが難しい細やかな演出について、観客が発見し楽しむきっかけとなった。
- ・動画配信を見ることはあっても、制作することはあまり念頭になかったが、今回収録・編集をする中で、新しい観点での構成・演出に気付き、これからの構成・演出・パフォーマンスに今回得たことがとても役立つ。

# 15

## 伝統芸能公演

### 【事業概要】

開催期間 令和3（2021）年5月22日（土）、8月17日（火）  
 会場 国立劇場 大劇場  
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 助成・協力 東京都  
 入場者数 852人

### 【事業趣旨（目的）】

伝統芸能の活性化・普及およびその魅力を幅広く国内外に発信することを目的として、多様なジャンルの伝統芸能を取り上げ、若者や外国人など伝統文化・芸能に馴染みのない層にその魅力を知り楽しんでもらうよう、初心者にもわかりやすく、その魅力を様々な角度や切り口から紹介する。

### 【開催状況】

開催日	公演名	会場	曲目等	出演者等	入場料（円）	入場者（人）
5/22	「二つの小宇宙—めぐりあう今—」※1	国立劇場 大劇場	「変化と人間と—羽衣伝説—」新作初演 歌舞伎俳優、文楽人形遣いの共演を通じて、 羽衣伝説を新たな視点から捉えた作品	作・演出＝大和田文雄、振付＝花柳源九郎、 音楽＝東野珠実、出演＝中村雀右衛門（天 女）、吉田玉男（伯龍）、神々楽伎座（演奏）	1等席 6,000 (学生4,200)	596
			「Bridge」新作初演 声明とコンテンポラリーダンスの共演によ り、様々な“架け橋”となる意味が込められ た作品	振付・演出＝山田うん、出演＝Co.山田 うん、声明の会・千年の聲	2等席 4,000 (学生2,800)	
8/17	「今に生きるサム ライの心～吟と剣 詩舞～」※2	国立劇場 大劇場	第一部 「吟詠」の魅力～サムライの心を描く～ 「富士山」 「不識庵機山を撃つ凶に題す」 「日本刀を詠ず」 「名槍日本号（今様入り）」 「坂本龍馬を思う」 「本能寺」	吟：梶原麗修、土澤美岳、伊藤契麗、河 野鶴聲、池田禎煌、清水錦洲、浅田聖謙 箏：石垣清美 十七絃：柿木原こう 尺八：河野正明	S席 4,000 A席 3,000 B席 2,000 (学生1,500)	256
			第二部 「剣舞」レクチャー～武士の魂、心と技～	早淵鯉將		
			第三部 サムライの心をつらぬく「忠臣蔵」講談と 剣詩舞と笛	剣舞：早淵鯉將、五月女凱昂、増井鯉冠 講談：神田蘭 笛：福原徹		

※1 主催：文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会  
 「東京芸術祭2021連携事業」として実施  
 ※2 協力：公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会  
 「東京芸術祭2021連携事業」として実施

### 【参加者の声】

- 国立劇場共催公演事業「二つの小宇宙—めぐりあう今—」
  - ・とても意欲的な公演を企画していただき、ありがとうございました。大変刺激的な時間でした。今後ともぜひ続けて欲しいです。(30代・男性)
  - ・それぞれのジャンルの特徴や良さを見出す機会にもなって面白かった。そして舞台美術がとても美しかった（生け花）。(40代・女性)
  - ・異なる分野の芸能が融合したことに感動しました。国立だからこそ実現できる挑戦を続けてほしいです。(40代・男性)
  - ・歌舞伎と文楽のコラボ、異業種でしたが、とても興味深かったです。これからもこのような企画を楽しみにしています。(50代・女性)
  - ・ダンスと声明の融合、素晴らしかったです。人間って素晴らしいな。まさに人間讃歌だったと思います。(50代・女性)
- 伝統芸能普及公演「今に生きるサムライの心～吟と剣詩舞～」
  - ・講談と笛と剣詩舞のコラボレーションが素晴らしかった。(70代・男性)
  - ・講談、笛、剣舞、初めての体験。来て良かったと思う。身が引き締まる！こんなに音がマッチするのだと感激。(70代・女性)
  - ・日頃触れることのできないお話、日本の着物も素晴らしく着こなしてみとれました。(70代・女性)
  - ・詩吟が素晴らしかった。剣舞のレクチャーが良かった。実演も混ぜてお話も分かりやすかった。(60代・女性)
  - ・剣舞は非常に面白かった。もう少し長い時間やってほしかった（他のいろいろな型など）。(50代・男性)

## 16

## 伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2021～

### 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年5月29日（土）、30日（日）ほか
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、八王子市、 公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団
共 催	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
助成・協力	東京都
協 力	公益財団法人立川市地域文化振興財団
後 援	立川市、三鷹市、府中市、昭島市、日野市、日野市教育委員会、東村山市、福生市、狛江市、あきる野市、あきる野市教育委員会、奥多摩町、八王子市町会自治会連合会、八王子商工会議所、公益社団法人八王子観光コンベンション協会、八王子市商店会連合会、西放射線ユーロード
協力自治体	武蔵野市、青梅市、調布市、町田市、小金井市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市、稲城市、瑞穂町、日の出町
事業協力	八王子織物工業組合、東京造形大学
会 場	オンライン [八王子市芸術文化会館（いちようホール）大ホール、小ホール、第2展示室 八王子繊維貿易館講堂 ほか]
料 金	無料（楽劇高尾山のみ視聴料800円）
総視聴数	約15,000回（2022年3月末日時点：ダイジェストおよび関連動画含む）

### 【事業趣旨（目的）】

八王子市をはじめとする多摩地域が保有する地域の文化資源を活用して、まちなかでの演奏会や屋外ステージを舞台にした本格的な公演など、多彩な伝統文化・芸能の魅力を発信するフェスティバルの開催を通じて、伝統文化に馴染みのない人々が親しめる工夫を凝らしたプログラムを提供するとともに、伝統文化の新たな鑑賞者の獲得や担い手を育成することにより、多摩地域の伝統文化・芸能を次世代へ継承することを目的に実施。

### 【開催状況】

八王子市や多摩地域に伝わる伝統文化・芸能の魅力を気軽に鑑賞・体験できる機会として実施し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げる「東京2020 NIPPON フェスティバル 共催プログラム」として、多摩地域の伝統を八王子から発信した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため無観客・オンラインでの開催となった。

開催日時	会場	プログラム名	出演者	内容	料金(円)	視聴数(回) <sup>*1</sup>
5/29 【5/30～6/1 8/25～31】 <sup>*2</sup>	いちようホール 大ホール	楽劇高尾山～平家美少年哀切譚～	山中辺晶・高尾山薬王院僧侶 ほか	能「経政」を軸に、八王子の寺院「高尾山薬王院」の声明（しょうみょう）とのコラボレーションの舞台	800	154 <sup>*3</sup>
5/29	いちようホール 大ホール	立川謡曲会	立川謡曲会（立川市）	観世流謡曲【連吟】安宅 【仕舞】鶴亀、羽衣、高砂	無料	13,597
5/29	いちようホール 小ホール	地芝居を楽しむ！ 秋川歌舞伎	秋川歌舞伎保存会あきる野座（あきる野市）	仮名手本忠臣蔵七段目祇園一力茶屋の場		
5/29	八王子繊維貿易 館講堂	SHIKISAI～染物ダンスパフォーマンス～	MAYA、ECLIPSE、BOBBY、RHYTHM、MaFee Shinji、碓井菜央、加藤さや香、平山ひかる ほか	SHIKISAI		
5/30	いちようホール 大ホール	諏訪神社 宮澤太鼓	諏訪神社 宮澤太鼓（昭島市）	一心壮大、YELL、無限大、夜空の花		
5/30	いちようホール 小ホール	福生天王ばやし	福生天王ばやし保存会（福生市）	天王ばやし、神輿を見送る送りばやし		
5/30	いちようホール 大ホール	小河内の鹿島踊り	小河内郷土芸能保存団体協議会（奥多摩町）	鞠踊、さんころりん、鞆鼓、桜川、三拍子		
5/30 <sup>*4</sup>	いちようホール 第2展示室	江戸時代のアニメーション「影絵く写し絵>」	東京造形大学大学院 Hachioji 影絵プロジェクト、保科誠、加藤亜依（八王子市）	高尾山の天狗火		
5/29・30	いちようホール 大ホール	八王子芸妓衆の華と粋～艶やかにおもてなし～	八王子芸妓衆（八王子市）	茶切り節、長崎ぶらぶら節、おてもやん、木遣りくずし、三下り、さわぎ		
5/29・30	いちようホール 小ホール	八王子車人形・薩摩派説経節～魂宿る車人形～	八王子車人形 西川古柳座、説経節の会（八王子市）	東海道中膝栗毛 赤坂並木～卵塔場の段		
6/19 <sup>*4</sup>	東京都立狛江高等学校	高校生による箏の響き	東京都立狛江高等学校箏曲部（狛江市）	和の調べのオリジナルモデル、やさしさに包まれたなら、箏のための組曲		
合計						13,751

- ※1 2022年3月末日時点
- ※2 【 】内は録画配信日
- ※3 チケット販売数
- ※4 撮影のみ実施（オンライン配信開始は7月）

### 【参加者の声】

- ・こんな状況なので、オンラインでも開催いただけたことにとても感謝しております。ですが、世の中が落ち着いたらぜひ以前のように生で皆さんのパフォーマンスを見たいと強く思いました。来年も楽しみにしています。（20代・女性）
- ・伝統文化と音楽とダンスが融合していて斬新な舞台だった。（20代・女性）
- ・これだけ素晴らしいものが無料で、動画で、いつでも観られるのは嬉しいです。次回は有料でもいいので会場で鑑賞したいです。（30代・男性）
- ・マヤさんのパフォーマンスを観る貴重な機会を得ることができてとても幸せです。今回SNSを通じて前もって、作り上げていく過程、音や舞台に使われる衣装、ステップなどのストーリーを知ることができ、より想いを持って観覧することができました。素晴らしい愛と技術のコラボで感動です。（40代・女性）

# 17

## 東京大茶会2021

### 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年10月8日（金）～12月20日（月）
会場	オンライン（「東京大茶会2021 外伝」特設ウェブサイト内）
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参加料	無料
公式ウェブサイト訪問者数	11,847人
総視聴数	4,369回

### 【事業趣旨（目的）】

様々な流派による茶道プログラム、日本の伝統文化を楽しめるステージイベントやパフォーマンスを実施するなど、誰でも気軽に参加できる大規模な茶会を開催することにより、伝統ある茶文化を広く都民に普及し、また、東京を訪れる観光客に、「お茶の文化」とそれを育んできた「江戸・東京の文化」を紹介する。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、10月に予定していたイベント実施は中止することとしたが、コロナ禍の状況においても、お茶の文化とそれを育んできた江戸・東京の文化を国内外へ紹介し、裾野を広げるため、オンラインにて「東京大茶会2021 外伝」を実施し、動画配信等を行った。

公開日	タイトル	内容	視聴数（回）
10/8	和菓子職人の匠技術	東京マイスター（東京都優秀技術者）に認定された和菓子職人がお菓子をつくる過程を、お菓子と茶道の関わりについて語るインタビューとともに紹介する動画。	976
10/11	茶道—おもてなしのひととき—	“総合芸術”とも称される茶道の美しさと魅力をお茶会の様子から伝える動画。	1,886
11/17	おうちで茶道体験	東京都高等学校文化連盟茶道部門に所属する生徒が、美味しいお茶の点て方のコツを解説するほか、東京大茶会への想いを伝える動画。	489

また、伝統文化を普及することを目的に「夏井先生が選ぶ！東京大茶会 俳句コンテスト」を特設ウェブサイト上で紹介した。

名称：夏井先生が選ぶ！東京大茶会 俳句コンテスト  
 内容：俳人夏井いつきを選者に迎え、東京大茶会の写真をテーマに実施。  
 募集期間：令和3（2021）年10月8日～11月8日  
 結果発表：令和3（2021）年12月8日  
 応募者数：465人  
 応募句数：1,065句  
 賞：特選 1句 初釜の底深きより汲む湯かな 長谷川水素  
 優秀賞 3句 白足袋の踵ゆたかに大茶会 朝月沙都子  
 赤染に泡ととのうて雨の秋 巴里乃嬢  
 茶花には秋思を甘くする色を 古賀

### 投句案内動画

公開日	タイトル	内容	視聴数（回）
10/13	「夏井先生が選ぶ！東京大茶会 俳句コンテスト」～伝統文化体験～	選者である夏井いつきと、夏井&カンパニーの所属俳人である家藤正人が出演する、俳句コンテストの投句募集を促す動画。	1,018

### 中止プログラム

開催予定日	会場	プログラム名
10/9、10	浜離宮恩賜庭園	—
10/23、24	江戸東京たてもの園	—

# 18

## 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2021

### 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年5月22日（土）、23日（日）
会場	オンライン（神楽坂まち舞台・大江戸めぐり公式YouTubeチャンネル）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、 特定非営利活動法人 粋なまちづくり倶楽部
助成・協力	東京都
共催	新宿区
後援	一般社団法人新宿観光振興協会
協力	東京神楽坂組合、毘沙門天善國寺、赤城神社、株式会社粹まち、神楽坂通り商店会、神楽坂商店街振興組合、観世九阜会・矢来能楽堂、セッションハウス、志満金、THEGLEE、光照寺、圓福寺、あずさ監査法人、第一勧業信用組合 神楽坂支店、熊谷組、ロングランプランニング、オフィスヤマグチ、マインド
視聴料	無料
総視聴数	31,585回（2022年3月31日時点）

### 【事業趣旨（目的）】

神楽坂エリア一帯を地域の文化資源として活用し、伝統芸能に馴染みのない初心者や若年層、外国人（観光客、在住者）にも気軽に参加できる構成と内容で、日本の伝統芸能や文化に親しむ端緒となることを目的とした伝統芸能の屋外型フェスティバルを実施。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客・オンラインで実施した。

開催日	プログラム名	出演者	視聴数(回)	
5/22	ことほぎライブ	西川古柳座（八王子車人形）×竹本越孝+鶴澤寛也（義太夫節）、丸一仙翁社中（江戸太神楽）、藤間章吾+市山扇雄右（日本舞踊）×芳村伊十郎連中（長唄）×若獅子会（囃子）、鳥羽屋里夕（司会）	4,962	
	神楽坂発「アートにエールを！東京プロジェクト」	佐藤幸子（ほか（相撲甚句）、光田憲雄（ほか（大道芸）、林煌彩（詩吟）×柿木原こう（箏）、藤倉呂英+チリカラ伍（囃子）、鳥羽屋里夕（司会）		
	ことだまライブ	宝井琴鶴（講談）、鶴賀伊勢吉+鶴賀伊勢一郎（新内節）、東家一太郎+東家美（浪曲）、シリル・コピーニ（司会）		
	お座敷ライブ	岡村慎太郎+岡村愛（箏曲）×庄野文山（尺八）、本條満留ひで+本條秀英二（端唄）、神楽坂芸者衆（踊りほか）、シリル・コピーニ（司会）		5,388
	芸能道しるべ	伶楽舎（雅楽）、弧の会（日本舞踊）×聚の会（筑前琵琶）、観世九阜会 観世喜正（能）、神田織音（ご案内）、シリル・コピーニ（司会）		6,327
5/23	神遊びライブ	尺八カルテットGMQ（尺八）、セ三味ストリート（津軽三味線パフォーマンス）、真鍋尚之（笙）、遠TONE音（尺八×箏×ギター）、鳥羽屋里夕（司会）	5,192	
	セッションライブ	木場大輔（胡弓）×沈琳（二胡）×ヨルダン・マルコフ（ガドゥルカ）×平山織絵（チェロ）×立岩潤三（パーカッション）、秋吉沙羅（神楽笛）×ウスマン・ジェジュ（パラフォン）×ラミン・サル（アフリカンパーカッション）、小山豊（津軽三味線）×小湊昭尚（尺八）×栗林すみれ（ピアノ）×福森康（ドラムス）、マドモアゼル・シネマ（コンテンポラリーダンス）、シリル・コピーニ（司会）	5,523	
	ことだまライブ	藤山大樹（手唄）、神田山緑（講談）、竹本越若+鶴澤賀寿（義太夫節）、玉川奈々福+沢村豊子（浪曲）、シリル・コピーニ（司会）	4,193	
	夕暮れライブ	鳥羽屋里夕連中（長唄三味線）×望月晴美連中（囃子）、シリル・コピーニ（司会）		

### 【参加者の声】

- ・賑やかな神楽坂に行けないのは残念でしたが、配信だと天候の心配やポイントの移動も無く、どの演目も最前列の特等席で拝見出来ました。司会もとても良かったです。（50代・女性）
- ・伝統芸能全般に興味があるので2日間どのプログラムも楽しめました。コロナ以前より人混みが苦手なので、こういったイベントを避けていましたが、現地開催が再開した際はぜひ直接伺いたいと思いました。（30代・女性）
- ・篠笛とセネガルの楽器とのセッションということで、どんな感じの音楽になるのか興味ありましたが、相性が良いように思いました。また、単純に異なる楽器のセッションというだけでなく、それぞれの文化、歴史を感じながら聴くことができ、そういった点でも良かったです。（30代・男性）

# 19

## Music Program TOKYO

### 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
会場	東京文化会館 ほか
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京
助成	文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）   独立行政法人日本芸術文化振興会
入場者数	延べ23,842人 ※ただし11/7実施事業のオンライン鑑賞者19,446人は除く

### 【事業趣旨（目的）】

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラム。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信する。

### 【開催状況】

#### 1. Enjoy Concerts!

##### (1) シアター・デビュー・プログラム

開催日	会場	出演者	プログラム	料金（円）	入場者（人）
11/12	台東区立浅草小学校	舞踏：我妻恵美子、塩谷智司 ピアノ：加藤昌則	『虫めづる姫君』アウトリーチ・ワークショップ	無料	63
11/26	新渡戸文化高等学校	人形操演：平常 チェロ：宮田大	平常×宮田大『Hamlet ハムレット』アウトリーチ・ワークショップ	無料	5
11/29	台東区立上野中学校	人形操演：平常 チェロ：宮田大	平常×宮田大『Hamlet ハムレット』アウトリーチ・ワークショップ	無料	130
12/7	東京大学教育学部附属中等教育学校	人形操演：平常 チェロ：宮田大	平常×宮田大『Hamlet ハムレット』アウトリーチ・ワークショップ	無料	16
12/14	墨田区立押上小学校	舞踏：我妻恵美子、塩谷智司 ピアノ：加藤昌則	『虫めづる姫君』アウトリーチ・ワークショップ	無料	157
12/18	東京文化会館小ホール	脚本・演出・美術・人形操演：平常 音楽構成：チェロ：宮田大 黒衣：牛頭奈織美、新井彩冬実、荒川藍子	平常×宮田大『Hamlet ハムレット』	S席：5,500 A席：4,400 B席：2,200	519
12/19				25歳以下：2,200 18歳以下：1,100	510
2/5	東京文化会館小ホール	演出／振付／舞踏：我妻恵美子 音楽監督／作編曲／ピアノ：加藤昌則 ソプラノ：三宅理恵 フルート：上野由恵 クラリネット：濱崎由紀 チェロ：笹沼樹 舞踏：塩谷智司、阿目虎南	『虫めづる姫君』	S席：3,300 A席：2,200	414
2/6				小中学生：1,100	392
計					2,206

(2) プラチナ・シリーズ

第3回、第5回は新型コロナウイルス感染症拡大による出演者来日中止に伴い、中止することとなった。

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金 (円)	入場者(人)
9/24	東京文化会館 小ホール	第1回 ライナー・キュッヒル ～ドイツ3大B+1のヴァイオリン・ソナタ～	ヴァイオリン：ライナー・キュッヒル ピアノ：加藤洋之	J.S.バッハ：ヴァイオリン・ソナタ第3番 ホ長調 BWV1016 プゾーニ：ヴァイオリン・ソナタ第2番 ホ短調 Op.36a ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト長調 Op.78 「雨の歌」 ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第7番 八短調 Op.30, No.2	S席：5,500 A席：4,400 B席：2,750 25歳以下： 1,100	495
11/20		第2回 野平一郎・堀正文・堤剛 ピアノ・トリオ ～日本が誇るレジェンド・トリオ～	ピアノ・トリオ ピアノ：野平一郎 ヴァイオリン：堀正文 チェロ：堤剛	ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番 へ長調 Op.24 「春」 シューベルト：アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D821 ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲第7番 変ロ長調 Op.97 「大公」		611
12/22		第3回 ウィーン=ベルリン フラス・クインテット ～最高峰のプリリアント・サウンド～	トランペット：ガボール・タルケヴィ、ライナー・キューブルベック ホルン：トーマス・イエブストル トロンボーン：マーク・ガール テューバ：アレクサンダー・フォン・ブツカマー	エヴァルド：金管五重奏曲第3番 ピアノソラ作品 ほか		—
2/14		第4回 小曾根真 ～OZONE60 バレンタイン・ジャズナイト～	ピアノ：小曾根真 ベース：小川晋平（特別出演）	小曾根真：Gotta Be Happy 小曾根真：O'berek ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調より 第2楽章 プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ第7番 変ロ長調 Op.83より 第3楽章 ほか		581
3/6		第5回 ハンスイェルク・シェレンベルガー (Ob) & マルギット=アナ・シュース (Hp) ～オーボエとハーブで奏でる欧州名曲紀行～	オーボエ/イングリッシュ・ホルン：ハンスイェルク・シェレンベルガー ハーブ：マルギット=アナ・シュース	J.S.バッハ：ソナタ 変ホ長調 BWV1031～オーボエとハーブのための フォーレ：即興曲第6番 変ニ長調 Op.86～独奏ハーブのための バスクリ：ペッリーニへのオマージュ～イングリッシュ・ホルンとハーブのための ほか		—
計						1,687

(3) シャイニング・シリーズ

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金 (円)	入場者(人)
11/26	東京文化会館 小ホール	Vol.9 東京文化会館 チェンバーオーケストラ	指揮：三ツ橋敬子 ピアノ：富永愛子 コンサートマスター：依田真宣 ほか	ベートーヴェン：バレエ音楽『プロメテウスの創造物』序曲 シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 Op.54 ベートーヴェン：交響曲第2番 二長調 Op.36	指定：3,300 25歳以下： 1,100	429
2/23	東京文化会館 小ホール	Vol.10 服部百音ヴァイオリン・リサイタル	ヴァイオリン：服部百音 ピアノ：三又瑛子	チャイコフスキー：ワルツ・スケルツォ 八長調 Op.34 シマノフスキ：『神話』Op.30より 第1曲「アレトウザの泉」 ラヴェル：ヴァイオリン・ソナタ ト長調 チャイコフスキー：憂鬱なセレナード Op.26 フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調 ラヴェル：ツィガヌ	指定：3,300 25歳以下： 1,100	592
計						1,021

(4) 3歳からの楽しいクラシック

開催日	会場	出演者	プログラム	料金 (円)	入場者(人)
10/30	東京文化会館 小ホール	ピアノ：白石光隆 ヴィオラ：渡邊千春	ペリー・アンド・キングスレー：バロック・ホウダウン（ピアノ独奏）ブルッフ：ロマンス へ長調 Op.85 ベンジャミン：ジャマイカン・ルンバ ほか	3～6歳 [未就学児]： 550 小学生～大人： 1,100	506
計					506

(5) まちなかコンサート～芸術の秋、音楽さんぽ～

共催：国立国会図書館国際子ども図書館（10/17 国立国会図書館国際子ども図書館）  
東京国立博物館（10/28 東京国立博物館）

開催日	会場	編成	出演者	料金（円）	鑑賞者（人）
10/17	国立国会図書館 国際子ども図書館 レンガ棟 3階ホール	【弦楽四重奏】 13：00～13：40、15：00～15：40	ヴァイオリン：吉江美桜、尾張拓登 ヴィオラ：鈴木大樹 チェロ：黒川実咲	無料	126
10/23	東京文化会館 キャノピー	【フルート三重奏】 10：30～10：50、11：30～11：50	フルート：伊藤優里、細川愛梨、畠山奏子		697
10/24	東京文化会館 キャノピー	【金管五重奏】 10：30～10：50、11：30～11：50	トランペット：佐藤成美、伊藤由理枝 ホルン：小田原瑞輝 トロンボーン：高瀬新太郎 チューバ：若林毅		1,367
10/28	東京国立博物館	【弦楽四重奏】 14：00～14：20、15：00～15：20	ヴァイオリン：関朋岳、東條太河 ヴィオラ：田原綾子 チェロ：矢部優典		250
計					2,440

(6) まちなかコンサート×ドリーム夜さ来い祭り

主催：一般財団法人ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団  
共催：東京都、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、フジテレビジョン

開催日	会場	編成	出演者	料金（円）	鑑賞者（人）
11/7	ドリーム夜さ来い祭り お台場会場	【金管五重奏】 14：30～14：55	トランペット：星野朱音、平山あかり ホルン：庄司雄大 トロンボーン：東川暁洋 チューバ：若林毅	無料 (配信のみ)	19,446
計					19,446

2. Workshop Workshop!

(1) 国際連携企画

①ワークショップ・リーダー育成プログラム

新型コロナウイルス感染症拡大によるカーザ・ダ・ムジカの来日中止に伴い、中止することとなった。  
共催：公益財団法人大田区文化振興協会／公益財団法人としま未来文化財団  
後援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

開催期間	会場	講師	対象	料金（円）	参加者（人）
7/15 ～12/5	東京文化会館、大田区民 プラザ、としま区民セン ター ほか	ジョルジュ・ブレンダス、 ジョアナ・アラウージョ、ブルーノ・ エステイマ、ジョルジュ・ケイジヨ、 パウロ・ネット、アントニオ・ミゲル	18歳以上 アーティスト、教職員、学生、音楽ワー クショップ・リーダーの活動に興味がある方	受講：11,000 聴講： 全日コース 6,600 各日コース 2,200	—
計					—

②東京文化会館ミュージック・ワークショップ

後援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会  
協力：株式会社ヤマハミュージックジャパン、玉川大学教育学部・芸術学部音楽学科

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー、出演者	対象	料金（円）	参加者（人）	
4/19	東京文化会館 リハーサル室	とびだせ！おんがくたんけん 隊	桜井しおり、野口綾子	6～18か月	550*	18	
				19～35か月		13	
				3～6歳（未就学児）		14	
4/24	東京文化会館 小ホール	One Day セッション	安音めぐみ、櫻井音斗、野口綾子、 塚本江里子	小学生～大人		17	
5/12	東京文化会館 リハーサル室	咲かせよう！音楽の花	安音めぐみ、渡辺明子、Sunny	6～18か月	550*	12	
						19～35か月	18
						3～4歳	16
	東京文化会館 小ホール	箏と一緒にコロリンシャン！	坂本夏樹、吉澤延隆	18歳以上		6	
5/27	東京文化会館 リハーサル室	チーズを探せ！くいしんぼう ネズミ！	澤田知世、古橋果林	6～18か月	550*	16	
						19～35か月	17
						3～4歳	10
	東京文化会館 小ホール	Shall we シング？	高田有香子、渡辺明子、稲垣領子	50歳以上 (20歳以上も参加可)		11	

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー、出演者	対象	料金(円)	参加者(人)
6/12	東京芸術劇場 シンフォニー スペース	ミーゴのまほう	櫻井音斗、塚本江里子、平山佳奈	6~18か月	550*	17
		ミーゴのまほう/ Migo's Magic [英語で実施]		3~4歳		24
		One Day セッション		4歳~小学校低学年		28
6/13	東京芸術劇場 シンフォニー スペース	タネまき、タネまき、大きくなあれ!	高田有香子、吉澤延隆	19~35か月	550*	23
		リズムカル・キッチン		3~4歳		26
7/25	東京文化会館 リハーサル室	あけてみよう!海のふしぎな宝箱	櫻井しおり、野口綾子	19~35か月	550*	17
		あけてみよう!海のふしぎな宝箱 [簡単な手話付き]		3~4歳		14
	東京文化会館 小ホール	One Day セッション	坂本夏樹、櫻井しおり、澤田知世、古橋果林	3歳~小学校低学年 [聴覚に障害のある方]		12
		One Day セッション	伊原小百合、坂本夏樹、櫻井音斗、塚本江里子	小学生~大人		16
8/17	東京文化会館 リハーサル室	ムジカ・ピッコラ	澤田知世、野口綾子	3~4歳	550*	10
		ムジカ・ピッコラ [簡単な手話付き]		5歳~小学校低学年		11
	東京文化会館 小ホール	はじめましてクラシック~ピアノ~	古橋果林、深貝理紗子	3歳~小学校低学年 [聴覚に障害のある方]		14
9/4	東京文化会館 小ホール	ワークショップ・コンサート パーバラの魔法のくすり	櫻井しおり、澤田知世、野口綾子、 林周雅、藤原耕、森山太	6か月~4歳と保護者およびその 家族	550*	168
		ワークショップ・コンサート パーバラの魔法のくすり		3歳~6歳(未就学児)と保護者 およびその家族		182
10/5	東京文化会館 リハーサル室	サーシャのひみつの贈りもの	櫻井しおり、澤田知世	6~18か月	550*	15
		サーシャのひみつの贈りもの		19~35か月		23
	東京文化会館 小ホール	Shall we シング?	高田有香子、渡辺明子、稲垣領子	3~4歳		16
10/30	東京文化会館 リハーサル室	旅するヨーロッパVol.2	磯野恵美、櫻井しおり	50歳以上 (20歳以上も参加可)	550*	19
		旅するヨーロッパVol.2		6~18か月		17
11/6	東京文化会館 リハーサル室	めざせ!おんがく忍者!	伊原小百合、野口綾子	19~35か月	550*	14
		めざせ!おんがく忍者! [簡単な手話付き]		3~4歳		12
	東京文化会館 小ホール	アンサンブル喫茶へようこそ! ~本日のメニュー:サン=サーンスの秘密~	磯野恵美、櫻井しおり	小学生		8
11/20	東京文化会館 リハーサル室	ココとベべのわくわくカーニバル	櫻井音斗、古橋果林	50歳以上 (20歳以上も参加可)	550*	16
		ココとベべのわくわくカーニバル		6~18か月		17
1/18	東京文化会館 リハーサル室	音のお菓子屋さん	磯野恵美、古橋果林	6~18か月	550*	17
		音のお菓子屋さん		19~35か月		16
	東京文化会館 小ホール	ワークショップ・コンサート ひらけ!おはなしの扉~音で 紡ぐアラビアンナイト~	坂本夏樹、塚本江里子、岸本萌乃 加、藤原耕	3~4歳		12
2/23	東京文化会館 リハーサル室	旅するヨーロッパVol.3	伊原小百合、野口綾子	6か月~6歳(未就学児)と保護者 およびその家族	550*	243
		旅するヨーロッパVol.3		19~35か月		21
3/4	東京文化会館 リハーサル室	森の王様のフェスタ	磯野恵美、野口綾子	3~4歳	550*	20
		森の王様のフェスタ		5~6歳(未就学児)		14
		森の王様のフェスタ [簡単な手話付き]		6~18か月		17
3/5	東京文化会館 小ホール	タネまき、タネまき、大きくなあれ!	高田有香子、吉澤延隆	19~35か月	550*	16
		タネまき、タネまき、大きくなあれ! /Tora and Shiroko's story [英語で実施]		3~4歳		12
	東京文化会館 小ホール	ワークショップ・コンサート アメリカン☆パーティー	櫻井音斗、櫻井しおり、澤田知世、 古橋果林、尾上昌弘、高橋浩明	3歳~小学校低学年		16
		ワークショップ・コンサート アメリカン☆パーティー	3~6歳(未就学児)と保護者お よびその家族 (6か月~も参加可)	247		
3/6	東京文化会館 リハーサル室	with My Baby マタニティ・ ワークショップ~歌とダンス 編~	高田有香子、渡辺明子、稲垣領子	3歳~大人	550*	172
		with My Baby マタニティ・ ワークショップ~歌とダンス 編~		妊娠中の方		0
3/6	東京文化会館 リハーサル室	音のアトリエ	坂本夏樹、櫻井音斗	6~18か月	550*	19
		音のアトリエ		19~35か月		21
		音のアトリエ [簡単な手話付き]		3歳~小学校低学年 [聴覚に障害のある方]		14
計						2,072

※「箏と一緒にコロリンシャン!」、「Shall we シング?」、「アンサンブル喫茶へようこそ!~本日のメニュー:サン=サーンスの秘密~」は、65歳以上の方を事前募集にて無料招待。

③ミュージック・ワークショップ・フェスタ〈夏〉

新型コロナウイルス感染症拡大によるカーザ・ダ・ムジカの来日中止により一部演目、出演者が変更となった。

共催：公益財団法人大田区文化振興協会

後援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

協力：株式会社ヤマハミュージックジャパン

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー、出演者	対象	料金(円)	参加者(人)
7/15	大田区民プラザ 小ホール	ミーゴのまほう	櫻井音斗、塚本江里子、平山佳奈	6~8か月 19~35か月	550*	31
		咲かせよう！音楽の花	安音めぐみ、渡辺明子、Sunny	6~18か月 19~35か月		0
7/16	大田区民プラザ 大ホール	ワークショップ・コンサート 海の仲間の音楽会~ふしぎな 宝箱のひみつ~	磯野恵美、櫻井音斗、桜井しおり、 野口綾子、吉澤延隆	6か月~6歳(未就学児)と保護 者およびその家族 6か月~6歳(未就学児)と保護 者およびその家族 (小学生~大人のみも参加可)		21
		One Day セッション	安音めぐみ、坂本夏樹、塚本江里 子、古橋果林	小学生~大人		4
7/17	大田区民プラザ 小ホール	ハッピーとおともだち	野口綾子、渡辺明子、Sunny	19~35か月 3~4歳		63
		Shall we シング?	高田有香子、渡辺明子、稲垣領子	50歳以上 (20歳以上も参加可)		119
		リズムカル・キッチン	坂本夏樹、桜井しおり、古橋果林	小学生~大人		14
		はじめましてクラシック~ ヴァイオリン&コントラバス &ピアノ~	澤田知世、吉江美桜、白井菜々子、 中山瞳	3~4歳 5歳~小学校低学年		38
7/18						26
						14
						24
						46
						38
						計

※「Shall we シング?」は65歳以上の方を事前募集にて無料招待。

④ミュージック・ワークショップフェスタ〈冬〉

新型コロナウイルス感染症拡大によるカーザ・ダ・ムジカの来日中止により一部演目、出演者が変更となった。

共催：公益財団法人としま未来文化財団/豊島区

後援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

協力：玉川大学教育学部・芸術学部音楽学科

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー、出演者	対象	料金(円)	参加者(人)	
12/1	としま区民セン ター 多目的ホール	はじめましてクラシック ~ピアノ~	古橋果林、深貝理紗子	6~35か月 3~6歳(未就学児)	550*	42	
		アンサンブル喫茶へようこ そ!~本日のメニュー:ペー トーヴェン~	磯野恵美、桜井しおり	50歳以上 (20歳以上も参加可)		28	
	としま区民セン ター 多目的ホール	箏と一緒にコロリンシャン!	坂本夏樹、吉澤延隆	小学生~大人		23	
	としま区民セン ター 多目的ホール	One Day セッション	櫻井音斗、塚本江里子、野口綾子	小学生~大人		6	
12/2	としま区民セン ター 小ホール	チーズを探せ!くいしんぼう ネスミ!	澤田知世、古橋果林	19~35か月 6~18か月 3~4歳		8	
		はじめましてクラシック ~弦楽四重奏~	坂本夏樹、岸本萌乃加、林周雅、 長田健志、山崎太陽	6~35か月 3~6歳(未就学児)		23	
12/3	としま区民セン ター 小ホール	動物たんてい~かかっている のは、だあれだ?~	磯野恵美、桜井しおり	6~18か月 19~35か月 3~4歳		12	
		ミーゴのまほう	櫻井音斗、塚本江里子、平山佳奈	6~18か月		76	
	東京文化会館 小ホール	ミュージック・ピッコラ	澤田知世、野口綾子	3~4歳		35	
12/4	としま区民セン ター 小ホール	with My Baby マタニティ・ ワークショップ~リラックス &セッション編~	安音めぐみ、伊原小百合	妊娠中の方		22	
		東京文化会館 リハーサル室	ミュージック・ピッコラ [簡単な手話付き]	澤田知世、野口綾子		3歳~小学校低学年 [聴覚に障害のある方]	17
12/5	東京文化会館 小ホール	ワークショップ・コンサート アメリカン☆パーティー	櫻井音斗、桜井しおり、澤田知世、 古橋果林、尾上昌弘、高橋浩明	小学生~大人 (6か月~参加可)		14	
						計	743

※「アンサンブル喫茶へようこそ!~本日のメニュー:ペトーヴェン~」、「箏と一緒にコロリンシャン!」は65歳以上の方を事前募集にて無料招待。

⑤他館連携ワークショップ：東京文化会館ミュージック・ワークショップ in 武蔵野  
共同主催：公益財団法人武蔵野文化事業団

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	参加者(人)
9/25	武蔵野スイングホール	チーズを探せ！くいしんぼうネズミ！	澤田知世、古橋果林	6～18か月	500	40
				19～35か月		36
				3～4歳		30
9/26	武蔵野スイングホール	サーシャのひみつの贈りもの	桜井しおり、澤田知世	19～35か月		38
				3～4歳		26
				5～6歳(未就学児)		24
計						194

⑥他館連携ワークショップ：東京文化会館ミュージック・ワークショップ in 立川  
共同主催：公益財団法人立川市地域文化振興財団

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー、出演者	対象	料金(円)	参加者(人)
1/15	たましんRISURUホール 地下展示室	タネまき、タネまき、大きくなあれ！	高田有香子、吉澤延隆	19～35か月	300	24
				3～6歳(未就学児)		27
				小学生～大人		20
1/16	たましんRISURUホール 小ホール	ココとベベのわくわくカーニバル	櫻井音斗、古橋果林	6～18か月		22
				3～6歳(未就学児)		23
				6か月～6歳(未就学児)と保護者およびその家族		165
計						281

⑥他館連携ワークショップ：東京文化会館ミュージック・ワークショップ in 墨田  
共同主催：公益財団法人墨田区文化振興財団

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	参加者(人)
12/8	墨田区立第一寺島小学校	One Day セッション(墨田区小学校音楽研究会)	桜井しおり、野口綾子	墨田区小学校音楽教員	20
3/1	墨田区立押上小学校	One Day セッション(学校アウトリーチワークショップ)	桜井しおり、野口綾子、山橋司	小学3年生	98
計					118

⑦東京文化会館ミュージック・ワークショップ 配信プログラム

公開日	プログラム名	ワークショップ・リーダー、出演者
8/12	ミーゴのまほう 第1話「新聞紙のミーゴ」	櫻井音斗、塚本江里子、平山佳奈
8/16	ミーゴのまほう 第2話「水のミーゴ」	
8/20	ミーゴのまほう 第3話「箱のミーゴ」	
1/10	ワークショップ・コンサート紹介映像「ワークショップ・コンサート 海の仲間 の音楽会～ふしぎな宝箱のひみつ～」	磯野恵美、櫻井音斗、桜井しおり、野口綾子、吉澤延隆
3/15	ワークショップ・コンサート紹介映像「ワークショップ・コンサート パーバ ラの魔法のくすり～」	桜井しおり、澤田知世、野口綾子、林周雅、藤原耕
2/18	ワークショップ・コンサート紹介映像「ワークショップ・コンサート アメリ カ☆パーティー」	櫻井音斗、桜井しおり、澤田知世、古橋果林、尾上昌弘、高橋浩明

⑧東京文化会館ワークショップ・リーダーの研鑽

新型コロナウイルス感染拡大によるカーザ・ダ・ムジカ来日中止に伴い、7月および12月に実施予定だった社会包摂ワークショップおよびトレーニングは中止することとなった。

開催期間	会場	講師・内容	延べ参加者(人)
通年	東京文化会館、東京芸術劇場 ほか	カーザ・ダ・ムジカからのオンライン・トレーニングやオンライン・アドバイス ほか ジョルジュ・ブレンダス、 ジョアナ・アラウージョ、ブルーノ・エステイマ、ジョルジュ・ケイ イジョ、パウロ・ネート、アントニオ・ミゲル	1,431
7月、 12月	都内特別支援学校、高齢社施設、社会福祉施設 ほか	カーザ・ダ・ムジカによる社会包摂ワークショップおよびトレーニング	—
計			1,431

(2) コンビリアル・プロジェクト

プログラム1：実践（あらゆる人が芸術鑑賞活動や表現活動に参加し、交流できる機会の提供）

①特別支援学校プログラム：特別支援学校におけるオーケストラ公演

共催：東京オーケストラ事業協同組合

当初9/21に実施予定であったオーケストラ公演は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校側からの要請により、10/19に実施変更した。

開催日	会場	出演	対象	参加者(人)
5/24	東京都立城南特別支援学校	新日本フィルハーモニー交響楽団	小学2年生～高校3年生	120
10/19	東京都立八王子西特別支援学校	東京フィルハーモニー交響楽団	小学5、6年生 中学3年生	125
11/1	東京都立白鷺特別支援学校	日本フィルハーモニー交響楽団	中学1～2年生	148
12/14	東京都立水元小合学園	日本フィルハーモニー交響楽団	小学部、中学部	131
12/15	東京都立町田の丘学園 山崎校舎	東京フィルハーモニー交響楽団	小学部、中学部	238
12/21	東京都立城東特別支援学校	新日本フィルハーモニー交響楽団	小学部	184
2/8	東京都立調布特別支援学校	東京交響楽団	中学部	77
2/16	東京都立葛飾特別支援学校	東京交響楽団	高等部	182
計				1,205

②特別支援学校プログラム：特別支援学校におけるワークショップ

当初9/7に実施予定であったワークショップは新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、11/11に実施した。

また、1/21と2/17に実施予定であったワークショップは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校側からの要請により中止となった。

開催日	会場	プログラム	出演	対象	参加者(人)
6/1	東京都立志村学園（肢体不自由・知的障害）	One Dayセッション	坂本夏樹、桜井しおり、澤田知世	小学6年生	22
				中学2、高校3年生	18
6/29	東京都立大塚ろう学校城東分教室（聴覚障害）	ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	幼稚園部	18
				小学1～3年生	17
				小学4～6年生	14
10/4	国立筑波大学附属大塚特別支援学校（知的障害）	リズムカル・キッチン	野口綾子、古橋果林	中学部	29
10/22	東京都立町田の丘学園（肢体不自由）	ムジカ・ピッコラ	磯野恵美、櫻井音斗、野口綾子	小学部	44
				中学部、高等部	28
11/11	東京都立八王子西特別支援学校（知的障害）	はじめましてクラシック～ヴァイオリン&チェロ&ピアノ～	桜井しおり、加藤文枝、鍵富弦太郎、小澤佳永	小学1～2年生	57
				小学3年生	28
				小学4年生	34
11/15	私立愛育学園（知的障害）	旅するヨーロッパ	桜井しおり、野口綾子、古橋果林	小学部、中学部	38
12/21	新宿区立立川ろう学校城東分教室（聴覚障害）	ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	幼稚園部（年少）	15
				幼稚園部（年中、年長、重複）	15
12/22	東京都立北特別支援学校（病弱部門・訪問部門）	旅するヨーロッパ [リアルタイム配信併用]	桜井しおり、野口綾子、澤田知世	小学部、中学部、高等部	37
1/21	東京都立多摩町田の丘学園（知的障害）	筆と一緒にコロリンシャン！	坂本夏樹、吉澤延隆	中学部	—
2/15	東京都立七生特別支援学校（知的障害）	はじめましてクラシック～弦楽四重奏～	坂本夏樹、吉江美桜、尾張拓登、鈴木大樹、加藤文枝	中学1年生	25
				中学2年生	40
				中学3年生	34
2/17	東京都立羽村特別支援学校（知的障害）	リズムカル・キッチン	野口綾子、野呂紀之、新井達也、河野陽子、田中優幸、中村諒	中学部	—
計					513

③高齢者施設、社会福祉施設におけるワークショップ

当初5/22に実施予定であったワークショップは新型コロナウイルス感染症拡大に伴う実施団体側からの要請により、8/15に実施変更した。

開催日	実施団体	プログラム	出演	対象	参加者(人)
7/4	社会福祉法人足立邦栄会	One Dayセッション [リアルタイム配信]	坂本夏樹、野口綾子	高齢者・障害者施設入居者、デイサービス利用者等	130
8/15	特定非営利活動法人りんご村	One Dayセッション	澤田知世、古橋果林	台東区在住の障害者	12
12/11	特定非営利活動法人りんご村	One Dayセッション	澤田知世、古橋果林	台東区在住の障害者	21
2/12	社会福祉法人千代田区社会福祉協議会	ムジカ・ピッコラ	磯野恵美、桜井しおり、澤田知世	千代田区在住の小中学生～高齢者など多世代	17
					16
計					196

④東京文化会館 リラックス・パフォーマンス

特別協力：ゼンハイザージャパン株式会社、パイオニア株式会社、株式会社フルノシステムズ

開催日	会場	プログラム	出演者	料金(円)	参加者(人)
11/3	東京文化会館 小ホール	エルガー (阿部海太郎編曲)：愛の挨拶 Op.12 吉松隆：アトム・ハーツ・クラブ・カルテット Op.70より 第1・4楽章 ドビュッシー：『ベルガマスク組曲』より 第3曲『月の光』 ドヴォルザーク：ピアノ五重奏曲第2番 イ長調 Op.81より 第3・4楽章 ほか	ピアノ：小林海都 弦楽四重奏：HONOカルテット ヴァイオリン：岸本萌乃加 ヴァイオリン：林周雅 ヴィオラ：長田健志 チェロ：鷺江慶行 ナビゲーター：桜井しおり	1,100	371

⑤共遊楽器プロジェクト 東京文化会館ミュージック・ワークショップ

協力：株式会社シーマ、モンブラン・ピクチャーズ株式会社、神戸芸術工科大学

共同企画：金箱淳一

開催日	会場	プログラム	出演者	対象	料金(円)	参加者(人)
9/5	東京文化会館 小ホール	東京文化会館ミュージック・ワークショップ「ヒカリズム～音と光で描くリズムの世界」	ワークショップ・リーダー：伊原小百合、桜井しおり、澤田知世、野口綾子、古橋果林 共遊楽器システム設計：操作：金箱淳一、猪口大樹、吉田真也	(1) 小学生～大人 (2) 小学生～大人 [聴覚に障害のある方と同伴者] (3) 文化施設関係者	(1) 無料 (2) 550 (3) 無料	33

プログラム2：育成

①社会包摂につながるアート活動のためのレクチャー&トレーニング

協力：公益社団法人全国公立文化施設協会 (5/29、6/15、1/28)

社会福祉法人足立邦栄会 (6/15)

ゼンハイザージャパン株式会社、パイオニア株式会社、株式会社フルノシステムズ (11/3)

開催日	会場	プログラム名	対象	講師、登壇者など	料金(円)	参加者(人)
5/29	オンライン (Zoom)	公開レクチャー&ディスカッション 第1回「ろう者と考える音空間——音楽体験のアクセシビリティ」	音楽関係者、アーティスト、自治体・文化行政関係者、教育・社会福祉関係者、学生、研究者など	登壇者：Sasa/Marie、河合メアリ モデレーター：柿塚拓真 (神戸市民文化振興財団事業部演奏課 演奏担当課長) 手話通訳：伊藤妙子、加藤裕子、瀬戸口裕子、吉田亜紀	無料 (事前申込)	166
6/15	オンライン (Zoom)	公開レクチャー&ディスカッション 第2回「音楽と認知症ケア」	音楽関係者、アーティスト、自治体・文化行政関係者、教育・社会福祉関係者、学生、研究者など	登壇者：原真理子 (インランドノルウェー応用科学大学 研究員)、野崎建治郎 (社会福祉法人足立邦栄会 足立ブロック事務長) モデレーター：中村美亜 (九州大学大学院芸術工学研究院 准教授)	無料 (事前申込)	112
8/18	東京芸術劇場 リーサル室	音楽家のためのプロフェッショナル・トレーニング#1 対話型音楽鑑賞——参加者の《聴く》を深めるための対話術	オーケストラ楽団員、プロの音楽家、ワークショップ・リーダー、音楽ファシリテーターなどすでにプロフェッショナルとして活動の場を持っている方	講師：三ツ木紀英 (アート・プランナー、NPO法人芸術資源開発機構代表理事)、森文子 (公益財団法人川崎市文化財団 ミューザ川崎シンフォニーホール)	1,100	9
8/19						13
10/8	オンライン (Zoom)	関東甲信越地区視覚障害教育研究会音楽部会における事例紹介と意見交換	視覚障害教育を専門とする教員	桜井しおり、野口綾子 (東京文化会館ワークショップ・リーダー)	無料 (事前申込)	13
11/3	東京文化会館 小ホール	制作者のための音楽鑑賞サポート体験会——開かれた公演づくりにむけて	公演制作担当者、文化施設・団体職員、自治体職員など		無料 (事前申込)	28
11/19	東京芸術劇場 シンフォニースペース	音楽家のためのプロフェッショナル・トレーニング#2 楽譜のない音楽創作——多様な人との物語づくり	オーケストラ楽団員、プロの音楽家、音楽ワークショップ・リーダー、音楽ファシリテーターなどすでにプロフェッショナルとして活動の場を持っている方	講師：棚川寛子 (舞台音楽家)	1,100	9
11/25						11
1/28	オンライン (Zoom)	東京文化会館60周年オンラインフォーラム「より開かれた文化施設を目指して——地域、多様性、コロナ禍」		登壇者：バーバラ・ゲスラー (欧州連合・欧州委員会 クリエイティブ・ヨーロッパ部長)、シリアン・バーカー (英国ロイヤル・オペラ・ハウス ラーニング&パーティシパレーション部長)、ジョルジュ・ブレンダス (カーザ・ダ・ムジカ エデュケーション部長)、梶奈生子 (東京文化会館 事業企画課長) モデレーター：湯浅真奈美 (ブリティッシュ・カウンシル 東アジア地域 アーツ部門ディレクター)	無料 (事前申込)	411
計						772

プログラム3：検証・発信

①高齢者向け音楽ワークショップの検証

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、検証実施における参加者の安全が十分に確保できないと判断し、本年度は実施を見合わせた。

②鑑賞サポートサービスの検討と充実

スマートフォンやタブレット端末を活用した補聴システムの試験導入を行い、聴覚障害者にモニタリングを実施した。

特別協力：ゼンハイザージャパン株式会社、株式会社フルノシステムズ

開催日	会場	プログラム	導入サービス	対象	参加者(人)
11/3	東京文化会館 小ホール	東京文化会館 リラックス・パフォーマンス	手持ちのスマートフォンと無線LANを使用する音声配信システム「モバイルコネクト」と聴覚特性にあわせ音量音質を調整するアプリ	首都圏近郊に在住の聴覚障害者で、Tモード対応可能な補聴器または人工内耳利用者	9

③発信力の強化

開催日	プログラム	内容
通年	東京文化会館 リラックス・パフォーマンス	2020(令和2)年、2021(令和3)年に実施した東京文化会館 リラックス・パフォーマンスの公演映像を東京文化会館チャンネルにてアーカイブ配信
3/7	香港芸術祭	香港芸術祭において東京文化会館における社会包摂事業やリラックス・パフォーマンスについて発表し、ザルツブルク音楽祭、スコティッシュバレエ団、香港芸術祭代表者とオープンディスカッションを行った。
3/25~通年	東京文化会館60周年オンラインフォーラム「より開かれた文化施設を目指して―地域、多様性、コロナ禍」	1/28(金)に実施した東京文化会館60周年オンラインフォーラム「より開かれた文化施設を目指して―地域、多様性、コロナ禍」の実施報告書を日本語、英語でそれぞれ作成し、公開した。また公開に伴い、都政新報と文化関係者向け国際専門誌(購読者数1万人)に実施レポートを掲載した。

(3) 東京ネットワーク計画

プログラム1：都内文化施設と連携したアウトリーチ事業

共催：西東京市保谷こもれびホール指定管理者(11/14)

共同主催：公益財団法人としま未来文化財団/豊島区(12/5)

開催日	会場	公演名	対象	出演者	料金(円)	入場者(人)
11/14	西東京市保谷こもれびホール 小ホール	子どものためのワークショップ ~クラリネット編~	4歳~小学校低学年のお子様とその保護者	クラリネット：亀居優斗、瀧本千晶、有馬理絵、原浩介	無料(事前申込)	99
12/5	Hareza池袋 としま区民センター8F 多目的ホール	Hareza池袋 ワンコインコンサートーピアノで航(わたる) 音楽紀行ー	一般/未就学児不可	ピアノ：黒岩航紀	無料	97
計						196

プログラム2：都内文化施設と連携した若手アーティスト支援事業

開催日	会場	プログラム	対象	講師	料金(円)	参加者(人)
12/13	オンライン	若手音楽家活動支援セミナー「アーティストのお仕事って・・・演奏するだけではない？」	プロの若手音楽家、音楽家としてプロフェッショナルなキャリア形成を考えている若手音楽家、音大生など	講師：入山功一 聞き手：田中玲子	無料(事前申込)	42
計						42

プログラム3：成果発表

「4館連携若手アーティスト支援 アフタヌーン・コンサート」

連携：公益財団法人サントリー芸術財団 サントリーホール／

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場／認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク

開催日	会場	出演者	プログラム	料金 (円)	入場者 (人)
2/27	東京文化会館 小ホール	【サントリーホール室内楽アカデミー】 カルテット・リ・ナーダ ヴァイオリン：前田妃奈、福田麻子 ヴィオラ：太田滉平 チェロ：菅井瑛斗 【トリトンアーツ アウトリーチセミナー】 ヴァイオリン：鈴木由美、山本有莉 ヴィオラ：大森悠貴 チェロ：和泉景子 【芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド】 ユーフォニアム：佐藤悠光、川野聡子 チューバ：柳瀬陸／島圭佑 【サントリーホール オペラ・アカデミー】 ソプラノ：迫田美帆 テノール：石井基幾 ピアノ：古藤田みゆき (助演／コーチング・ファカルティ) 【東京文化会館】 フルート：瀧本実里 ピアノ：五十嵐薫子	ハイドン：弦楽四重奏曲第67番 二長調 Op.64-5 Hob.III:63「ひばり」 コルンゴルト：弦楽四重奏曲第2番 変ホ長 調 Op.26より モーツァルト(アルフレッド・ファブリツィ オ編曲)：オペラ『フィガロの結婚』序曲 K.492 J.S.バッハ(スキップ・グレイ編曲)：小フー ガト短調 BWV578 ワーグナー(ゲイル・ロバートソン編曲)： オペラ『ローエングリン』より「エルザの 大聖堂への行列」 クレスポ：3つのミロンガより 第1楽章「ト ロイリアーナ」 プッチーニ：オペラ『ラ・ボエーム』第1 幕より ブーランク：フルート・ソナタ FP164 ブーランク：ヴァラネル FP74 フォーレ：子守唄 Op.16	指定： 1,650	515
計					515

3. Music Education Program

(1) Talk & Lesson

開催日	会場	プログラム	出演者・講師	料金 (円)	入場者 (人)
6/1	東京文化会館 小ホール	ワークショップ「カイヤ・サーリアホが描く音風景」	カイヤ・サーリアホ (作曲家) ほか	S席：2,200 A席：1,650 25歳以下： 1,100	127
計					127

(2) オペラをつくろう！

開催日	会場	プログラム	対象	料金 (円)	参加者 (人)	延べ参加者 (人)
8/15~9/19	東京文化会館 ほか	オペラの登場人物になる！ 《合唱・演技・合奏》	小学生~高校生	2,200	10	210
9/16、17 (ゲネプロ鑑賞)						23
11/21 (公演映像鑑賞)						19
8/9、10	くにたち市民芸術小ホール	オペラに登場するものづくり！《工作》	小学生	550	47	47
9/16 (ゲネプロ鑑賞)	東京文化会館					45
8/15~9/19	くにたち市民芸術小ホール	舞台を学ぶ 《演出・舞台監督・衣裳・照明・制作》	18~25歳	2,200	3	75
9/16、17 (ゲネプロ鑑賞)						4
11/21 (公演映像鑑賞)						東京文化会館 ほか
計						425

(3) アウトリーチ・コンサート

10/11、2/8に実施予定であったアウトリーチ・コンサートは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校・幼稚園からの要請により中止することとなった。

開催日	学校名	曲目	編成・出演代表者	参加者 (人)*
5/21	あきる野市立西秋留小学校	ヘンデル：『水上の音楽』より「アラ・ホンパイプ」 ほか	金管五重奏：東川暁洋 (トロンボーン) ほか	154
5/24	東村山市立秋津小学校	モーツァルト：『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』より第1楽章 ほか	弦楽四重奏：前田妃奈 (ヴァイオリン) ほか	230
5/27	学校法人祥鳳学園 西荻まこと幼稚園	サン＝サーンス：『動物の謝肉祭』より「象」 ほか	トロンボーン&ピアノ：井上康一 (トロンボーン) ほか	101
6/4	学校法人聖心学園 サンタ・セシリア幼稚園	モーツァルト：オペラ『魔笛』より「私は鳥刺し」「パパゲーノのアリア」ほか	フルート二重奏：伊藤優里 (フルート) ほか	99
6/9	学校法人しらふじ学園 白ふじ幼稚園	久石譲：映画『となりのトトロ』より「さんぽ」ほか	フルート二重奏：伊藤優里 (フルート) ほか	106
6/14	荒川区立 南千住第二幼稚園	モーツァルト：ピアノ・ソナタ第11番 イ長調 (トルコ行進曲付き) ほか	フルート&ピアノ：瀧本実里 (フルート) ほか	62
6/17	八王子市立由木西小学校	アンダーソン：舞踏会の美女 ほか	木管五重奏：副田真之介 (オーボエ) ほか	82
6/21	台東区立金竜小学校	G.ガブリエリ：ソナタ第13番 ほか	金管五重奏：野呂紀之 (トランペット) ほか	437
10/11	八王子市立恩方第一小学校		金管五重奏	-

開催日	学校名	曲目	編成・出演代表者	参加者(人)*
10/12	台東区立千束小学校	ショスタコーヴィチ：5つの小品より第3、4、5曲 ほか	クラリネット・ヴァイオリン・ピアノ三重奏：コハーン・イシュトヴァーン（クラリネット）ほか	124
10/14	小平市立小平第八小学校	ミヨー：クラリネット、ヴァイオリンとピアノのための組曲Op.157b ほか	クラリネット・ヴァイオリン・ピアノ三重奏：コハーン・イシュトヴァーン（クラリネット）ほか	159
10/15	東村山市立南台小学校	エルガー：愛の挨拶 ほか	ピアノ三重奏：加藤文枝（チェロ）ほか	127
10/18	荒川区立第九峡田小学校	チャイコフスキー：木管五重奏とお話による「くるみ割り人形」ほか	木管五重奏：梶川真歩（フルート）ほか	216
10/22	江戸川区立小松川第三中学校	リ・バーンスタイン：『ウエスト・サイド・ストーリー』より「マリア」「トゥナイト」「アメリカ」ほか	金管五重奏：東川暁洋（トロンボーン）ほか	274
10/28	台東区立根岸小学校	クライスラー：愛の喜び ほか	ピアノ&ヴァイオリン：深貝理紗子（ピアノ）ほか	178
10/29	台東区立東泉小学校	ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」より第4楽章 ほか	弦楽四重奏：前田妃奈（ヴァイオリン）ほか	312
11/2	青梅市立若草小学校	アンダーソン：プリंक、プランク、ブルック ほか	弦楽四重奏：岸本萌乃加（ヴァイオリン）ほか	84
11/12	杉並区立杉並第六小学校	ハイドン：弦楽四重奏曲第77番「皇帝」より第2楽章 ほか	弦楽四重奏：鈴木大樹（ヴィオラ）ほか	117
11/26	台東区立金曾木小学校	ヘンデル：『水上の音楽』より「アラ・ホンパイプ」ほか	金管五重奏：東川暁洋（トロンボーン）ほか	175
11/29	新宿区立西新宿小学校	オーティス・レディング：アイ・キャント・ターン・ユー・ルース ほか	金管五重奏：若林 毅（チューバ）ほか	99
12/3	練馬区立光和小学校	ベートーヴェン：クラリネット三重奏曲より第3楽章 ほか	クラリネット・チェロ・ピアノ三重奏：コハーン・イシュトヴァーン（クラリネット）ほか	150
12/8	八王子市立館小学校	モンティ：チャールダーシュ ほか	ピアノ&ヴァイオリン：深貝理紗子（ピアノ）ほか	55
12/17	江戸川区立新堀小学校	イベール：3つの小品より第1楽章 ほか	木管五重奏：鈴木一成（ファゴット）ほか	275
1/12	江東区立つばめ幼稚園	ヴェルディ：オペラ「アイダ」より「凱旋行進曲」ほか	トランペット&ピアノ：多田将太郎（トランペット）ほか	60
1/18	港区立芝小学校	日本の歌メドレー（ふるさと、花、夏の思い出、小さい秋みつけた、冬景色）ほか	ソプラノ&バス：中江早希（ソプラノ）ほか	63
2/8	千代田区立千代田幼稚園		フルート&ピアノ：瀧本実里（フルート）ほか	-
2/9	足立区立足立入谷小学校	デュカス（副田真之介編曲）：交響詩「魔法使いの弟子」（語り付）ほか	オーボエ・ファゴット・ピアノ三重奏：副田真之介（オーボエ）ほか	19
計				3,758

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校・園または市区町村からの要請により中止。

(4) アウトリーチ・ワークショップ（クリニック）

1/25、1/27実施を予定していたワークショップは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校からの要請により中止することとなった。

開催日	学校名	プログラム	指導者	参加者(人)
12/2	大田区立萩中小学校	(演奏体験) さくらさくら (講師演奏) 沢井忠夫編曲《さくら さくら》	箏：吉澤延隆、金子展寛	93
12/4、6、14、1/6、7、15、3/8、12、15、26、29	足立区立第一中学校	演奏指導 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、合奏参加はなし)	クラリネット：亀居優斗 サクソ：野口紗矢香 ホルン：小田原瑞輝 チューバ：若林毅 打楽器：神戸光徳	44
12/20、2/1、15、3/3、10	目黒区立第一中学校	演奏指導 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、合奏参加はなし)	クラリネット：亀居優斗 トランペット：多田将太郎 打楽器：鈴木英宣	29
計				166

(5) アウトリーチ・ワークショップ（ミュージック・ワークショップ）

1/28、2/9に実施予定だったワークショップは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校、幼稚園または市区町村の要請により中止および回数を削減して実施することとなった。

開催日	学校名	プログラム	出演者	参加者(人)
6/2	葛飾区立北住吉幼稚園	咲かせよう！音楽の花	安音めぐみ、渡辺明子、Sunny	11
				22
6/8	春光幼稚園	サーシャのひみつの贈りもの	桜井しおり、澤田知世	32
				32
6/14	豊島区立池袋幼稚園	ミーゴのまほう	櫻井音斗、塚本江里子、平山佳奈	14
				15
6/16	日本大学幼稚園	はじめましてクラシック～トランペット三重奏～	塚本江里子、多田将太郎、川村大、森村香子、栗根祐人	95
				90

開催日	学校名	プログラム	出演者	参加者(人)
6/18	台東区立竹町幼稚園	チーズを探せ！くいしんぼうネズミ！	澤田知世、古橋果林	15
				22
				25
6/21	文京区立後楽幼稚園			29
				22
6/25	墨田区立言問小学校	One Day セッション	坂本夏樹、澤田知世	31
				34
				38
7/2	八王子市立片倉台小学校	ムジカ・ピッコラ	澤田知世、古橋果林	24
				25
				43
				31
7/5	八王子市立上柚木小学校	ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	28
				24
				25
7/8	千代田区立いずみこども園	音のアトリエ	坂本夏樹、櫻井音斗	21
				20
7/12	台東区立台桜幼稚園	タネまき、タネまき、大きくなあれ！	高田有香子、吉澤延隆	17
				12
				30
10/6	北区立十条台小学校	One Day コーラス	磯野恵美、野口綾子、古橋果林	37
				24
				29
10/12	荒川区立赤土小学校	ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	28
				27
				30
10/14	世田谷区立太子堂小学校	One Day セッション	安音めぐみ、櫻井音斗、野口綾子	30
				30
				25
10/19	千代田区立お茶の水幼稚園	ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	15
10/22	江東区立第五砂町幼稚園	サーシャのひみつの贈りもの	桜井しおり、澤田知世	24
				23
10/25	東京音楽芸術学園高等部	One Day コーラス	磯野恵美、野口綾子、古橋果林	8
10/26	練馬区立富士見台小学校	リズムカル・キッチン	磯野恵美、野口綾子	34
				33
				33
10/28	文京区立千駄木幼稚園	サーシャのひみつの贈りもの	桜井しおり、澤田知世	24
				26
				18
11/1	江東区立ちどり幼稚園	ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	37
				24
				21
11/4	荒川区立尾久幼稚園	ココとベベのわくわくカーニバル	櫻井音斗、古橋果林	16
11/9	台東区立台東幼稚園	あけてみよう！海のふしぎな宝箱	桜井しおり、野口綾子	18
				16
				16
11/11	羽村市立松林小学校	GO！ワイルド！	櫻井音斗、野口綾子	38
				42
				18
11/16	大森学園高等学校	リズムカル・キッチン	坂本夏樹、澤田知世	27
11/22	目黒区立みどりがおかこども園	とびだせ！おんがくたんけん隊	桜井しおり、野口綾子	20
				31
				31
11/26	江戸川区立篠崎第二小学校	サーシャのひみつの贈りもの	桜井しおり、澤田知世、ヴィタリ・ユシュマノフ	47
				49
				31
				26
12/10	多摩市立青陵中学校 (特別支援学級)	ムジカ・ピッコラ	磯野恵美、桜井しおり	27
12/16	葛飾区立水元幼稚園			27
12/17	杉並区立下高井戸こども園	音のアトリエ	坂本夏樹、櫻井音斗	35
				17
12/20	文京区立本駒込幼稚園	チーズを探せ！くいしんぼうネズミ！	澤田知世、古橋果林	23
				24
				19
12/23	墨田区立曳舟幼稚園	はじめましてクラシック ～金管五重奏～	野口綾子、野呂紀之、星野朱音、鈴木希恵、新井達也、福本恵子	12
				26
				27
1/12	台東区立東上野保育園	音のアトリエ	坂本夏樹、櫻井音斗	34
1/25	港区立高輪台小学校	リズムカル・キッチン	澤田知世、野口綾子	31
				36
				36

開催日	学校名	プログラム	出演者	参加者(人)
1/27	日の出町立大久野中学校	箏と一緒にコロリンシャン!	坂本夏樹、吉澤延隆	44
				46
				43
1/28	日の出町立大久野小学校	ムジカ・ピッコラ	澤田知世、野口綾子	—
2/4	足立区立綾瀬小学校	リズムカル・キッチン	磯野恵美、野口綾子	37
				23
				20
				0
2/9	台東区立松が谷保育園	旅するヨーロッパ Vol.3	伊原小百合、野口綾子	—
2/22	聖母幼稚園	咲かせよう!音楽の花	安音めぐみ、渡辺明子、Sunny	26
				35
2/26	あ〜とん塾	音のアトリエ [簡単な手話付き]	坂本夏樹、櫻井音斗	5
計				2,377

## 【参加者の声】

(シアター・デビュー・プログラム 平常×宮田大『Hamlet ハムレット』)

- ・素晴らしい舞台で、親子で楽しみました。声音がいろいろ違うことや、ハムレットの人形の動かし方が本当に細やかで素晴らしかったです。チェロの演奏も素晴らしく、コンサートとお芝居と2回分楽しんだような舞台でした。今回のきっかけは、中3の子の招待チケットが当選したことだったのですが、そうでなければ観ていなかった舞台と思うので、招待企画に感謝します。

(シアター・デビュー・プログラム 虫めづる姫君)

- ・企画がとても豊かで良い。各地で再演してほしい。
- ・素晴らしく素敵な舞台、演奏でした!舞台、演者はもちろん、演奏家の衣装も可愛らしく、何もかも大切につくられていることにも感じ入りました。Music Program TOKYO、初めて知りました。たった2日間、2回だけとは、ほんとうに残念です

(プラチナ・シリーズ)

- ・最高の時間をありがとうございます!世界最高峰のマエストロの演奏を、この価格で聴いて良かったのでしょうか。
- ・日本の宝とも言える先生方の演奏を日本で安価で聴けるとは本当に素晴らしい時間をありがとうございました。

(シャイニング・シリーズ)

- ・チェンバーオーケストラは初めてでしたが素晴らしかった!小ホール音楽環境がやはりとても良い響きが良く大ホールとは違った良さがあり大好きです。
- ・こんな素晴らしいベートーヴェンは生まれて初めてでした。一生忘れないコンサートになりました。小編成とは思えない音の厚さがあり、grooveが凄まじかった。定期公演を望みます。
- ・服部百音さんの生演奏を初めて聴きましたが、期待通りの素晴らしい演奏でした。テクニックだけでなく、音の表現が豊かでこのリサイタルをこのホールで聴けたことが思い出になります。
- ・オーケストラとの公演とは違い、とても近い距離で聴くことができ、演奏時のオーラまで感じる事が出来感激しました。音色はもちろん、技巧の素晴らしさを耳と目でめいっぱい感じる事が出来ました。

(3歳からの楽しいクラシック)

- ・未就学児対象のコンサートがなかなかないので参加できて良かったです。選曲もすごく良かったです。
- ・何回も来ていますが、今までで2回目の満席鑑賞でした。本当に久しぶりの満席に緊張しましたが、アンコールのハウルを聞いて、またこうして元に戻れたらいいな、音が出るように人と人とも交流できて、すてきなメロディを日々かなでられたらいいな、と涙が出ました。

(東京文化会館ミュージック・ワークショップ)

- ・色々な楽器の本物の音を聴き、身体を動かしてリズムを取ってステージの中の世界に入り込む…想像力も育てるとても貴重な体験になりました。
- ・息子の劇場デビューでした。昨日までできなかった拍手、生まれて初めての拍手をコンサートで披露しました!感動しました。
- ・私は78才!!まるで少女になったような気持ちになり、歌ったり体を動かしたり楽しく、しかも舞台上で主人公みたい!

(東京文化会館リラックス・パフォーマンス)

- ・息子は障害があり、車椅子を使用しているのでなかなかコンサートに連れて行くことができなかったのですが、今回は家族一緒に来ることができ、本当に良かったです。息子は感動して涙を流していました。またこのような機会がありましたらぜひ来たいです。
- ・観客の多くがリラックスし、楽しんで鑑賞していました。曲目、レパートリーに工夫があり、あきないで楽しめる

した。障害のある人も健常者も楽しめるコンサートは今迄に経験がなかったので、とてもよい企画だと思います。  
(東京文化会館60周年オンライン・フォーラム)

- ・日本以外の国の具体的な最新事例が聞ける機会は少なく、大変有意義。東京文化会館のネットワークあってこそかと思う。
- ・可能であれば是非シリーズ化してほしい。そもそもの情報の少なさや、国外事例を学ぶ機会が限定されていることは、国内文化セクターの課題の一つ。
- ・Thank you for this most informative panel and for the contribution of all panelists. It was a wonderful and inspirational experience and also a hopeful one - seeing that we all are meeting the same challenges together. Thank you!

(社会包摂につながるアート活動のためのレクチャー&トレーニング 公開レクチャー&ディスカッション)

- ・障害のある方の積極的な意見はとても重要なのもちろんだが、障害というものの多様性も忘れてはいけないと感じた。自分が今まで良くも悪くも特別視していたことに気づかされた。
- ・認知症になっても、音楽やアートを通してよりよく生きることができるのだと改めて勉強になった。
- ・今後も、社会課題をアートの視点で解決していくことを学んでいきたいと思う。
- ・オンラインでのレクチャーには苦手意識があったが、大変参加しやすかった。登壇者以外のビデオ・マイクを主催側でオフ設定にしていたり、丁寧な司会進行、そして視聴者からは別途質問を集めるURLを用意して後でまとめて紹介するなど、非常に行き届いていた。ストレスなくついていくことができた。
- ・鑑賞サポートの導入には関心がありつつも、方法がわからなかったり情報が限られていたため、今回とてもありがたかった。アクセシビリティに関する研修や勉強会、意見交換などを定期的にしていただきたい。

(アウトリーチ・ワークショップ)

- ・普段あまり意思表示をしない生徒が熱心に手拍子をしていたり、おとなしい生徒が積極的に前に出て行ったり、素直に「やりたい!」という気持ちを引き出していただき、素敵な会となりました。
- ・ホールに入ると音が鳴っていて雰囲気がいつもと全然違ったので、はじめは子どもたちも緊張した様子でしたが、子どもたちが参加できるところがたくさんあったので、とても楽しんでやっていました。

## 20

## 上野「文化の杜」新構想

## 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年9月1日（水）～令和4（2022）年3月31日（木）
会場	上野恩賜公園および周辺文化施設
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、 上野文化の杜新構想実行委員会

## 【事業趣旨（目的）】

平成25（2013）年12月に、上野「文化の杜」新構想推進会議が発足した。

同会議では、年間3,000万人の集客を可能とするために必要なハード・ソフト両面にわたる整備方策が検討され、平成27（2015）年7月に、令和2（2020）年に向けた国際発信戦略として、上野「文化の杜」新構想が取りまとめられた。

博物館、美術館、音楽ホールや動物園等の関係機関による実行委員会を中心とした推進体制の下、上野公園周辺を舞台に、「文化の杜」として各機関・団体が相互に連携・協力し、文化芸術発信力を高める活動を展開。

## 【実施状況】

令和3（2021）年度は、令和4（2022）年度以降の実行委員会の自立的運営につなげるためのリ・ブランディングを目的に、実行委員会加盟施設・団体を中心としたPR映像の制作および発信を行った。

※紹介施設・団体（順不同・敬称略）：

東京国立博物館、国立西洋美術館、国立科学博物館、東京文化会館、東京都美術館、上野動物園、上野の森美術館、東京藝術大学、奏楽堂、上野学園大学、京成電鉄、JR東日本、東京メトロ

# 21

## 六本木アートナイト2021

### 【事業概要】

- 主催** 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21\_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】
- 助成** 令和3年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業

### 【事業趣旨（目的）】

様々な文化施設や商業施設が集積する六本木のまちを舞台に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させ、非日常的な体験を創出することで、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案するとともに、アートとまちが一体化することにより、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市におけるまちづくりの先駆的なモデルを創出することを目的に実施する「アートの饗宴」。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、六本木アートナイト2021は中止とした。（通年事業や広報・PR配信等は実施。）

#### 通年事業

開催日	プログラム名	開催場所	参加者数(人) / 視聴数(回)
10/4~ 11/21	大学連携プログラム 六本木アートナイト2021×慶應義塾大学アート・センター「都市のカルチュラル・ナラティブ」プロジェクト 共同プログラム「アートナイトを語る—六本木再描画：Chit Chat Mapping」	慶應義塾ミュージアム・commons、芝区民協同スペース、オンラインほか	26
3/19~ 21	プログラム①「アートナイトTALK～鑑賞のいろいろ～」	オンライン（六本木アートナイト公式YouTubeチャンネル）	80
	プログラム②「言葉でたのしむオンライン鑑賞会」（昼の部/夜の部）	オンライン（Zoom）	17
	プログラム③「手話と身体でたのしむオンライン鑑賞会」	オンライン（Zoom）	9

#### 広報・PR配信（「六本木アートナイト・デジタル【RAN TV】」）

開催日	内容	開催場所	視聴数(回)
5/19	参加者：長塚健斗（『WONK』ヴォーカル） MC：三原勇希（タレント、ラジオDJ）	オンライン ・六本木アートナイト公式YouTubeチャンネル ・六本木アートナイト公式Instagram ・長塚健斗Instagram	917
7/15	参加者：JART（福徳秀介、後藤淳平、倉本美津留） MC：三原勇希（タレント、ラジオDJ）	オンライン ・六本木アートナイト公式YouTubeチャンネル ・六本木アートナイト公式Instagram	368
7/20	参加者：シトウレイ（ストリートスタイルフォトグラファー ジャーナリスト）、村上要（『FWD JAPAN』編集長） ファシリテーター：松島義尚（六本木アートナイトPR担当 責任者）	オンライン ・六本木アートナイト公式YouTubeチャンネル ・六本木アートナイト公式Instagram ・シトウレイInstagram ・村上要Instagram	2,812

### 中止プログラム

開催日	プログラム名	開催場所
3/18~ 21	六本木アートナイト2021	六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

### 【参加者の声】

#### 【大学連携プログラム】

- ・現代アートにこれまで全く触れてこなかったので、このプログラムが初めて接触する体験となり、レクチャーを通じて現代アートという新しい世界への扉が開いたと思う。
- ・美術館・アートイベントの裏側を知ることができ、また一つの街のアートについてじっくり考える機会も初めてだったため、非常に勉強になり、有意義な時間を過ごすことができました。

#### 【インクルーシブ・アートプログラム】

- ・視覚に障害がある方との対話の中で、自分にはない感覚を感じさせていただけましたが、とても貴重な経験となりました。ありがとう御座いました。

# 22

## 第14回恵比寿映像祭

### 【事業概要】

テーマ	スペクタクル後
開催期間	令和4（2022）年2月4日（金）～20日（日）[15日間／7日（月）、14日（月）休館]
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館・アーツカウンシル東京、日本経済新聞社
共催	サッポロ不動産開発株式会社、公益財団法人日仏会館
後援	株式会社TBSホールディングス、J-WAVE 81.3FM
協賛	サッポロビール株式会社、東京都写真美術館支援会員
入場者数	47,114人（地域連携プログラムおよびオンライン参加を含む）

### 【事業趣旨（目的）】

映像分野における創造活動の活性化と、映像表現ジャンルを横断した芸術性の高い作品を紹介することを目的として、映像とアートのフェスティバルを開催する。国内外の美術館やフェスティバル、関係機関および恵比寿地域の諸施設との連携を深めながら、映像文化の拠点として多彩な事業を推進し、映像表現、視覚芸術の多様性を恵比寿・東京都写真美術館と周辺地域から発信する。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、規模の縮小とともに全体構成を一新し、3階展示室を有料とし、ゲスト・キュレーター小原真史氏の博覧会資料と写真美術館のコレクションによる写真映像史を考察する企画に加え、テーマに沿った現代作家の作品群、2階、地下1階展示室を現代作品のインスタレーションやライブ・パフォーマンス空間とする、展示構成を実施した。東京都写真美術館における上映、シンポジウム、ライブ・イベント、YEBIZO MEETS地域連携プログラムに加え、映像作家・遠藤麻衣子氏によるオンライン映画、アーティストの声を伝えるオンラインのラウンジトークやシンポジウム、新たに加わったYEBIZO MEETS教育普及プログラムの数々により、ポスト・パンデミック時代と向き合うオンラインプログラムが充実した企画を実現した。

「スペクタクル後」のテーマ設定のもと、多様な作品・プログラムを紹介した。

出品点数：計 62点 [内訳：展示18点、上映10プログラム 38点、ライブ・イベント4点、オンライン映画1点、オフサイト展示1点]

※3F展示「スペクタクルの博覧会」（小原氏コレクション 568点、写真美術館所蔵作品 86点）は1点とする。  
参加作家・ゲスト数：57組64人（18の国と地域）

#### ●展示

開催日	会場	出品作家	料金（円）	入場者（人）
2/4～20	東京都写真美術館 3F、2F、2Fロビー、B1F展示室	小原真史による展示（ゲスト・キュレーター）／平瀬ミキ [日本]／リュミエール兄弟とリュミエール社 [フランス]／トーマス・エジソン [アメリカ]／石川亮 [日本]／ラウラ・リヴェラーニ&空音央 [イタリア/日本/アメリカ]／アマリア・ウルマン [アルゼンチン/アメリカ]／パンタグラフ [日本]／ひらのりょう [日本]／三田村光土里 [日本]／山谷佑介 [日本]／佐藤朋子 [日本]／藤幡正樹 [日本]／サムソン・ヤン [香港]／小田香 [日本]	3F展示室 500	4,455
			2F、B1F 展示室:無料	11,337

#### ●上映

開催日	会場	プログラム名	料金（円）	入場者（人）
2/4～20	東京都写真美術館 1Fホール	空音央&ラウラ・リヴェラーニ《アイヌ・ネノアン・アイヌ》— 新しい肖像画	前売:550 当日:1,100	2,310
		佐々木友輔《映画愛の現在》3部作		
		アマリア・ウルマン レクチャー・パフォーマンス集		
		石原海《重力の光》と過去短編集 — 天国と地獄のランドスケープ		
		C.W.ウィンター&アンダース・エドストローム《仕事と日（塩谷の谷間で）》		
		新進作家短編集 — 現実と夢の揺らぎを紡ぐもの		
		After the Spectacleなアニメーション — DigiCon6 ASIA		
		アニミスティック・アパラス①【メー・アーダードン・インカワニット+ジュリアン・ロス・セレクション】		
		アノーチャ・スウィチャーゴーンボン特集 — 《暗くなるまでには》— アニミスティック・アパラス②【メー・アーダードン・インカワニット+ジュリアン・ロス・セレクション】		
アノーチャ・スウィチャーゴーンボン特集 — 《ありふれた話》— アニミスティック・アパラス③【メー・アーダードン・インカワニット+ジュリアン・ロス・セレクション】				

●オフサイト展示

開催日	会場	プログラム名	料金 (円)	入場者 (人)
2/4~20	恵比寿ガーデン プレイスセン ター広場	WOW モーション・モダリティ / レイヤー	無料	16,700

●オンライン映画

開催日	会場	プログラム名	料金 (円)	入場者 (人)
2/4~20 視聴は 3/3まで	オンライン	遠藤麻衣子《空》・オンライン映画	無料	7,134
		遠藤麻衣子《空》・パフォーマンス (最終日ライブ配信)	1,500	45

●ラウンジトーク

開催日	会場	プログラム名	ゲスト	料金 (円)	入場者 (人)
2/4~20	オンライン	ラウンジトーク	三田村光土里 (展示出品作家) 小田香 (展示出品作家) 藤幡正樹 (展示出品作家) ラウラ・リヴェラーニ、空音央 (展示・上映出品作家) サムソン・ヤン (展示出品作家) 石川直樹 (地域連携プログラム出展作家)	無料	1,187

●ライブ・イベント

開催日	会場	プログラム名	料金 (円)	入場者 (人)
2/6、13	東京都写真美術館 2Fロビー	トヨダヒトシ 映像日記 / スライドショー	無料	308
2/19	東京都写真美術館 1Fホール	恵比寿ウサギニンゲン劇場 — usagingen 映像と音楽のライブパフォーマンス	前売： 1,500 当日： 1,800	

●シンポジウム

開催日	会場	プログラム名	料金 (円)	入場者 (人)
2/5	東京都写真美術館 1Fホール	A. スペクタクルの博覧会	無料	82
2/4~	オンライン	B. [日仏会館共催企画] スペクタクル後としての風景—浪江町の過去と未来の風景		283

●YEBIZO MEETS 教育普及プログラム

開催日	会場	プログラム名	料金 (円)	入場者 (人)
2/4~20	東京都写真美術館 1F	やさしい日本語による、じっくり見てみるガイド	無料	※1 9 19 6 ※2
		恵比寿映像祭を星占いでガイダンス		
	東京都写真美術館 1Fスタジオ	バンタグラフによるスペクタクルなワークショップ		
		東京都写真美術館ボランティアによるアニメーションオープンワークショップ		
	オンライン	映像祭を見て、聞いて、語る鑑賞ワークショップ インスタライブ・ワンポイントナイトツアー		

※1 星占いカード配布枚数 5,592 枚

※2 閲覧数 1,775 ビュー

●YEBIZO MEETS 地域連携プログラム

開催日	会場	参加施設	入場者 (人)
2/4~20	恵比寿地域文化 施設およびギャ ラリーなど (11 施設・オンライ ン含む)	公益財団法人日仏会館、MA2 Gallery/ArtSticker、Gallery工房親、MuCuL、NADiff a/p/a/r/t、MEM、AL/TRAUMARIS、Rocky Shore、アートフロントギャラリー、TheaterGuild、POETIC SCAPE	3,239

【参加者の声】

- ・ 展示内容が、映像技術が発展する以前なので、当時の伝え方、見せ方が斬新であり、新鮮に感じた。それ故、誤った伝わり方もされることもわかった。万博の歴史の内容が特に印象的。伝える側である自分も気をつけたいし、映像の持つインパクトも十分に理解できた。とても良い展示でした。ありがとうございました。
- ・ 映像というと映画やYouTubeのような動画などを思いうかべていましたが、完全に、アートとしての映像に新しい楽しみ方を覚えました。本でいう、小説と実用書のように、映像にもジャンルというか、そういった線引きがあるのかなと、他にもみてみたいです。
- ・ HP、チラシなどのビジュアルがカッコイイ。

# 23

## 芸術セレクション

### 【事業概要】

開催期間 令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月  
 会場 東京芸術劇場  
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場・アーツカウンシル東京、東京都  
 入場者・参加者数 8,225人

### 【事業趣旨（目的）】

若手の人材育成と国際・創造発信を目的として、東京芸術劇場のセレクションにより、若手を中心とした公演や海外の上質な作品を紹介する公演、企画性に富んだプロデュース公演等、様々な舞台芸術作品を上演する。

### 【開催状況】

公演日（回数）	会場	公演名・事業名	作・出演者等	料金（円）	入場者・参加者（人）
7/22～25（5）	東京芸術劇場 シアターイースト	芸術eyes番外編 vol.3『もしもし、こちら弱い派ーかそけき声を聴くためにー』	いいへんじ 『業をもらいにいく業（序章）』 作・演出：中島梓織 出演：飯尾朋花、小澤南穂子、遠藤雄斗、小見朋生、タナカエミ ウンゲツツイーファ 『Uber Boyz』 作・演出・出演：池田亮、金内健樹、金子鈴幸、黒澤多生、中澤陽、本橋龍 コトリ会議 『おみかんの明かり』 作・演出：山本正典 出演：牛嶋千佳、三ヶ日晩、原竹志、まえかつと	一般：2,800 高校生以下：1,000	767
9/1～5（7）	東京芸術劇場 シアターイースト	『カノン』	作：野田秀樹 演出：野上絹代 出演：中島広稀、さとうほなみ、名児耶ゆり、永島敏三、大村わたる、山本栄司、長南洸生、緒形敦、川原田樹、手代木花野、佐々木美奈、前原麻希、本多遼、湯川拓哉、小田龍哉、村田天翔、竹内蓮、田坂歩、木津誠之、家納ジュンコ、佐藤正宏、渡辺いつけい	一般：5,000 65歳以上：4,500 25歳以下：3,500 高校生以下：1,000	1,102
9/10～19 11/5～14 1/14～30	オンライン	『歌舞伎ひらき街めぐり～木ノ下裕一の古典で読み解く江戸⇨東京講座～』	第1回 両国と『三人吉三』～魂をしずめる場所～ 第2回 鐘ヶ淵と『隅田川物』～物語の生まれる場所～ 第3回 深川と『四谷怪談』～生と死がまざりあう場所～ 講師：木ノ下裕一 朗読：大石将弘 永井茉莉奈 作曲・演奏：やまみちやえ	1回分：1,000	3,447
10/30（1）	東京芸術劇場 コンサートホール	全国共同制作オペラシアターオペラ vol.15 團伊玖磨ノ歌劇『夕鶴』（新演出）	曲目：團伊玖磨ノ歌劇『夕鶴』全1幕（日本語上演 英語字幕付き） 指揮：辻博之 演出：岡田利規 出演：小林沙羅（ソプラノ）、与儀 巧（テノール）、寺田功治（バリトン）、三戸大久（バスバリトン）、世田谷ジュニア合唱団（指導：掛江みどり） ダンス：岡本優、工藤響子 管弦楽：ザ・オペラ・バンド	S席：10,000 A席：8,000 B席：6,000 C席：4,000 D席：3,000 E席：2,000 SS席：14,000 高校生以下：1,000	1,507
11/26（1）	東京芸術劇場	テーマ「障害のあるアーティストの舞台芸術～ロンドン、東京、そして未来」	講師：ジェニー・シーレイ、南村千里、栗栖良依	無料	110
1/8（1）	東京芸術劇場 コンサートホール	コンサートオペラ vol.8 ブランクノオペラ『人間の声』[演奏会形式（日本語字幕付原語上演）] ピゼーノ劇音楽『アルルの女』[演奏会形式（朗読付き日本語上演）]	指揮、構成台本：佐藤正浩 管弦楽：ザ・オペラ・バンド ブランクノオペラ『人間の声』出演：森谷真理（ソプラノ） ピゼーノ劇音楽『アルルの女』出演：松重豊、木山廉彬、的場祐太、藤井咲有里、武蔵野音楽大学合唱団（合唱指導：横山修司）	S席：6,000 A席：5,000 B席：4,000 C席：3,000 D席：1,500 高校生以下：1,000	1,230
通年（10）	東京芸術劇場	東京のほら表現部 インクルーシブダンス 連続ワークショップ	チーフ・ファシリテータ：西洋子	無料	16
通年（72）	東京芸術劇場	ホワイトハンドコーラス ※日曜日に、東京芸術劇場でワークショップを開催		無料	46
合計					8,225

## 中止プログラム

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、実施予定であったプログラムの一部を中止することとした。

公演日(回数)	会場	公演名・事業名	作・出演者等	料金(円)	入場者・参加者(人)
8/19~31(13) ※9/1~5(7)は実施	東京芸術劇場 シアター・イースト	『カノン』	作：野田秀樹 演出：野上絹代 出演：中島広稀、さとうほなみ、名児耶ゆり、永島敬三、大村わたる、山本栄司、長南洗生、緒形敦、川原田樹、手代木花野、佐々木美奈、前原麻希、本多遼、湯川拓哉、小田龍哉、村田天翔、竹内蓮、田坂歩、木津誠之、冢納ジュンコ、佐藤正宏、渡辺いっけい	一般：5,000 65歳以上：4,500 25歳以下：3,500 高校生以下：1,000	—
9月	グローバルリングシアター(池袋西口公園野外劇場)	日本版GARDENプロジェクト	—	—	—

## 【参加者の声】

- 『もしもし、こちら弱い派 —かそけき声を聴くために—』
  - ・非常に楽しかった。表現のスタイルがまさに三者三様だった。この企画は短いスパンで定期的に続けてもらいたい
  - ・好きな役者さんが出演されていたので、観劇のきっかけになりました。3団体とも初観劇でしたが、短編にもかかわらずそれぞれの劇団の魅力が詰まっており、とても楽しむことができました。企画、団体の皆さまともに今後も注目していきたいと思います。
- 『カノン』
  - ・昨年、今年とも公演自体や確保していた回が中止になってしまい、追加公演でようやく観劇できましたので、感慨深いものがありました。公演成立に向けてご尽力なされた全ての方に感謝いたします。
  - ・まず、数々の困難を乗り越えてこの舞台が世に発表されたことに、そしてその貴重な一回を目撃出来たことに限りない喜びを感じます。戯曲の構成や台詞がどうか、役者がどうか、演出が、音が照明が映像がとか、そうじゃない、その全てを飛び越えて、直接に届く声と目の前の板の上で躍動する人々の熱量にただひたすら感動する。そんな時間でした。
- 『歌舞伎ひらき街めぐり ~木ノ下裕一の古典で読み解く江戸⇄東京講座~』
  - ・今回の3回の講座、非常におもしろかったです。ぜひ続編を聞きたいです。その際は、今回の3回も再視聴可能にさせていただけると、なおありがたいです。
  - ・木ノ下さんはものすごく分かりやすいので連続講座を期待します。普段観ている歌舞伎の演目の背景など考察されていて本当に面白いです。
- 『夕鶴』
  - ・いままでの概念を覆し、この作品が民藝調だけではない、普遍的な価値ある作品ということに気付かされた。配役がピッタリ。指揮もテンポは歌の呼吸に合わせ、オケの感情表現までも網羅され、良いリードで堪能できた。子ども達も音楽のみならず大変な表現をこなしており賞賛に値する。
  - ・演出が斬新で印象的。その分オーソドックスな演出も観たいと感じた。
- 『アルルの女』 / 『人間の声』
  - ・上演機会の少ない作品を手軽に楽しめるシリーズで楽しみにしている。今回も楽しく鑑賞した。「アルルの女」は日本語による語りと原語による合唱という理想的な形式だったと思う。
  - ・アルルの女を劇付随音楽という形で聞けたのは大変有意義であった。さらにプーランクの人間の声もとても素晴らしい上演でした。

# 24

## 東京芸術祭2021

### 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年9月1日（水）～11月30日（火）
開催場所	東京芸術劇場、あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）、南大塚ホール、としま区民センター、ほか池袋周辺エリア
主催	東京芸術祭実行委員会〔豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンスル東京）〕
助成	令和3年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業
総合ディレクター	宮城聡

### 【参加事業】

東京芸術祭直轄事業（直轄プログラム、FTレーベル）、としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム、東京芸術劇場（芸劇オータムセレクション）、東京芸術祭ファーム

来場・参加者数：28,304人

オンラインリーチ数：34,609リーチ

東京芸術祭直轄事業—直轄プログラム	来場・参加者数	7,868人	オンライン	2,930リーチ
—FTレーベル	来場・参加者数	5,181人	オンライン	5,192リーチ
としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム	来場・参加者数	1,542人		
芸劇オータムセレクション	来場・参加者数	13,289人		
東京芸術祭ファーム	来場・参加者数	424人	オンライン	1,411リーチ
広報、ティザー映像 ほか			オンライン	25,076リーチ

### 【事業趣旨（目的）】

東京の多彩な文化的特色をもった地域の文化的拠点の活動を支援することによって、芸術文化による都市の魅力の向上や機能強化を図る芸術文化拠点形成支援事業として、豊島区池袋を中心に開催。多岐に渡るジャンルのアーティスト、クリエイター、芸術団体が参画し、幅広い層の観客のニーズに応えるべく、〈東京芸術祭直轄事業〉のほか、〈としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム〉、〈芸劇オータムセレクション〉、〈東京芸術祭ファーム〉を実施した。総合ディレクターのもと、7人のディレクターが協働しディレクションを行っている。

### 【開催状況】

#### 東京芸術祭直轄事業—直轄プログラム

開催日	プログラム名	会場	アーティスト名	参加者(人)	オンライン
9/21 ～11/30	【シリーズ・持続可能な舞台芸術の環境をつくる】東京芸術祭2021シンポジウム「ライブでしか伝わらないものとは何か？～教育、育児、ダンスの現場から～」	オンライン	登壇者：佐藤学、開一夫、北村明子 司会：横山義志、多田淳之介		1,561
10/6 ～8	From the Farm『フレフレ Ostrich!! Hayupang Die-Bow-Ken!』	ソーシャル・アジア・シアター（オンライン）、南大塚ホール	ディレクションチーム：ジェームズ・ハーヴェイ・エストラータ、Aokid、額田大志	110	376
10/15 ～17	野外劇『ロミオとジュリエット イン プレイハウス』	東京芸術劇場プレイハウス	作：W.シェイクスピア、訳：松岡和子 上演台本・演出：青木豪 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の度重なる延長下、密を避けるため、劇場内での開催とした。	1,756	
10/22 ～24	アトカル・マジカル学園 アートサポート児童館	東京芸術劇場アトリエウエスト		46	
10/23 ～11/28	ガチャガチャガチャ	豊島区内15か所		5,956	
11/29 ～12/8	【シリーズ・持続可能な舞台芸術の環境をつくる】東京芸術祭2021シンポジウム「アジアから舞台芸術と民主主義を考える～タイ、台湾、フィリピンの現場から～」	オンライン	登壇者：ササビシ・シリワーニット、リバー・リン、JK アニコチェ 司会：横山義志、長島確		259

#### 東京芸術祭直轄事業—FTレーベル

開催日	プログラム名	会場	アーティスト名	参加者(人)	オンライン
9/17 ～27	「クリスト ウォーキング・オン・ウォーター」	オンライン	監督：アンドレイ・M・パウノフ		407
10/1 ～11	ジェス・トム/トウレットヒーロー [Me, My Mouth and I]	オンライン	監督：ソフィー・ロビンソン		891

開催日	プログラム名	会場	アーティスト名	参加者(人)	オンライン
10/8 ~11/7	Hand Saw Press 「つながる!ガリ版印刷発信基地」	ガリ版印刷発信基地、ZINEスタンド、Pop-up印刷トラック(豊島区内各所)、Pop-up ZINEスタンド(豊島区、全国各所)	ディレクション: Hand Saw Press	3,015	569
10/9 ~17	口口『Every Body feat. フランケンシュタイン』	東京芸術劇場シアターイースト、オンライン	原案:メアリー・シェリー「フランケンシュタイン」 脚本・演出:三浦直之	1,426	139
10/9、 10	セノ派『移動祝祭商店街 歩く庭』	豊島区立東池袋中央公園	パフォーマンスデザイン:セノ派	108	464
10/15 ~25	スコティッシュ・ダンス・シアター「The Life and Times」	オンライン	振付・演出:ジョアン・クレヴィエ		330
10/22 ~24	Baobab『ジャングル・コンクリート・ジャングル』	あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)、オンライン	振付・構成・演出:北尾亘	369	37
10/22 ~24	きたまり/KIKIKIKIKIKI『老花夜想(ノクターン)』	東京芸術劇場シアターウエスト、オンライン	原作:太田省吾 振付・演出:きたまり	263	282
10/29 ~11/8	コレット・サドラー『Learning from the Future』	オンライン	振付・演出:コレット・サドラー		154
10/29 ~11/30	オンラインディスカッション「映像のパフォーマンス」	オンライン	スピーカー:岡田利規、竹下暁子、深田晃司 モデレーター:長島確		266
11/13 ~28	ミロ・ラウ『The New Gospel-新福音書-』	オンライン	作・監督:ミロ・ラウ		438
11/13 ~30	オンラインディスカッション「公共空間でつくる意味」	オンライン	スピーカー:北澤潤、毛利嘉孝、ラファエル・トリュニャン、モデレーター:河合千佳、長島確		215

としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム

開催日	プログラム名	会場	アーティスト名	参加者(人)	オンライン
9/1、4	観劇サポート講座「文化施設でのアクセシビリティを考え、実践する」	あうるすぽっと3F会議室B	講師:廣川麻子、美月めぐみ、鈴木橙輔	51	
10/3	みんなのシリーズ第六弾『能で読む~漱石と八雲~』	あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)	出演:安田登、玉川奈々福、塩高和之 聞き手:木ノ下裕一	142	
10/3	みんなのシリーズ第六弾『能で読む~漱石と八雲~スペシャルトーク』	あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)	登壇:安田登、木ノ下裕一 トークゲスト:いとうせいこう 司会:九龍ジョー	106	
10/14 ~17	おどるシェイクスピア『FESTヨ~十二夜~』	あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)	原作:W.シェイクスピア 振付・構成・演出:スズキ拓朗	536	
11/13 ~12/5	としまおやこ小学校	あうるすぽっと3F会議室B	YORIKO	223	
11/19	第34回としま能の会	東京芸術劇場プレイハウス	出演:観世喜正、野村万蔵、野村萬 ほか	335	
3 / 6 2022	民俗芸能inとしま2021 ドキュメンタリー映像作品「音、鳴りやまぬ。」	としま区民センター	監督:長岡参	110	

芸劇オータムセレクション

開催日	プログラム名	会場	アーティスト名	参加者(人)	オンライン
10/6 ~10	特別上映会 太陽劇団シネマアンソロジー	東京芸術劇場プレイハウス	太陽劇団、アリアース・ムヌーシュキン	830	
11/1 ~12/12	NODA・MAP番外公演「THE BEE」	東京芸術劇場シアターイースト	演出:野田秀樹 原作:筒井康隆~「筆りあい」(新潮社)より~	12,459	

東京芸術祭ファーム

開催期間	プログラム名	アーティスト名	詳細	参加者(人)	来場者(人)	オンライン	
8/9 ~11/1	Farm-Lab Exhibition	ディレクションチーム:ネス・ロケ、敷地理	8/9~10/28、11/1	ディスカッション、稽古、ラップアップ	オンライン、水天宮ピット	6	
			10/29~31	成果発表(ワークインプログレス)	東京芸術劇場アトリエウエスト	6	73
7/8 ~11/30	The City & The City: Mapping from Home	パートナー: BIPAM	7/8~9/16	ディスカッション	オンライン	6	
			9/17~20	最終成果プレゼンテーション(展示)	ターナーギャラリー		82
			9/17~11/30	最終成果プレゼンテーション(オンライン)	オンライン		

開催期間	プログラム名	アーティスト名	詳細		参加者(人)	来場者(人)	オンライン	
8/25 ~11/1	Asian Performing Arts Camp	ファシリテーター：JK アニコチエ、山口 恵子	8/25~10/29、11/1	ディスカッション、ラップアップ	オンライン	8		
			10/12	レクチャー「ALSO SPACE, ALSO ART-バンデミック下におけるアートのあり方とは？」	オンライン 講師：レオンハルト・バルトロメウス	8		42
			10/30	最終公開プレゼンテーション	オンライン ゲストフィードバック：ヘリー・ミナルティ、上田假奈代	8		375
8/1 ~11/15	制作インターン		オンライン、豊島区内各所		6			
7/23 ~11/19	アートトランスレーターアシスタント		オンライン、水天宮ビット、東京芸術劇場アトリエー スト、アトリエウエスト ほか		4			
7/21 ~11/21	Young Farmers Forum		オンライン、水天宮ビット、東京芸術劇場アトリエー スト、アトリエウエスト ほか		6			
10/2 ~11/6	ダイアログ・プラス	総合監修・ファシリテーター：中尾根美沙子	オンライン、あうるすぽっと3F会議室、東京芸術劇場アトリエー スト、アトリエウエスト ほか		8			
9/1 ~11/30	学生観劇プログラム		東京芸術祭会場内各所、オンライン		380		423	

## 中止プログラム

開催予定日	プログラム名	会場
9/23	近藤良平・コンドルズ「にゅ～盆踊り」※ワークショップのみ開催 参加者39	東京建物Brillia HALL（豊島区立芸術文化劇場）
10/19~28	太陽劇団『金夢島L'ILE D'OR KANAMU-JIMA』	東京芸術劇場プレイハウス

## 連携事業

国立劇場共催公演事業

『二つの小宇宙～めぐりあう今～』（5/22 国立劇場 大劇場）

主催：文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

（詳細は、P58「伝統芸能公演」参照）

伝統芸能普及公演

『今に生きるサムライの心～吟と剣詩舞』（8/17 国立劇場 大劇場）

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

（詳細は、P58「伝統芸能公演」参照）

## 【参加者の声】

- ・舞台を観たのとは違って、クローズアップでよく細部まで見え迫力がありました。波布の使い方が面白く、とても良かったです。〈特別上映会 太陽劇団〉
- ・オンラインでできること、観客と繋がるための方法を、たくさんみることができました。プロセスなども覗いてみたかったです。〈From The Farm『フレフレ Ostrich!! Hayupang Die-Bow-Ken!!』〉
- ・素晴らしいかったです。斬新なキャストに、どんな口ミジュリなんだろう…とと思っていましたが、とてもストレートに伝わってきました。一緒に行った小4の娘も、シェイクスピアの世界を堪能できたようです。〈野外劇『ロミオとジュリエット イン プレイハウス』〉
- ・歩く庭は、街灯という普段よく見ない部分に着目していて、最寄りの商店街の街頭を眺めながら帰って新しい世界を知ることができて面白かった。〈「移動祝祭商店街 歩く庭」〉
- ・とても価値のある公演だと思った。日本のカンパニーのコンテンポラリーダンスの公演がたくさん観たいです。〈おどるシェイクスピア『FESTヨ～十二夜～』〉

# 25 東京芸術祭特別公演 ファンタスティック・サイト

## 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年5月21日（金）～23日（日） 開演各日19:00
開催場所	東京都庭園美術館 芝庭
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
共催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、東京芸術祭実行委員会 [豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）]
制作協力	大駱駝艦、キャメルアーツ株式会社
宣伝協力	株式会社ポスターハリス・カンパニー
協力	cozfish、株式会社アイネット

## 【事業趣旨（目的）】

東京の歴史を感じられる場所＝サイトにおいて、パフォーマンス・アーツの一ジャンルとして世界的に評価され、海外から逆輸入された唯一の日本発信のダンス「舞踏（暗黒舞踏）」を上演することで、東京の魅力と歴史を再発見するプログラムを目指した。

## 【開催状況】

東京2020オリンピック・パラリンピック開催予定だった2020年5月の開催を、新型コロナウイルス感染拡大状況により、2021年へ延期して開催した。

開催日	プログラム名	会場	アーティスト名	料金（円）	参加者数（人）
5/21～23	大駱駝艦・天賦典式 『Crazy Camel Garden』	東京都庭園美術館 芝庭	企画ディレクション：宮城聡 振付・演出・美術・出演：鷹赤兒 出演：大駱駝艦	5,000 ほか	463

## 【参加者の声】

- ・舞台の始まり方が野外ならではの方法で、圧倒された。
- ・素晴らしい舞台でした。長く記憶に残ると思います。
- ・野外雨天決行で時折激しい雨が降る環境だったが不思議と落ち着いて観覧できた。貴重な機会を有難うございました。
- ・緊急事態宣言が出ている中、勇気あるご決断をありがとうございました。庭園美術館のお庭で幻想的な雰囲気の中、楽しかった！とにかくひさしぶりに何も考えずに楽しかったです！一席ずつ席を空けて座り、静かに観て、最後は演者のみなさんに拍手が鳴り止まず…いろんな思いで涙が出ました。

# 26

## Shibuya StreetDance Week 2021

### 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年11月22日（月）～28日（日）
会場	オンライン（Shibuya StreetDance Week 公式YouTubeチャンネル）、代々木公園
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、Shibuya StreetDance Week 実行委員会（渋谷区商店会連合会、渋谷道玄坂商店街振興組合、東急株式会社、株式会社バルコ）
共催	渋谷区
助成・協力	東京都
後援	公益財団法人東京都公園協会、渋谷区教育委員会、一般社団法人渋谷未来デザイン、一般財団法人渋谷区観光協会、東京商工会議所渋谷支部、商店街振興組合原宿表参道櫛会
協力	株式会社 in the house、DANCERS COLLECTION、OC STUDIO DAIKANYAMA
企画・制作・運営	株式会社バルコ、ファイブメディット株式会社
制作協力	株式会社 ODORIBA、株式会社 LAST TRAIN GETTER、株式会社 アンノウン
視聴料	無料
総視聴数	65,236回（2022年3月31日時点）

### 【事業趣旨（目的）】

表現者（ダンサー）、参加者（オーディエンス）、舞台（ステージ）を繋ぎ、幅広い客層に支持される新しい芸術文化として、ストリートダンスのポジショニングを確立し、ストリートダンサーの聖地である渋谷からストリートダンスの魅力や本質的な価値を国内外へ発信し、活力に溢れた街をつくる。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン配信で実施。事前収録したプログラムと、11月23日の代々木公園での無観客開催の様子を収録し、配信した。

開催日	プログラム名	出演者	視聴数(回)
11/22	DANCE WITH music in SHIBUYA (映像)	Micro (Def Tech)、Smokey Joe's Café ほか	11,606
	DANCE TALK ROOM	DANCE TALK ROOM 1【ダンスが社会とともに作っていくWELL-BEINGについて】ゲストパネラー：長谷部健、銅冶勇人、牧野アンナ、モデレーター：滝澤秀斗	1,437
		DANCE TALK ROOM 2【仕事としてのダンスエンターテインメント】ゲストパネラー：SKY-HI、カリスマカンタロー、振付稼業 air:man、モデレーター：AKIKO	32,777
11/23	FREE WORKSHOP (KIDS向け)	講師：LINA	494
11/24	FREE WORKSHOP (HIPHOP)	講師：ReiNa	874
11/25	FREE WORKSHOP (POP)	講師：KITE	1,949
11/26	HIPHOP LEARNING	講師：DJ MAR SKI、BBOY KATSU ONE、晋平太、TOMI-E	528
11/27	EXHIBITION BATTLE	バトル：RANA、武蔵、YOU-KI、勇太、ライト from 富山、Prince Krow a.k.a Baby Konkrete、ICHIGO aka LiIREBEL、B-BOY HYUGA 審査員：Brooklyn Terry、KON THE FUNK、Yacheemi（餓鬼レンジャー） MC：YAS DJ：KATY	1,708
	PARK SHOWCASE	参加チーム：BetRay、Cupcakes、coco、Queen、JURI&JUNA、Let me、Young doughnuts、熱帯雨林、EDGW CYPHER、Funk Rush、SRN GOLD RUSH、LL MUSIC、twinkle SMILE、STUDIO D+、STUDIO EGG、STUDIO Lii'sol、東京アナウンス学院、日本工学院、Little Unknown、STUDIO Growing MC：YAS	2,798
11/28	SSDW CONTEST	出場校：東京都立調布北高等学校、品川翔英高等学校、神田女学園高等学校、正則高等学校、東京都立久留米西高校、川口市立高等学校、二松学舎大学附属高等学校、東京都立狛江高等学校、東葉高校、千葉敬愛高等学校 審査員：黄帝心仙人、HAL、Kensuke (BFQ) MC：Chigusa	1,777
	RAINBOW SHOWCASE	参加団体：パワーバフボーイズ、CJDA、SOCIALWORKEERZ、LOVEJUNX MASTER、明日プレイカーズ with B-GIRL MOKA、BAMBOO SHOOT、Raphael + RICKY + Solomon アートのエールを！ステージ出演者：BLUE TOKYO、Kazuho Monster、FlySixB、馬と私 ゲストダンサー：Novel Nextus (PlnO+HIRO+KEIN+Miyu)、AKIHIRO+ACHI+KANATA+Amami Queen MC：Chigusa	1,680
	DANCE WITH music	Micro (Def Tech)、Smokey Joe's Café	7,608

### 【参加者の声】

- ・ コロナ禍だからこそできる、配信でダンスというものを広げる取り組みがとてもよかったと思います。誰もがバトルに出られるような環境があれば、出たいです。(20代/男性)
- ・ とても大変な時期にもかかわらず開催して頂きありがとうございました。また来年も楽しみにしています。(20代/男性)
- ・ 子供が出演させて頂き、今度はステージで踊ってみたいと言っていました。皆さん素晴らしいダンスで見入ってしまいました。これからもこのイベントを開催してほしいです。(40代/女性)

# 27

## キッズ伝統芸能体験

### 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年9月25日（土）～令和4（2022）年3月30日（水）
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
企画制作・運営	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
制作協力	公益社団法人能楽協会、公益社団法人日本舞踊協会、公益社団法人日本三曲協会、一般社団法人長唄協会
共催	公益財団法人新宿未来創造財団（新宿区立新宿文化センター）、羽村市教育委員会
協賛	独立行政法人日本芸術文化振興会
後援	新宿区
協力	公益財団法人梅若会、公益社団法人宝生会
参加申込者数	1,433人
参加費	スタンダードプログラム 15,000円（全18回／稽古16回、リハーサル1回、発表会1回） ユースプログラム 15,000円（全12回／稽古10回、リハーサル1回、発表会1回）
参加者数	180人
発表会鑑賞者数	695人

### 【事業趣旨（目的）】

伝統芸能のプロの実演家が稽古にふさわしい場所で、子供たちに直接、定期的かつ継続的に指導を行うことで、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法、厳しさなどの文化環境を、子供たちが自然と身につけられるような学びの場を作る。あわせて、その成果を舞台上で発表する機会を提供することによって、目的意識をもって学ぶ大切さを知るとともに、本格的な伝統芸能体験を通して、世界の中の日本人としての意識と感性を涵養することで、子供たちばかりでなく、家庭内での伝統芸能に対する興味・関心を高め、伝統芸能を次世代へ継承し、東京の文化的魅力を向上させることを目的として実施。

### 【開催状況】

#### 1 スタンダードプログラム

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者(人)
能楽	謡・仕舞（観世流）	梅若能楽学院会館	10/4、18、25 11/8、15、29 12/6、13、20	武田宗和、藤波重彦、角幸二郎、坂井音隆、金子聡哉、武田祥照	7
	狂言（大蔵流）		1/17、24 2/7、14、28 3/7、14	大蔵彌太郎、大蔵基誠、大蔵教義、吉田信海、小梶直人、善竹大二郎、上田圭輔	10
長唄	三味線	杵家会館	11/21 12/5、12、19 1/9、16、23、30 2/6、13、20、27 3/6、13、20、27	杵家弥七、東音岩田喜美子、杵屋栄日陽、杵屋五三吉都、杵屋五章、芳村伊十治郎、東音植松美名ほか	15
	囃子〔篠笛〕	芸能花伝舎	11/28 12/5、12、19 1/9、16、23、30	鳳聲千晴、藤舎理生 ほか	10
	囃子〔小鼓〕		2/6、13、20、27 3/6、13、20、27	望月庸子、望月太左衛、梅屋巴、望月天津之 ほか	16

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者(人)
三曲	箏曲(おこと) (生田流)	新宿区立新宿文化センター	10/10、17 11/21、28 12/5、12、19 1/9、16、23 2/6、20 3/6、13、20、27	(生田流) 福田栄香、青野雅楽浪、大嶋敦子、花岡操聖、北川雅楽乃、池田和花奈	19
	尺八	芸能花伝舎	11/28 12/5、12、19 1/9、16、23、30 2/6*、13、20、27 3/6、13、20、27	川瀬庸輔、神令	8
日本舞踊	日本舞踊〔新宿〕(女子)			11/14、21、28 12/5、12、19 1/16、23、30 2/6、13、27 3/6、13、20、27	吾妻君彌、泉秀彩霞、西川扇左衛門、花柳寿々彦、花柳寿美琴音、花柳静久郎、水木紅耶、若見匠祐助
	日本舞踊〔新宿〕(男子)				10
	日本舞踊〔羽村〕(女子)	羽村市生涯学習センター ゆとろぎ	12/4、11、18、25 1/8、15、22、29 2/5、12、19、26 3/5、12、19、26	花柳秀衛、坂東映司、藤間聖衣暉、藤間涼太郎	16
計					131

※2/6の尺八コースは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、別日の稽古内容を調整した。

## 2 ユースプログラム

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者(人)
長唄	三味線	紫山会館	1/23、30 2/6、13、20、27 3/6、13、20、27	杵家弥七、東音岩田喜美子、杵屋栄日陽、杵屋五三吉都、杵屋五章、芳村伊十治郎、東音植松美名ほか	19
三曲	箏曲(おこと)(山田流)	新宿区立新宿文化センター	12/19 1/9、16、23 2/6、20 3/6、13、20、27	(山田流) 山勢麻衣子、設楽千聡代、奥山益勢、佐久間杜和能、武田博華、長岡園美咲	20
日本舞踊	日本舞踊	芸能花伝舎	1/16、23、30 2/6、13、27 3/6、13、20、27	吾妻君彌、泉秀彩霞、西川扇左衛門、花柳寿々彦、花柳寿美琴音、花柳静久郎、水木紅耶、若見匠祐助	10
計					49

## 3 発表会

ジャンル	コース	日程	会場	入場者数(人)
能楽	謡・仕舞(観世流)、狂言(大蔵流)	3/21	宝生能楽堂	76
長唄	三味線、三味線(ユース)、囃子〔篠笛〕、囃子〔小鼓〕	3/29	国立劇場 大劇場	218
三曲	箏曲(生田流)、箏曲(ユース)(山田流)、尺八	3/29	国立劇場 大劇場	173
日本舞踊	日本舞踊〔新宿〕、〔羽村〕、〔ユース〕	3/30	国立劇場 大劇場	228
合計				695

### 【参加者の声】

#### ●お稽古に参加した子供の声

- ・思うようにできず悔し涙を流したときに先生にかけてもらった言葉に勇気づけられました。ぼくが家で(謡を)れんしゅうするのをきいて、弟たちもうたえるようになりました。もっとつづけたいと思いました。(謡・仕舞/小学生男子)
- ・おけいこはじめの日に先生のえんそうを聞いてとてもすてきだったけれど、わたしにできるのか、しんぱいでした。でもいっぱいおけいこをして上手になりました。先生たちはすごいことをしているんだなと思えあこがれました。たくさんのお友だちにたいけんしてほしいです。(箏曲/小学生女子)
- ・小鼓は少し重かったけど、毎週たのしかったです。日本らしい音楽が好きになりました。小鼓の音を使いわけたりするのがむずかしいけど、上手にできたときはとてもうれしかったです。(小鼓/小学生男子)
- ・私はこの体験プログラムに参加して自分が好きになりました。礼ぎなどを学び、自信を持てるようになりました。学校でも発言できるようになりうれしかったです！ 本当にやってよかったと思います。(日本舞踊/小学生女子)
- ・日本の伝統芸能を習うということは、それが上達するのはもちろんですが、態度や姿勢も身につけ、物事を前向きにとらえられるようになりました。(三味線ユース/中学生女子)

#### ●保護者の声

- ・幕が上がって、子供の姿勢よく凛々しい姿を見た瞬間、涙があふれた。かっこよかったです。コロナ禍でも、このような体験をさせて頂き、本当に感謝です。ありがとうございました。(篠笛)

- ・舞台の上にいるのが本当に息子なのかと思うほど、見たことのない表情を見ることが出来ました。今まで、何かを自分から続けたいという思いを聞いたことがなかったのですが、今回の発表後、初めて「日本舞踊を続けてみたい！」と言われました。(日本舞踊)
- ・ふり返ってみれば、とても貴重な時間でした。道すがら話をしたり、一緒に練習や復習をしたり。先生方も第一線のプロの方で、時にきびしく、時に優しく、けいこをつけてくださり、緊張感も心地よかったです。(謡・仕舞)
- ・半年で発表会ということに最初は不安がありましたが、先生方のご指導のおかげで自信を持って本番を迎えることができましたようです。新しいことにチャレンジする大変さと楽しさを両方味わうことができました。(箏曲)
- ・本人、家族の伝統芸能や日本文化への意識が大きく変わりました。ぜい沢な時間をありがとうございました。世界が広がりました。(日本舞踊ユース)

# 28

## 子供のための伝統文化・芸能体験事業

### 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年6月～令和4（2022）年3月
会場	東京都内の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校（小学部、中学部、高等部）等
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]
助成・協力	東京都
参加者人数	4,678人
実施校数	56校

### 【事業趣旨（目的）】

子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、日本の文化の価値に対する正しい理解を深めるとともに、多様な文化に対する幅広い知識を育めるよう、若手実演家等を講師とする体験・鑑賞プログラムを、学校と連携した取組として実施する。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、一部をオンラインで実施するなど、接触を避けられるよう工夫し実施した。また、予定していた実施の一部を中止することとした。

開催日	学校名	内容	実施団体	体験者（人）
6/2	東大和市立第五小学校	雅楽	一般社団法人 伶楽舎	92
6/4	新宿区立市谷小学校	演芸（紙切り）	公益社団法人 落語芸術協会	79
6/5	文京区立根津小学校	演芸（和妻）	公益社団法人 落語芸術協会	34
6/15	練馬区立石神井南中学校	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人 能楽協会	107
6/15	足立区立足立入谷小学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	101
6/15	足立区立弘道小学校	歌舞伎音楽	特定非営利活動法人 日本音楽集団	96
6/21	府中市立南町小学校	日本舞踊	公益社団法人 日本舞踊協会	94
6/25	福生市立福生第二小学校	演芸（落語）	一般社団法人 落語協会	69
6/28	江戸川区立下鎌田小学校	箏	公益社団法人 日本三曲協会	44
7/1	青梅市立第六中学校	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人 能楽協会	46
7/2	多摩市立愛和小学校	三味線	清元協会	51
7/8	稲城市立稲城第七小学校	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人 能楽協会	107
7/9	昭島市立東小学校	能楽（狂言）	公益社団法人 能楽協会	45
7/12	東村山市立八坂小学校	演芸（紙切り）	一般社団法人 落語協会	114
7/13	中野区立第二中学校（特別支援学級）	演芸（紙切り）	公益社団法人 落語芸術協会	13
7/14	江戸川区立第三葛西小学校	日本舞踊	公益社団法人 日本舞踊協会	79
7/16	東京都立調布特別支援学校 中等部	地域の芸能（江戸糸あやつり人形）	公益財団法人 江戸糸あやつり人形結城座	19
9/8	江戸川区立平井南小学校	伝統工芸（江戸木版画）	株式会社 高橋工房	27
9/14	品川区立大原小学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	49（内オンライン5）
9/22	港区立芝小学校	能楽（狂言）	公益社団法人 能楽協会	58（内オンライン3）
9/25	豊島区立池袋中学校	雅楽／オンライン実施	一般社団法人 伶楽舎	188（オンライン）
10/18	清瀬市立清瀬第六小学校	歌舞伎音楽	一般社団法人 長唄協会	83
10/22	板橋区立板橋第一中学校	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人 能楽協会	116
10/22	三鷹市立第七小学校	箏	特定非営利活動法人 日本音楽集団	77
10/25	白百合学園小学校	能楽（狂言）	公益社団法人 能楽協会	119
11/9	東村山市立秋津小学校	能楽（狂言）	公益社団法人 能楽協会	107
11/18	大田区立安方中学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	368
11/19	荒川区立第三峡田小学校	能楽（狂言）	公益社団法人 能楽協会	42
11/22	足立区立江北桜中学校	雅楽	一般社団法人 伶楽舎	91
11/26	東京都立武蔵高等学校附属中学校	歌舞伎音楽	特定非営利活動法人 日本音楽集団	120
11/26	八王子市立上柚木中学校	地域の芸能（八王子車人形）	八王子車人形 西川古柳座	99
12/2	世田谷区立山崎小学校	三味線	公益社団法人 日本小唄連盟	57
12/3	東京都立八王子西特別支援学校	能楽（狂言）	公益社団法人 能楽協会	148
12/6	立川市立第七小学校	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人 能楽協会	26
12/6	羽村市立松林小学校	演芸（落語）	一般社団法人 落語協会	61
12/9	府中市立府中第三小学校	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人 能楽協会	112
12/14	文京区立第十中学校	歌舞伎音楽	一般社団法人 長唄協会	73
12/15	日の出町立大久野中学校	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人 能楽協会	132
12/16	北区立荒川小学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	129
12/17	目黒区立向原小学校	箏	公益社団法人 日本三曲協会	44

開催日	学校名	内容	実施団体	体験者（人）
12/17	杉並区立高井戸東小学校	演芸（紙切り）	公益社団法人 落語芸術協会	81
12/17	西東京市立東小学校	能楽（狂言）	公益社団法人 能楽協会	75
12/18	板橋区立前野小学校	演芸（和妻）	公益社団法人 落語芸術協会	76
12/21	東久留米市立第六小学校	演芸（落語）	一般社団法人 落語協会	41
12/21	渋谷区立常磐松小学校	箏	公益社団法人 日本三曲協会	32
12/23	東京都立町田の丘学園（特別支援学校）	日本舞踊	公益社団法人 日本舞踊協会	53（内オンライン1）
1/13	北区立滝野川第二小学校	伝統工芸（江戸表具）／オンライン実施	石井三太夫表具店	66（オンライン）
1/19	北区立滝野川もみじ小学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	59（内オンライン6）
1/20	武蔵村山市立小中一貫校村山学園（武蔵村山市立第四小学校）	雅楽	一般社団法人 伶楽舎	59
1/21	千代田区立九段中等教育学校	演芸（落語）／オンライン実施	公益社団法人 落語芸術協会	149（オンライン）
1/21	小平市立小平第五小学校	雅楽	一般社団法人 伶楽舎	94
1/27	葛飾区立高砂小学校（小中一貫教育校 高砂けやき学園）	伝統工芸（江戸手描友禅）	東京都工芸染色協同組合	79（内オンライン6）
2/1	小笠原村立小笠原小学校	演芸（落語）／オンライン実施	公益社団法人 落語芸術協会	140（オンライン）
2/1	小笠原村立小笠原中学校※トライアル実施	演芸（落語）／オンライン実施	公益社団法人 落語芸術協会	69（オンライン）
2/18	東京都立久我山青光学園（視覚障害教育部門）	雅楽	一般社団法人 伶楽舎	51
3/7	世田谷区立九品仏小学校	箏	公益社団法人 日本三曲協会	38
			合計	4,678

## 中止プログラム

開催日	学校名	内容	実施団体	体験者数（人）
3/10	東京都立文京盲学校	琵琶	特定非営利活動法人 日本音楽集団	—

## 【教員の声】

- ・終了した後にも、教えていただいたこと（すり足、構え）を教室などで繰り返し行っていて、強く印象に残っているように感じました。（能楽／謡・仕舞）
- ・みんなとても楽しそうに話を聞いていた。言葉の意味が少しわからないからこそ、想像力を働かせて、内容を理解しようとしている様子が見られた。（能楽／狂言）
- ・子どもたちが体験させていただいたことで、普段目立たない子が活躍できたり、さらに興味が深まったりするので、とてもよいと思いました。落語は聞く力、想像力が養われるので、とてもよい体験だと感じました。（演芸／落語）
- ・とても楽しんで取り組んでいました。また、紙切りの技術や出来上がった作品に大変感激していました。和服で来ていただいたのもインパクトがあり、印象に残ったようです。（演芸／紙切り）
- ・和装に独得の口上で、次から次へと見事な手品を披露する手妻師KYOKOさんに導かれ、あっという間に和妻の世界に引き込まれていました。観るだけでなく体験することもでき、どの児童も楽しく参加できました。（演芸／和妻）
- ・日本舞踊の実演等で、伝統芸能の素晴らしさを感じていたと同時に、実際に体験させていただくことで、自分たちも関わるといふ思いも持てた。特に、校歌に振付していただいたことはとても喜んでいました。（日本舞踊）
- ・初めて三味線に触った子が多くとてもよるこんでいました。ギターを習っている子も「全然ちがう」とおどろいていました。長唄の声のひびきを感想に書いた子もたくさんいました。（歌舞伎音楽）
- ・目の前で演奏を聴くことができ、くい入るように観て聴いていました。行事で自分たちが演奏したことのある楽曲もあり、和のテイストとのちがいに気づいてよるこんでおりました。（箏）
- ・これまで触れたことのない三味線の演奏法を体験でき、集中して取り組むことができているように感じました。（三味線）
- ・説明も体験もとても意欲的に集中して取り組んでいました。本物もつ力の偉大さを改めて感じました。音楽に苦手意識がある子供も舞の体験があって雅楽を親しめたと思います。（雅楽）
- ・全体的に楽しんでいました。（操作が）難しい生徒も人形をよく見ていた。（地域の芸能／江戸糸あやつり人形）
- ・初めは緊張の様子でしたが、古柳先生の親しみやすいトークと明るさで次第に和やかな雰囲気となり、楽しくなりました。ありがとうございました。（地域の芸能／八王子車人形）
- ・講師の先生のお話、実物を見せて頂いたこと。DVD視聴を通して、木版画について知り、その後体験させて頂いたことにより、子どもたちはそのすばらしさ、歴史の深さ、技術など、ずっと受け止めることができました。刷った作品をうちわに仕立てることでさらに子どもたちの気持ちは高揚。大切に持ち帰りました。（伝統工芸／木版画）
- ・夢中になって染めていました。「他にも体験したい」と他の体験学習への関心をもったようです。（伝統工芸／江戸手描友禅）
- ・日本の文化に触れることができ、とても良い経験となりました。職人さんの大変さや苦労にも気づけたと思います。（伝統工芸／江戸表具）

## 29

## パフォーマンスキッズ・トーキョー

## 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年5月19日（水）～令和4（2022）年3月28日（月）
会場	ホール5か所（三鷹市生涯学習センター、ネッツたまぐーセンター（青梅市文化交流センター）、和光大学ポプリホール鶴川、西東京市保谷こもれびホール、瑞穂ビューパーク・スカイホール、公立小中学校19校（うち特別支援学級7校）、都立特別支援学校2校、障害児入所施設1施設、児童養護施設1施設、養育家庭の会1施設）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団（三鷹市生涯学習センター開催のみ）、青梅市教育委員会（ネッツたまぐーセンター（青梅市文化交流センター）開催のみ）
共催	一般財団法人町田市文化・国際交流財団（和光大学ポプリホール鶴川開催のみ）、西東京市保谷こもれびホール指定管理者（西東京市保谷こもれびホール開催のみ）、瑞穂町教育委員会（瑞穂ビューパーク・スカイホール開催のみ）
助成・協力	東京都
後援	三鷹市教育委員会（三鷹市生涯学習センター開催のみ）、町田市教育委員会（和光大学ポプリホール鶴川開催のみ）
参加費	無料（参加、公演観覧）
参加者数	977人
観覧者数	3,036人

## 【事業趣旨（目的）】

子供たちの創造性・自主性・コミュニケーション能力の向上、身体を使ったプレゼンテーション能力の向上、プロのアーティストとの触れ合い・キャリア教育を目的とし、また、ホールを拠点にした地域活性化、本事業をより多くの可能性を持って必要とする子供たちへのアプローチを行う。

## 【開催状況】

ダンスや演劇、音楽などの分野で活動するプロの現代アーティストを、都内の小中学校やホール・文化施設、児童養護施設等に派遣。10日間程度のワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品をつくりあげる。最後に発表公演を行い、地域や教育・文化各方面の多くの人たちにワークショップの成果を発信する。令和3（2021）年度は、5ホール、19小中学校（島しょ部含む）、2特別支援学校、児童養護施設等3か所（障害児入所施設、児童養護施設、養育家庭の会）にて開催した。学校での開催にあたっては、より多くの影響を与える可能性の高い子供たちへのアプローチとして、一部特別支援学級でも実施した。

広報活動の一環として、学校向け事業に関する広報用パンフレットを都内全公立小中学校・特別支援学校1,954校ほか、各教育委員会等へ広く配布した。

令和3年度 パフォーマンスキッズ・トーキョー実施一覧（学校／島しょ部／ホール／児童養護施設）

会場名	アーティスト	開催日	日数	対象学年	参加者(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者(人)	
学校	千代田区立昌平小学校	浅井信好 (演出家・振付家・舞踏家)	12/1、1/19、2/2、14、15、28、3/1、14	8	5年生1クラス	39	『身体とモノが立ち上がり、そして混ざりゆく』	3/14 (映像発表)	40
	墨田区立業平小学校	青木尚哉 (振付家・ダンサー)	7/20、9/24、10/5、11、12、14、19、21、25、29、30	11	6年生3クラス 特別支援学級2名	86	『虹色の風を起こせ』	10/30	300
	品川区立三木小学校	田畑真希 (ダンサー・振付家)	対面：6/7、9/17 オンライン：7/7、9、12、9/6、13、15	8	3年生2クラス	48	『アイネクライネナハトムジーク!!』	9/17 (映像発表)	50
	世田谷区立武蔵丘小学校	田畑真希 (ダンサー・振付家)	ハイブリッド：9/8、9/9 対面：9/14、16、21、27、28、30、10/1、2	10	6年生3クラス	96	『Sunsun☆BoogieWoogie』	10/2	400
	杉並区立富士見丘小学校	入手杏奈 (振付家・ダンサー)	10/11、18、11/2、4、9、11、24、25、27	9	4年生2クラス	56	『もう一度生まれる』	11/27	60
	板橋区立徳丸小学校	城俊彦 (ダンサー)	10/4、11、14、16、20、11/4、5、10、11	9	特別支援学級1～6年生	16	『トリドリ』	11/11	100
	江戸川区立新堀小学校	森下真樹 (振付家・ダンサー・森下スタンド主宰)	10/13、11/8、10、11、17、18、24、26、27	9	6年生2クラス	74	『せかいでひとつのわたしのからだみちのからだ～74人74色～』	11/26、27	480
	八王子市立鹿島小学校	楠原竜也 (演出振付家・ダンサー)	11/30、12/7、14、21、1/18、2/17、22、28	8	2年生1クラス	21	『ぐにゃかちつべちゃびよんどんどんどんどんどんどんどんどん～変幻自在なわれらの「あたま」と「からだ」』	2/28	17
	八王子市立上柚木小学校	森下真樹 (振付家・ダンサー・森下スタンド主宰)	12/3、9、22、1/18、2/8、15、18、22、25	9	6年生2クラス	78	『上柚木の みんなちがって みんないい～78人78色～』	2/25 (映像発表)	60
	三鷹市立第七小学校	入手杏奈 (振付家・ダンサー)	5/19、20、26、6/3、9、10、16、24、29、7/6	10	特別支援学級1～6年生	19	『今のわたしの今日の一步』	7/6	40
	調布市立滝坂小学校	長井江里奈 (ダンサー・演出家・山猫団主宰)	7/1、9/28、10/18、11/2、8、16、17、18、19、	9	特別支援学級1～6年生	18	『It's show time!』	11/18、19	250
	東村山市立東萩山小学校	セレノグラフィカ (ダンスカンパニー)	10/6、19、20、27、11/8、11、12、19、20	9	6年生2クラス	75	『ギフト112075』	11/20	40
	東久留米市立神宝小学校	棚川寛子 (舞台音楽家)	9/1、29、10/5、7、19、26、11/2、11、12、13	10	特別支援学級1～6年生	13	『うさぎになったおひめさま』	11/11～13	350
	港区立港陽中学校	中村蓉 (振付家・ダンサー)	9/15、27、10/4、6、13、18、20、25、28、29、30	11	8年生1クラス	16	『人生と旅』	10/29、30	200
	大田区立馬込中学校	鈴木ユキオ (振付家・ダンサー)	1/14、21、24、2/14、18、19、24、28	8	特別支援学級1～3年生	28	『カラダの時間』	2/28 (映像発表)	20
	練馬区立光が丘第二中学校	青木尚哉 (振付家・ダンサー)	11/8、9、12、15、16、22、26、29、30、12/3	10	1年生4クラス	114	『コレモ？ダンス？コンテストin HIKARIGAOKA』	12/3	130
	葛飾区立綾瀬中学校	東野祥子 (振付家・ダンサー)	9/6、27、28、10/4、5、11、12、14、15	9	特別支援学級1～3年生	17	『未知なる星へー葛飾から宇宙への旅』	10/15	20
	東京都立調布特別支援学校	康本雅子 (振付家・ダンサー)	9/15、16、10/6、7、13、14、21、26、11/2	9	小学部2年生	18	『森の子、海の子、ラタタンたん!』	11/2 (映像発表)	85
					小学部3年生	13	『ダンスピクニック♪』		
	東京都立清瀬特別支援学校	田畑真希 (ダンサー・振付家)	10/15、22、29、11/9、26、30、12/7、8、11	9	小学部3年生	18	『LALALAN♪DANCE』	12/11 (映像発表)	17
合計					175	863		2,659	

会場名	アーティスト	開催日	日数	対象学年	参加者(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者(人)	
学校／島しょ部	大島町立つばき小学校	山口将太郎 (ダンサー・振付家)	9/5 (オンライン)、11/4、5、11、12、17、18、24、25、26、27	11	2年生	25	『つばきっこのサークル☆ビート』	11/27	80
	八丈町立三根小学校	森下真樹 (振付家・ダンサー・森下スタンド主宰)	12/23、1/13、14、19、20、24、25、31、2/1、2、26、27	12	特別支援学級3～6年生	6	『ひまわり探検隊』	2/27	17
合計					23	31		97	

会場名		アーティスト	開催日	日数	参加者	参加者(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者(人)
ホール	三鷹市生涯学習センター	イーガル (作曲家・ピアニスト)	2/12、13、19、 20、23、26、27、 3/4、5、6	10	小学4～小学5年生	7	『もの、おと、からだ』	3/6	46
	ネッツたまぐーセンター (青梅市文化交流センター)	松岡大 (舞踏家)	1/15、16、29、 30、2/5、6、9、 10、11	9	小学2～小学6年生	11	『宇宙のことば』	2/11	61
	和光大学ポプリホール 鶴川	鈴木春香 (振付家・ダンサー)	8/3、4、9、10、 11、17、18、20、 21、22	10	小学3～小学6年生	12	『あっちとこっちとその間』	8/22	57
	西東京市保谷こもれびホール	島地保武 (ダンサー・振付家)	7/20、21、23、 26、27、28、8/5、6、 7	9	小学3～中学3年生	11	『ウンパバ ンパバ』	8/7	48
	瑞穂ビューパーク・ スカイホール	辻田暁 (ダンサー・俳優)	8/15、16、18、 19、20、25、26、 27、28、29	10	小学3～中学3年生	14	『おしゃべりなからだたち』	8/29	53
合計				48		55			265

会場名		アーティスト	開催日	日数	対象学年	参加者(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者(人)
児童養護施設等	宮代学園(渋谷区)	松岡大 (舞踏家)	オンライン：7/30、 8/19、9/11 対面：10/23、 11/21、12/19、 3/28	7	小学5～高校3年生	5	『ここにおいでよ』	3/28	15
	聖ヨゼフホーム(西 東京市)	長井江里奈 (ダンサー・演出家・山 猫団主宰)	オンライン：1/6	1	小学2～小学4年生	7	—	—	—
	養育家庭の会 つくし小平支部(小 平市)	田畑真希 (ダンサー・振付家)	3/26	1	年中～高校3年生	16	—	—	—
合計				9		28			15

※実績日数は発表を含む

## 【参加者の声】

### ●ホール

- ・最初はそんなに乗り気ではなかった娘が、初日に迎えに行くと満面の笑みで、楽しかったー！と帰ってきました。それからは毎回どんどん練習が楽しくなるようで、家でもその話ばかり。ストレッチも頑張ったり、すっかり夢中になっていきました。細かいところは内緒だよ！言いながらも、目をキラキラさせながら、自分たちでどういう風に踊りを考えて作っているかを話す様子は、自信に溢れ本当に楽しそうでした。本番が終わり、家族みんなですごく良かったねー！と出迎えると、普段は褒められてもあまり喜ばない娘が、本当に嬉しそうに笑っていました。その姿を見て、今回参加させていただき本当に良かったと思いました。(青梅市文化交流センター／保護者)
- ・いろいろ面白いこととか、楽しかったことがいっぱいありました。いろんな人と友達になれたし、参加してよかったことがいっぱいあったから、またやる時はやりたいです。またみんなと会えたら良いなと思いました。(西東京市保谷こもれびホール／出演者)

### ●学校

- ・男の子2人が女の子1人をグループに誘ってダンスをしたり、いつも落ち着いて生活している児童が思い切り身体を使って思いを表に出したり、子供たちの違った一面を見ることができ、とても楽しく嬉しかったです。同じことはできませんが、アイデアを今後の授業に活かしていきたいと思っています。(品川区立三木小学校／先生)
- ・子供からは、家でどんなダンスをしているのか全く知らされていなく、題名を見ただけでも、想像が付きませんでした。始まってみたら、ドラムの生演奏で子供たち皆違った動きで、一般的なダンスのイメージとは違った物で驚きました。一人ひとり、その子にあったできる踊りをしているように見えました。短時間の間で、皆が違った動き、違った登場場面でも、クラス一丸となり、まとまって立派な作品だったと思います。子供たちの顔が皆キラキラで素敵でした。(八王子市立鹿島小学校／保護者)
- ・創作ダンスは初めてだったので、初めはとても不安だったんですけど、やっていくうちに自分たちがつくったダンスを見てもらいたくなっていきました。「歩く」や「走る」のようないつもやっていることも、少し変えたりするとまた面白いことが見つかったりして楽しかったです。一人ひとり違っていい、違うところがあるからこそ面白いこともあると思いました。(墨田区立業平小学校／生徒)

### ●児童養護施設等

- ・今年度も一年を通して、オンラインと対面での実施となりました。コロナ禍以来、当学園の行事も縮小または中止等の対応を余儀なくされています。行事の中でダンス等をする機会がありましたが、ここ数年そういった機会も殆どない状況でした。参加していた子供たちもそうですが、特に最終回を見学に来たお子さんも飛び入り参加をして、楽しそうに踊る姿を見ることができ、子供たちにもよい機会となったと思います。(宮代学園／職員)

# 30

## Museum Start あいうえの

### 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
場 所	上野公園内の集積する9つのミュージアム
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館・アーツカウンシル東京、東京藝術大学
共 催	上野の森美術館、恩賜上野動物園、国立科学博物館、国立国会図書館国際子ども図書館、国立西洋美術館、東京国立博物館、東京文化会館（五十音順）
参加者数	延べ3,879人 ※準備会等 463人を含む

### 【事業趣旨（目的）】

「Museum Start あいうえの」は、ミュージアム、大学、行政、市民が手を携え、新しい学びの機会の創出を目指す、21世紀型の教育事業（ラーニング・デザイン・プロジェクト）である。さらに、アートを介してコミュニティを育む事業、東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」と連動しながら、子供と大人がフラットに学び合える環境を創造することを目指す。

### 【開催状況】

#### 1. 学校プログラム

##### （1）スペシャル・マンデー

開催日	展覧会	参加校	参加者(人)
9/8、11、13	Walls & Bridges 世界にふれる、世界を生きる	渋谷区立長谷戸小学校（9/8,11オンライン）	60
9/27		江東区立第三大島小学校（オンライン）	96
10/6		江東区立八名川小学校（オンライン）	55
10/25	ゴッホ展—響きあう魂 ヘレーネとフィンセント	国分寺市立第九小学校	64
10/25		台東区立平成小学校	25
10/25		台東区立東泉小学校	52
2/28	ドレスデン国立古典絵画館所蔵 フェルメールと17世紀オランダ絵画展	都立田園調布特別支援学校	32
2/28		台東区立大正小学校	75
3/8		筑波大学附属大塚特別支援学校（オンライン）	18
計			※477

※ 参加者（子供）のほか、引率者、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ177人がプログラムに参加  
 ※ 上記開催日のほか、準備会として、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ109人がプログラムに参加

##### （2）うえのウェルカム

開催日	参加校	参加者(人)
7/30	都立本所高等学校	9
8/27、9/29	東洋女子高等学校（8/27オンライン）	126
10/12	私立和光高校	13
10/14	台東区立根岸小学校	94
10/22	台東区立富士小学校	54
11/16	台東区立忍岡小学校	48
11/30	台東区立蔵前小学校	94
3/7	台東区立東浅草小学校（オンライン）	51
計		※489

※ 参加者（子供）のほか、引率者、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ162人がプログラムに参加  
 ※ 上記開催日のほか、準備会等として、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ108人がプログラムに参加

#### 2. ファミリー&ティーンズ・プログラム

##### （1）SDGsで探究！名建築をみる

開催日	対象	会場	参加者(人)
8/1、10/30 （2日間全4回）	小学校1年生～高校3年生と保護者	東京都美術館	※280

※ 参加者（子供）のほか、保護者、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ76人がプログラムに参加  
 ※ 上記開催日のほか、準備会（オンライン含む）として、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ40人がプログラムに参加

(2) うえの！アトリサーチャー

開催日	内容	対象	参加者(人)
8/7、8、10/2、3 (4日間全8回)	ステップ1 (オンライン)	小学校1年生～高校3年生とその保護者	550
8/24、25、26、28、29、9/4、5、11/3、4、6、7、8、11、13、14、12/4、5、7、11、12、1/29、30、2/6、3/20、21、23、24、25、27 (29日間全29回)	ステップ2 (リアル)	「ステップ1オンライン」に参加した子どもとその保護者	591
計			※1,141

※ 参加者(子供)のほか、保護者、アート・コミュニケーター(とびラー)など延べ171人がプログラムに参加  
 ※ 上記開催日のほか、準備会・作品下見会等(オンライン含む)として、アート・コミュニケーター(とびラー)など延べ100人がプログラムに参加

(3) みる旅—芸術と科学に出会い、過去と未来へ旅する3日間

開催日	対象	会場	参加者(人)
7/18、23、24、25 (4日間全4回)	高校生、65歳以上の大人	東京都美術館	※239

※ 参加者(子供)のほか、保護者、アート・コミュニケーター(とびラー)など延べ92人がプログラムに参加  
 ※ 上記開催日のほか、準備会(オンライン含む)として、アート・コミュニケーター(とびラー)など延べ20人がプログラムに参加

3. ダイバーシティ・プログラム

美術館でやさしい日本語「SDGsでミュージアム！」

開催日	協力団体名	会場	参加者(人)
12/19	中野区国際交流協会 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク	東京都美術館	※22

※ 参加者(子供)のほか、保護者、アート・コミュニケーター(とびラー)など延べ21人がプログラムに参加  
 ※ 上記開催日のほか、準備会として、アート・コミュニケーター(とびラー)など延べ12人がプログラムに参加

4. ミュージアム・コミュニティの創出

(1) アンバサダー・プログラム

開催日	対象	会場	参加者(人)
4/4、8/27、29、11/3、8、3/19、20 (7日間全8回)	アート・コミュニケーター(とびラー)の家族・知り合いの対象年齢の子供を含むファミリー	東京都美術館	※22

※ 参加者(子供)のほか、保護者、アート・コミュニケーター(とびラー)など延べ36人がプログラムに参加  
 ※ 上記のほか、準備会(オンライン含む)として、アート・コミュニケーター(とびラー)など延べ8人がプログラムに参加  
 ※ 上記のほか、アート・コミュニケーター(とびラー)自身による学び合いの会(あいうえのを知ろう・語ろう会、リアルに冒険ノートを書く会)延べ66人が参加

(2) Museum Start あいうえの 2022 meeting

開催日	参加機関	参加者(人)
3/2	あいうえの連携各館	11

【参加者の声】

●学校プログラム

- ・コロナ禍で、学習活動が制限されている中、貴重な校外学習の場となった。学習のねらいとしている「地域の価値を再発見すること」に大いにつながる学習の機会となった。(スペシャル・マンデー：台東区立小学校教員)
- ・コミュニケーションの苦手な子どもも友達の様子を見て、参加していた。子どものつぶやきに丁寧に応えてくださって、子どもたちは嬉しそうだった。(スペシャル・マンデー：都内公立小学校教員)
- ・鑑賞した展示やこのプログラムから影響を受けて、立体的な表現に取り組む生徒が増えたと思います。この展示からなんらかのヒントを得て、文化祭に向けて制作しています。(うえのウェルカム：私立高校教員)

●ファミリー&ティーンズ・プログラム

- ・グループのメンバーで思ったことを共有して自分では見つけられなかったことも見つけられたし、自分の考えが深まった。(SDGsで探究！名建築をみる：子供)
- ・あかや、みどりや、きいろや、あおの、かべもあるし、カラフルの、いすがあって、かわいくてすてきだった。(SDGsで探究！名建築をみる：子供)
- ・大人には物の見方のおもしろさ、先の世代をみすえてつくられたことの感動がありました。子どもとあせらず、アートをたのしんでいけるよう、今日のお話をヒントにかかわっていきたいと思います。(SDGsで探究！名建築をみる：保護者)
- ・まさにアクティブラーニング！！面白かったです。(SDGsで探究！名建築をみる：保護者)

- ・学校ではどうしても「正解」が求められる教育の場になりがち一方で、自由に発言したり、一つのアートに対して様々な見方をどんどん出すことに価値があり、それを楽しむ場で良いことが子どもたちにも伝わっている感じがしました。それと、オンラインだったからこそ、細部にまで集中して絵を見ることができていたなとも感じました。(うへの！アートリサーチャー：オンライン・保護者)
  - ・ぼうけんノートを書いて、お友だちと発表できて楽しかった！「ミイラ展」に行ってる子がいて、私もミイラ展にいつてみたいなあと思っていたので、かんそうをきけてうれしかった！ますます行きたくなりました！(うへの！アートリサーチャー：リアル・子供)
  - ・緑の中でも、みんなが探した緑は全部ちがう色で、色にも色々な見方があること。(うへの！アートリサーチャー：リアル・子供)
  - ・いつもなんとなく見ている展示が、ミッションを与えられた事でどの辺りの展示室に行くか、どの展示を書きたいかなど、相談したり、見る視点も変わってとても楽しかった。(うへの！アートリサーチャー：リアル・保護者)
  - ・子どもが自主的に展示物に対して「なぜ？」という疑問を持ってくれた。(うへの！アートリサーチャー：リアル・保護者)
- ダイバーシティ・プログラム
- ・美術は絵だけじゃないことがわかった(子供)
  - ・1つのことでもみんなに考え方が違うなだと思いました。いろんな作品にいろんな思いがあるのだと思いました(子供)
  - ・外国ルーツの子に向けたプログラムが行われていること自体が、当事者の子どものみならず、社会的にも意味があると思った。(引率スタッフ)
  - ・たくさんの方々が美術館と子どもの可能性にワクワクしている、そんな感じを受けました。これからもまたご縁がありましたら、一緒にワクワクしたいですね！(引率スタッフ)

# 31

## TACT FESTIVAL2021

### 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年7月、8月
会場	東京芸術劇場 ほか
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場・アーツカウンシル東京、東京都
来場者数	3,183人

### 【事業趣旨（目的）】

青少年の感受性を育み、コミュニケーション能力を向上させることを目的として、海外から一流の劇団を招聘し、親子で楽しむことのできる上質な舞台公演やパフォーマンスを上演する。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、5月に実施を予定していたTACT FESTIVALは中止することとし、実施予定だったプログラムの一部をオンラインや番外編として実施した。

公開日・公演日（回数）	会場	公演名	出演者等	料金（円）	視聴数（回）・入場者（人）
7/15～	オンライン	『水属性』	かざねざりストバンド	無料	1,946
7/20～8/2		"Life is Rhythm. Rhythm is Life."	熊谷和徳 Performance with Kaz Tap Company		
8/1～31		朗読音楽劇『シンデレラ』	朗読：藤井咲有里 朗読：石山蓮華		715
8/6～8（5）	東京芸術劇場シアターウエスト	TACT FESTIVAL 2021【番外編】特盛！ファミリー寄席	『こどもらくご～一之輔の巻』 春風亭一之輔、林家二楽（紙切り）、春風亭びつかり☆ 『若手真打揃い踏み』 笑福亭羽光、昔昔亭A太郎、瀧川鯉八、桂宮治、春風亭昇々 『こどもらくご～花緑の巻』 柳家花緑、翁家勝丸（太神楽）、春風亭昇也 『ウルトラ怪獣39体を切る！？』 林家二楽、林家八楽【スペシャルゲスト】柳家喬太郎、柳家喬之助 『こどもらくご～正蔵の巻』 林家正蔵、翁家勝丸（太神楽）、三遊亭わん丈	『若手真打揃い踏み』 『ウルトラ怪獣39体を切る！？』 大人：3,800 25歳以下：2,000 高校生以下：1,000 小学生：500 ファミリーセット券： 3,800（大人1名+小学生1名） 『こどもらくご』 大人：3,000 25歳以下：2,000 高校生以下：1,000 小学生：500 ファミリーセット券： 3,000（大人1名+小学生以下1名）	522
合計					3,183

### 中止プログラム

公演日（回数）	会場	公演名	作・出演者等	料金（円）	入場者・来場者（人）
5/3～5（18）	東京芸術劇場アトリエウエスト	『コンサート・フォー・ワン・ファミリー』	ピアノ：高橋優介 ヴァイオリン：平澤海里 マリンバ：宗石月海 サクソフォン：日下雅央 ほか	—公演：3,000	—
5/3～5（9）	東京芸術劇場アトリエウエスト	朗読音楽劇『ヘンゼルとグレーテル』『シンデレラ』	演出：田中圭介 朗読：石山蓮華、藤井咲有里 ピアノ：高橋優介 フルート：正木知花 オーボエ：高橋早紀 クラリネット：近野千昌 ファゴット：陶山咲希 ホルン：川崎菜里	—一般：1,500 子ども（4歳以上小学生まで）：500	—

公演日 (回数)	会場	公演名	作・出演者等	料金 (円)	入場者・ 来場者 (人)
5 / 6 ~ 9 (5)	東京芸術劇場 シアターイースト	ファミリー寄席	『ウルトラ怪獣39体を切る!?!』 林家二楽、林家八楽【スペシャルゲスト】柳家喬太郎、柳家喬之助 『若手真打揃い踏み』 柳亭小痴楽、昔昔亭A太郎、瀧川鯉八、桂宮治 『こどもらくご~花緑の巻』 柳家花緑、林家二楽(紙切り)、三遊亭わん丈 『こどもらくご~一之輔の巻』 春風亭一之輔、林家二楽(紙切り)、春風亭昇也 『こどもらくご~正蔵の巻』 林家正蔵、翁家勝丸(太神楽)、春風亭びっかり☆	『ウルトラ怪獣39体を切る!?!』 『若手真打揃い踏み』 大人: 3,800 25歳以下: 2,000 高校生以下: 1,000 小学生: 500 ファミリーセット券: 3,800 (大人1名+小学生1名) 『こどもらくご』 大人: 3,000 25歳以下: 2,000 高校生以下: 1,000 小学生以下: 500 ファミリーセット券: 3,000 (大人1名+小学生以下1名)	—
5 / 7 ~ 9 (3)	東京芸術劇場 シアターウエスト	田中泯ダンス オードリに惚れちゃって! — 『形の冒険Ⅲ—擬態男 ミミクリマン』	原案・演出・出演: 田中泯 出演・スタッフ: 佐成哲夫、奥野瑛太 ほか	一般: 4,000 25歳以下: 2,000 高校生以下: 1,000	—
5/3,4 (2)		はじめてのTAP!	講師: 熊谷和徳(監修)、Kaz Tap Company	無料	—
5/2 (1)	グローバルリングシアター (池袋西口公園野外劇場)	"Life is Rhythm. Rhythm is Life." 熊谷和徳 Performance & Talk with Kaz Tap Company	熊谷和徳、Kaz Tap Company、ラティール・シー	無料	—
5/1~4		『街角LIVE!』	出演: 様々なアーティスト	無料	—

## 【参加者の声】

### ● TACT FESTIVAL2021【番外編】特盛！ファミリー寄席

- ・ 子供さん向けということで、お囃子講座のリクエストで「鬼滅の刃」があがったり、紙切りに「キン肉マン」の声がかかると、楽しい落語会でした。一之輔師匠の高座も最高！まくらで蕎麦を食べるしぐさの後の「まずい！」で一気に会場が沸いたのはさすがでした。
- ・ 一之輔さんの落語を見てみたいと以前から思っていたので今回鑑賞しました。短い時間のなかに盛り沢山の内容で最後まで楽しめました。客席には子どもたちも多く通常より盛り上がっているように感じました。昨年ファミリー寄席を一日だけ鑑賞しましたが、その時よりも序盤の寄席ばやし、太鼓レクチャーの内容が充実しているように感じてよかったです。楽譜なしに様々な楽曲をその場で演奏できてしまうお三味線のお師匠さんに感激しました。また、お三方の落語はどれも子どもの登場する短めのお話で、最後まで飽きずに聞くことができました。
- ・ ファミリー向けという事で、わかりやすく盛り沢山の、とても楽しめました。普段見れない太鼓とお囃子さんの生演奏が新鮮でした。春風亭びっかりさんの明るく楽しい落語も良かったです。何と云っても、柳家花緑さんは圧巻でした。目まぐるしく変わる表情、熱量、迫力に引き込まれました。小さなお子さん達も大笑いで、人間くささで笑いをとる落語の素晴らしさを、あらためて感じました。
- ・ びっかりさんの「転失気」、とっても面白かったです！！土曜日ということもあってお子様が多かったのですが子供たちの反応が非常に面白くてそれに笑ってしまうこともありました！
- ・ 窓口の方がとても感じが良かったです。
- ・ 大変楽しめましたが、こども達は思っているよりも落語を良く知っているのに驚きました。噺家さん達はその辺をよくリサーチして、もっと攻めた高座をして欲しかった。
- ・ 古典をウルトラマンに替えての落語二題はとても面白く、二楽さん親子の紙切りマラソンはとても素晴らしかったです。お囃子がウルトラマンの曲でずっと続いていて、とても大変だったと思いますが流石でした。

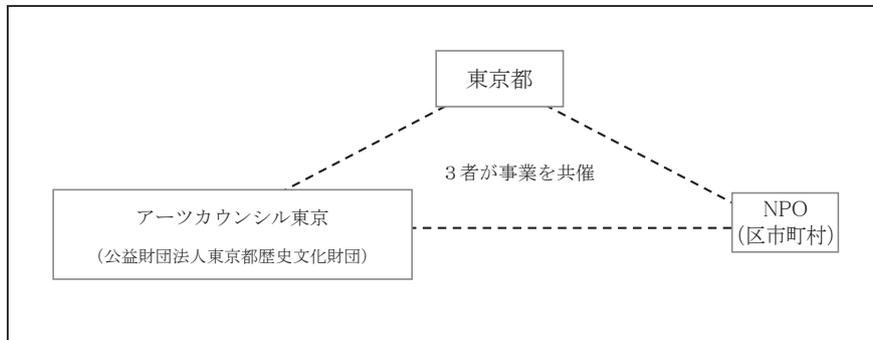
## 東京アートポイント計画 東京における文化創造拠点の形成

東京アートポイント計画は、地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す事業である。

日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクト。東京アートポイント計画では、平成21（2009）年度から現在（令和4年3月）までに、NPOを中心に53団体と42件のプロジェクトを共催してきた。本事業では、日常や社会に芸術文化が根付き、長期的な東京の魅力創造につなげるために、アートプロジェクトを担う人材の育成や活動基盤の整備、区市町村の参画も重視している。

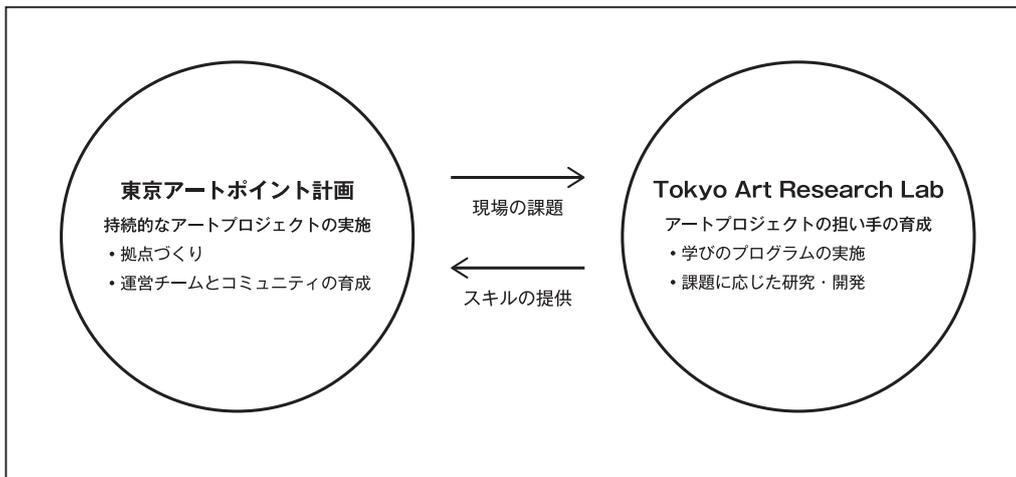
東京アートポイント計画の各アートプロジェクトは、東京都およびアーツカウンシル東京とNPOとの「共催事業」として実施している。費用負担のみならず、東京アートポイント計画のプログラムオフィサーが各プロジェクトに伴走し、情報、スキル、ネットワーク等をNPOに提供する点が特徴である。

### 東京アートポイント計画「共催事業」の実施体制



東京アートポイント計画は、アーツカウンシル東京の人材育成事業「Tokyo Art Research Lab」と連携し、アートプロジェクトの運営を担う人材を育てる「思考と技術と対話の学校」や、記録や評価手法を研究・開発するプログラムと相互にフィードバックを行っている。

### アーツカウンシル東京におけるアートプロジェクト関連事業での連携



## 32

## アートアクセスあだち 音まち千住の縁

## 【概要】

開催期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
会場	足立区千住地域 ほか
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区
助成	野村誠「千住だじゃれ音楽祭」：（独）国際交流基金、令和3年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業 イミグレーション・ミュージアム・東京：（公財）朝日新聞文化財団、（公財）花王芸術・科学財団、（公財）福武財団、東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト アサダワタル「声の質問19」：（一財）YS市庭コミュニティー財団
協力	野村誠「千住だじゃれ音楽祭」（広域連携事業）：「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会 1 DAYパフォーマンス表現街：千住本町商店街振興組合 友政麻理子「窓映画館、カーテンの夢」：知らない路地の映画祭制作委員会、にいがた映画塾、湯の夢映画祭、KYAF、ハアフーフ、足立区立中島根小学校、コヒタク、タマありやす
後援	野村誠「千住だじゃれ音楽祭」（広域連携事業）：墨田区、台東区
参加者数	10,460人

## 【事業趣旨（目的）】

足立区の千住地域を舞台に、アートを通じた地域文化の形成と創造発信を目的として実施している住民参加型のアートプロジェクト。

「音」をテーマにしたアートイベント、ワークショップ、トークイベントなど、市民とアーティストが協働する“まちなかアートプロジェクト”を展開し、人と人、人と場所、人とアートの様々な「縁」を結び、足立区の魅力を創造発信するとともに、新たな地域文化の交流と形成を目指す。

## 【開催状況】

## 1. 大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住（以下、「メモリバ）」

「メモリバのホームステイ」は、音まちが管理するシャボン玉マシンを区内の「ホーム」（ご家庭）に貸し出し、シャボン玉を通じたささやかな非日常の対話の場を立ち上げるとともに、メモリバの本番の開催に向けて新たな縁を紡いでいくことを目指した。足立区内を対象にホスト役を公募し4件の応募があり、ホスト役の方とともに各家庭に合わせたプログラムを行った。そのうちの1件は、足立区内の児童養護施設からの応募で、これまで本事業ではアプローチの難しかった福祉施設と関わるきっかけにもなった。また、本事業の周知活動の一環として行った「Memorial Rebirth 千住 広報事業 in Kids Village Christmas」では、五反野・西綾瀬地域で活動する子供を対象とした団体からの相談によって実現。未開拓の地域での開催は、新規層へのアプローチとなった。そのほか、アーツカウンシル東京が行っているTokyo Art Research Labの一環で、メモリバの11年の活動の振り返りおよび事業成果の可視化を目的とした本を発行した。

開催日	プログラム名	内容	会場	アーティスト・講師	参加者(人)
6/20、9/19、10/3、16、11/7	メモリバのホームステイ（5日間）4件実施	シャボン玉マシンとともに市民の思い入れのある場所（「ホーム」）に赴き、コロナ禍だからできる対話の場をつくるプロジェクト。足立区内を対象に公募を行い、足立区千住緑町、足立区西新井など合計4か所で実施した。コロナ禍だからこそ、改めて家族との時間をつくるために応募した方や、家族と暮らす新たな家での思い出づくりや、児童養護施設での開催などホスト役となる方々の思いの「ホーム」で開催した。	足立区内4か所（個人宅3件、区内児童養護施設1件）	—	119
9/20、10/11、24	メモリバのホームステイ（マシン講習会）	メモリバのホームステイを実施するにあたり、シャボン玉マシンを取り扱ったことのない市民に向けて行う講習会を実施した。	東京藝術大学千住キャンパス	音まち事務局および学生スタッフ	5
12/25	Memorial Rebirth 千住 広報事業 in Kids Village Christmas	足立区五反野地域で活動する「Kids Village」が主催する「Kids Village Christmas」に音まち広報事業として参加した。	足立区西綾瀬	大巻電機K.K.、音まち学生スタッフ	500
4/24、6/13、7/16、8/14、9/20、11/13、12/25、1/15、3/20	大巻電機K.K. 定例活動日（9回実施）	対面とオンラインのハイブリッド形式で実施。「メモリバのホームステイ」の広報や実施内容を中心に、企画の方向性などについて議論した。	東京藝術大学千住キャンパス・Zoom	大巻電機K.K.	67

## 2. 野村誠「千住だじゃれ音楽祭」

今年度は作曲家・野村誠と市民メンバーであるだじゃれ音楽研究会（以下、だじゃ研）、国内外の音楽家等とウェブ会議用ツールZoomとYouTubeを最大限に駆使して、オンラインで新しい音楽表現を生み出す活動を継続的に実践した。具体的には、平成25（2013）年以降から続けてきたASEAN諸国の音楽家や民族音楽学者等との交流を継続しながら、国内外から演奏者・ゲストを募りオンラインイベント「アジアだじゃれ音Line音楽祭」を開催。また、野村誠とだじゃ研と定期的に行う「活動日」では、活動のハイブリッド化を積極的に促し、参加者の関わり方の幅をひろげた。そのほか、令和3年度文化庁大学における文化芸術推進事業の一環として、台東区（東京藝術大学上野キャンパス）と墨田区（隅田公園そよ風ひろば）を会場に隅田川に隣接する基礎自治体との広域連携やだじゃ研メンバーの獲得を目的とした活動を行った。

開催日	プログラム名	内容	会場	アーティスト・講師	参加者数 (人)	アーカイブ 視聴数(回) ※3/31現在
4/11、16、25、5/8、23※2回、6/6、19、20、26、7/11、18、25、8/21、28、9/4、10/9、12/20、1/21、22※2回、23、2/25、3/11	だじゃれ音楽研究会 定例活動日 (24回実施) ※12/20、1/22、1/23は足立区、墨田区、台東区での「スーパー活動日」	野村誠と市民メンバーが中心になり、月1～2回ペースでだじゃれ音楽の実験の場としてイベントやワークショップ、楽曲制作などを実施。今年度は、東南アジアや英国の音楽家たちと演奏実験を重ね、だじゃれ音楽を通じた幅広い「共演の場」をアレンジした。 ※スーパー活動日：東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科が主催する文化庁補助事業「Meeting アラスミ!」の取り組みと連動した「広域連携事業」として実施	オンライン (Zoom)、仲町の家、東京藝術大学千住キャンパス、隅田公園そよ風ひろば、東京藝術大学上野キャンパス	野村誠（作曲家）、だじゃれ音楽研究会（市民音楽団体）、佐久間新（ジャワ舞踊家）、アナン・ナルコン（民族音楽学者）、メメット・チャイルル・スラムット（作曲家）、ウン・チョー・グアウン（サウンドアーティスト）、ヨード（タイ人形師）、ガンサデワ（民族音楽バンド）、北澤潤（美術家）、Hugh Nankivell（作曲家）、Emma Welton（バイオリン奏者）	活動日参加者：271 スーパー活動日参加者：212	—
9/12	千住の1010人 from 2020年「アジアだじゃれ音Line音楽祭」	令和2（2020）年から継続している、オンラインを舞台とした参加型音楽の可能性を追求する活動の集大成として、トーク・作品上演・ワークショップを盛り込んだ参加型オンラインフェスティバルを開催した。また、終了後も配信映像をYouTubeで公開した。	オンライン (Zoom)、YouTube 配信	野村誠、だじゃれ音楽研究会、佐久間新、アナン・ナルコン、メメット・チャイルル・スラムット、ウン・チョー・グアウン、ヨード、ガンサデワ、北澤潤	593 ※当日視聴回数	881
9/12	千住の1010人 from 2020年「アジアだじゃれ音Line音楽祭」(第2部：参加型オープン・ワークショップ)	上記企画の一環として、各国のアーティストと参加者がリモートで、多言語が入り混じる即興セッションを行った。	オンライン (Zoom)、YouTube 配信	野村誠、佐久間新、アナン・ナルコン、メメット・チャイルル・スラムット、ウン・チョー・グアウン	52	—
3/12公開	【映像音楽作品】千住の1010人 from 2020年「アジアだじゃれ音Line音楽祭」	令和2（2020）年に制作した音楽映像作品「千住の1010人 from 2020年「アジアだじゃれ音Line音楽祭」」に2021年度の活動内容に加え、千住の1010人 from 2020年「アジアだじゃれ音Line音楽祭」を制作し、YouTubeで公開した。	YouTube 配信	野村誠、だじゃれ音楽研究会、佐久間新、アナン・ナルコン、メメット・チャイルル・スラムット、ウン・チョー・グアウン、ヨード、ガンサデワ、北澤潤、愛不同藝術、オーバージーンズ、水野翔子（コントラバス奏者）、島多瑠音（ピアニスト）、アジアだじゃれ音Line音楽祭ワークショップ参加者	—	207

## 3. イミグレーション・ミュージアム・東京

多国籍化の進む足立区から、海外ルーツの人々に着目した展覧会を開催。多文化社会を知り、考え、参画していくプラットフォームとして、ゲスト&ホストアーティストの展示、日本に暮らす海外にルーツをもつ方の公募展、アートを積極的に取り入れ多文化共生に取り組む国内の活動団体の紹介を行った。また、会期中にはトークイベントも4回開催。そのほか、区内の小学校にアウトリーチと対話型鑑賞ツアーを4校実施。市民チーム「IMMねいばーず」とともにリサーチや勉強会なども通年で実施した。

開催日	プログラム名	内容	会場	アーティスト	参加者 (人)	ページ ビュー数 (回)
4/3、5/1、6/5、7/3、8/7、7/31、8/28、9/4、9/24、10/2、11/6、12/4	IMMねいばーず定例ミーティング&多文化リサーチプロジェクト (12回実施)	市民チーム「IMMねいばーず」が、美術展の開催に向けての準備や対話型鑑賞講座など、多文化社会×アートについて考える定例ミーティングを中心に活動を展開した。また、メンバーがまちなかへリサーチへ行き、首都圏の多国籍化や多文化化を捉えることを目的としたフィールドワークを実施した。「食」を軸に、私たちの身の回りで複雑に絡み合う「滲み出る多文化」をテーマにし、無意識に享受している様々な文化を可視化させる活動を展開し、美術展では、フィールドワークの活動成果展を行った。	オンライン	[講師] 一般社団法人アプリーシイイトアプローチ [参加] IMMねいばーず (IMM市民チーム)	93	—

開催日	プログラム名	内容	会場	アーティスト	参加者(人)	ページビュー数(回)
11/18、22、12/7、10	多国籍美術展 関連プログラム①アウトリーチ・ワークショップ(4回実施)	足立区内の小学校4校へアーティストと海外ルーツをもつ藝大生を派遣し、多様性をテーマにした「アウトリーチ・ワークショップ」を計4回実施した。足立区の担当者や小学校の先生と協働し、企画の調整段階からアーティストが介入することで各学校の特性を生かしたプログラムを開発した。	足立区立千寿本町小学校(11/18)、足立区立興本小学校(11/22)、足立区立千寿第八小学校(12/7)、足立区立千寿小学校(12/10)	[ワークショップ講師] 綾田 将一(俳優)、Sepideh Hashemi(アーティスト/東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科修士課程在籍)、韓 河羅(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科修士課程在籍)、黄 夢圓(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科修士課程在籍)、長田ボンシリ・アリサ(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科修士課程在籍)	323	—
12/11~26	多国籍美術展・「わたしたちはみえてい—日本に暮らす海外ルーツの人びと—」(オープン 北千住BUoY:14日間 仲町の家:10日間 ※12/21は視察対応として臨時でオープン)	千住エリアにあるアートセンターBUoYと仲町の家で、多文化社会やオリンピックをテーマにした「多国籍美術展」を開催した。	北千住BUoY、仲町の家	■作品展 [監修/出展作家]岩井成昭(美術家) [参加アーティスト] 岩根愛(写真家)、高山明(アーティスト・演出家)、李晶玉(美術家) ■公募展 [出展者] Ea Tulin、ライル・ニセンホルツ、長江春子/胡春平、リー正敏、Golmaryam Masood ansari、Laura Kauppinenova、Cedric Rolando - Neoyume、ユサン・フィン、Tianqi Fu、INH0 ■活動紹介展 [参加団体] 特定非営利活動法人アディアベバ・エチオピア協会、特定非営利活動法人ダンスボックス、カナガワビエンナーレ国際児童画展、公益財団法人国際文化フォーラム、マルバ、公益財団法人可児市文化芸術振興財団、武蔵野美術大学・カシオ計算機株式会社、特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海、東京外国語大学 多言語多文化共生センター、みえ市民活動ボランティアセンター、一般社団法人kuriya、THEアート・プロジェクト多文化読み聞かせ隊、東京で(国)境をこえる、イミグラジオ~アーツ前橋多文化放送局~ [空間デザイン]L PACK。(アーティストユニット)	1471	288
12/13、16、17、20、21	多国籍美術展 関連プログラム②対話型鑑賞ツアー(7回実施)	会期中、アウトリーチ・ワークショップを体験した小学生全員を展覧会へ招待し、アートコミュニケーターとIMMの市民メンバーがファシリテーターとして協働して「対話型鑑賞ツアー」を実施した。	北千住BUoY	[講師] 一般社団法人アプリーシエイトアプローチ [ツアー進行] IMM ねいばーず	311	
12/11	多国籍美術展 関連トークイベント 多文化社会とオリンピック	会期中、多文化社会を多角的に考えるトークイベントを開催した。イベント終了後、来場者や出展アーティストなど関係者を交えた意見交換の場となった。	東京藝術大学千住キャンパス 第7ホール	ゲスト: 岩根愛(写真家)、高山明(演出家・アーティスト)、李晶玉(美術家)、モデレーター: 岩井成昭(美術家、IMM東京主宰)	13	
12/19	多国籍美術展 関連トークイベント アート×SDGsの可能性—アートは社会になにをなげかける?—			ゲストスピーカー: 近藤やよい(足立区長)、日比野克彦(アーティスト、東京藝術大学美術学部長)、コメンテーター: 岩井成昭(美術家、IMM東京主宰)、モデレーター: 熊倉純子(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授)	44	
12/25	多国籍美術展 関連トークイベント 写真で観る内なる国際化?!—名越啓介スライドトーク『Familia 保見団地』—			ゲスト: 名越啓介(写真家)、岩井成昭(美術家、IMM東京主宰)、モデレーター: 熊倉純子(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授)	25	
12/25	多国籍美術展 関連トークイベント 公募展 アーティスト・トーク			ゲスト: Golmaryam Masood Ansari、Lyle Nisenholz、INH0、進行: 岩井成昭(美術家、IMM東京 主宰)	18	

4. アサダワタル「声の質問19」(千住・人情芸術祭)

コロナ禍の生活を伺う19項目のアンケートと、作曲家・田中未知による著書『質問』に掲載されている365個の質問への回答を素材として《コロナ禍における緊急アンケートコンサート 声の質問19/19 Vocal Questions》を東京藝術大学千住キャンパス第7ホールで9月末に開催。10月にはコンサートの記録映像を同会場で4日間にわたり上映した。2月には東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科修士論文発表会の企画として、同会場で再上映およびアサダワタルとドラマトゥルクの長島確のポストトークを行った。また、2月12日から27日まで期間限定で記録映像のYouTube配信を行った。

開催日	プログラム名	内容	会場	アーティスト	参加者(人)	アーカイブ 視聴回数 (回) ※ 3/31現在
5/15、17	「質問」の読み上げ収録	コンサートの演出の一つ「質問の木」製作のため、365本のカセットテープに「質問」を一問ずつ収録した。	仲町の家	—	50	—
9/26	コロナ禍における緊急アンケートコンサート 声の質問19/19 Vocal Questions	「声の質問」の集大成として開催したコンサート。「質問楽団」のバック演奏とともに、原作からの引用を交えて、「語りと音楽による舞台」を繰り広げた。仲町の家や区内各所で収録された「声」による回答や質問が演出の一部として効果的に使用された。	東京藝術大学千住キャンパス 第7ホール	原作：田中未知「質問」(1977) 総合演出：アサダワタル 演出パートナー：中川裕貴、ドラマトゥルク：長島確 舞台美術：後藤寿和(giftlab) 音響：大城真、岡千穂、庄子渉、中野哲 記録映像：西村明也、富田了平 撮影アシスタント：根本駿介 照明：松尾加奈 照明補佐：東彩織 質問楽団：アサダワタル(ナレーション/歌、ギター)、中尾真佐子(ナレーション/歌、バイオリン)、中川裕貴(チェロ)、米子匡司(トロンボーン、自作楽器) AD：瀧川宣之 カセットテープ再生係員：稲垣佳葉、木村楓、藤枝怜	58	—
10/23、24、30、31	コロナ禍における緊急アンケートコンサート 声の質問19/19 Vocal Questions 記録映像上映(4回実施)	9月に行ったコンサートを記録した映像を4日間にわたり延べ16回上映した。最終日は1 DAYパフォーマンス表現街と合わせて実施した。映像は単なる「記録」ではなく、意味と力を持った、アサダワタルの新たな「作品」となった。	東京藝術大学千住キャンパス 第7ホール		99	—
2/11	コロナ禍における緊急アンケートコンサート 声の質問19/19 Vocal Questions 記録映像再上映&ポストトーク(藝大修論発表会) 主催：東京藝術大学	アサダワタルのプロジェクトを当初から担当していた東京藝大院生の修論発表会に合わせた再上映と、ドラマトゥルクを担当した長島確とアサダワタルのポストトークを実施した。コンサートの実施会場でもあった第7ホールは満員となり、観客の当プロジェクトに寄せる関心の高さがうかがえた。	東京藝術大学千住キャンパス 第7ホール		68	—
2/12~27	コロナ禍における緊急アンケートコンサート 声の質問19/19 Vocal Questions 記録映像再上映 YouTube配信	期間限定で記録映像をYouTube配信した。	YouTube配信		—	652

### 5. 千住・緑レジデンス 友政麻理子「窓映画館、カーテンの夢」(千住・人情芸術祭)

レジデント・アーティストである友政麻理子がコロナ禍で新たに始めたプログラムで、千住・人情芸術祭の一環として実施。友政が夜に見る「夢」をもとに制作した映像を千住地域(全5か所)の窓に投影し、各窓を回遊しながら作品を鑑賞する屋外上映プログラムとして開催した。また、映像のもととした約90の「夢」は、「夢を語る会」としてオンライン/オフラインで集めた。

開催日	プログラム名	内容	会場	アーティスト	参加者(人)
4/5、8、12、17、27、5/2、14、18、24、6/13、14、19、21、24	夢を語る会(15回実施)	友政麻理子「窓映画館、カーテンの夢」で上映する映像素材をつくることを目的に約90人の方から夜に見た「夢」を伺うヒアリングを行った。	仲町の家、オンライン、ほか	友政麻理子	53
8/28、9/5、17~21	窓映画館 撮影(7回実施)	「夢を語る会」で集めた夢をもとに、これまでの千住・緑レジデンスの活動で関わりのできた地域住民とともに脚本の制作や、映像撮影を行った。	東京藝術大学千住キャンパス、足立区立中島根小学校	友政麻理子、知らない路地の映画祭 制作委員会	35
10/16、17	友政麻理子「窓映画館、カーテンの夢」	友政が夜に見る「夢」をもとに制作した映像を千住地域(全5か所)の窓に投影し、各窓を回遊しながら作品を鑑賞する屋外上映プログラムとして開催した。また、開催期間中、仲町の家は、立ち寄った来場者が「夢を語る会」で集められた夢や、来場者自身が見た夢を書けるような場所として開いた。	千住地域5か所ほか、仲町の家	友政麻理子	75(内訳来場者67、参加者:8)

### 6. 1 DAYパフォーマンス表現街(千住・人情芸術祭)

令和3(2021)年度から始まった新規事業の一つ。音まちのこれまでの実践を通して地域と育んできた「縁」を活かし、地域と本企画に参画する表現者との新たな「縁」を結ぶことを目指す。江戸時代から人々の交流と文化の根付く場所であった千住ほんちょう商店街(旧・日光街道)を会場に、公募で集まった多様なジャンルのパフォーマーがまちで表現を繰り広げるほか、ゲストアーティストによる特別パフォーマンスも行った。

開催日	プログラム名	内容	会場	アーティスト	参加者(人)
8/2、7、8、23、28、29、9/6	企画相談窓口(7回実施)	本企画の応募を考える方に向けて、仲町の家を会場に企画相談窓口を7日間開設した。	仲町の家	—	17
10/1、2	出演者説明会	本企画への出演が決まった方に向けて、本番当日の説明や出演者同士の交流も兼ねた説明会を実施した。	東京藝術大学千住キャンパス 第7ホール	—	55
10/31	1DAY パフォーマンス表現街	公募で集まった多様なジャンルのパフォーマー(45組177人)がまちで表現を繰り広げるほか、ゲストアーティストによる特別パフォーマンスも行った。なお、千住ほんちょう商店街で実施を予定していたが、雨天のため急遽東京藝術大学千住キャンパスをメイン会場とした。また、一時的に天候が良好となったため3組のみ千住ほんちょう商店街で実施した。	東京藝術大学千住キャンパス、千住ほんちょう商店街	どうぶつえんチーム(代表:Aokid)、ぎやえんどう、新人Hソケリッサ!、ほか公募出演者	746(内訳来場者:550、公募出演者:177、参加者:19)

7. 仲町の家（拠点形成事業）

平成28（2016）年度より本事業で活用している「仲町の家」は、これまで千住仲町エリアを舞台としたアーティスト滞在プログラムや、各事業のプログラム実施会場、また、アーティストやボランティアスタッフ、地域住民とともに活動の計画や作業、ミーティングを重ねるための場として活用してきた。

平成31（2019）年度終盤より流行し始めた新型コロナウイルス感染拡大のため、感染防止対策を講じながらの開室を継続。令和2（2020）年度後半より地域内外の個人やパートナー団体等とのネットワーク構築に着手するための拠点としての活用を図る「パイロットプログラム」を本格的に再開し、令和3（2021）年度は年間を通じて多様な「パイロットプログラム」を展開。コロナ禍においても「仲町の家」に集う方々同士のコミュニケーションや創造力を誘発し、新たな活動の種が育つ芸術活動創造拠点の形成を目指した。

開催日	プログラム名	内容	会場	アーティスト	参加者(人)
通年： 4/3～3/28の土日月・ 祝日（全162日） ※8/14～16夏季休室 ※1/1～3年末年始休室	文化サロン「仲町の家」	新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、江戸時代に建てられた趣ある日本家屋を「文化サロン」として毎週定期的の開室。開室時にはコンシェルジュが常駐し、来場者を迎え入れ交流や出合いの機会を図った。 コロナ禍で一時中断していた、様々な方々や団体とともに家の活用法や可能性を探っていく「パイロットプログラム」を昨年度末より本格的に再開。2021年度は年間を通じて、様々な企画が展開され、多くの来場者を集めた。JR東日本「駅からハイキング」などの集客イベントが中止になったにも関わらず、コロナ禍前より総来場者数が増える形となった。また来場者同士の交流も多く行われ、家での交流を契機に生まれたギターバンドは「1DAYパフォーマンス表現街」にも出演。その他、藝大の学生や千住の街の方々との交流で生まれた企画などが家の内外で実現された年ともなった。 引き続き、テレビや新聞、雑誌などでも家について紹介される機会があり、遠方からの来場者も集めた。	仲町の家		5,428
4/24、25（全2日間）	足立区立郷土博物館 出張展示「千住の琳派絵師 村越向栄の掛け軸、さとがえり」	千住宿の基盤を作った開発人のひとり石出掃部介吉胤を先祖にもつ石出家。その石出家の別邸である仲町の家を会場として、足立区立郷土博物館による出張展示を行った。石出家の支援を受けながら制作を行った琳派の絵師・村越向栄の石出家所蔵の作品が再び仲町の家に戻り展示された。新聞などでも取り上げられ、注目度も高く、二日間の展示で多くの来場者があった。	仲町の家	主催：足立区立郷土博物館	(225) ※上記（仲町の家 来場者数）に含まれる
4/3～12のうち、仲町の家開室日（全6日間） ※昨年度の2月より継続して開催。	パイロットプログラム：Nakacho Art Series 2021 #1 中岡尚子「エオリアン・ダンサー」	様々な方々や団体とともに家の活用法や可能性を探っていくプログラムを実施。今年度は東京藝術大学学生によるプログラムなど、合計11プログラムを実施した。	仲町の家・音まちミリオン座（茶室）	アーティスト：中岡尚子（東京藝術大学 音楽環境創造科 在学中） 主催：東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科 熊倉純子研究室 協力：NPO法人音まち計画	(71) ※上記（仲町の家 来場者数）に含まれる
5/1～6/21のうち、仲町の家開室日（全26日間）	パイロットプログラム：Nakacho Art Series 2021 #2 熊谷優里「あおば・あうと・おうと・おとうと・ばとう・げし」			アーティスト：熊谷優里（東京藝術大学 美術学部先端芸術表現科 在学中） 主催：東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科 熊倉純子研究室 協力：NPO法人音まち計画	(432) ※上記（仲町の家 来場者数）に含まれる
7/10～8/23のうち、仲町の家開室日（全20日間）	パイロットプログラム：Nakacho Art Series 2021 #3 中岡尚子 / 堀江幹 / 伊藤明日奈「2番目の風を右に曲がって」			アーティスト：中岡尚子 / 堀江幹 / 伊藤明日奈（東京藝術大学 音楽環境創造科 在学中） 主催：東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科 熊倉純子研究室 協力：NPO法人音まち計画	(252) ※上記（仲町の家 来場者数）に含まれる
9/18	パイロットプログラム：公演「シリーズ おとこの学校 #2 オン・ザ・ウェイ・ホーム」			クリエイションメンバー（出演）： 高田静流、竹ノ内友実、中村吉秀、松田天馬、望月寛斗 構成・演出：石原朋香 制作・プロデューズ：富山紗瑛 音楽：尾花佑季 記録：屋上 宣伝美術：石原朋香 主催：石原朋香、富山紗瑛	(16) ※上記（仲町の家 来場者数）に含まれる

開催日	プログラム名	内容	会場	アーティスト	参加者(人)
9/4~9/27のうち、仲町の家開室日(全13日間)	パイロットプログラム: Nakacho Art Series 2021 #4 福澤龍一《鶴跡》			アーティスト:福澤龍一(東京藝術大学 音楽環境創造科 在学中) 主催:東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科 熊倉純子研究室	(247) ※前出(仲町の家 来場者数)に含まれる
公開制作(インタビュー):10/2、3 公開制作(滞在制作):10/4 成果展示:10/9~11(全6日間)	パイロットプログラム: 石川佳奈「メッセンジャー」			アーティスト・主催:石川佳奈	(71) ※前出(仲町の家 来場者数)に含まれる
10/24	パイロットプログラム: 千住・谷中 音楽プロジェクト《境界線》 あちらこちら	様々な方々や団体とともに家の活用法や可能性を探っていくプログラムを実施。今年度は東京藝術大学学生によるプログラムなど、合計11プログラムを実施した。	仲町の家・音まちミリオン座(茶室)	アーティスト: 北澤華蓮(ヴァイオリン)、原宗史(チェロ)、水野翔子(ヴィオラ・ダ・ガンバ)、梅本佑利(作曲)、イ・ヘリム(舞台美術・宣伝美術)、山本良子(映像)、篠原美奈(制作・プロデュース) 主催:水野翔子、篠原美奈	(39) ※前出(仲町の家 来場者数)に含まれる
11/6~8、13~15(全6日間)	パイロットプログラム: コロゴの精霊&アフリカ屋STYLE @仲町の家			主催:西アフリカ文化交流会(アフリカ屋 東京・町屋)	(322) ※前出(仲町の家 来場者数)に含まれる
1/9	パイロットプログラム: 小日山拓也「新春・影絵の夕べ」			主催:小日山拓也	(24) ※前出(仲町の家 来場者数)に含まれる
1/15~2/14(全16日間)	パイロットプログラム: Nakacho Art Series #5 池田翔 / 松吉菜々子「雪わたり」			アーティスト:池田翔 / 松吉菜々子(東京藝術大学 音楽環境創造科 在学中) 主催:東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科 熊倉純子研究室	(280) ※前出(仲町の家 来場者数)に含まれる
3/5~28(全12日間)	パイロットプログラム: Nakacho Art Series #6 稲垣千佳「rhythmos」			アーティスト:稲垣千佳(東京藝術大学 音楽環境創造科 在学中) 主催:東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科 熊倉純子研究室	(353) ※前出(仲町の家 来場者数)に含まれる

## 【参加者の声】

### ●大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住」

#### 「メモリバのホームステイ」

- ・1分間に1万のシャボン玉は見れなかったくらい迫力があってすごいと思いました。楽器もシャボン玉もどちらも楽しかったです。(足立区/10代/男性)
- ・シャボン玉マシンはとてもスタイリッシュでしたが約30分間も綺麗なシャボン玉が見られて子供たちは大はしゃぎでした。今のご時世なかなかこういった体験をさせてやれない中で貴重な思い出をつくることができました。(足立区/60代/女性)
- ・しゃぼん玉が中庭いっぱいになり空高く上がっていく絵、それをニコニコ楽しむ子供たち(&ネコ)の姿が今でも目に焼き付いています。素敵な機会をいただき、本当にありがとうございました。(足立区/30代/女性)
- ・普段なかなか子供会活動に参加しない次男がシャボン玉と聞いて見に来て喜んでいました。最近は地域の方のご自宅に伺うという機会も少ない中、町内のつながりの温かさを感じた一日でもありました。(足立区/40代/女性)

#### 「大巻電機K.K. ミーティング」

- ・本番ができない環境の中、メモリバも転換点に来ている。一つの象徴的な出来事だったのが、今までのような本番が出来なくなっている今、そういう中でどういう方向に行くのかを考えていかなければならない。もっと根源的に「何をやっていくのか」「メモリバってなんなのか」を改めて考えていくべき時期に差しかかっている。(足立区/40代/男性)
- ・(Memorial Rebirth 千住 広報事業 in Kids Village Christmasを終えて)この地域での活動は初めてだったので、初めて見たと言う人がほとんどだった。千住地域だと「見たよ」という人も多いが他の地域はまだそうでもない。地域を盛り上げる団体との交流によってこれからの活動に繋がり、相乗効果もあるのかなと思った。イベントなのか、アートなのかを考えることができ、シャボンおどりと色々なコンテンツがあるが、また何か増やせるものがあればみんなで新しいものを考えていけたらと思う。(足立区/40代/男性)

### ●イミグレーション・ミュージアム・東京

- ・外国人の方の多いところに長年暮らしていましたが、こういったかたちで彼らの思いや日常を知れるのは貴重だったのでまた開催してほしい。(足立区/30代/女性)
- ・介護業界にも外国人の職員が増えています。国籍や人種を超えた人々のコミュニケーションの大切さを実感しています。(都内(府中市)/60代/男性)
- ・私自身、海外に暮らして改めて見えてくるものがあり、いろいろな側面を解像度高く想像しながらこの展示をみることができました。(東京都外(シンガポール)/20代/女性)
- ・楽しかった。いろいろなことが学べた。一つの作品がいろいろな考えがでたから。学んだことがいろいろあり、楽しかった。おもしろかった。(足立区(千住)/20代未満(小学生)/男性)

### ●アサダワタル「千住タウンレーベル」 「声の質問19」

- ・どこからが現実でどこからが虚構なのか... おもしろい! 質問とみなさんの答えをきいて、この世界の断片を見ることができた気がします。不思議な気分です。アサダさんの曲、とても良かったです!!(都内/40代/女性)
- ・なかなか人に会ったり人に話をきいたりする機会が減っている中、人がどんなことを思い暮らしているのだろうか? ということはずっと気になっている。このイベントを通じて、いろんな人がいろんなことを思いながらも暮らしていて、自分はどう思っているのかを照らし合わせるいい機会になりました。(都外(さいたま市)/50代/女性)
- ・フィクションとノンフィクションの境界というか接目がなくてどこにいるのかわからない感じが心地よかったです。(都内/50代/女性)

### ●千住・縁レジデンス 友政麻理子「窓映画館、カーテンの夢」

- ・面白かったです。路地歩きも。夢を集めたという、人の夢を覗く感じが楽しかった。(足立区/50代/女性)
- ・興味深いイベントでした! 友政さんのアイデアすごい! 町全体が舞台になっていて良かったです。音がない映像なのも、街の音を取り込めて良かったです。(都内/30代/女性)
- ・人の家借りられたのは画期的だなー。けっこう大プロジェクトでしたね。(足立区/40代/男性)

### ●1 DAYパフォーマンス表現街

- ・今日は雨天で残念でした。できれば屋外で楽しめると思ったと思います。私も何かでお手伝いできると良いのですが。(都外(川崎)/60代/男性)
- ・この自由な感じ、親しみやすさ、街の文化祭(学園祭)という感じがすごく好き、続けてください。(都内/40代/男性)
- ・とても懐の深いイベントで、驚きました。素敵な瞬間がたくさんあったと思います。自分のパフォーマンスには不安がありましたが、色んな方が介入してくださり、良い時間になったと思います。(都内/20代/女性)
- ・雨で校内での演奏となりましたが色んな方のパフォーマンスが見れて良かったし、街の活性化について真剣に取り組んでいる姿勢が伝わりました。参加させていただいてありがとうございました。(都内/30代/男性)

### ●仲町の家

- ・こんなにゆったりでき、心癒される場所があることを今まで知らずにいた。とてももったいなかった。清潔に凛とした雰囲気には保たれるのは、とても大変なお苦勞やお手間があるのではと推察します。気持ちが引き締め癒される、ステキな空間がこれからも続いて欲しいと思いました。
- ・ずっと居たくなるような、居心地の良い空間をありがとうございました。遠出のできないゴールデンウィークでしたが、故郷に帰ったような気分になれました。
- ・癒しの場をありがとうございました。こんなご時世ですが、このような素敵な場所があると心も落ち着きます。
- ・いつも子供と楽しませていただいています。子供と一緒に芸術に触れられて貴重な時間を過ごさせていただいています。
- ・いつも楽しく興味深い企画を考えてらっしゃると思います。藝大生ゆえの自由さ、若々しさを、感性の柔らかさを好ましく思います。
- ・忙しい日々の中で心穏やかにできる大切な場所だと感じました。人生の一部を北千住で過ごした人には、大切な大事にしたい場所だと思っています。また帰ってきたいです。
- ・開放的な空間で、縛られずにクラシックに触れられる体験がとても新鮮でした。蚊取り線香の香りとクラシック、案外合いますね。こんな感じで日常生活の中でアートに触れられる機会が溢れるの、とっても良いですね!

### 【発行物】

- ・広報紙 2021 Autumn
- ・広報紙 2021 Winter

各イベントの情報や活動などの情報を編集し、広報誌(季刊「音まち千住の緑」)を発行したり、WEB、SNSなどで発信した。

## 33

## HAPPY TURN / 神津島

## 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
会場	神津島村
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人シマクラス神津島
参加者数	1,697人

## 【事業趣旨（目的）】

伊豆諸島のひとつ神津島において、島と関わる人々の島へのシビックプライドを醸成することを目指す事業。島民に加えて、島を離れて暮らす人、島外から移り住む人、一時的に滞在する人、など様々な立場の人々を対象に、島の歴史や生活文化など地域資源について学び合う機会を生み出すことで、島内外の幅広い世代が島と関わるための場づくりや仕組みについて考える。

## 【開催状況】

## 1. 拠点育成プログラム

拠点エリア「くると」では「なみすけ」と「まんさく」の2つの場を運営。「なみすけ」は今年度から、子連れのお母さんや移住者など地域の人を日替わりで拠点スタッフに起用。子供たちの自由な居場所として使われるほか、お母さんたちや移住者の交流の場として機能した。また、島の風習や季節の行事の際には飾り付けや工作をして楽しんだ。「まんさく」は、岩沢兄弟ディレクションのもと、より学習しやすい形にリニューアルし、毎週水曜日の自習室「MANABU」では地域の大人が資格などの勉強をする姿が見られた。ボランティアで「MANABU」をオープンしたいというサポーターも現れ、夜の学習スペースとして利用する人が現れている。

開催日	会場	プログラム名	参加者（人）
4月～3月	くると	通常オープン	1,387
4月～3月		自習室「MANABU」	112
7/2、3		七夕の飾りをつくろう	20
7/24、29、30		MANABUのペンキ塗りをしよう	10
8/13		庭に大きな穴を掘ってみよう	5
1/14		庭に大きな穴を掘ってみよう	9
2/5		くるとみくじをつくろう	10
2/24、25		島の風習「二十五日様」竹やトイレットペーパーの芯を使ってお守り「いもじり」をつくろう	6
2/26		庭に大きな穴を掘ってみよう	8
3/24		くると放送室を使って、映像を撮ってみよう	3

## 2. 拠点発掘プログラム「島の庭びらきプロジェクト」

空き家の庭の草刈りをし、その庭を開いていく「島の庭びらき」を引き続き行った。

開催日	会場	プログラム名	内容	参加者（人）
8/28	島内空き地	第3回 島の庭びらき	空き家の庭の草刈り	12
3/5	くると	第4回 島の庭びらき	くるとの庭の整備	6

## 3. 事業運営基盤構築のためのリサーチプログラム

アートプロジェクトの現場を見学に行き、事務局やディレクターの方にプロジェクトの運営方法や実践、悩み、思いなどを伺った。様々な視点をもって物事をとらえることやプログラムの実践方法について考える機会となった。

期間	内容
2/8～16	訪問先： 【ミハライロ】 NPO法人kichi 千葉努 ヒアリング 【谷中のおかって】 拠点旧平櫛田中邸見学 事務局 渡邊梨恵子 大西健太郎ヒアリング 【アートアクセスあだち 音まち千住の縁】 拠点仲町の家見学 事務局 山本良子 ヒアリング アサダワタル コロナ禍における緊急アンケートコンサート 「声の質問19 / 19 Vocal Questions」映像上映会 視察 【Tokyo Art Research Lab】 happening. 東京プロジェクトスタディ 「わたしの、あなたの、関わりをほぐす」展覧会 視察 【千葉市美術館】 つくりかけラボ 岩沢兄弟展覧会「キメラ遊園」 視察 【ゲストハウスとカフェと庭 釜ヶ崎芸術大学】 ゲストハウス見学 代表 上田假奈代 ヒアリング 【Breaker project】 作業場・こどもオーケストラ見学 ディレクター 雨森信 ヒアリング

4. アーティストプログラム in 神津島 / 大西健太郎

砂浜に流れ着いた漂流物や庭の植物など、島で集めた様々な素材を土台にさしてつくったものを「くると盆栽」と呼び、盆栽を飾りたくなった場所や、盆栽に紹介したい場所を探し、写真を撮ったり一緒に風を感じたりして島の景色を味わう「くると盆栽流し」を行った。空き家に残っていた容器や漂流物を海に拾いに行ったり、植物をとりに行ったり、粘土をこねたりするところから島の人を巻き込み、スタッフや島民と丁寧に会話をしながら進めた。展示期間には近所の商店の人や親子連れなどが見学に訪れた。

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	参加者(人)
11/27	くると	くると盆栽づくり	大西健太郎、岩沢兄弟	14
11/28				8
12/12	くると ほか	くると盆栽流し	大西健太郎	21

5. アーティストプログラム in 神津島 / 山本愛子

島の草木や温泉水などの素材を集め草木染めを行った。色がよく出るように草木や木の実などを細かく切ったり、砕いたりし、その触感や音を楽しんだほか、素材を煮出した時の色や匂いなど五感を使って草木染の工程を楽しんだ。布に模様をつけるための道具も、石、枝、貝殻、漁業につかう紐など島のものを使い、色素を定着させる媒染液も活動拠点「くると」の薪ストーブから出た灰を溶かした水や、神津島の温泉水に浸し、様々な色味に仕上げた。参加者には持ち帰る布のほか、拠点に残す分も染めてもらい、参加者が制作した「景色のはた」ができた。拠点によく来る人もいれば、初めてくる人も、1つのプログラムを通して様々な人が集うことができた。

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	参加者(人)
1/15	くると	景色から染まる色 午前の部	山本愛子	11
1/15		景色から染まる色 午後の部		8
1/16		景色から染まる色 午前の部		9
1/16		景色から染まる色 午後の部		12

6. リサーチプログラム オル太

島の様々な場所に行き、自然や歴史についてリサーチを行った。図書館や郷土資料館で見つけた「お年寄り作文集」や「神津島の風習」などに興味をもち、一緒に資料に目を通す時間や、リサーチ後、オル太が着目した点についてディスカッションをすることで、今まで知ることのできない島の一面を知ることができた。

開催日	内容	アーティスト名
3/10~13	訪問場所： 郷土資料館、物忌名命神社、市場、図書館、ありま展望台、三浦湾展望台、多幸湧水、多幸湾、長浜阿波命神社、大黒根トンネル入り口、みずがしり、赤崎遊歩道 トロッコ跡 たたみが鼻 ぶつ とおし岩、天上山、秩父山	アーティスト：オル太 コーディネーター：青木彬

7. 事業発信プログラム

(1) HAPPY TURN / 神津島 ウェブサイト

ニュース、イベント、ブログページを運営し、活動内容を広く周知することを目指した。アーティストプログラムのお知らせやその後のレポート、拠点スタッフの自己紹介や日々のできごと、リサーチプログラムのレポートなどを更新した。今年度は事務局だけでなく、拠点スタッフやアーティストの方などの文章を載せるなどバラエティーに富んだ内容をアップし、特に島外の方たちからの反応があった。

期間：令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月

投稿数（アクセス数）： ブログ12本（2,972ビュー）

HAPPY TURN / 神津島 通信 1本（179ビュー）

ニュース 3本（828ビュー）

イベント 4本（2,003ビュー）

(2) SNS

今年度も引き続き日々の拠点の様子や、活動の様子を知ってもらうためにInstagramとFacebookでの情報発信を行った。投稿の内容が地域の人とのコミュニケーションのきっかけになったり、アーティストプログラムの参加のきっかけになったり、事業発信における効果がみられる。

期間：令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月

Instagram投稿数：141回

フォロワー：934人（前年度から82人増）  
Facebook 投稿数：41回

### （3）紙メディア「くるとのおしらせ」配布

昨年に引き続き、事業の周知を図るため、島内の全家庭に配られる紙メディア「くるとのおしらせ」を制作。毎月第4金曜日に島内の全家庭に配布し事業の告知や報告をした。「くるとのおしらせ」を見て地域の方からアーティストプログラムの材料の提供があったり、お手玉や折り紙を持ってくる方がいたり、拠点に足を運ぶきっかけとして機能した。

発行回数：12回

発行日・発行部数：

17号	4月28日	860部
18号	5月28日	860部
19号	6月25日	860部
20号	7月30日	860部
21号	8月27日	860部
22号	9月18日	860部
23号	10月29日	860部
24号	11月26日	860部
25号	12月26日	860部
26号	1月19日	860部
27号	2月28日	860部
28号	3月28日	860部

### 【参加者の声・様子】

#### ●アーティストプログラム in 神津島

- ・島の素材を活用した活動でとても良かった。物作りのイベントは家族で参加しやすく子どもも喜ぶので今後も楽しみ。(30代参加者)
- ・来た人全員がとっても仲良くなれた気がして楽しかった。(20代参加者)
- ・小さい子たちと話すことの難しさや楽しさを感じた。(高校生スタッフ)
- ・子供が自由な発想で存分に物作りをできているのを見てほのぼのした。(スタッフ30代)
- ・使った材料のほとんどが神津島にあるものだということが印象に残った。自然なものを自然な形で布に残す。とてもいいなと思った。また、どんな人でも受け入れる雰囲気が素敵だと思った。(30代)
- ・神津島の地図に採取したものが置かれていてここから採ったんだと神津を感じた。葉を刻むところから始められるのが良かった。こどもの実験コーナーも楽しそうだった。(30代)

# 34 500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」

## 【概要】

開催期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
会場	東京都町田市忠生エリア
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、社会福祉法人東香会
参加者数	48人

## 【事業趣旨（目的）】

500年続く人が集う仕組みを考えるプロジェクト。谷戸（やと）と呼ばれる地形をもつ地域において、500年続く人が集う場やその仕組みを模索する。地域の専門家を招いた勉強会を通じて、歴史・文化の掘り起こしを行い、それを伝え継いでいくための方法についてのリサーチも並行して行う。関わる人たちが自身の中に500年という時間軸を創造できるようにすること、「500年続くcommon」を形成するための自身の役割を発見できるようにすることを目指す。

## 【開催状況】

### 1. やとっ子同盟プログラム

本事業への子供たちのかかわりしるの仕組みづくりとして「やとっ子同盟プログラム」を実施。本プログラムは、子供たちが、地域の年長者やアーティストに出会う場として、ワークショップやイベントを通年で開催するもので、本プログラムに集う子供たちを「やとっ子同盟」と呼び、新しい遊びや学びの場を子供と大人がともにつくっていく取り組みとして、子供たちが地域の歴史や文化に出会うきっかけとなることを目指すもの。今年度は下記4事業を実施した。

開催日	プログラム名	内容	会場	講師	参加費(円)	参加者(人)
7/28	影絵ワークショップ2021	植物の専門家と一緒に築田寺の自然環境を散策し、見つけた植物から発想を得て影絵人形制作につなげるというプロセスを試み、場所性を取り込んだワークショップを行った。	オンライン	川村亘平斎	1,000	8
8/5			築田寺	川村亘平斎 ゲスト講師 高野昭人、 中根孝久、中野美央		
8/19			オンライン	川村亘平斎		
8/26			築田寺 こもれび堂	川村亘平斎		
8/18	土器楽器ワークショップ「しずむおと」2021	オンラインでの実施を想定して進め、画面越しとはいえ同じ時間を講師やほかの参加者とともにしながら、各々が目の前の粘土に向き合い土器をつくった。	オンライン	小判 (a.k.a. COINN (コイン))	1,000	7
11/20	こもれび堂 家具づくりワークショップ～一緒に活動拠点を作ろう！～	今年度初めから少しずつ手を入れて拠点として整備してきたこもれび堂に置く箱型家具を、参加者と一緒に制作した。設計事務所 ima (イマ) を講師に迎え、築田寺にかつて生えていたハリギリの材を製材として制作した。	築田寺 こもれび堂	設計事務所 ima (イマ)	500	8 (4組)
12/4	ワークショップ「YATOの山の若返り～木の伐採を体験しよう」	人の手を入れながらその環境を維持していくという里山管理の一端を親子で体験してもらい、のこぎりを引く手の感覚や、メリメリと音を立てて木が倒れるときの地響きを感じてもらうことができた。	築田寺の裏山	小出仁志	500	10 (5組)

### 2. 拠点形成・集う場の考察と実践

地域の歴史・文化のリサーチで得た知見も踏まえながら、500年続く人が集う場（非日常／日常）を考察し、実際にそのような場の創出を試みるもの。また日常的には、平日の放課後の時間帯に開く拠点を想定し、忠生エリアの子供の居場所づくりに着手した。

開催日	プログラム名	内容	会場	出演	参加者(人)
9/23	YATOの縁日2021	非日常の集う場として「YATOの縁日2021」を企画し、ワークショップに参加したやとっ子同盟の子供たちが集うことを予定していたが、状況を見てやむを得ず子供たちの参加をオンラインへと切り替えた。	築田寺	川村亘平斎、影絵ワークショップ2021に参加したこどもたち、幸町バグパイプ CLUB、spoken words project	※一般には非公開とし、記録映像を後日公開。
1/14	どんど焼き	かつては休田等で行っていたどんど焼きが、煙の影響などのため年々行いづらくなっているという話を聞き、築田寺との間を取り持ち駐車場を会場に提供してもらった。竹をくみ上げる作業には10数人の地域の方が集まり、YATOメンバーも参加してどんど焼きの手順などを学んだ。当日には、ミツマタに繭玉（団子）を刺したものを手に老若男女が集まり、火を囲み談笑する姿も見られた。	築田寺		※YATO主催ではなく、地域行事にYATOメンバーが参加したもの

開催日	プログラム名	内容	会場	出演	参加者(人)
3/19	16mm映像「YATOのひかり」ライブインスタレーション／トーク「YATOのこれまで、これから」	映像作家・波田野州平がこの4年半、町田市忠生にある谷戸で撮影した映像に、音楽家たちが即興で音をつけるライブインスタレーションを開催した。	オンライン	齋藤紘良、hermippe他(安永哲郎、川村亘平齋は都合により出演キャンセル)	現地参加5 リアルタイム視聴数：10)

### 3. 地域の歴史・文化のリサーチ（調査・言語化・発信）

定期的な地域住民へのインタビューの場（聞き書き）を通して、地域史や昔話など地域の物語を掘り起こしてゆくもの。また、地域に伝承されてきた祭りや子供たちの遊びを通して受け継がれてきた知恵、忠生地域の周囲の関係性などについてもリサーチし、谷戸や人が集う場について考察を深めるとともに、リサーチで得た知識などをリーフレットやウェブサイト、かわら版を通じて地域にも還元。今年度はかわら版6号、7号を発行。昨年度取り組んだ、聞き書きをもととした個人の語りから、その土地の語りを描き出し、土地とそこで暮らす人々の記憶と記録を紡ぐようなリサーチ・アーカイブ企画をさらに発展させ、今年度は、地域住民とのコミュニケーションツールとして実際に手渡せる冊子「YATOの絵本」の制作を行った。

#### (1) YATOかわら版

発行日 6号：2021年9月／7号：2022年2月  
 編集 森若奈（「雛形」編集部）  
 デザイン 根岸篤男（Aim Design）  
 木版制作 坂本大三郎  
 挿絵・見出し やとっ子同盟、齋藤紘良

#### (2) YATOの郷土詩

編集「雛形」編集部 森若奈、西田さき  
 写真 波田野州平（映像アーカイブディレクター）  
 デザイン 根岸篤男（Aim Design）

#### (3) YATOの絵本

絵 上島足日  
 文 齋藤美和  
 デザイン 根岸篤男（Aim Design）、小林忠浩  
 編集 齋藤美和 齋藤紘良、安永哲郎  
 写真 波田野州平（映像アーカイブディレクター）  
 進行 宮崎由子

### 4. YATOアーカイブ（記録・アーカイブ）

地域にまつわる歴史や風土などに関する知識や、当活動自体を500年先まで伝え継ぐ方法や記録のあり方について検討を重ねた。活動はテキストやムービーなどで記録し、エスノグラフィ的な手法での解釈・編集を通して非体験者にも伝承できる形式でアーカイブ化。また、4年間の活動を経て形作られてきたYATOの考え方や、思想を初めてみる人にもわかりやすく伝えていけるようなビジュアルイメージの制作や、ウェブサイトの更新に取り組んだ。

#### (1) キービジュアルイラストの作成

イラスト hermippe

#### (2) 映像アーカイブ

撮影・編集 波田野州平（映像アーカイブディレクター）  
 『土器楽器ワークショップ「しずむおと」』  
 『こもれび堂 家具づくりワークショップ～一緒に活動拠点を作ろう！～』  
 『YATOの山の若返り～木の伐採を体験しよう～』  
 『どんどやき』  
 『影絵「精霊たちのお餅つき」(YATOの縁日2021)』

(3) 16mm映像「YATOのひかり」ライブインスタレーション&トーク「YATOのこれまで、これから」

(4) 「LIBRARY」ページ

公式ウェブサイト内に、「YATOのかわら版」などこれまで発行した印刷物を閲覧できる「LIBRARY」ページを新設し、それぞれの印刷物をPDFで閲覧できるようにした。

### 【参加者の声】

● YATOの山の若返り～木の伐採を体験しよう～

- ・息子はもともと工作が好きな人ではありますが、あそこまで木挽きに夢中になるとは思わず、驚きました。帰りの車中でも興奮が冷めやらない様子でした。本人も、あの場所が気に入ったからまた行きたいと話しています。

### 【発行物】

- ・『YATOの郷土詩』
- ・『YATOの絵本』
- ・YATOかわら版6号・7号

## 35

## Artist Collective Fuchu [ACF]

## 【事業概要】

実施期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
会場	東京都府中市
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ
協力	株式会社TOKIO Lab、玉川石材工業株式会社、日本光具株式会社、一般社団法人まちづくり府中、株式会社F.F.P.、日本中央競馬会
参加者	208人（オフライン：165人、オンライン：43人）、動画視聴者数：67人

## 【事業趣旨（目的）】

府中市を中心に、日々の生活に視点を向けた、身近なところにある「表現」を通して「だれもが表現できるまち」を目指すプロジェクト。アーティストのみならず、職種や年齢も多様なメンバーが集うACFが、個人の思考や感覚を伝え合う場づくりや互いの違いを尊重できる土壌づくりを目指す。

## 【開催状況】

## 1. コミュニティサロン事業

## (1) null—自由な場所とアートなこと—

昨年度はコロナ禍のためオンライン形式で開催したが、今年度はオンラインとオフラインどちらも絡めた企画を実施した。「場所、人との緩いつながり、余白を大事に」することを念頭に、開催場所の選定においては、テーマと場所と集まる人々がリンクするよう留意した。「場所」と「時間」をずらした非同期型での接点づくりを狙い、1か月の間に店舗でポストカード記入を促す企画とオンラインでの交流プログラムを組み合わせ実施した。

開催日	会場	プログラム名	内容	参加者(人)
10/15 ～11/14	星星峡	null vol.7「縁起にまつわるもの」	参加者は「縁起にまつわるモノ」をハガキサイズのカードに記入し、会場に掲示した。	60
11/15	オンライン		集まったポストカードやInstagramでの素材をシェアしながらオンラインで交流した。	11

## 2. 拠点事業

## (1) ラッコルター創造素材ラボ—

今年度から府中市の文化生涯学習課との協働事業として開始した（府中市の令和3—4年度市民提案型協働事業として採択された）。地元企業から不要な部材の提供を受け、表現活動の創造素材として新たに活かす仕組みづくりを行った。環境を意識したりサイクルにとどまらず、身近にあるモノを違う視点から捉える機会を重視し、不要になったモノが創造的な学習を通じて有用な教材となり、またそれが人を育てる媒介ともなっていくようなプロジェクトに取り組んだ。

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	参加者(人)
12/5	オンライン	ラッコルター創造素材ラボ— vol.1 オンラインワークショップ 「暮らしの彫刻」をつくろう！	三木麻郁	事前にワークショップの素材と説明書を送り、当日はオンラインで参加者とアーティストが交流しながら作品を制作した。	32
12/6 ～19	とりときハウス ギャラリー	ラッコルター創造素材ラボ— vol.1「暮らしの彫刻」ワーク ショップ成果展		ワークショップの成果やアーティストの作品などを展示した。	100

## (2) まなばあ—と

日常の暮らしの中に「自分らしい表現・発想」を見出す、新しい学びの場のリサーチを実施し、様々な実践者へのヒアリングを行うことで、身近なところに視点を向け、当たり前を解きほぐし、新たな気づきをもたらすプログラム。今年度は新規事業「ラッコルター創造素材ラボ—」の取り組みを強化するリサーチ先を選定した。

開催日	内容	参加者(人)
10/26	ヒアリング先：有限会社府中衛生社 市内の企業から提供を受けた不要な部材（産業廃棄物）の取り扱い方法について、専門家の方にヒアリングを行った。	5

## 3. メディアプログラム

府中市内のアーティストや地域の人々の活動を紹介するメディアづくりを行った。取材や記事の紹介を通して、人々

や場所と出会いなおすことで、ACFの活動を伝えるとともに、事業に関わる人材の発掘の場とした。

## (1) Airtist Collective Fuchu presents 「おとのふね」

コミュニティラジオ・ラジオフューズと連携し、毎月第1火曜日の22時から30分のラジオ番組 Artist Collective Fuchu presents 「おとのふね」を継続的に配信した。ラジオゲストの活動を放送で紹介しつつ、ACFの他のプログラムを紹介するなど、事業広報や出演者との関係づくりにもつながった。また、新たな運営メンバーを迎えるなど、プログラムのチーム力が高まった。

開催日	プログラム名	ゲスト	視聴数(人)
4/6	talk19	馬淵愛(映画祭スタッフ、ホームムービーの日in東京府中 世話人)	67 (動画記録再生回数)
5/4	talk20	守本夏美(府中子どもマルシェ実行委員会 委員長baz tool&plants)、加藤薫(府中子どもマルシェ実行委員会 副委員長パティシエ)	
6/1	talk21	守本夏美(府中子どもマルシェ実行委員会 委員長baz tool&plants)、加藤薫(府中子どもマルシェ実行委員会 副委員長パティシエ)	
7/6	talk22	中道敦子(フラメンコボランティア団体そんりっさ代表、フラメンコダンサー、療育ママstation ふりふりふらっと代表)、北村海人(フラメンコギタリスト、カメラマン)	
8/3	talk23	坂巻亜希(PEACE for moms代表)	
9/7	talk24	中道敦子(フラメンコボランティア団体そんりっさ代表、フラメンコダンサー、療育ママstation ふりふりふらっと代表)、北村海人(フラメンコギタリスト、カメラマン)	
10/5	talk25	宮内紋子(東欧雑貨店「グリェックリッヒ」代表)	
11/2	talk26	ユンソニ・ヒラオカナコ(とんとんぱっ主宰)	
12/7	talk27	もとやすけいじ(絵本作家)	
1/4	talk28	三木麻郁(美術家)、宮山香里(ACF ラッコルター 創造素材ラボ チーム代表)	
2/1	talk29	山浦靖彦・佐藤翔子(ACF null チームメンバー)、加藤薫(パティシエ)	
3/1	talk30	清田大介(写真家、清田スタジオ経営)	

## (2) ACFかわら版「かみひこうき」

編集長、デザイナーなどメディア制作のプロジェクトメンバーが連携し、かわら版を継続的に発行した。市内外での配布、設置、郵送を行った。

- ・令和3(2021)年11月発行 「かみひこうき」2号(発行部数:2,100部)
- ・令和4(2022)年3月発行 「かみひこうき」3号(発行部数:2,600部)

## (3) 「あなたの暮らし、どんなカタチ？」発行

新規事業も始まり、事業への新たな人々の関わりをつくるメディアとして、ACFの目指すものや活動内容、団体の成り立ち、理事メンバーなどを収録した冊子を発行した。

- ・令和3(2021)年5月31日発行(発行部数:5,000部/ウェブサイトにはPDFダウンロード版を掲載)

## (4) 公式ウェブサイトの整備

今年度は事業ごとに、ニュースやレポートの掲載を行い、新たなプロジェクトの情報掲載方法やレイアウトを内容が分かりやすいように改善を図った(<https://acf-tokyo.com/>)。

## 【参加者の声・様子】

### ●ラッコルター創造素材ラボvol.1

- ・創ること自体がセラピーのような感じになるのか、大変心地よかった。素材の形や重さや色やカーブを活かしてというよりはそれに任せて創り上げていった。創っていく過程で自分の日常や経験が重なっていった。年代も暮らす場所も違う人たちが、同じ素材に向き合うという、とても面白い時間になった。
- ・色々な方の創作の過程、お話を聞くことができ、大変楽しかったです。大人、子供、世代という括りで捉えることのできない多様な発想、思いの違い。新しい感覚、考えに触れることができ、素敵な時間を過ごすことができました。
- ・無言で、みなさんの手元をちらちら見ながら…というオンライン研修は初めてでした。不思議な、でもとても楽しい時間でした。
- ・無心に物事に取り組むということも貴重でしたし、なによりみなさんの制作意図を聞いたのが楽しかったです。
- ・いつもの場所が、ワークショップに参加することで少し景色が違って見えました。

## 36

ファンタジア！ファンタジア！  
—生き方がかたちになったまち—

## 【事業概要】

実施期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
主要な履行場所	墨田区東向島、ほか
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人藝と
助成	すみだ文化芸術活動助成金
共催	社会福祉法人興望館（「プラクティス」のみ）
参加者数	278人

## 【事業趣旨（目的）】

東京都墨田区北部（以下：墨東エリア）の文化的な生態系の変化がそれぞれの営みを豊かにする循環を目指すことで、まちをひとつの“学びの場”へと見立てていくプロジェクト。個々人の意思でしなやかに変化する墨東エリアで創造される“学び”が、とすれば硬直しがちな地域内部の関係性をやわらかくする機会をつくり、次の墨東エリアをかたちづくる萌芽を育てることに繋がることを目指す。

## 【開催状況】

## 1. プラクティス「トナリのアトリエ」

墨田区で100年以上活動を続ける社会福祉法人興望館と共催で取り組む「プラクティス」の一環として興望館の学童に通う小学生を対象に、興望館での日常もしくは好きなテーマで絵や文を描いて各日一冊の本をつくるワークショップ「トナリのアトリエ」を行った。「興望館の歴史を子供や若い職員にも伝えていきたい」という要望もあり、ワークショップスペースには興望館が保管している古い写真の複製を展示した。こうした資料を通じて子供たちとも昔の興望館について話題にのぼることもあった。

開催日	会場	アーティスト名	参加者（人）
11/17、19、24、29、12/2、7、3/22	興望館本館リビング	確井ゆい	175

## 2. スミログ

## (1) キックオフトーク「生き方がかたちになったまちはどう記録されるのか」

社会学を専門とする金善美、文化人類学を専門とする登久希子をゲストに招き、地域型プロジェクトのアーカイブについて国内外の事例をご紹介いただくとともに、墨田区ではどのようなアーカイブが可能なのか様々な視点から議論した。

開催日	会場	登壇者	参加費	参加者（人）
8/1	オンライン	金善美（成蹊大学文学部現代社会学科 専任講師）、登久希子（国立民族学博物館、外来研究員）、ヨネザワエリカ（ファンタジア！ファンタジア！事務局）	無料	12

## (2) ディスカッション「あのイベントを語ろう」

墨田区で過去に行われた文化芸術活動についてのチラシや記録集、写真などを持ち寄り、当時の様子を思い出すことで現在の自分たちの活動を振り返る交流の機会になった。集まったデータをどのように活用するか、もしくはデータ自体を楽しんだり遊んだりするかなど、「アーカイブ」自体についてもディスカッションを重ねることができた。

開催日	プログラム名	会場	参加費	参加者（人）
8/14	第1回「2005年までのイベントを語ろう」	オンライン	無料	10
9/11	第2回「2010年までのイベントを語ろう」			10
10/16	第3回「2015年までのイベントを語ろう」	藝とスタジオ	無料	6
11/20	第4回「2020年までのイベントを語ろう」			5

## (3) 成果展示「スミログオープンアーカイブ」

スミログがリサーチしてきた墨田区で行われた様々な活動の記録や、「あのイベントを語ろう」を通じて集まった資料を展示。会場では来場者からのコメントを収集することで、これまで知らなかったプロジェクトを教えていただいたり、地域のアーカイブに対する関心や希望を聞くことができた。

開催日	会場	参加費	参加者(人)
12/10~12、17~19	藝とスタジオ	無料	38

### 3. ラーニング・ラボ

アートや教育、農業など“生きること”にまつわるテーマで研究・実践を行う有識者を招いたレクチャー企画。今年度は墨田区でも活動実績のある居間 theater をゲストに迎え、地域でプロジェクトを行う際のアーティストとしての葛藤などを伺った。新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの開催となった。

開催日	会場	プログラム名	登壇者	参加費	参加者(人)
2/26	オンライン	#09「アーティストの居場所になるまち～アートとまちと愛着と緊張～」	居間 theater	無料	11

### 4. ファンファンレター

各プログラムを通じて得た地域の情報や、プロジェクトの活動を地域へ広報する媒体として継続して「ファンファンレター」を制作。毎回の内容が読者により伝わるように「レター5箇条」を決め、制作するメンバーと共有した。47号から52号では、ファンファン倶楽部第3期の参加者が「レター編集長」となって、内容の企画と紙面のレイアウトを担当した。

制作回数：13回（44号～56号）

作成部数：各号 約100～200部

配布先：ファンファン倶楽部、スミログの実施会場、近隣の店舗やアートスペース

SNS掲載：事業のFacebook ページ

### 5. ファンファン倶楽部

昨年度と同様に部員を募集する形式で実施。参加者それぞれの関心ごとをテーマにしたディスカッションやワークショップ、「ファンファンレター」の制作などを行った。第3期は昨年度までと同様に参加者を募集し、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として実施時期の状況を考慮してオンラインで開催した。

そのほか、「カーテンづくり」では藝とスタジオの一部にファンファン倶楽部の部室を設けて、その間仕切りのカーテンに装飾を施した。「ファンファン倶楽部のふりかえり」では第1期から第3期までの部員が交流し、それぞれの活動を振り返ってエッセイを執筆した。

開催日	プログラム名	会場	参加者(人)
6月～9月（全9回）	ファンファン倶楽部（第3期）	オンライン	2 ※新規メンバー
7/17、24、25	「カーテンづくり」		5
1/16、23	「ファンファン倶楽部のふりかえり」	藝とスタジオ	4

### 6. 「アートと名付けられない創造力へと向かって『ファンタジア！ファンタジア！』が墨田で考えていること」／ファンファン倶楽部「やってみる時間をやってみるための本」の制作

令和3（2021）年度の活動とプロジェクトの根底にある考えをまとめるドキュメントブック「アートと名付けられない創造力へと向かって『ファンタジア！ファンタジア！』が墨田で考えていること」と、ファンファン倶楽部内企画「やってみる時間」の紹介と参加者が書いたエッセイを掲載した「やってみる時間をやってみるための本」を発行した。

「アートと名付けられない創造力へと向かって『ファンタジア！ファンタジア！』が墨田で考えていること」

発行部数：800部

デザイン：岡田将充

編集：綾女欣伸

執筆：杉原環樹

座談会参加：福住廉、碓井ゆい

ファンファン倶楽部「やってみる時間をやってみるための本」

発行部数：800部

編集：ファンファン倶楽部

テキスト：青木彬、磯野玲奈、遠藤純一郎、ヨネザワエリカ

## 7. 広報宣伝活動報告

(1) トークイベントへの登壇「アートを通じた場づくりで、シビックプライドを醸成する協働の仕組み～十思カフェ vol.115」

特定非営利活動法人NPOサポートセンターが運営する協働ステーション中央で、地域や社会の課題解決を実践するゲストとともに活動紹介を通じて様々な角度から「協働」を考えるために毎月開催される「十思カフェ」に、「ファンタジア！ファンタジア！—生き方がかたちになったまち—」ディレクターの青木彬が登壇。プロジェクトがコンセプトとする対話についてや、アートポイント計画への参加についてレクチャーを行った。

日時：6月24日（木）

参加者：16人

主催：協働ステーション中央

(2) 美術手帖への掲載

美術手帖（令和4（2022）年2月号特集「ケアの思想とアート」）の特集記事にディレクターの青木が参加。事例紹介として「プラクティス」が掲載された。

出版：美術出版社

出版年：2022年2月号

## 8. 公式ウェブサイト等運営状況

(1) 公式ウェブサイト

今年度掲載コンテンツ：

ラーニング・ラボの記録動画1本、イベントレポート11本（令和4年3月27日現在）

(2) Facebook

ページフォロワー：605人（令和4年3月27日現在）

## 【参加者の声・様子】

## ●スミログ

- ・データで遊ぶという発想から出たアイデアがどれもユニークだなと感じました。期間限定の特設サイトのような形でアイデアが実現したらやってみたいです。
- ・作品の企画中やら制作中の当事者は、なかなか記録が取れない。意識はしていても体と頭が別なところに集中している。記憶にあって記録があっても、埋もれてしまいがちだ。小さなエリアとはいえ時系列で俯瞰できる事は嬉しい、楽しい。現在、そしてこれから、このエリアで何かをやらんとする方々へのプラットフォームへ、また、過去に関わっていただいたたくさんの方々への感謝と敬意を持って、大変ですが、がんばってほしいです。

## ●ラーニング・ラボ #09

- ・都市から地方まで、様々な空間でプロジェクトをつくっていく時の共通点とは何なのか気になっていたの、貴重なお話が聞けてとても嬉しかったです。
- ・プロジェクトを作る側の搾取の問題に対する捉え方が変わりました。まちの人々の言葉や行動から自分達の権威があることに気づく話が経験者しか語り得ない話だと思い、印象的でした。

## ●ファンファン倶楽部

- ・倶楽部っていいなと思いました。倶楽部の様なものに入るのは高校生ぶりで懐かしい気持ちにもなりました。そこで、色々な人と出会えることや自分や他の人の、気になることややりたいことを皆で一緒に考えてやる場が普段の生活の中だとあまりないので、それが出来る嬉しさやありがたさみたいなものを強く感じました。その経験や体験が出来たことと、是非友達などに勧めて勧誘したいと思うぐらいの素敵なこの場所に出会えたことが一番の得られたものだなと思いました。

## 37

## 移動する中心 | GAYA

## 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
会場	オンライン上にて実施
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益財団法人せたがや文化財団 生活工房、特定非営利活動法人 記録と表現とメディアのための組織 [remo]
参加者数	51人

## 【事業趣旨（目的）】

昭和の世田谷を映した8ミリフィルムのデジタルデータを活用し、映像を介して、それぞれの記憶や想像を持ち寄り、語り合うことのできる交流の場を創出するコミュニティ・アーカイブプロジェクトを実施する。市井の人々の記録である映像の再生をきっかけに紡がれる個々の語りを拾い上げ、プロジェクトとともに動かす担い手づくりを目指す。それによりローカルな記録や記憶を地域全体で共有するための持続可能な仕組みづくりを行う。

## 【開催状況】

## 1. 声を拾う仕組みづくり（人材育成）

8ミリフィルムの映像からサンデー・インタビューアーズが語りを引き出すための「問い（気づきや疑問）」を映像から発見的に見出す方法をさぐり、〈みる、はなす、きく〉の3ステップとしてまとめた。とくに本年度は〈きく〉を重点的に試行して方法全体の仕上げを行った。資料や有識者にあたるだけでなく、身近な人や自分自身の記憶にたずねることで、参加者それぞれの動機や関心に即した語りを引き出した。

## 2. アーカイブ活動の設計と実施（環境整備）

GAYAの活動メンバー「サンデー・インタビューアーズ」の新規参加者としてロスジェネ世代を中心に公募し、7名の参加者を受け付けた。参加者が集う機会として、7月から1月の毎月第4日曜日にオンライン・ワークショップを開催した（下記にプログラム内容を詳述）。コロナ対策のため、オンライン会議サービス（Zoom）とチームコミュニケーションツール（Slack）を用いて、オンラインでの活動環境を整備した。また、生活工房で実施された「生活工房アレコレ 2022 8ミリフィルム常設上映」でワークショップでの発言録をハンドアウトとして設置した。

開催日	会場	プログラム名	内容	参加者(人)
7/25	オンライン	第1回オンライン・ワークショップ	自己紹介、はなす『京王プール』	51
8/22		第2回オンライン・ワークショップ	きく『京王プール』、はなす『流鏑馬』	
9/26		第3回オンライン・ワークショップ	きく『流鏑馬』、はなす『理容店2』	
10/24		第4回オンライン・ワークショップ	きく『理容店2』、はなす『誠5歳9ヶ月、由美3歳11ヶ月』	
11/28		第5回オンライン・ワークショップ	きく『誠5歳9ヶ月、由美3歳11ヶ月』、はなす『餅つき』	
12/26		第6回オンライン・ワークショップ	きく『餅つき』、はなす『松陰神社、双葉園、雪の日』	
1/23		第7回オンライン・ワークショップ	きく『松陰神社、双葉園、雪の日』、ふりかえり	

## 3. 広報・発信・調査

本事業の活動周知のためnoteで発信を行い、ライター橋本倫史によるワークショップのドキュメント（8記事）と参加者の発言録（7記事）を掲載した。また、前年度に開設したサンデー・インタビューアーズの特設サイトを更新し、ワークショップに取り組んだ参加者の事例を、映像のワンシーンやイラストとともに掲載した（「わたしの場合」）。また、本事業と隣接領域との接点をさぐるため、福祉に携わる方々にヒアリングを行った（全3回）。

note「SUNDAY INTERVIEWERS | サンデー・インタビューアーズ」([https://note.com/gaya\\_2020](https://note.com/gaya_2020))

## 【参加者の声・様子】

・ワークショップでは、他の人も同じ映像を見ているのに「あ、そういう見方もあるんだな」とか「そこに着目するんだ」と思うことが多々あって、自分だけでは見えないものが見えるようになりました。映像を見ていると、次から次へと記憶が連鎖して、芋づる式にいろんなイメージが浮かび上がってきました。ワークショップに参加しなかったら、おそらく死ぬまで思い出せなかったと思うようなことが、映像として浮かんできたんです。かつて自分がどんな風景を見たのか、どんなことを考えていたのか、何にワクワクしたのか。そんなことをあらためて思い出して、自分の過去をもう一度旅するような、そんな感覚です。これからの人生を歩んでいくときに、自分の過去を見つめ

直すひとつのきっかけになりました。

- ・ワークショップを通して、時代や生まれた場所、文化的な背景など、いろんなギャップを感じていました。しかも、コロナで隣の人に声を掛けることもできないですし、どういうふうには自分は「世田谷クロニクル」のアーカイブとインタラクションをつくれるか、最初は迷ってました。だから、アーカイブと自分のつながりをつくろうとすると、やっぱり自分の思い出とか自分の文化が出発点になってしまう。たとえば「麻雀とポーカーの風景って似ているな」とか。そういう比較をしながら、自分の住んでいる場所がわかってくる。そんなふうを考えています。もうひとつの世田谷区と私のつながりがちょっと見えてくるようでした。

## 38

## 東京で（国）境をこえる

## 【概要】

開催期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
会場	世田谷区経堂
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人shelf
参加者数	284人

## 【事業趣旨（目的）】

『東京で（国）境をこえる』は、多くの在留外国人や海外にルーツを持つ人々が生活する東京で、「東京には見えないうちにされている様々な壁がある」という仮説をもとに、その「見えない（国）境、壁」について考察するアートプロジェクト。東京に生きる人々、特に外国にルーツを持つ人々が感じる個人と他者／社会／世界との境界と、それに関わる問題を探りながら、日常的に会おう場を生み出す拠点（コミュニティ）の形成を目指す。

## 【開催状況】

新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑みつつ、二つのメインプログラム「kyodo 20\_30」と「話しあうプログラム サカイノコエカタ」を実施し、令和4（2022）年2月には「kyodo 20\_30」の成果を一般に開く機会として成果発表会「ここから展」を開催した。

## 1. 広報手法の検討および広報物制作

令和3（2021）年4月から6月にかけて、「外国人や海外に（も）ルーツを持つ参加者が少ない」という2020年度の反省を2021年度に生かすために、事務局メンバーやプログラムの再編、「kyodo 20\_30」の参加方法や広報の仕方について検討し、広報物の制作等を行った。

## (1) 「東京で（国）境をこえる」ウェブサイト リニューアル

より多くの人に活動を知らせることを目標に、やさしい日本語を使っている。

デザイン：オクマタモツ（956D）

ウェブサイトコーディング：阿波屋鮎美（ブラン・ニュー・トーン）

<https://www.tokyokokkyo.tokyo/>

## (2) 「東京で（国）境をこえる」はなんですか？（活動紹介動画）

より多くの人に活動を知らせることを目標に、やさしい日本語を使って活動を紹介する動画を制作した。画面上の文章は全て、音声でも読み上げられている。

<https://youtu.be/R6bfhHV9HI8>

## (3) 「東京で（国）境をこえる」活動紹介カード

事務局や参加者が手軽に活動を紹介できるように制作した。

デザイン：オクマタモツ（956D）

## 2. kyodo 20\_30

世田谷区の経堂で、10年後の2030年に社会を担う20歳から30歳の若い人たちと国籍・言語・文化などにとらわれずに「見えない（国）境」について話し合ったり、作品をつくったりして、その共同制作を通して未来の共生とともに考えるプログラムを行った。

開催期間	令和3（2021）年6月～令和4（2022）年2月
会場	オンライン（Zoom）、経堂アトリエ、マホラ食堂など
参加者	延べ197人

開催日	プログラム名	内容	ゲスト等	参加者（人）	
				オフライン	オンライン
6/26	kyodo 20_30 #1 オンライン	今年度の「kyodo 20_30」のプログラムについて説明し、「やさしい日本語」についてのワークショップを行った。	-	-	7

開催日	プログラム名	内容	ゲスト等	参加者(人)	
				オフライン	オンライン
7/10	kyodo 20_30 #2 オンライン	参加者と事務局で今年度やりたいことについて話し合った。	-	-	6
7/24	kyodo 20_30 #3 オンライン	ワークショップ「オンラインでできるあそびを作ろう」を実施。	-	-	6
8/7	kyodo 20_30 #4 オンライン	「せたがや国際交流センター」をオンラインで見学した。	-	-	8
8/21	kyodo 20_30 #5 オンライン	「ルポ新大久保 移民最前線都市を歩く」を書いたライターの室橋裕和をゲストに招き、新大久保に住む外国人や日本人の暮らし、関わりについて話を聞いた。	室橋裕和	-	11
9/11	kyodo 20_30 #6 オンライン	#5でのレクチャーを踏まえて新大久保を散策。散策中に撮影した自撮り動画を見せながら他の参加者に新大久保の経験を共有した。	室橋裕和、綾田将一、楊淳婷	-	9
9/25	kyodo 20_30 #7 オンライン	写真を使ったワークショップを行った。それぞれが「(国境)」をテーマに持ち寄った写真について話し、一つの分布図の上に分類してみた。	-	-	5
10/9	kyodo 20_30 #8 オンライン	#7に引き続き、写真を使ったワークショップを行った。	-	-	5
10/23	kyodo 20_30 #9 オンライン	中間発表会「ここから会」を開催。	-	-	7
11/13	kyodo 20_30 #10	初めての対面での定例会開催。経堂の街歩きをしたあと、チーム分けをした。	-	8	1
11/27	kyodo 20_30 #11	長谷川祐輔がファシリテーターとなって、哲学対話を行う。テーマは「制作」。	長谷川祐輔	9	-
12/11	kyodo 20_30 #12	陳さん、真理子さん夫婦に国境をまたいだ家族の暮らしについて話を聞く。	-	7	1
1/8	kyodo 20_30 #13	「ここから展」に向けて制作などの準備を進める。	-	10	-
1/22	kyodo 20_30 #14	「ここから展」に向けて制作などの準備を進める。	-	6	1
2/12	kyodo 20_30 #15	「ここから展」に向けて制作などの準備を進める。	-	7	1
2/25	「ここから展」	搬入	-	6	-
2/26、27	「ここから展」	実施	-	76 (一般:36)	-

### 3. ここから展

令和3(2021)年度の「kyodo 20\_30」の成果を発表。5つのチームの作品を展示することで、参加者が「kyodo 20\_30」を通して、様々な目に見えない壁や境界線について得た気づきや問いを共有した。

kyodo 20\_30 成果発表会「ここから展」

会 期：令和4(2022)年2月26日(土)、27日(日) 11:00~20:00

会 場：経堂アトリエ、マホラ食堂2F

来場者数：76人(うち一般来場者：36人)

### 4. フリンジプログラム

令和2(2020)年度以前から参加しているメンバーが中心となって進めたプログラム。「kyodo 20\_30」の開始とともに始まり「ここから展」までを並走した。より長期的な共同制作の場として思考と実践を重ね、そこで得た知識や手法を「kyodo 20\_30」へ共有していく役割を果たした。

開催日	プログラム名	会場	内容	参加メンバー	参加者(人)
5月~2月	意味をこえる身体へ	Zoom、経堂アトリエ、マホラ食堂など	企画者のジャン・ウェンを中心に2本の「ショットムービー」を制作した。作品1「八月対談録」が「東京で(国境をこえる)のYouTubeチャンネルで一般公開されている。 <a href="https://youtu.be/2KrvqUGzvpw">https://youtu.be/2KrvqUGzvpw</a>	蔣雯、長谷川祐輔、矢野靖人、富高有紗、綾田将一、aqiLa、桐葉恵、川淵優子、呉楽、Lé Hai Ly、董敬	50
5月~2月	新大久保お散歩学派	新大久保駅周辺	企画者の綾田将一が新大久保で散歩を繰り返し、その様子を自撮り映像で記録した。	綾田将一、室橋裕和、阿部七海、楊淳婷、Roy Taro、胡雪寧、桐葉恵、柴田早理	7

### 5. 話しあうプログラム サカイノコエカタ

自分が積極的に考えたり、関与しなかったために普段は見えていなかった、あるいは意識できなかった境界や断絶(=サカイ)に向き合い、考えるためのプログラム。サカイに向き合い、活動を続けている実践者(=コエているひと)をお迎えし、実践者と参加者が、顔を合わせて対話をする機会をつくった。

「kyodo 20\_30」が「国境」というテーマに共同制作を通して取り組むのに対し、「話しあうプログラム サカイノコエカタ」は国境以外の「様々な境、壁」について“対話”という方法で取り組んだ。

開催日	プログラム名	会場	ゲスト	参加者(人)
12/1	第1回「共事でコエていく」	はぐくむ湖畔	小松理虔	6
12/21	第2回「作品でコエていく」		鄭梨愛、灰原千晶、李晶玉(突然、目の前がひらけて)	7
1/17	第3回「コエカタを見続けること」		川内有緒	6
2/11	第4回「協働でコエていく」		坂口裕昭、元井淳、石渡美里(FC越後妻有)	4
2/13	第5回「コエられなかった先へ」		北川フラム(アートフロントギャラリー)	7

### 6. 広報・宣伝活動

『kyodo 20\_30』参加者ぼしゅうのお知らせ、Crossing Setagaya ウェブサイト掲載 令和3（2021）年7月3日

「国籍・言語・文化に捉われないアートプロジェクト「東京で（国）境をこえる」、参加者を募集中」、こここ掲載  
[https://co-coco.jp/news/kyodo20\\_30/](https://co-coco.jp/news/kyodo20_30/)

「まちの市民力！ 国境を越えて違いを楽しもう 東京で（国）境をこえる」セボネ12月号  
<https://www.otagaisama.or.jp/wp/wp-content/uploads/pdf/SEVONE212-202112color.pdf>

### 7. 公式ウェブサイト等の運営状況

#### (1) Facebookページ『東京で（国）境をこえる』

<https://www.facebook.com/tokyokokkyo.tokyo>

ページフォロワー数：404人（前年比+76人）

ページへのいいね！数：388人

#### (2) Twitter『東京で（国）境をこえる Beyond Invisible Borders』

<https://twitter.com/tokyokokkyo>

フォロワー数：281人（前年比+80人）

#### (3) YouTubeチャンネル『Beyond Invisible Borders』

[https://www.youtube.com/channel/UcKtegzPAqyqZoz\\_hWFIYCiw](https://www.youtube.com/channel/UcKtegzPAqyqZoz_hWFIYCiw)

チャンネル登録者数：26人（前年比+3人）

### 8. 外部機関による調査・研究対象としての「東京で（国）境をこえる」

南田明美、関鎖京、朝倉由希「在留外国人との共生を目指した文化政策 一日韓星比較を通して」

KAKEN（科学研究費助成事業）による調査・研究。日本、韓国、シンガポールにおける在留外国人を対象とした文化政策やアートプロジェクト（社会的課題の解決のためのアートによる市民プロジェクト）を比較分析し、日本の課題を明らかにすることを目的とする。令和3（2021）年度は研究チームがメーリスに参加し、参与観察を行った。

### 【参加者の声】

#### ● kyodo 20\_30

- ・目の前にある「知らないところ」はきっと「境」で、「知る」ことで少しずつなくなっていくんじゃないかと思えました。「知りたい」という心の姿勢が「境」をこえる力のみなもとな気がしました。
- ・『kyodo 20\_30』で活動した期間では、文化も生活習慣も違う他国の人たちと、アートに興味を持って一緒に仕事できたことが一番印象に残っている。アートには、みんなをひとつにする力があるので、これがアートプロジェクトの存在意義なのでしょう。いろいろな人のいろいろな考えを聞くことができ、将来の自分の作品作りにとっても、他の人と一緒に作品を作るときにも、実はとても役立つ経験になったと感じている。

#### ● サカイノコエカタ

- ・自分が普段考えていることや悩んでいることが他の参加者の方々と似ていて少し気持ちがスッキリしました。コロナ禍であまり人と話すことができなくなってきているので、このような機会をいただけて心から感謝いたします。
- ・現代アートに少し関心（関わり）があるけれど、現代アート畑にはいない方がゲスト、という点がとても良かったと思います。

### 【発行物】

- ・『旗を立てる—「東京で（国）境をこえる」3年間の記録』

## 39

## ACKT（アクト／アートセンタークニタチ）

## 【事業概要】

実施期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
主要な履行場所	東京都国立市全域
主催	東京都、国立市、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団、一般社団法人ACKT
参加者数	67人

## 【事業趣旨（目的）】

本事業は、子育て、福祉、高齢化問題、インキュベーションなど様々な地域課題を、アートプロジェクトを通して横断的に協働する場所や交流の機会をつくり、国立市および多摩地域の人々の生活の質を高めることを目指す。「文化と芸術が香るまちくにたち」の実現を掲げ、令和元（2019）年度に開始した国立市文化芸術推進基本計画に基づき、市内外の文化活動や様々な分野の担い手との連携を軸とした事業展開を行う。

## 【開催状況】

## 1. 事業コーディネートの体制づくり

拠点形成事業の一環として、地域内の遊休地・遊休施設等、時間の止まっている場所を発掘し、拠点としての「遊○地」を整備。アートプロジェクト等を通して、「○」の中にこれまでとは異なる「人」「動き」「アート」「デザイン」等を挿入することで、まちの見方の変化や新しい可能性の模索、交流機会の創出等を行うプロジェクトを立ち上げた。

## 2. 拠点形成事業

地域の様々な活動や情報のプラットフォームとなる拠点形成を進めるため、地域内の遊休地・遊休施設等についてフィールドワークを実施した。

また、今年度は「遊○地」プロジェクトを立ち上げるとともに、株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン所有の JR 国立駅～立川駅間の高架下の一部の活用方法等を検討した。

## ■第1弾パイロット企画「URBANING\_U ONLINE」

拠点形成事業の試行として、「URBANING\_U ONLINE」を実施した。

開催日	プログラム名	会場	内容	アーティスト	参加費	参加者（人） ※スタジオでの視聴
3/19	DAY1	高架下臨時スタジオおよびオンラインで繋がる各エリア	事前送付された「URBANING_Uキット」を手に、参加者がそれぞれの自宅などを拠点として、オンラインでつながりながら、アーティストからの指示に沿った様々なワークを実施した。	mi-ri meter（ミリメートル）（宮口明子、笠置秀紀）	無料	8
3/20	DAY2		オープンミーティング形式で、各参加者にDAY1の感想や発見などを共有してもらい、後半はmi-ri meter、一般社団法人ACKTで、「国立」「アート」などをテーマに意見交換を行った。			4 （ほか、オンライン視聴者5）
3/19、20	DAY1からDAY2スタジオの見学等		プログラムの実施時間はスタジオの公開も行った。			50

## 3. リサーチ・発信事業

「アート」と「まち」のかかわりに関して幅広い人たちが興味を持つ状況を生み出すために、各地で実践されている文化芸術活動の担い手や活動、仕組み等について「場づくり」「体制」「アートプロジェクト」等の観点からメディアでの情報発信を行うための取材を行った。

開催日	会場	リサーチ先
12/21	愛知県名古屋港区 Minatomachi POTLUCK BUILDING（ポットラック）、NUCO ほか	Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya] 吉田有里（プログラムディレクター）、青田真也（アーティスト）
1/18	東京都大田区池上 SANDO	SANDO BY WEMON PROJECTS / サンドバイ エモン プロジェクト L.PACK.（小田桐奨、中嶋哲矢）
3/3	大阪府大阪市西成区 kioku手芸館「たんす」、作業場@旧今宮小学校 ほか	Breaker project：雨森信（ディレクター）

### 4. 発信事業

#### (1) ACKT 公式ウェブサイト

ACKT の取り組みを広く発信するため、公式ウェブサイトを開設し、「ニュース」「イベント」「レポート」「遊○地」などのカテゴリに分けた各ページの運営を始めた。

開 設：令和4（2022）年3月

投稿数：ニュース1本／イベント1本／レポート1本

#### (2) SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

日々の取り組みや、リサーチ取材の報告、イベントの告知・報告などを伝えるため、ターゲットの異なる「Instagram」「Twitter」を新規開設、発信を行った。

Instagram

開 設：令和4（2022）年3月

投稿数：12本

フォロワー：24人

Twitter

開 設：令和4（2022）年3月

投稿数：11本

フォロワー：17人

### 【参加者の声・様子】

#### ● URBANING\_U ONLINE

- ・ 目的もなく歩く、いつもと違う視点を持つてみる。そういうことをするだけで、自分のなかの視野が広がった。日常生活の中でも、そういうちょっとした視野の広げ方をすることで、心に余裕が生まれるかもしれないと思った。
- ・ パブリックな場所と普段の自分のテリトリーが混ざり合う場所を、まちの中に見つけられたことが面白かった。
- ・ 自分自身は、楽しむぞ！という気持ちを持ちながら、子供と一緒にこのプログラムに参加した。だが、子供は自分のいつもの遊びの延長と捉えて行っていた。子供と参加したおかげで、遊びは無目的なものだと気づけた。
- ・ 街歩きやフィールドワークは普段からしていた。今住んでいる街は、地域をリサーチしようという視点を持ちながら住み始めたこともあり、住むという先入観で街を見ていたんだなとこのプログラムを通して気づけた。視点が変わると、体の使い方も変わる。それぞれ別の場所からの参加だったが、共通項があったのが面白かった。
- ・ 他の人の街を見る視点が面白かった。自分と違う視点を感じることができた。

# 40 多摩の未来の地勢図 Cleaving Art Meeting

## 【事業概要】

実施期間	令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月
主要な履行場所	多摩エリア
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、NPO法人アートフル・アクション
共 催	東村山市教育研究会図工部、多摩地区図画工作研究会
参加者数	527人

## 【事業趣旨（目的）】

多摩地域の「地勢」を探ることを通して、一人ひとりが自分の暮らす足元を見つめ直すプロジェクト。平成23（2011）～令和2（2020）年度に東京アートポイント計画と共催したNPO法人アートフル・アクションが、多摩地域における中間支援的な働きをしながら事業を実施する。教育機関や福祉施設などの連携プログラム、アーティストと協働したリサーチプログラムなど地域の特性や社会課題に応答し、多様な人々と協働した文化事業を展開。

## 【開催状況】

### 1. 多摩の未来の地勢図をとともに描く ― 辺境としての東京を外から見る

フィールドワーク編、レクチャー編の二部構成による半年間のワークショップを実施した。公募の参加者ととともにフィールドワーク編7回、レクチャー編6回のワークショップ、3回のオフ会、参加者の自主的な展示「わたしの気になること展」を実施した。

開催日	プログラム名	会場	講師	参加者(人)
レクチャー編				
9/16	第1回 生きてきてくれてありがとう。安心と楽しいを一緒に育む	オンライン	高橋亜美（社会福祉法人 子供の家 ゆずりは 所長）	234
10/8	第2回 揺らぎと葛藤を伝える―水俣病患者相談の今	オンライン	永野三智（一般財団法人 水俣病センター 相思社職員）	
11/6	第3回 ハンセン病療養所で描かれた絵画―国立療養所菊池恵楓園・金陽会の作品を見る	オンライン	木村哲也（国立ハンセン病資料館 学芸員）	
12/7	第4回 分断のなかにつながりを発見する―アートプロジェクト {つながりの家} と「旅地蔵」	オンライン	高橋伸行（アーティスト、愛知県立芸術大学教授）	
1/14	第5回 「なりたい自分になる」とは？―「カマボール」の企画・実施に携わって	オンライン	松本渚（NPO法人釜ヶ崎支援機構職員、NPO法人こえとことばとこころの部屋 コロムときどきスタップ）	
2/8	第6回 古い、ボケ、死に向かい合うための演劇	―	菅原直樹（「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰、介護福祉士）	
フィールドワーク編				
9/16	第1回 生きてきてくれてありがとう。安心と楽しいを一緒に育む	オンライン	高橋亜美	234
9/29	黒岩地区で写真を撮るといこと―「あめつちのことづて」の制作をめぐる	―	豊田有希（写真家）	
10/8	第2回 揺らぎと葛藤を伝える―水俣病患者相談の今	オンライン	高橋亜美	
10/23	黒岩の暮らしのこと―黒岩地区にお住まいの方々と一緒に	―	豊田有希	
11/6	第3回 ハンセン病療養所で描かれた絵画―国立療養所菊池恵楓園・金陽会の作品を見る	オンライン	永野三智	
11/27	多摩地域での制作①―リサーチを始めて	―	豊田有希	
12/7	第4回 分断のなかにつながりを発見する―アートプロジェクト {つながりの家} と「旅地蔵」	オンライン	高橋伸行	
12/25	多摩地域での制作②―多摩ニュータウンと堀之内	―	豊田有希	
1/14	第5回 「なりたい自分になる」とは？―「カマボール」の企画・実施に携わって	オンライン	松本渚	
1/22	「REBORN プロジェクト」坂本展①―さかもと復興商店街より	―	豊田有希	
2/8	第6回 古い、ボケ、死に向かい合うための演劇	―	菅原直樹	
2/25	「REBORN プロジェクト」坂本展②―展示とその後	―	豊田有希	
3/12	「コンタクトシートなどについて」―フィールドワーク、リサーチでの気づきの残し方	―	豊田有希	

### 2. ゆずりはをたずねてみる ― 社会的養護に関わる人たちとともに

社会福祉法人二葉むさしが丘学園のグループホームのスタッフを中心に、音楽やダンス、心とからだをほぐすための小さなエクササイズを通して、肩から力を抜き、隣り合う人々と緩やかに出会い、日々を重ねる時間と場をつくった。

開催日	会場	講師	参加者(人)
10/25 ～3/29	二葉むさしが丘学園	花崎攝（シアター・プラクティショナー、野口体操講師）、松村拓海（ミュージシャン フルート奏者）、はらだまほ（振付家/パフォーマー）	52

3. ざいしらべ 図工 — 技術と素材について考える

多摩地域の小学校の図工専科教員を主な対象として、個人では手に入れにくい自然素材や大型素材の提供、伝統的な技術や技法、素材、ICTに関するワークショップなどの企画実施を通じて、授業での表現や造形の拡張を促すきっかけをつくった。また、技術の取得だけでなく、技術が持つ広がりや役割、歴史的な背景について知見を深めた。各機関と連携し、素材や技術の情報、ワークショップや授業の様子を整理・アーカイブし、教員や地域とのネットワークづくりを行った。

開催日	会場	プログラム名	内容	参加者(人)
11/5、12、19、12/10	東村山市立南台小学校ほか	樹の力	多摩地区の山の中に放置されていた大きな木の根を20株ほど搬入し、それを用いた創作活動を行った。	59
7/7	東村山市立南台小学校	身の回りの自然から得られる「素材」と「身体」が呼応する工作 #1「竹」	素材としての「竹」の歴史を振り返り、実物の民具、道具にも触れながら、実際に丸竹を割るところから「竹ヒコ」を作ってみた。	15
8/19	オンライン	身近な音探しと表現	素材や身の回りの物等を用いながら音を巡って様々な試行錯誤を行い、素材や技術について経験や理解を深めた。 講師：須之内元洋（札幌市立大学）	36
12/16	立川市立第二小学校、オンライン	地域（生活の場）をどう見るか～風景の観察を通して～	二部構成で、第一部で地域／地域の豊かな資源を見つめる方法とそれを図工に生かす方法を皆で考えたのち、第二部で実際にフィールドワークを行った。 講師：廣瀬俊介（ランドスケープデザイナー）	18
1/12	東村山市立南台小学校	東村山市恩多の竹を採取するワークショップ	竹林の一つに足を運び、良い竹の選び方、切り方、枝の払い方、そして割り方、運搬方法を学び、実践した。	15

(1) 多摩地域の小学校図工専科教員へのインタビュー

今後、多摩地域の小学校図工専科教員との取り組みの幅を少しずつ広げていくために、勤務地の状況や道具、素材のことなどに関するヒアリングを多摩地域の小学校図工専科教員3人に行った。

4. たましらべ

自らの立つ場所や居場所をより多層的・多角的に認識するために、土地に積み重なる土壌、自然、歴史、文化、暮らし、人、様々なことを、それぞれが少しずつ考え、知り、そして見つめ直す試みを行った。月2回程のペースで独自に調べたことを持ち寄り、共有し、議論した。

開催日	会場	プログラム名	参加者(人)
9/27	オンライン	「多摩ニュータウンって、どうしてああいうふうにできているのだろう？」	12
10/11	オンライン	「商店からみる多摩の暮らし」	8
11/1	オンライン	「よく会いに行く農家さんのほなし」	7
11/15	オンライン	「八王子の由木村で会った鈴木さんと富永さんに聞いた話とか」	7
11/29	オンライン	「多摩ニュータウンのトイレの話」	5
12/20	オンライン	「玉川上水のあれこれ」	5
1/10	オンライン	「崩岸辺にて一稲城の崩される山」	10
1/24	オンライン	「たまの水道」	10
2/9	オンライン	「ふりかえり」	10
2/22	オンライン	「多摩とうんこと米軍がもたらしたもの」	8
3/9	オンライン	「もう一度うんこ、忌避されるもの」	9
3/31	オンライン	「たずねた農家さんの話と千里ニュータウンの話」	7

5. ウェブサイトの作成

「多摩の未来の地勢図」の各プログラムの概要や記録を記載し、広報活動等を行うためのウェブサイトを作成した。  
公式ウェブサイト：<https://cleavingartmeeting.com/>

【参加者の声・様子】

●多摩の未来の地勢図をとともに描く一辺境としての東京を外からみる

〈レクチャー編参加者〉

・ドアをノックされるのを待っているという話があった。それと同時に、自立させるのではなく孤立させないという話もあった。孤立させまいと思ったら自分から行かないといけないと思うが、自分から行くものではないと思う。その場合、どうやって、ここにはそういう場所があるよって伝えればいいのかと思う。図々しくないと孤立させてしまいそう。

〈フィールドワーク編参加者〉

・豊田さんの、村の人たちとの距離の置き方・詰め方が、いいなあと思った。村の暮らしのことを見聞きしていくうちに、つながって広がっていくという、直線的に答えを求めない姿勢とか、“カメラを向けても動作を止めないで続けてくれる距離感”で撮られた写真と、それをいい写真だと言う村の人たちとか。このほんわかした楽しい時間、雰囲気、水俣の話が出ることで壊れてしまわないで欲しいと思った。

## 41

## タレンツ・トーキョー2021

## 【事業概要】

開催日時	令和3（2021）年11月1日（月）～6日（土）
開催場所	オンライン
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）
提携	ベルリナーレ・タレンツ（ベルリン国際映画祭）
協力	ゲーテ・インスティトゥート／東京ドイツ文化センター
参加人数	タレンツ15人、エキスパート（講師）8人

## 【事業趣旨（目的）】

映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（＝Talents、タレンツ）」を育成することを目的に、映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に集めて実施。世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供する。

## 【開催状況】

新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴いオンライン開催となった。国際的に活躍するプロフェッショナルをエキスパート（Main Experts、Master Class Experts、Other Experts）として迎え、レクチャーや企画合評会を実施。第一線で活動する専門家の視線に晒されることにより強烈なインスパイアを受ける体験の場となり、タレンツ同士や修了生との交流も生まれ、参加者それぞれのネットワークを国際的に広げる機会を提供した。

## &lt;参加者&gt;

## 監督

GUO Rongfei（中国）  
 Riar Rizaldi（インドネシア）  
 木村あさぎ（日本）  
 山下つぼみ（日本）  
 Minji KANG（韓国）  
 KIM Jiyoung（韓国）  
 Zaw Zaw Leono（ミャンマー）  
 Arvin BELARMINO（フィリピン）  
 Rafael Manuel（フィリピン）  
 Russell MORTON（シンガポール）  
 CHAO Hsuan（台湾）  
 Ratchapoom BOONBUNCHACHOKE（タイ）  
 Primrin PUARAT（タイ）  
 TRAN Thanh Huy（ベトナム）

## プロデューサー

Clarissa ZHANG（中国）

## &lt;メイン・エキスパート&gt;

Pen-ek RATANARUANG（監督）  
 Armi Rae CACANINDIN（プロデューサー）  
 Isabelle GLACHANT（ワールドセールス）  
 Florian WEGHORN（ベルリナーレ・タレンツ）

## &lt;マスター・クラス・エキスパート&gt;

諏訪敦彦（監督）

<アザー・エキスパート>

NEANG Kavich (監督)

Kathi BILDHAUER (ベルリン国際映画祭 タレンツ・プロジェクト・マーケット担当)

<オープン・キャンパス・エキスパート>

Raymond PHATHANAVIRANGOON (東南アジア・フィクション・フィルム・ラボ エグゼクティブ・ディレクター)

### 【参加者の声】

- ・いろいろな背景を持ったエキスパートが揃っていて、相対的にとてもバランスの取れたサポート体制ができていたと感じました。
- ・エキスパートにとっても恵まれていると思いました。内容は全員違うのに、全体のテーマとして「アーティストとして自分の声を信じているから映画を作る」ということが見えました。講師として奢らず、自分たちの考えをうまく伝える方法を教えてくれました。
- ・自分の作品のアジアでの立ち位置を考えさせられました。また、作品への向き合い方に注目されたことがなかったので、向き合い方を見てもらうことによって自信ができました。
- ・講義やトレーニング、語り合いは全て自分を表現する場になると同時に他者の経験を聴く貴重な機会になりました。
- ・今回とても感銘を受けたのは、アジアの監督が共感で繋がっていることです。体験したことがなくても、彼らの物語を理解することができる。ネットワーク・タイムでも共通の話題や趣味を見つけたり、すぐに仲良くなることができました。皆温かくて、いつかリアルで会えるのが楽しみです。

# 42

## アーツアカデミー

### 【事業概要】

**開催期間** 令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月  
**開催場所** オンライン、アーツカウンスル東京、東京芸術劇場、他劇場  
**主催** 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンスル東京  
**参加者数** 計640人（キャパシティビルディング講座：16人、会計・税務講座：578人、東京芸術劇場：研修生6人／コーディネーター講座31人）

### 【事業趣旨（目的）】

芸術文化の創造・発信を担う人材を育成するプログラムを実施する。

#### ■アーツカウンスル東京 芸術創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座

社会における芸術文化の役割について深い知見と広い視野をもって思考、実践するためのキャパシティビルディング強化の支援。芸術文化創造活動の実務経験のある担い手を対象として実施。

#### ■アーツカウンスル東京 芸術創造活動の担い手のための会計・税務講座

芸術文化活動を行う上で役に立つ会計・税務の基礎知識や、持続的な団体運営や事業運営のためのヒントを提供する講座を実施。

#### ■東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

##### (1) 東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

東京芸術劇場でのOJT型研修を通じた、劇場や芸術団体のプロデューサー、コーディネーターの育成事業。

##### (2) シアター・コーディネーター養成講座

公共劇場について学び、企画を考え、劇場と社会を結ぶことができる人材を育成する講座。

### 【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	講師	内容	料金（円）	参加者（人）
9/22～2/10 全9回	オンライン	芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座	アドバイザー／ファシリテーター：小川智紀、若林朋子 ゲスト講師：山元圭太、大澤寅雄、徳永洋子、上岡典彦、源由理子、片山正夫	各受講生の活動の課題解決や目標達成に必要な思考力やスキルを多面的に磨く座学（ヴィジョン・ミッション／文化生態系／ファンドレイジング／広報・パブリックリレーションズ／評価／芸術文化支援・活動の自立性、等）と課題解決戦略レポートの作成・発表。	無料	16
9/29～12/2 5コース計7回	オンライン	芸術文化創造活動の担い手のための会計・税務講座	山内真理（公認会計士・税理士）、公認会計士山内真理事務所／株式会社THINKアドバイザー	芸術文化領域の会計・税務業務の実績豊富な公認会計士・税理士を講師陣に迎え、アーティストや制作者といった「個人」と、「特定非営利活動法人（NPO法人）」「一般社団法人」「任意団体」「営利法人」の特性の異なる4種の「団体」向けの計5コースの講座を実施。	無料	578
通年	オンライン／東京芸術劇場、他劇場	東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修	(1) セミ講師：東京芸術劇場職員、若林朋子、横堀応彦、宮野祥子、岸本匡史、阿部太一、浦弘毅、ほか  (2) シアター・コーディネーター養成講座（ドラマトウルギー編） 講師：横堀応彦  〈多文化共生・基礎編〉 企画監修：宮野祥子、楊淳婷 ゲスト講師：三代純平、福村真紀子、スラム・ソニア、小島祥美、松井かおり	(1) 東京芸術劇場でのOJT型研修を通じた、劇場や芸術団体のプロデューサー、コーディネーターの育成および舞台芸術に関する研修事業の実施。オンライン、現場での制作研修と両方を開催。  (2) シアター・コーディネーター養成講座 〈ドラマトウルギー編〉 ドラマトウルギーとドラマトウルギーという仕事について紹介し、受講生が作品と観客をつなぐ方法について企画・発表。  〈多文化共生・基礎編〉 多文化共生とアートに関連した実践を行ってきた講師陣によるレクチャー、グループワークで劇場やアートと関連した企画・発表。	有償（研修生）	6  15  16

■アーツカウンシル東京 芸術創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座

受講生アンケートでは「自身の課題について手がかりになる要素はありましたか」の設問において毎回80%以上の高評価、最終回のアンケート「この講座を人に勧めたいと思いますか」では「はい」が90%を占めた。

「この講座ではダメもとでも勇気を絞って言葉にしてみることで、物事が開けて進む場合があると実感しました。応募要項に書かれていた「創造の担い手の活動基盤・推進力強化をサポートします」という言葉を受講の間に実感として感じました」

「およそ5か月間、現場と往復しながらのキャパビルでモヤモヤと考える日々がとても楽しかったです。現場で起きていること、これキャパビルのこれで考えたいなとか、キャパビルのことを現場にちょっとずつ落とし込んでいたりとか。様々な視点からの講座でしたので、自分たちの組織でどこが明確で、どこ掘り下げが足りないのか把握することができました」

■アーツカウンシル東京 芸術創造活動の担い手のための会計・税務講座

アンケートの結果は「とてもよかった」「よかった」の割合が約90%を占めた。

「独り会計で今まで手探りでやってきましたが、ちゃんと学べてよかったです。ありがとうございました」

「知識ゼロからでも興味深く、理解しやすい内容でした。納税者から見た視点だけでなく、税法の考え方・税務署の考え方の基礎部分なども分かり、とても勉強になりました。図解や例などを挙げていただいたことによって、更に理解が進みました」

「基本的なことからの説明があり、申告初心者にとって「そもそも」の話しが伺えてよかった。収入・経費の考え方も説明が分かり易く、これから役立てることができるといった」

■東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

(1) 東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

研修修了後アンケートでは、研修の満足度で「非常に満足」4件、「どちらかといえば満足」2件で、全員より高評価を得た。

「研修の目的であるキャリアチェンジにつながる出会いや経験に恵まれたと感じている」

「同世代の研修生/職員と生で触れ合えたことが一番大きかった。彼らの経験にあるものとなないもの、自分の経験にあるものとなないものを引き比べて、どう変わりたいのかのイメージが具体的になり、モチベーションにつながった」

「大規模なホールでの実務は就職しない限り学ぶことはできないため、研修そのものが貴重な体験であった」

(2) シアター・コーディネーター養成講座

〈ドラマトゥルギー編〉

受講生アンケート結果は「非常に満足」90%、「どちらかといえば満足」10%の高い満足度を得た。

「ドラマトゥルギーというなかなか学ぶことのできない分野について、実際にドラマトゥルクとして活躍されている横堀さんのもとで学ぶことができ、とても貴重な時間でした」

「東京芸術劇場は開かれた劇場だということを強く感じ、社会との繋がり強い劇場を作るには設計面も運営面もよく考える必要があるのだと実感しました」

「劇場と社会の間に立って、両者をつなぐ」実践の場をつくってみることの素地を今回の講座でつくっていただきました。今回の企画がなにか具体的に形になり、シアターコーディネーターの実践の場になっていくことを実現したいと考えています。今回参加のみなさんとのネットワーク、つながりそのものが、企画実践の土台になります。得難いものをたくさん吸収させていただきました」

「オンライン視聴時も快適に環境を整えてくださり、講義に集中することができました。スムーズな運営ありがとうございました」

〈多文化共生・基礎編〉

受講生アンケート結果は「非常に満足」が約70%、「どちらかといえば満足」が約30%を占めた。

「多文化共生に向けアートで何ができるか、あらゆる方たちと一緒に考えをめぐらせた経験はとても勉強になりました。地元での今後の活動に活かしていきたいです」

「多文化共生という新たなジャンルを知り、多くのことを学びました。自分の未熟さに気付かされると共に、まだまだ考えなければならないこと、配慮しなければならないことがたくさんあると痛感しました」

「講師が多様で、先行事例を具体的に伝えていただいたことは、特に参考になりました」

「他グループの発表にも感銘し、詳細な講評をいただくことで、さらに見方が深まりました」

「グループワークを通じて、様々な背景を持った方がたくさんいるということ、そしてそういった方々と協働する楽しさを実感することができました」

# 43

## Tokyo Art Research Lab (TARL)

### 【事業概要】

開催期間 令和3（2021）年4月～令和4（2022）年3月  
 会場 アーツカウンシル東京ROOM302 ほか  
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 参加者数 759人

### 【事業趣旨（目的）】

アートプロジェクトの現場の課題に対応したスキルの提供や開発、人材の育成を行い、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指す。

### 【開催状況】

プログラム構成：

#### 1. 思考と技術と対話の学校

アートプロジェクトの担い手の育成を目指し、実践的な学びの場「スタディ」、手話講座を通して、アートプロジェクトにおけるコミュニケーションの可能性を広げる「レクチャー」、プロジェクトを行う上で新たなヒントを探る「ディスカッション」の3つのプログラムを展開した。これからの社会に向き合うプロジェクトや思考をともに作りあげていく人材の育成を目指し、アートプロジェクトに必要とされるスキルや視座を獲得すること、参加者が学び合いながら知見を深めることを重視して実施した。

開催期間 4月～3月  
 参加者数 84人

#### (1) 「東京プロジェクトスタディ」

“東京で何かを「つくる」としたら”という投げかけのもと、3組のナビゲーターそれぞれが参加者とともにチームをつくり、リサーチや実験を繰り返しながらそのプロジェクトの核をつくる試み。開催期間中、複数のプロジェクト“スタディ”（勉強、調査、研究、試作）を展開した。

ナビゲーターは、専門性や関心、属性の異なる「つくり手」が担当した。さらに、それぞれのスタディには、アーツカウンシル東京のプログラムオフィサーが伴走し、学びをサポートした。

開催日	プログラム名	会場	内容	ナビゲーターなど	参加費（円）	参加者（人）
8月～3月	スタディ1   わたしの、あなたの、関わりをほぐす～共在・共創する新たな身体と思考を拓く～	ROOM302 ほか	視覚身体言語（手話）、感覚をつなぐ伝達方法としての触手話、点字や手書き文字、音声ガイドなどの多様なコミュニケーションを起点に、一人ひとりの身体と記憶、ことばと感覚にまつわるディスカッションやワークショップ、リサーチを重ねた。	ナビゲーター：和田夏実（インタープリター）、岡村成美（Designer/Director/Costume Designer/Artist） 運営：木村和博（劇作家・編集者・ライター） スタディマネージャー：嘉原妙（アーツカウンシル東京）	一般24,000 学生16,000	10
11月～2月	スタディ2   アートプロジェクトの現場から外国ルーツの若者の支援について考える これから求められる活動や取り組みとは？	オンライン	外国ルーツの若者たちを取り巻く現状や課題を紐解きながら、これからの社会で必要とされる支援や活動の在り方とアートプロジェクトの可能性について探った。	ナビゲーター：海老原周子（一般社団法人kuriya代表、通訳） 運営（コーディネーター）：桑原優希（一般社団法人kuriya理事） 運営（記録）：西内亜都子（コピーライター、編集者） スタディマネージャー：坂本有理（アーツカウンシル東京）	一般 5,000 学生3,500	22
11月～2月	スタディ3   これからのWebサイトについて考える Webサイトは必要か？ できること／できないこととその可能性を探る	オンライン	「なぜいまWebサイトをつくるのか」という問いを起点に、Webサイトが得意なこと、苦手なことを探りつつ、これからの時代のアートプロジェクトや文化事業におけるウェブサイトの可能性について探究した。	ナビゲーター：萩原俊矢（ウェブディレクター） 運営（記録、リサーチ）：西山萌（編集者） スタディマネージャー：坂本有理、櫻井駿介（アーツカウンシル東京）	一般 9,000 学生 6,000	10

(2) 「レクチャー」

視覚身体言語である「手話」の基礎を学ぶことを通して、伝える、伝わるの違いを知り、全身をつかって表現することを体験する講座をオンラインで開催した。アートプロジェクトの現場で活用できる手話を身につけることを目指すとともに、アートプロジェクトにおけるコミュニケーションやアクセシビリティに関する課題についても考える企画とした。

開催日	プログラム名	会場	内容	講師など	参加費 (円)	参加者 (人)
8月公開	映像プログラム   手話と出会う ~アートプロジェクトの担い手のための手話講座~ 基礎編	Tokyo Art Research Lab YouTubeチャンネル	「手話」の基礎を学び、体感するのみならず、ろう文化やろう者とのコミュニケーションについて考えていく映像プログラムを21本公開した。		—	43,904回 (YouTube動画再生数)
8/11、9/1、15、29	ミートアップ   手話と出会う ~アートプロジェクトの担い手のための手話講座~ 基礎編	オンライン	上記映像プログラムを視聴した方が、映像の内容を復習しながら、講師や参加者とオンライン (Zoom) で対面し手話を実践した。	講師：河合祐三子 (俳優 / 手話・身体表現ワークショップ講師) 手話通訳：瀬戸口裕子 (手話通訳士) モデレーター：嘉原妙、櫻井駿介 (アーツカウンシル東京)	全回通し： 4,000 各回：1,000	16
A日程： 10/16、23 B日程： 11/13、20	レクチャー   手話をつかう ~アートプロジェクトの担い手のための手話講座~ アドバンス編 (オンライン講座)	オンライン	アートプロジェクトの現場でよく交わされる会話をもとに、ロールプレイングで手話での対話を練習し、実践の場で活かすためのプログラムを実施した。		各日程 10,000	5

(3) 「ディスカッション」

これからの実践を立ち上げるための新たな視座を獲得する対話シリーズ。現在の社会を、どうとらえ、どのような手法で向き合っているのか、ゲストの実践を共有し、対話を通して、今後の取り組みの課題や可能性を探った。

開催日	プログラム名	会場	内容	講師など	参加費 (円)	参加者 (人)
7/31、8/21、9/25、10/9、30、12/4	ディスカッション   災間の社会を生きる術 (すべ/アート) を探る 災害復興へのいくつかの「かかわり」から	オンライン	災害復興の現場に多様なかかわりかたをしてきたゲストに話を伺った。災禍の現場に立つにはどんな態度や技術、方法がありうるのか、ナビゲーターとの議論を通して、参加者とともに考えた。	ナビゲーター：佐藤李青 (アーツカウンシル東京)、宮本匠 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授)、高森順子 (愛知淑徳大学助教 / 阪神大震災を記録しつづける会事務局長) ゲスト：吉椿雅道 (CODE 海外災害援助市民センター事務局長)、瀬尾夏美 (アーティスト)、山住勝利 (NPO 法人ふたば / ふたば学舎 震災学習ラボ室長)、坂本顕子 (熊本市現代美術館 学芸員)	6,000	21

2. 研究・開発

専門家や実践者との協働により、専門的な知見や課題の整理と発信をするための手法の検討やコンテンツ制作、ネットワーキングの場づくり等を行った。

(1) 「リサーチ・アSEMBL」

独自の技術をもった実践者たちが集い、調査や検証、議論や研究を重ね、新たな論点を見出すことや手法づくりを目指した。TARLの過去のプログラムや東京アートポイント計画等で培った知見や担い手と連動し、その成果の活用や深化も試みた。

開催日	プログラム名	会場	内容	研究メンバー	参加費 (円)	参加者 (人)
ドキュメンタリーの部： A期   9/3~5、 B期   9/17~19 フィクションの部： 10/30、 11/7、13、20、 27、12/4 上映会：2/27	アSEMBL 1   Multicultural Film Making ルーツが異なる他者と映画をつくる	ROOM302 ほか	異なるルーツをもつ人々が協働し、1本の映画制作をすることで、協働のための技法や新たな表現方法の開発を目指した。最後には制作した映画の上映会も実施した。	監督：鄭 禹晨 (編集者) プロデューサー、記録：阿部航太 (デザイナー / 文化人類学専攻)、森内康博 (らくだスタジオ代表) 制作：関あゆみ (コーディネーター) プログラムマネージャー：上地里佳 (アートマネージャー)	無料	制作： 18 上映会： 158
9月~3月	アSEMBL 2   「ラジオ下神白 あのときあのまちの音楽からいまここへ」のオムニバス	いわき市、ROOM302 ほか	福島県いわき市で行われてきたプロジェクト「ラジオ下神白 あのときあのまちの音楽からいまここへ」の記録や活動の蓄積を活用し、様々なかたちのアウトプットを試みた。	「ラジオ下神白」プロジェクトメンバー：アサダワタル (文化活動家)、小森はるか (映像作家)、川村庸子 (編集者)、一般社団法人Teco、高木市之助 (デザイナー) プログラムオフィサー：佐藤李青、岡野恵未子 (アーツカウンシル東京)	—	49回 (YouTube動画再生数)

(2) Art Archive Online (AAO) クロストーク

アーカイブ構築を継続してきたゲストを招き、活動について伺うクロストークを開催した。プロジェクト型アートをいかにアーカイブしていくかという課題について、アートの現場におけるアーカイブ活動の可能性をともに考えた。

企画運営：NPO法人アート&ソサイエティ研究センター

開催日	プログラム名	会場	内容	登壇者ほか	参加費(円)	参加者(人)
12月公開	川俣正 特別インタビュー	Tokyo Art Research Lab YouTubeチャンネル	アーカイブや作品制作に関する考え方がこの10年どう変わったか、コロナ禍の社会をどう捉えているのか、などについて話を伺った。	川俣正 (アーティスト)	-	475回 (YouTube 動画再生数)
12/2	vol.1   プロジェクトとしてアーカイブする/される。「日比野克彦を保存すること」から見てきたこと	オンライン	東京藝術大学芸術資源保存修復研究センターが取り組む活動「日比野克彦を保存する」に着目し、活動の内容や目指したいアーカイブのかたちについて伺った。	日比野克彦 (アーティスト)、田口智子 (東京藝術大学芸術資源保存修復研究センター特任研究員)	無料	27
1/20	vol.2   アーカイブの「ことはじめ」と「つみかさね」 - アートプロジェクトの現場で試みてきたこと -	オンライン	アーカイブ活動の始め方と続け方に焦点を当て、3人のゲストそれぞれのアーカイブに対する関心と取り組み続けていることを紹介いただいた。	小田井真美 (AIR環境・事業設計 / さっぽろ天神山アートスタジオAIRディレクター)、石井瑞穂 (アートプロデューサー)、志村春海 (Reborn-Art Festival 事務局スタッフ)	無料	43
1/27	vol.3   アーカイブをひらく - エディション・ノルト: 川俣正との協働とアート・ブック・アーカイブ -	オンライン	「アート・フラグメント・コレクション」を主な事例として、作品の保存・修復とともに、販売、展示、エディション化など「アーカイブのひらき方」について、ゲストとともに考えた。	秋山伸 (グラフィック・デザイナー / ブック・メイカー / パブリッシャー / edition.nord 代表)	無料	24

(3) ジムジム会

東京都内各地でアートプロジェクトを実施する「東京アートポイント計画」に参加する9つのプロジェクト事務局とともに、プロジェクト運営事務局に必要なテーマを学び合うネットワーキング型の勉強会「ジムジム会 (事務局による事務局のためのジムのよう勉強会)」をオンラインで実施した。

開催日	プログラム名	参加者(人)
7/19	#01 「今年鍛えたい筋力」	21
9/17	#02 「ことばを壁にしない。『やさしい日本語』を使おう」	27
11/17	#03 「アートプロジェクトの『関わり』をときほぐす」	21
1/19	#04 「アートプロジェクトの記録と記憶をめぐる七転八倒」	29
3/2	#05 「エピソードが宝物! 仲間と取り組む楽しい評価」	23

3. 「ROOM302」の運用

アートセンター「3331 Arts Chiyoda」3階に、アーツカウンスル東京のレクチャールーム+アーカイブセンター「ROOM302」を開設している。また、令和2(2020)年度にはROOM302の一角を、収録・配信スタジオ「STUDIO302」としてリニューアルし、オンラインプログラムを実施・配信している。令和3(2021)年度も、各プログラムの実施および収録・配信会場として活用した。また、これまで事業で制作した成果物や映像コンテンツを紹介する「Open Room」企画も実施した。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響で、アーカイブセンターの一般開室は現在休止しているが、都内文化施設等でアーカイブ活動に取り組む有識者へのヒアリング等を行い、今後の資料運用について検討した。

Open Room

実施日：10月28日、29日

会場：ROOM302

参加費：無料

来場者数：284人

【参加者の声】

●手話と出会う～アートプロジェクトの担い手のための手話講座(基礎編) ミートアップ

- ・見るだけではなくきちんと先生に見てもらえたのが良かったし、他の方の表現も勉強になりました。ありがとうございました。
- ・手話の型があると思いついていました。生活様式にあわせた表現の仕方が有ることを知り、手振り身振りや表情の大切さを理解しました。これは、聴覚のある方々にも、必要なことだと再認識しました。

- ・昨年は地元の講習会は中止になり、勉強する機会が減っていました。今回参加でき再び学ぶことができうれしいです。手話はオンラインにフィットする言葉だと思いました。

### ●ディスカッション | 災間の社会を生きる術（すべ／アート）を探る 災害復興へのいくつもの「かわり」から

- ・「すすかかわり」というあり方の重要性を再認識しました。(中略) コロナ禍は、対面による人間関係や、風景を直接見る機会を減らしたことで、そうした時間感覚を明らかに狂わせた気がします。少なくとも私にとって。上手くまとまりませんが、今日のお話を聞いて「時間」「時間感覚」は災間を考えるキーワードになるような気がしました。
- ・最後にお話しされていた、どこかで断絶された大切ななにかをリバイバルすること、それに光が当たるのが災間や危機のときだ、という話がしっくりきている気がします。また、長期的にはリバイバルだけれど、断絶されたあとの「いま」の私たちにとっては、「つくる」というエネルギーがいるんだということも感じました。災害や危機を「いなす」すべをつくる・暮らしのなかに組み込んでいくことを真剣に考えたいなと思いました。
- ・「災間」と美術館ということについて考えさせられました。(中略) 今を生きる作家がその災禍を扱った作品をつくり、それが美術館に展示されることで、鑑賞者はその災禍を過去のことではなく同時代の問題として捉えられ、今が「災間」であるという意識も持つかもしれないと思いました。また、それは災禍の伝承という点で考えても生きた伝承(?) になっているのかもしれないとも思いました。

### 【発行物】

- 『つたえる、うけとる、つたえあう—interpret 新たなコミュニケーションの在り方をみつけるために—』
- 『東京プロジェクトスタディ1 共存する身体と思考を巡って—東京で他者と出会うために—』
- 『東京プロジェクトスタディ2 Tokyo Sculpture Project Rehearsal Book』
- 『東京プロジェクトスタディ3 Cross Way Tokyo—自己変容を通して、背景が異なる他者と関わる』
- 『アートプロジェクトがつむぐ縁のはなし 大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住」の11年』
- 『happening. | 東京プロジェクトスタディ1 わたしの、あなたの、関わりをほぐす~共存・共創する新たな身体と思考を拓く~』
- 『ウェブもやもや事典』
- 『相手から見たときの指文字／自分から見たときの指文字』

## 44

## アーツカウンシル・フォーラム 『表現者を支えるプロデュースと目利き力』

### 【事業概要】

開催日時	令和4（2022）年2月4日（金） 第一部14:00～16:00 第二部16:00～18:00
会場	動画配信プラットフォーム上によるオンライン配信（ライブ配信） （配信会場として、NAGATACHO GRiDを使用）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
動画再生回数	28,100回（ライブ配信視聴者数 延べ524人）
参加料	無料（事前申込制）
言語	ライブ配信時は手話通訳付／アーカイブ記録集は日英字幕付

### 【事業趣旨（目的）】

国内外の芸術文化団体や文化施設とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていく。

### 【開催状況】

芸術文化分野において今日的かつ重要なテーマを取り上げるフォーラムをオンラインで開催。様々な分野の有識者と、国際都市としての芸術文化施策のあり方をめぐる議論の場の創出を目指して実施している。ライブ配信後、アーカイブで日英版の記録集を公開中。

令和3（2021）年度は、美術、演劇、アニメーションの各分野をとりまく環境において、表現者を支えるプロデューサーやコーディネーターにスポットを当てた。マネージメントやマーケティング、プロモーションなどを通して、いかに作り手・表現者の才能を引き出し、プロデュースしていくのか。現場のリアルな声を聴くとともに、新たな才能を発掘する目利き力などについて議論を行った。

### 【登壇者】（順不同・敬称略、肩書は開催時のもの）

- 第一部・北村明子（シス・カンパニー代表取締役）  
・山本豊津（東京画廊＋BTAP代表）
- 第二部・小山登美夫（小山登美夫ギャラリー代表取締役）  
・土居伸彰（株式会社ニューディアー代表）

### 【モデレーター】※第一部・第二部ともに

- ・森功次（大妻女子大学 国際センター専任講師）

### 【参加者の声】

オンライン視聴者アンケート集計結果（2月4日実施時）：回答数73人

- ・期待に沿うものであったかについて  
「大変期待に沿うものであった」 20人  
「期待に沿うものであった」 25人  
→「期待に沿うものであった」と回答した人があわせて62%であった。
- ・参加して得た学びや気づきの有無について  
「新たな学びや気づきが大いにあった」 25人  
「新たな学びや気づきがあった」 29人  
→「新たな学びや気づきがあった」と回答した人があわせて74%であった。

## 45

## 未来の踊りのためのプログラム

## 【事業概要】

## 「座学」

開催日・期間：令和3（2021）年12月3日（金）～令和4（2022）年1月31日（月）

会場：アーツカウンスル東京

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンスル東京

参加者数：各回48人・全7回

## 「ラボラトリー」

開催日・期間：令和4（2022）年1月17日（月）～2月26日（土）

会場：東京芸術劇場リハーサルルーム

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンスル東京

参加者数：各回15人・全15回

## 【事業趣旨（目的）】

舞踊芸術のクリエイティビティを促進するために参加者が、より活発な取り組みを展開していくための場づくりに向けて、トライアル事業として実施した。近年の舞踊芸術では、音楽・演劇・美術・映像などの分野と横断的に協働し創作が行われていることから、多様な芸術分野からの参加者が集う機会とした。「座学」と「ラボラトリー」の二つのプログラムを柱とし、舞踊芸術の将来的な在り方を見据えた思考と実践を両輪で深めていく事業。

## 【開催状況】

## 「座学」

芸術諸分野から講師を招き、舞踊芸術に新しい視点をもたらすジャンルを横断した講義や、舞踊作品における独創的な試みの過去の事例紹介などを通じて、舞踊芸術の可能性を多角的に探った。

- 定員の4倍の申込があった。舞踊以外に音楽、演劇、美術・映像などの多分野から若手を中心とした振付家、パフォーマー、演出家、俳優、美術家、映像作家、プロデューサーなど多彩な顔ぶれが集った。
- 毎回、未来の踊りを発見するためのヒントが詰まった質の高い座学内容に、参加者は集中力のある視線を向け、所定の時間に納まりきれない多数の質問を講師に投げかけていた。アンケートには、参加者が自身の創作活動に照らして触発をされた点などが丁寧に記され、創作意欲の向上に繋がる様子が見受けられた。
- 座学で話された内容を更に考察するために、参加者同士でのグループ・ディスカッションや、講師を含めた対話の場を設けてほしいという意欲的な希望も寄せられた。今回は、コロナ禍の状況で実現は叶わなかったが、ジャンルを横断し芸術諸分野の担い手が意見を交換し、互いに影響を与えあう場の必要性を改めて認識する機会となった。

開催日	プログラム名	講師名
12/3	第1回「ダンスと動物」	平倉圭（芸術学研究者）
12/13	第2回「九段下ダンス教室～グルーブ再考」	桜井圭介（音楽家・ダンス批評） ゲスト：塚原悠也 （アーティスト／contact Gonzo）
12/17	第3回「ほんとのことは稽古で溶けて消えて、作品になります。それを『搾取』と呼びます。」	倉田翠（演出家） ゲスト：佐々木敦（思想家・著述家）
1/7	第4回「世界の先っぽに在るという感覚」	高嶺格（美術家・演出家）
1/13	第5回「舞踏への応答」	國吉和子（舞踊研究・評論） ゲスト：川口隆夫（ダンサー・パフォーマー）
1/27	第6回「言語に拠らない思考とはどういうものか」	保坂和志（小説家）
1/31	第7回「古典芸能【山姥】を巡る考察～女性芸能者とジェンダーについて」	余越保子（演出家・舞踊家・映像作家）

## 「ラボラトリー」

作品を生み出すプロセスの質を高め、より実験的に創作に挑むための実践型プログラム。参加者は、2名のメンターからどちらかを自身のメンターとして選択し、2グループに分かれて実施。参加者自身が創作のアイデアを持ち込み、メンターによるファシリテーションのもと、クリエイション～発表～参加者同士のディスカッションを繰り返し、試行錯誤を重ねて作品を練り上げた。クリエイションを軸にした他者との対話を通じ、客観性と批評性を養いながら、参加者がアーティストックなビジョンを構築することを目指した。

グループ メンター氏名	参加者氏名
グループI メンター：塚原悠也	6組9人 大塚陽 大森瑤子 敷地理・大迫健司・境佑梨 花形稔 チーム・チープロ 松本奈々子・西本健吾 吉田拓
グループII メンター：川口隆夫	5組5人 青柳潤 石田ミヲ 津田犬太郎 中屋敷南 渡邊拓也

開催日	参加グループ、参加者 実施内容	内容・成果
1/17	■顔合わせ・参加者が持ち込んだ創作アイデアの発表 グループI・II合同	ラボラトリーの着地点として、短期的に結果を出すのではなく、創作過程の充実を図ることに定めた。そのため、参加者には最終日に行う成果発表のプレッシャーを感じることなく、最後まで果敢に実験を繰り返す場として、プログラムを利用してもらうと試みた。メンターと参加者が、教える・教わるという関係ではなく、経験豊富な先輩アーティストであるメンターからのフィードバックを活かし、参加者に自らの力で創造力を磨き、創作に向き合う意欲とスキルを高めてもらう狙いとした。
第1ターム 1/18、19 1/20、21	■参加者が持ち込む創作のアイデアを作品にするまでの途中経過を発表し、メンターと参加者が意見交換を行う。 グループI グループII	開始当初は、途中経過の発表における相互批評やフィードバックに参加者が戸惑う様子も見受けられたが、メンターのファシリテートや見識の深さに触れ、回を重ねるごとに同世代の参加者同士のジャンルを超えた対話が深まり、活発なクリエイションの場が創出されるに至った。
第2ターム 2/1～5	グループI グループI・II合同 グループII	ラボラトリーにおける第1タームから第3タームの間に、自主稽古の時間を設定し、芸術劇場のリハーサルルームで、参加者が各自じっくりと創作に向き合う時間を持たせたことも、ラボラトリーでのプロセスにとって欠かせない作用を及ぼした。
第3ターム 2/22～24	グループII グループI グループI・II合同 ■ショーイングのためのリハーサル。各自の将来的な活動の展望についてメンターと話し合い。	
2/25	ショーイング＋トーク 1 大森瑤子、大塚陽、渡邊拓也、敷地理・大迫健司・境佑梨、石田ミヲ	最終日2日間で実施したショーイング＆トークは、11組の参加者がラボラトリーでの探求のプロセスと成果を発表し、お招きして立ち会っていただいたダンス関係者の方々に、各参加者の取り組みについて共有していただく豊かな時間となった。発表終了後も、参加者同士が終わることのないフィードバックを続ける様子から、アーティスト同士の対話から創造性を育てていく「場づくり」としての成果がみられた。
2/26	ショーイング＋トーク 2 青柳潤、チーム・チープロ、花形稔、津田犬太郎、中屋敷南、吉田拓	

## 【参加者の声】

### 「座学」

- ・今まで、「踊りとは何か」という問いに端的に答えられない自分に恥や焦りを感じていたが、この講義を聞いてこの問いは今後私が踊っていく中で、ずっと問い続けるべき問いであるように認識が変わった。そして、この問いに対する答えは、ダンスを創る側・踊る側だけでなく、観る側・批評する側の人々もきっと問い続けていて、自分なりの答えを持っているのではないかと思った。
- ・日本人として、実験的な身体表現を試みるとき、舞踏は大きな歴史として横たわっており無視することはできません。しかし、いつまでも日本の身体表現といえば舞踏というイメージに甘えてはいられないと思います。世界に誇る素晴らしい、独自の思想を打ち立てたジャンルだとは思いますが、異なる考え方を基にした、強度を持った身体表現を作り上げる必要を感じています。
- ・日本の古典には現世とあの世、男と女、人間と怪物など様々な状態や状況を行ったり来たりする作品が多く、今の現代だからこそ面白くなる作品もあるだろうと話を聞いていて感じた。古典や伝統芸能、ダンサーの中にある動きを再構成して作品をつくっていく余越さんの話から、歴史に眠っていることから未来のダンスを見つけていくことの可能性を感じられた。

### 「ラボラトリー」

- ・このプログラムで、踊りとも言えないような取り組みを開拓していく同世代作家に刺激を受けられたことはかなり大きい。また、ダンスや舞台の領域で活躍されている方が多かったので、いかに自分の制作がパフォーマンスになりうるかということに対するポジティブな可能性を開拓することができたように思う。
- ・今回のレクチャー・ラボラトリーで良いと思った点を自分なりに作り出すことも可能だと思います。つまり学びの場、実験の場をアーティスト自身で作り出すということです。そのためには、まずは今回出会ったアーティストを

はじめ、そのような考えに共鳴してくれる人々とコミュニケーションを継続的に取る必要があります。

- ・アーティストたちとの出会いがとても刺激になりました。メンターとともにお互いの作品の制作過程を見せ合い、議論しあうなかで、自分たちはどこにどういうふうに「ダンス」をみたいと思っているのか、そのためにはどのような創作環境を求めているのか、考えるきっかけになりました。
- ・場としてのラボラトリーでの経験を今後活かしていきたい。横の繋がりを意識していくこと。同世代が何をしているのか。メンターの作家をサンプルに自分はどのようなことを次の世代としてできるのかを考えたい。個人での作家としての成長もちろんだが、全体として成長していくこと。環境が自分の作品に大きくつながっていくことがわかるので、同世代、周りの作家がより良い作品を作り持続可能な制作活動をする為に自分が何ができて、同時にそういった周りをどのように頼って自分の活動に持ち帰ることができるかを考えていきたい。
- ・今回ラボのメンバー同士でお互いの作品をさまざまな分野からのレファレンスをもちいながら考えることで、それぞれの作品やダンス、そして、その社会的な位置付けについて話すための関係が生まれ、ことばが蓄積されてゆきました。そのさい、レクチャー内容を参照することで議論が円滑になった部分もありました。
- ・作品のリサーチやクリエーションは普段個人や団体が自分のことだけに向き合いながらなされていくことが基本で、今回のように常に過程を共有する機会はなかった。場所が共有されるとそれだけでそこにコミュニケーションが生まれ、アイデアが触発され洗練されていく。ほかの参加者の意見は興味深いものが沢山あり、視野が非常に広がった。
- ・大学での授業では実技のみだったので、ダンスを俯瞰的に学ぶことができてとても良かったです。ダンスが発生する環境、作品構成プロセス、グルーヴ、暗黒舞踏の歴史、能力、生物学的に自分を捉えること、そもそもダンスとは何か、等多岐に渡り学びました。今までダンス作品を見てきて言語化できないものが、全てではないですができるようになりました。

## 46

## 広報活動

## 【概要・事業趣旨（目的）】

芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しているアーツカウンシル東京の組織の取組や役割を発信することにより、認知度やプレゼンスの向上を図っている。

公式ウェブサイト、SNS、メールニュース等独自媒体でコンスタントに情報発信するとともに、プレスリリースの配信等メディアへの働きかけによるパブリシティの獲得や、効果的なターゲットに向けたSNS広告を展開。また、事業の魅力や特徴をわかりやすく伝え、理解を深めるための映像制作にも取り組んだ。

## 1. 公式ウェブサイト（日本語・英語対応）

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/>

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/en/>

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大による事業の中止や変更を受け、ウェブサイトで正確かつ迅速な情報を発信した。申請数が増加した助成情報のニュースを中心に大幅にPV数が伸び、前年度比約1.8倍のPV数を獲得。ユーザー数も約1.6倍と大幅に伸び、ユーザーニーズに対応した情報発信ができたと同時に、アーツカウンシル東京の認知度向上にも貢献した。また、コロナ禍で欧米や近隣諸国において芸術文化がいかにコロナ禍と対峙してきたかの様々な事例を考察するコラム等で質の高い読み物を提供した。

【ユニークユーザー】297,376

【ページビュー】948,833

※年間集計

## 2. SNS（Facebook、Twitter、YouTube）

アーツカウンシル東京の公式FacebookページおよびTwitterから、様々な情報を写真も交えて随時発信した。基本情報の発信とともに著名人を起用したFacebookコラム連載を展開し、多ジャンルに渡るライト層の獲得に努めた。また、SNS広告を活用し、ウェブサイトや映像等に効果的に誘導し、PV数の増加やフォロワー数の増加に繋げることができた。制作した2本の映像の公開時には各SNSで告知展開し、多くの再生回数とYouTubeのチャンネル登録者を獲得することができた。

【Facebook（フォロワー）】16,634

【Twitter（フォロワー）】10,812

【YouTube（登録者）】2,500

※令和4（2022）年3月31日現在

## 3. メールニュース

アーツカウンシル東京が主催・共催するイベントや公募等の最新情報やニュースを定期的にお知らせするため、月2回メールニュース（日英バイリンガル）を配信し、ウェブサイトへの誘導を促した。

【登録者数】2,922人

※令和4（2022）年3月31日現在

## 4. アーカイブ用動画撮影

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業が中止やオンライン等への変更を余儀なくされた中で、コロナ禍で注目が高まっている助成事業では、主要プログラムに加え、令和3（2021）年度に新設した2つのプログラムを含めた5つの助成プログラムの概要に加え、助成プログラムができた背景や意義、採択を受けた方のコメントや助成課長のリアルな声を届けることで、申請者のニーズに応える映像を制作した。また、海外でも評価の高い舞踏の映像コンテンツでは、コロナ禍における国内外への情報発信の可能性を見出すことができた。

●5つの助成プログラムのご紹介：2本

紹介プログラム：東京芸術文化創造発信助成

芸術文化による社会支援助成

東京地域芸術文化助成

スタートアップ助成

伝統芸能体験活動助成

再生回数：ロング・バージョン568回／ショート・バージョンは、SNS広告としてFacebook、Twitter、Instagramで投稿

●東京芸術祭特別公演 ファンタスティック・サイト 大駱駝艦・天賦典式「Crazy Camel Garden」：2本  
日時：令和3（2021）年5月21日（金）・22日（土）・23日（日）  
会場：東京都庭園美術館・芝庭（東京都港区白金台5-21-9）  
再生回数：ロング・バージョン5,238回／ショート・バージョン1,355回  
※令和4（2022）年3月31日現在

### 5. PR活動

メディア対応の他、各事業で配信される広報物についての校正を行い、効果的な露出を狙うための情報管理を行った。「年間ラインアップ発表」等、各事業／組織全体合わせて、計79本のプレスリリースを発信した。また、東京都や東京都歴史文化財団のメディアと連携し、効果的かつ幅広い情報発信を行った。

### 6. 出広告実績

制作した2本の映像を公開するタイミングで、SNS広告を展開した。「ファンタスティック・サイト」はTwitter広告で、出演者やプロデューサー、会場と、異なる切り口でターゲットを設定し、多角的に展開。動画に誘導して多くの再生回数を獲得した。「5つの助成プログラムのご紹介」ではFacebook、Twitter、Instagramの3媒体でスタートし、反応の良かったFacebookとInstagramで配信。ウェブサイトへ誘導するとともに、動画再生数も伸ばした。また、Facebookページのファンを増やすために行った著名人の連載コラムでは、記事広告といいね広告を併用。ジャンルの異なる著名人に合わせて多面的にターゲティングを行い、幅広い層に向けてアーツカウンシル東京の認知度を高めることができた。

編集…公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
制作／印刷…株式会社丸井工文社

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 5階・8階  
TEL : 03-6256-8430  
FAX : 03-6256-8828  
E-MAIL : [info@artscouncil-tokyo.jp](mailto:info@artscouncil-tokyo.jp)  
URL : [www.artscouncil-tokyo.jp](http://www.artscouncil-tokyo.jp)



